

H28.10.27

第7期介護保険事業計画策定にむけた基礎調査について

※アンケートの対象者

①一般高齢者(65歳以上)	2, 500人
②若年者(40歳以上65歳未満)	1, 000人
③要介護(要支援)認定者	1, 250人
④居宅支援専門員	40人
⑤介護サービス事業所	60事業所

鴨川市
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
策定のための調査結果報告書

平成 29 年 3 月

鴨 川 市

【目次】

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査仕様	2
3 回収結果	2
4 報告書の見方	3
5 調査結果の概要	4
 第2章 若年層対象 調査結果	 7
1 年齢や性別等について	8
2 住まいについて	11
3 健康の状況や意識等について	13
4 社会参加について	26
5 介護保険について	30
6 今後の高齢者施策について	32
 第3章 高齢者一般対象 調査結果	 35
1 年齢や性別等について	36
2 日常生活について	44
3 住まいについて	62
4 健康の状況や意識等について	64
5 社会参加等について	80
6 介護保険について	92
7 今後の高齢者施策について	96
 第4章 要介護・要支援認定者対象 調査結果	 101
1 年齢や性別等について	102
2 日常生活について	111
3 居宅サービスの利用状況について	113
4 今後の介護や福祉の制度のあり方について	121
5 介護の状況について	128

第5章	介護サービス提供事業所対象 調査結果	141
1	貴事業所の基本的なことについておうかがいします	142
2	貴事業所が実施している事業についておうかがいします	145
3	貴事業所の事業運営についておうかがいします	147
第6章	ケアマネジャー対象 調査結果	157
第7章	経年比較	171
1	若年層調査	172
2	一般高齢者調査	173
3	認定者調査	175
	調査票	177

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

介護保険制度の今後の効果的な運営に努めるため、来年度に第7期の新しい「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を策定するにあたって、生活状況や福祉ニーズなどを伺うため、本調査を実施しました。

2 調査仕様

	調査対象者	配布数	抽出方法	調査方法
若年層調査	40～64 歳までの市民 (要支援・要介護認定者を除く)	1,000	層化無作為抽出法	郵送法
一般高齢者調査	65 歳以上の市民 (要支援・要介護認定者を除く)	2,500	層化無作為抽出法	郵送法
認定者調査	市内の要支援・要介護認定者 (在宅者及び施設入所者)	1,250	層化無作為抽出法	郵送法
介護保険事業所調査	鴨川市の認定者がサービスを受けている介護保険事業者	60	全数調査	郵送法
ケアマネジャー調査	市内事業所のケアマネジャー	40	全数調査	郵送法

3 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率 (%)
若年層調査	1,000	458	45.8
一般高齢者調査	2,500	1,488	59.5
認定者調査	1,250	623	49.8
介護保険事業所調査	60	40	66.7
ケアマネジャー調査	40	36	90.0

4 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の読み取り文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本報告書において、分析手法のひとつとしてクロス集計を用います。その際、クロス集計分析結果表の分析軸に「無回答」がある場合（例として、年齢が無回答だった場合）は表示しません。そのため、分析軸の回答者数の合計が全体の合計と一致しない場合があります。
- 問の文章や選択肢の文章は長いものもあるため、グラフ作成時にはこれを省略しているものもあります。

5 調査結果の概要

（１）家族構成や住まいについて

「夫婦２人暮らし」は若年層で 21.4%、一般高齢者で 40.6%、認定者で 17.5%となっています。また、「一人暮らし」は、若年層で 9.4%であるのに対し、一般高齢者で 17.0%、認定者で 27.0%と高くなっています。

若年層・一般高齢者ともに、住まいはいずれの家族構成でも「持家（一戸建て）」が最も高くなっています。一人暮らしでは、「民間賃貸住宅（集合住宅）」や「借家」が他の家族形態よりも高く、家賃は４万円未満が若年層では約３割半ば、一般高齢者では約５割となっています。

（若年層：問４、問７ 一般高齢者：問４、問 15 認定者：問４）

（２）健康について

現在の健康状態は、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が、若年層では 85.0%に対し、一般高齢者では 74.6%と、加齢に伴い低くなっています。

老後の生活や日常生活全般で不安なことは、「自分や家族の健康に関すること」が若年層・一般高齢者ともに６割強で最も高く、認定者でも「健康のこと」が約８割と、いずれの調査においても健康に対する不安が高くなっています。

なお、健康について主に知りたいことは、若年層・一般高齢者ともに、「がんや高血圧にならないための工夫について」や「認知症の予防について」が特に高いほか、介護予防の取り組みとしては、「筋力向上トレーニング」や「認知症予防教室」、「転倒予防教室」の利用意向が高くなっています。

（若年層：問８、問 20、問 21、問 33 一般高齢者：問 18、問 32、問 33、問 54 認定者：問 12-1）

（３）社会参加・仕事について

就業状況について何らかの仕事に就いている人は、若年層では７割強、一般高齢者では約３割となっています。

地域の会やグループへの参加は、若年層・一般高齢者ともに「参加していない」が最も高くなっていますが、「町内会・自治会」や「趣味関係のグループ」は１割後半から２割前半とやや高くなっています。

一方今後の意向として、地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動については、若年層・一般高齢者ともに、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加』が、約５割、企画・運営としての参加意向は約３割と比較的高くなっています。

（若年層：問５、問 27、問 28、問 29 一般高齢者：問５、問 37、問 38、問 39）

（４）日常生活の支援について

認定者が現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「買い物（宅配は含まない）」、「配食」が高く、今後の意向についても「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」や「外出同行（通院、買い物など）」などの、外出（移動）や買い物に関する支援が高くなっています。また、一般高齢者では加齢に伴い外出をしていない人、控えている人が増加しています。

一般高齢者の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が約6割で、次いで「徒歩」や「自動車（人に乗せてもらう）」となっており、特に一人暮らしでは「徒歩」や「路線バス」が他の項目よりも高くなっています。また、毎日の買い物について、80 歳以上では「家族や知人に買い物をしてくれよう」が高くなっています。

（若年層：問、問、問 一般高齢者：問 10、問 12、問 13、問 14 認定者：問 20、問 21）

（５）高齢者施策について

鴨川市で優先すべき対策は、「一人暮らしや高齢夫婦世帯などへの地域の見守り等の充実」や「介護状態にならないための予防の充実」、「24 時間対応の在宅医療の充実」などが高くなっていますが、認定者では特に「特別養護老人ホーム等の施設整備」が高くなっています。

重要な高齢者施策については、一般高齢者・認定者ともに、「安心して受けられる介護サービス」や「緊急時などにも困らない医療・福祉サービス」が高くなっています。

（若年層：問 32、問、問 一般高齢者：問 53、問 55 認定者：問 24、問 23）

（６）家族介護について

介護保険の認定を受けていない一般高齢者の中でも、高齢になるほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」や「現在、何らかの介護を受けている」が高くなっており、配偶者や子どもから介護を受けている状況です。

要介護認定者では約6割半ばが家族からの介護を受けており、その家族介護者は主に「子」が4割半ば、「配偶者」が2割半ばとなっています。家族介護者の年代は、50 代までが約3割、60 代が約4割、70 歳以上が2割半ばと、約4人に1人は老々介護状態であることが伺えます。

また、要介護度が重度になるほど、多くの介護を担っており、重度でフルタイムで働く人は低く、今後も働きながら介護を「問題なく、続けていける」割合は低くなっています。

なお、介護を主な理由で仕事を辞めた経験の有無は、若年層・一般高齢者・認定者いずれも概ね8～9%となっています。

（若年層：問 6 一般高齢者：問6、問 6-2、問 7 認定者：問 25、問 26、問 28、問 30、問 32、問 32-3、問 33）

（７）介護保険サービスについて

介護が必要になった原因は、一般高齢者・認定者ともに「高齢による衰弱」が最も高く、次いで認定者では「骨折・転倒」や「認知症（アルツハイマー病等）」が高くなっています。

認定者について、1か月の間の（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用状況は、「利用した」が5割半ば、「利用していない」が3割半ばとなっています。特に要支援で「利用していない」が多く、その理由としては「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が4割弱、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が2割強となっています。

介護サービスを受けて良かったと思うことは、「人と話す機会が増えた」が約4割で最も高く、次いで「家族が楽になった」が約3割、「外出の機会が増えた」が約2割となっています。

なお、介護保険のサービスと保険料の関係は、「保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ」が3割強で最も高く、次いで「わからない」と、「保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい」が約2割となっています。

（一般高齢者：問6-1 認定者：問6、問14、問14-2、問52）

（8）事業所・ケアマネジャーについて

事業所が円滑な事業運営を進めていく上で困難を感じていることや事業の拡大を考える場合の課題や問題点は、いずれも「従事者の確保が難しい」が7割半ばで最も高くなっています。一方、介護従事者の質の向上のための研修を「実施している」は8割半ば、介護従事者の処遇改善を「実施している」は8割強、介護従事者の資格取得時の費用補助や勤務時間を「配慮している」は7割半ばと、介護従事者への支援は多くの事業所で行われています。

今後の要望としては、事業所においては「市や関係機関との積極的な情報交換の場を充実させたい」が8割弱、ケアマネジャーにおいては「最新で的確な情報の提供」が約7割と、いずれも情報提供についてが高くなっています。

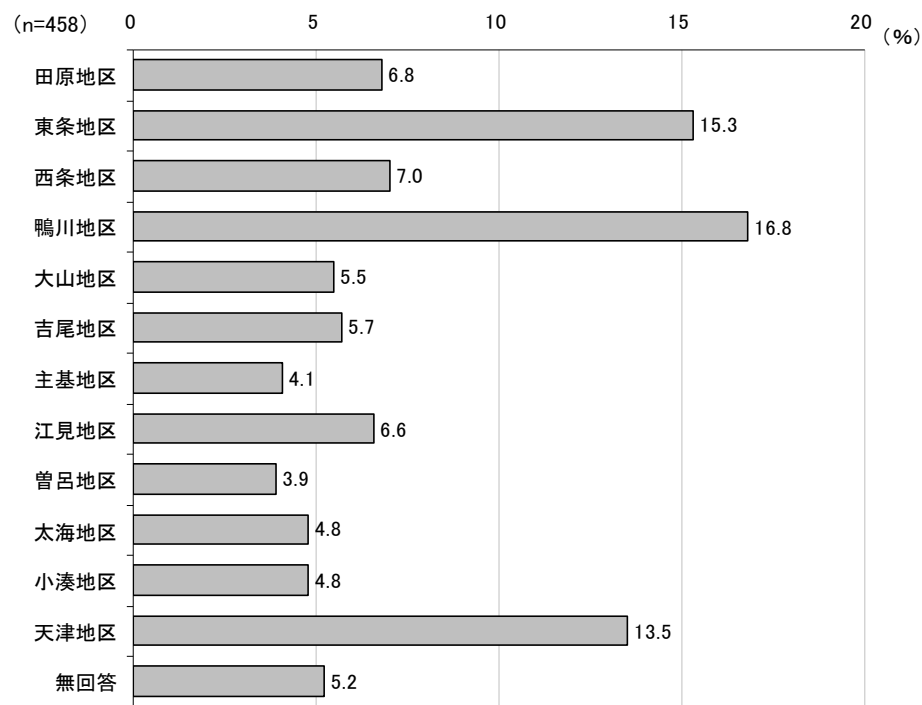
（事業所：問5、問6、問8、問9 ケアマネジャー：問24）

第 2 章 若年層対象 調査結果

1 年齢や性別等について

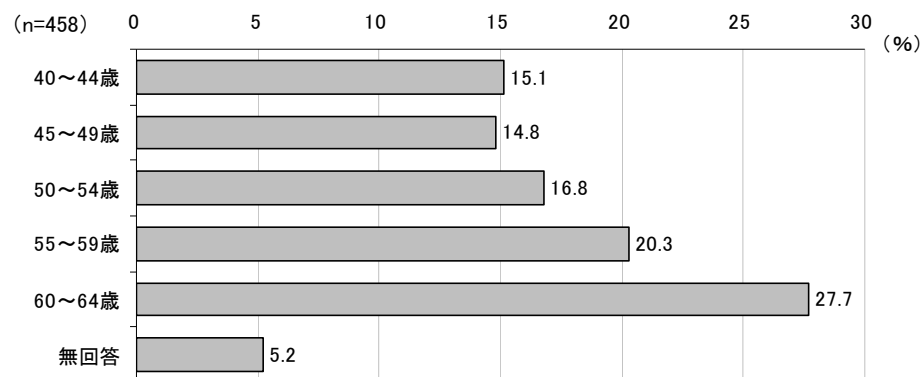
問1 お住まいの地区はどこですか。（1つに○）

居住地区は、「鴨川地区」が16.8%と最も高く、次いで「東条地区」が15.3%、「天津地区」が13.5%となっています。



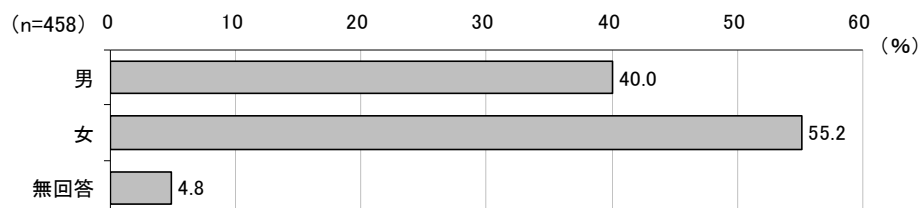
問2 平成29年1月1日現在の年齢をお答えください。（1つに○）

現在の年齢は、「60～64歳」が27.7%と最も高く、次いで「55～59歳」が20.3%、「50～54歳」が16.8%となっています。



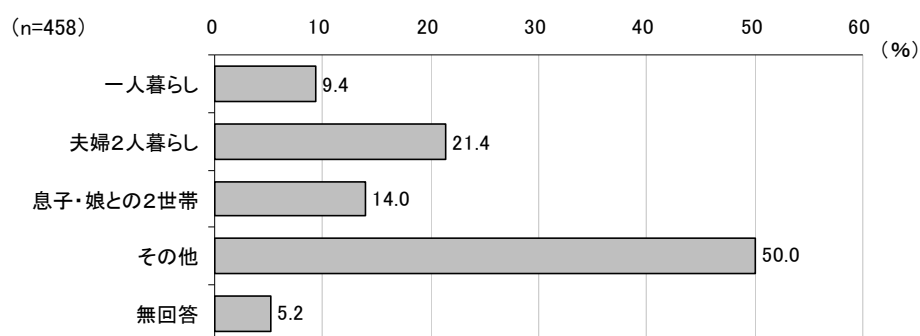
問3 性別をお答えください。(1つに○)

性別は、「女」が55.2%で「男」の40.0%を上回っています。



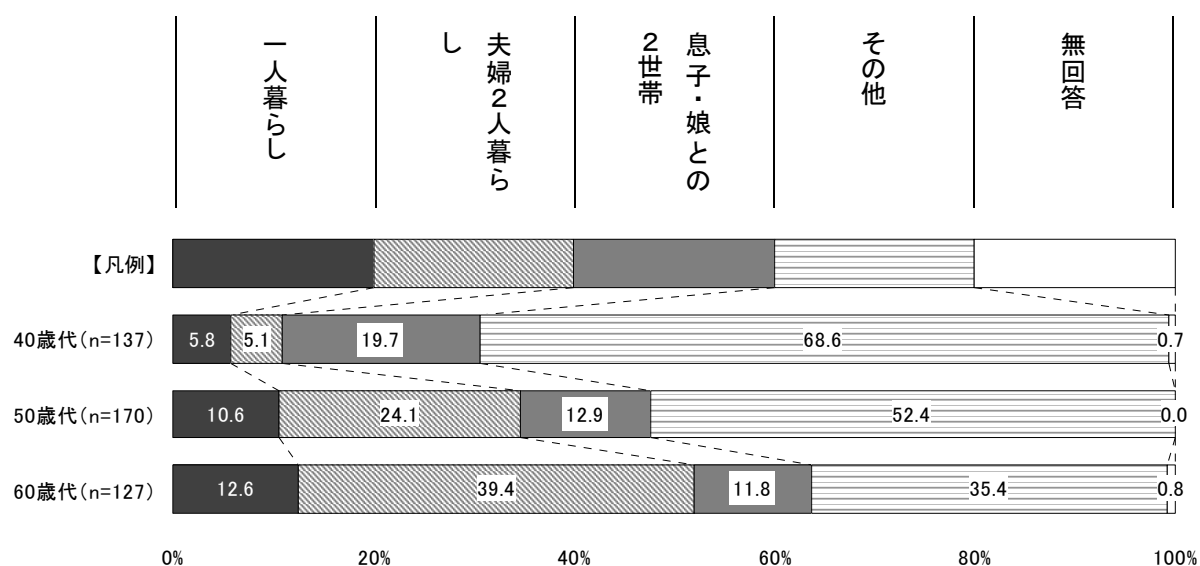
問4 家族構成をお答えください。(1つに○)

家族構成は、「その他」が50.0%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし」が21.4%、「息子・娘との2世帯」が14.0%となっています。



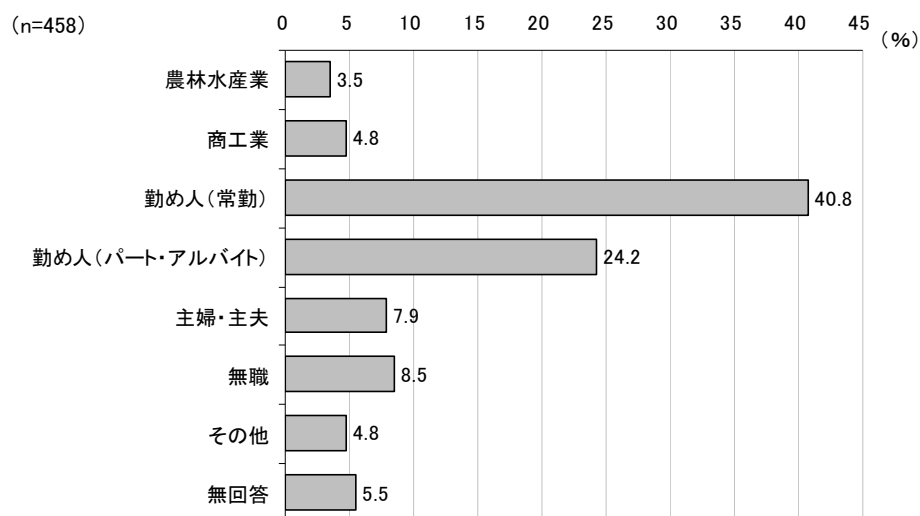
■年代別にみた家族構成

年代別にみると、40歳代と50歳代では「その他」、60歳代では「夫婦2人暮らし」が最も高くなっています。また、40歳代では「息子・娘との2世帯」、50歳代以降では「一人暮らし」や「夫婦2人暮らし」が他の年代よりも高くなっています。



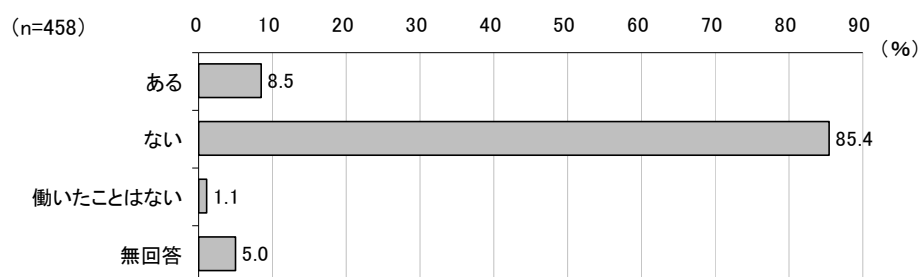
問5 あなたの主な就業形態をお答えください。（1つに○）

主な就業形態は、「勤め人（常勤）」が40.8%と最も高く、次いで「勤め人（パート・アルバイト）」が24.2%、「無職」が8.5%となっています。



問6 ご家族やご親族の介護を主な理由として、仕事を辞めた経験はありますか。（1つに○）

介護を主な理由で仕事を辞めた経験の有無は、「ない」が85.4%と最も高くなっています。

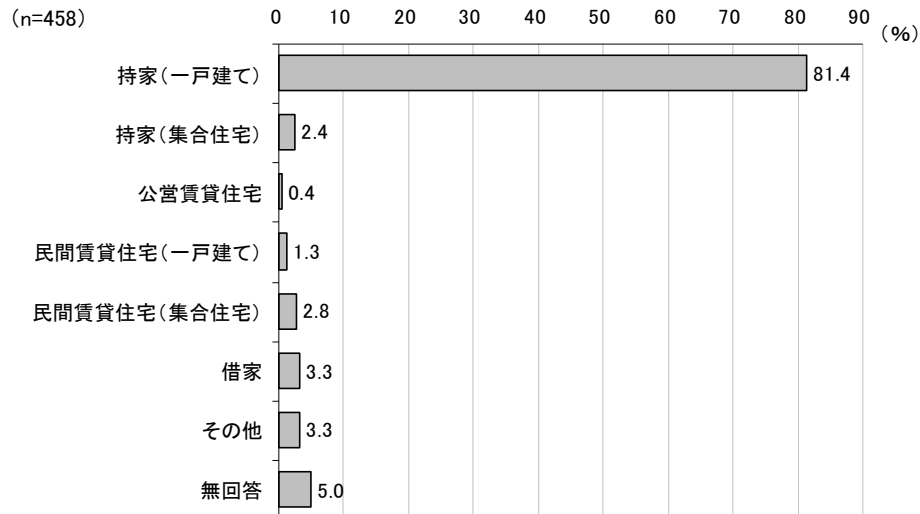


2 住まいについて

問7 住まいの状況についておたずねします。①～④それぞれに回答してください。（○はそれぞれ1つずつ）

①お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

住まいは、「持家（一戸建て）」が81.4%と最も高くなっています。



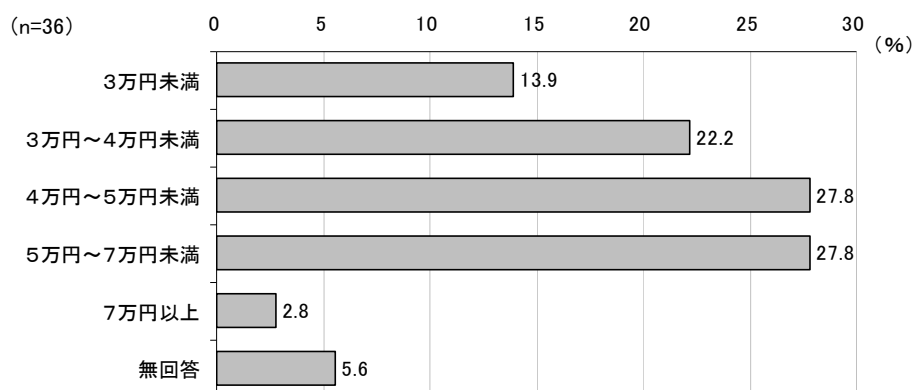
■家族構成別にみた住まいの状況

家族構成別にみると、すべての項目で「持家（一戸建て）」が最も高くなっています。また、一人暮らしでは「持家（集合住宅）」や「民間賃貸住宅（集合住宅）」、「借家」が1割弱から1割半ばを占め、他の項目よりも高くなっています。

単位 (%)	サンプル数 (人)	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答
一人暮らし	43	51.2	11.6	0.0	4.7	16.3	9.3	7.0	0.0
夫婦2人暮らし	98	83.7	5.1	1.0	3.1	4.1	3.1	0.0	0.0
息子・娘との2世帯	64	89.1	0.0	0.0	0.0	3.1	6.3	1.6	0.0
その他	229	92.1	0.4	0.4	0.4	0.0	1.7	4.8	0.0

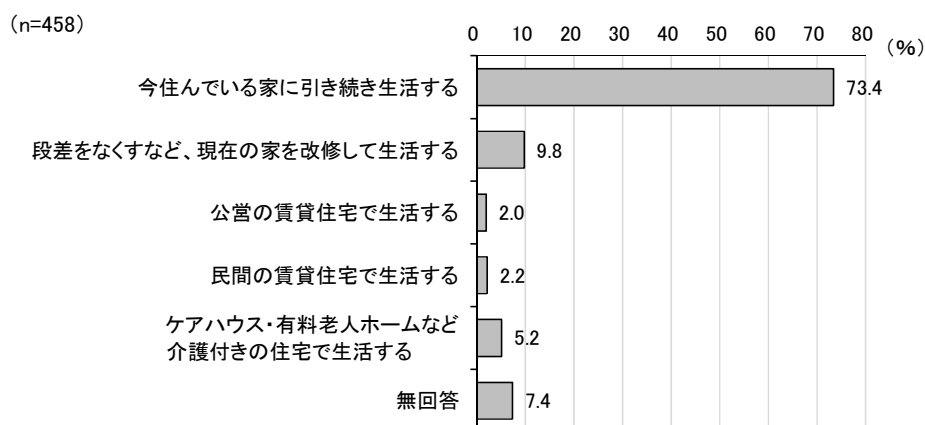
②①で3～6と回答された方（賃貸の方）におうかがいします。家賃はいくらくらいですか

家賃は、「4万円～5万円未満」と「5万円～7万円未満」がともに27.8%と最も高く、次いで「3万円～4万円未満」が22.2%となっています。



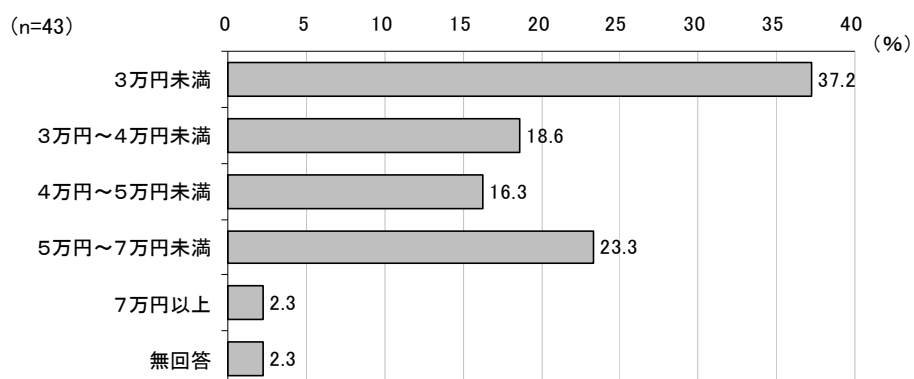
③老後の生活を送る上で、住まいをどのようにしたいと思いますか

住まいをどのようにしたいかは、「今住んでいる家に引き続き生活する」が73.4%と最も高くなっています。



④③で3～5と回答された方におうかがいします。家賃はいくらくらい支払えると思いますか

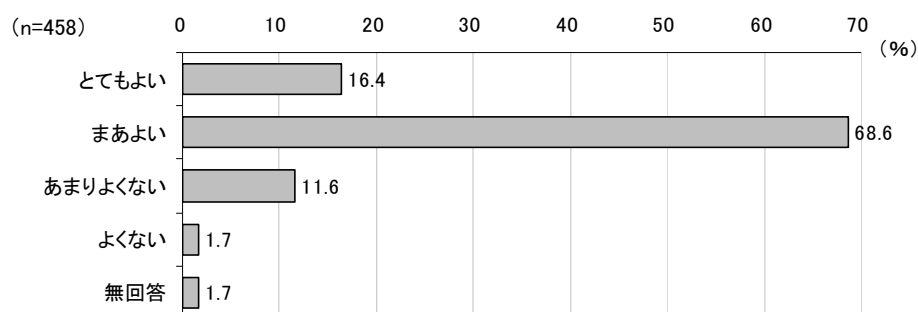
家賃をいくらくらい支払えるかは、「3万円未満」が37.2%と最も高く、次いで「5万円～7万円未満」が23.3%、「3万円～4万円未満」が18.6%となっています。



3 健康の状況や意識等について

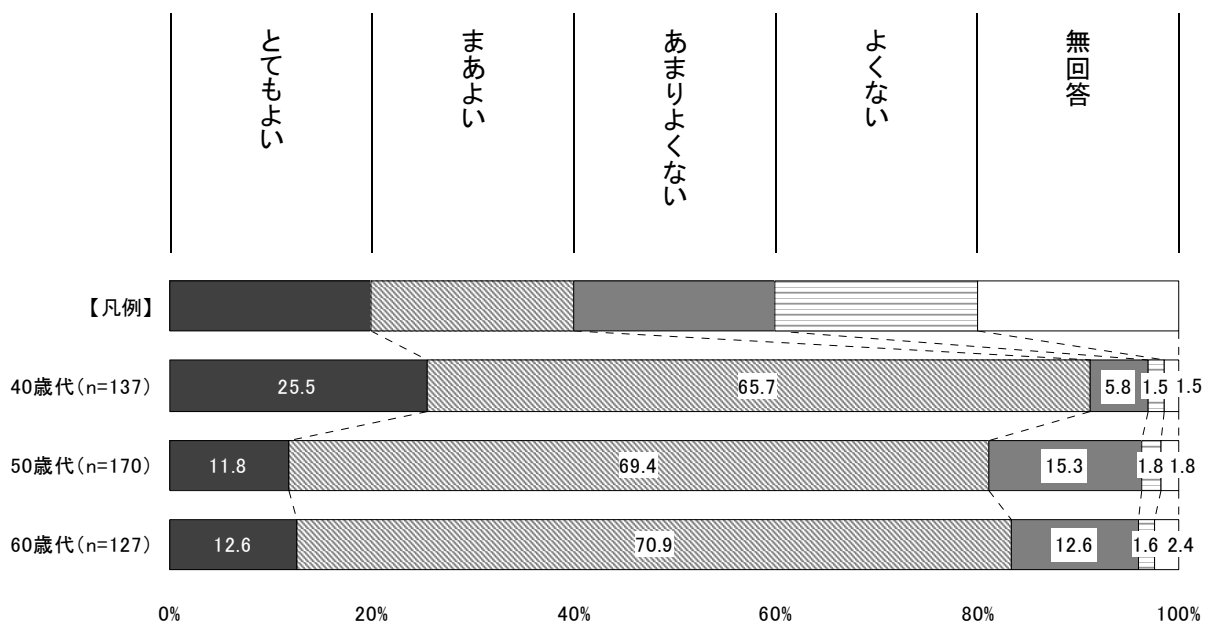
問8 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（1つに○）

現在の健康状態は、「まあよい」が68.6%と最も高く、「とてもよい」の16.4%と合わせると85.0%が『よい』と回答しています。



■年代別にみた現在の健康状態

年代別にみると、すべての年代で「まあよい」が最も高くなっています。また、40歳代では「とてもよい」が25.5%と他の年代よりも高くなっており、『よい』が91.2%となっています。



問9 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

治療中または後遺症のある病気は、「ない」が43.0%と最も高く、次いで「高血圧」が19.0%、「高脂血症（脂質異常）」が9.0%。「糖尿病」が7.9%となっています。



■年代別にみた治療中または後遺症のある病気

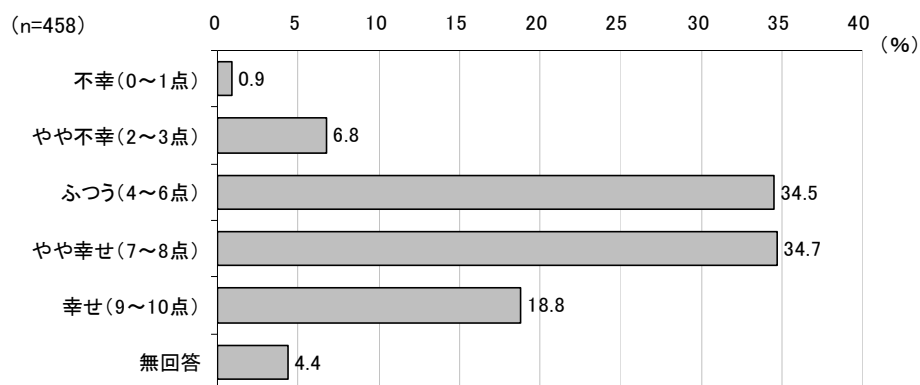
年代別にみると、すべての年代で「ない」が最も高くなっています。また、50 歳代以降では「高血圧」が2割を超えており、40 歳代よりも高くなっています。

単位(%)	サンプル数(人)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
40歳代	137	58.4	8.8	0.0	0.0	2.9	8.0	2.9	2.9	0.7	0.7
50歳代	170	40.0	24.7	1.2	1.8	7.1	10.0	1.2	1.8	0.6	1.8
60歳代	127	30.7	22.8	0.8	3.1	13.4	8.7	2.4	3.1	2.4	6.3

単位(%)	サンプル数(人)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
40歳代	137	1.5	1.5	2.2	1.5	0.0	0.0	0.7	0.0	5.1	10.9
50歳代	170	1.2	2.9	0.6	0.0	0.6	0.0	5.3	0.6	7.6	10.6
60歳代	127	4.7	3.9	0.8	2.4	0.0	0.0	8.7	3.1	7.1	11.8

問 10 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、1つに○）

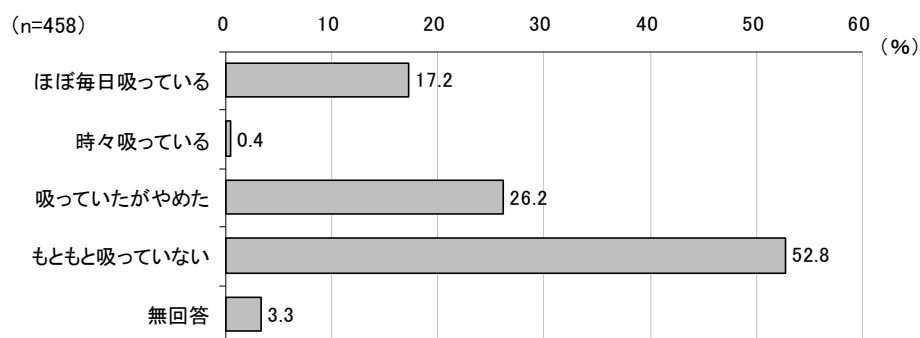
どの程度幸せかは、「やや幸せ（7～8点）」が34.7%と最も高く、次いで「ふつう（4～6点）」が34.5%、「幸せ（9～10点）」が18.8%となっています。



問 11 あなたの生活習慣についておたずねします。①～⑥それぞれに回答してください。(○はそれぞれ1つつ)

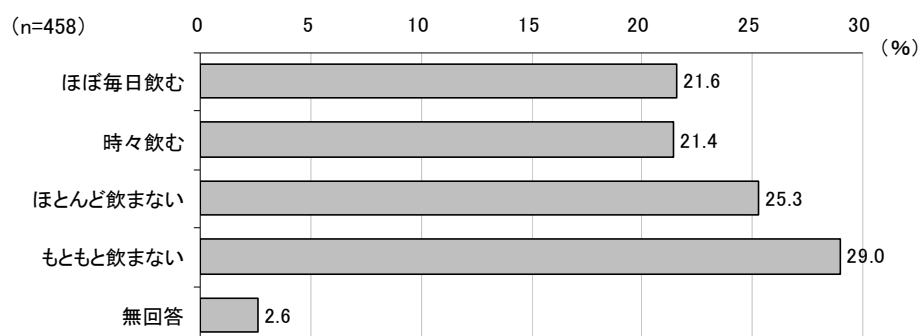
①たばこ

たばこに関する生活習慣は、「もともと吸っていない」が52.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が26.2%、「ほぼ毎日吸っている」が17.2%となっています。



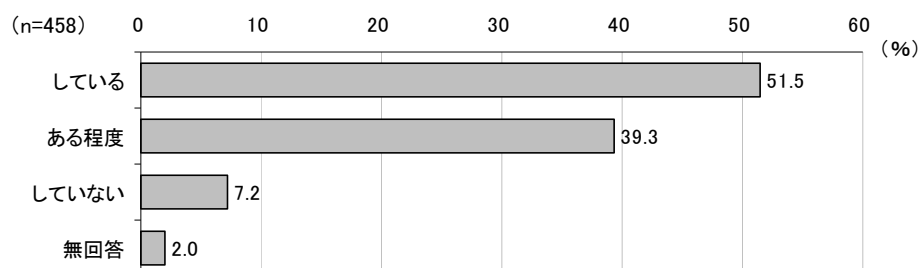
②お酒・アルコール

お酒・アルコールに関する生活習慣は、「もともと飲まない」が29.0%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が25.3%となっています。



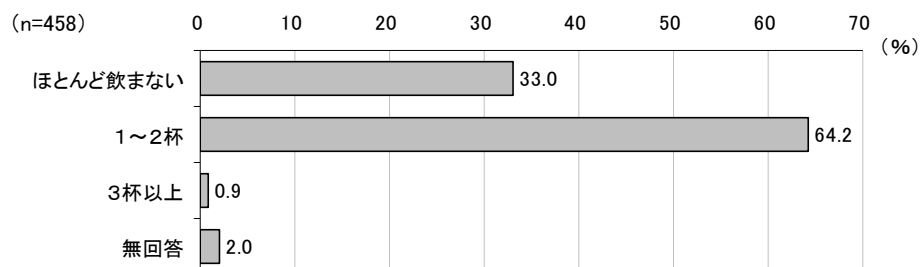
③規則的な食事

規則的な食事に関する生活習慣は、「している」が51.5%と最も高く、次いで「ある程度」が39.3%となっています。



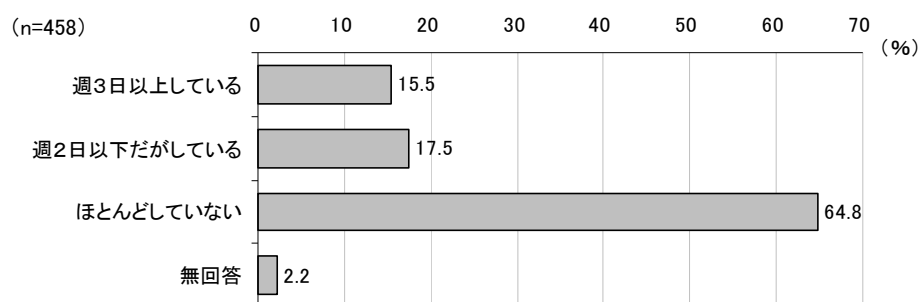
④一日の味噌汁

一日の味噌汁に関する生活習慣は、「1～2杯」が64.2%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が33.0%となっています。



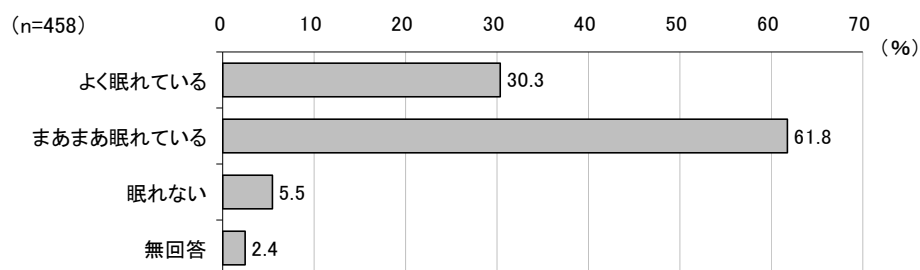
⑤定期的な運動

定期的な運動に関する生活習慣は、「ほとんどしていない」が64.8%と最も高くなっています。



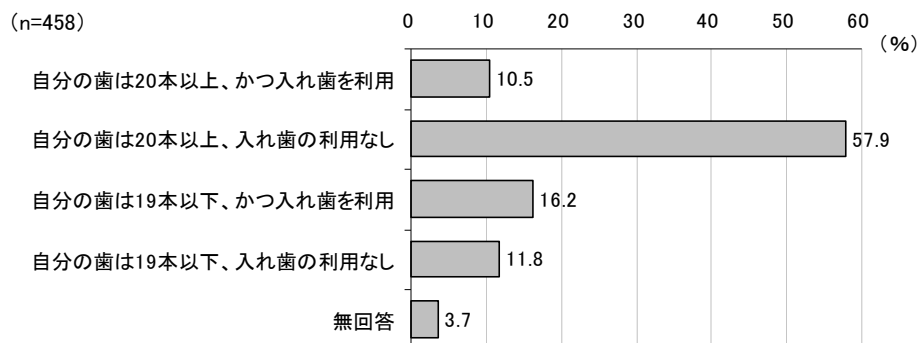
⑥睡眠

睡眠に関する生活習慣は、「まあまあ眠れている」が61.8%と最も高く、次いで「よく眠れている」が30.3%となっています。



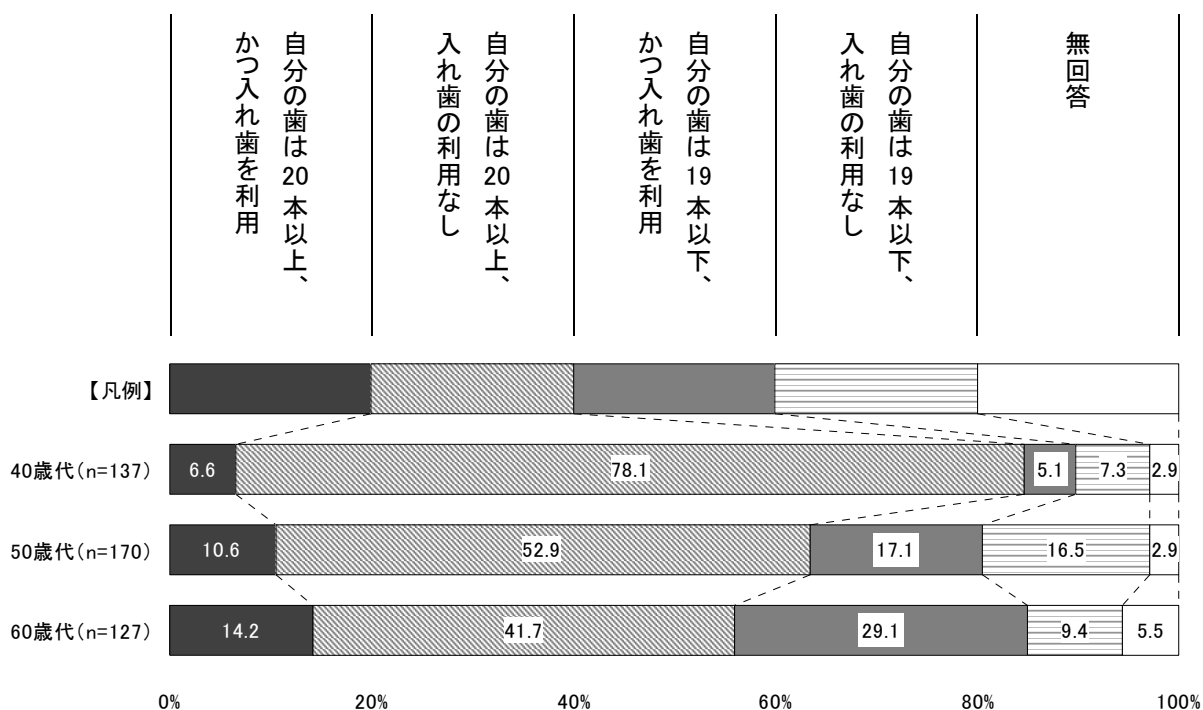
問 12 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）。（1 つに○）

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 57.9%と最も高くなっています。



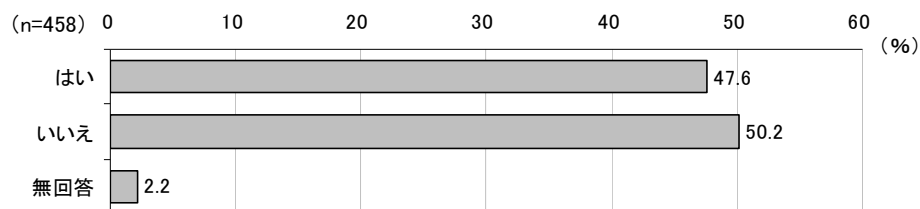
■年代別にみた歯の数と入れ歯の利用状況

年代別にみると、すべての年代で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が最も高く、特に 40 歳代では 8 割弱を占めています。また、50 歳代では「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」、60 歳代では「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が他の年代よりも高くなっています。



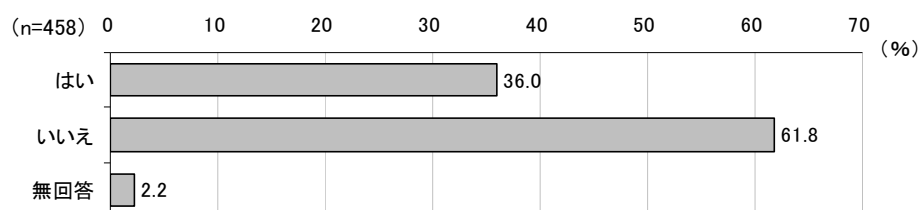
問 13 歯間清掃用具（デンタルフロス、糸楊枝、歯間ブラシ）を使っていますか。（1つに○）

歯間清掃用具を使っているかは、「いいえ」が50.2%で、「はい」の47.6%をやや上回っています。



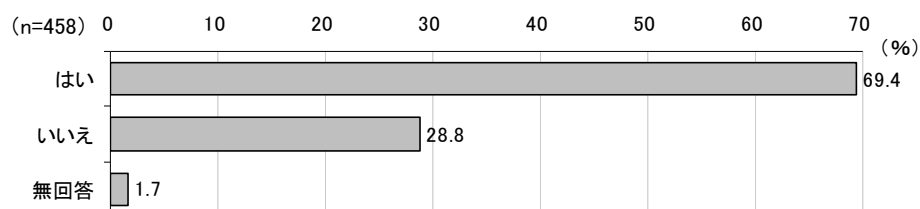
問 14 定期的に歯科検診を受けていますか。（1つに○）

定期的に歯科検診を受けているかは、「いいえ」が61.8%で、「はい」の36.0%を上回っています。



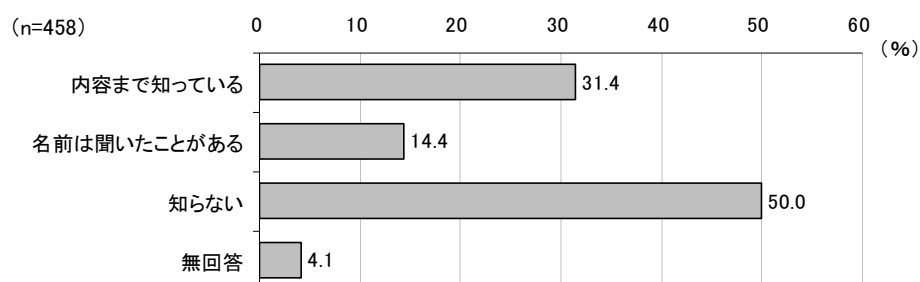
問 15 かかりつけ歯科医がありますか。（1つに○）

かかりつけ歯科医があるかは、「はい」が69.4%で、「いいえ」の28.8%を上回っています。



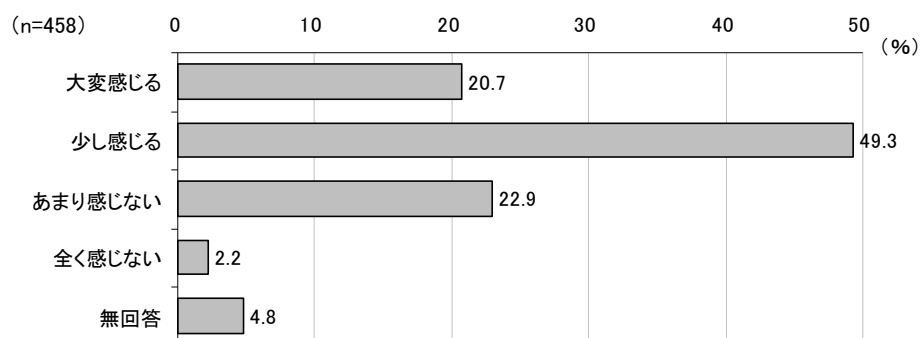
問 16 8020運動を知っていますか。（1つに○）

8020運動を知っているかは、「知らない」が50.0%と最も高く、次いで「内容まで知っている」が31.4%となっています。



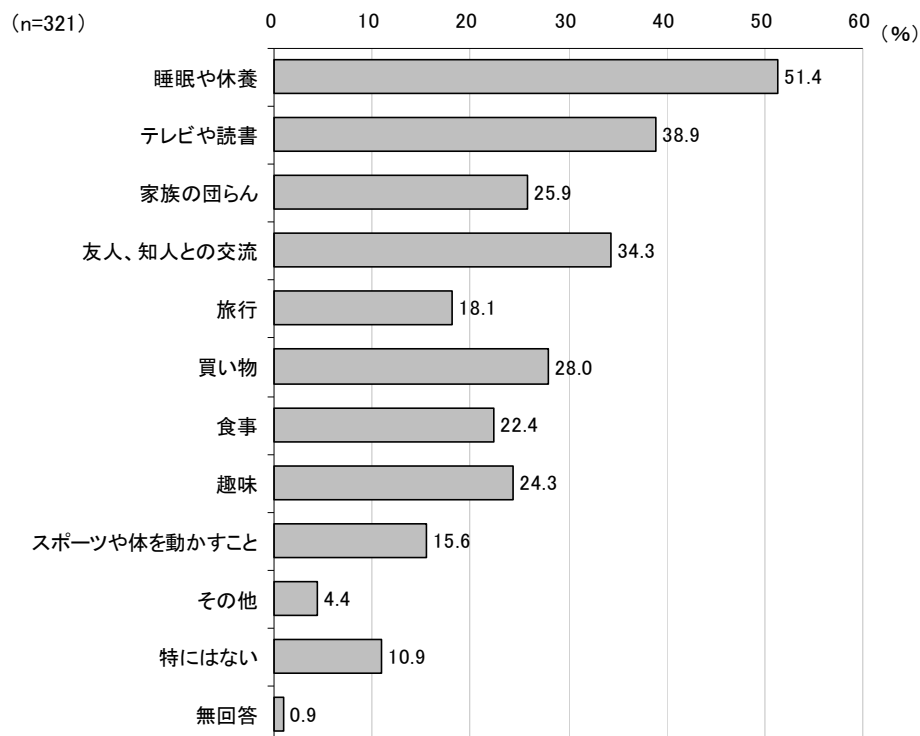
問 17 普段の生活でストレスを感じますか。(1つに○)

普段の生活でストレスを感じるかは、「少し感じる」が49.3%と最も高く、「大変感じる」の20.7%を合わせると、70.0%が『感じる』と回答しています。



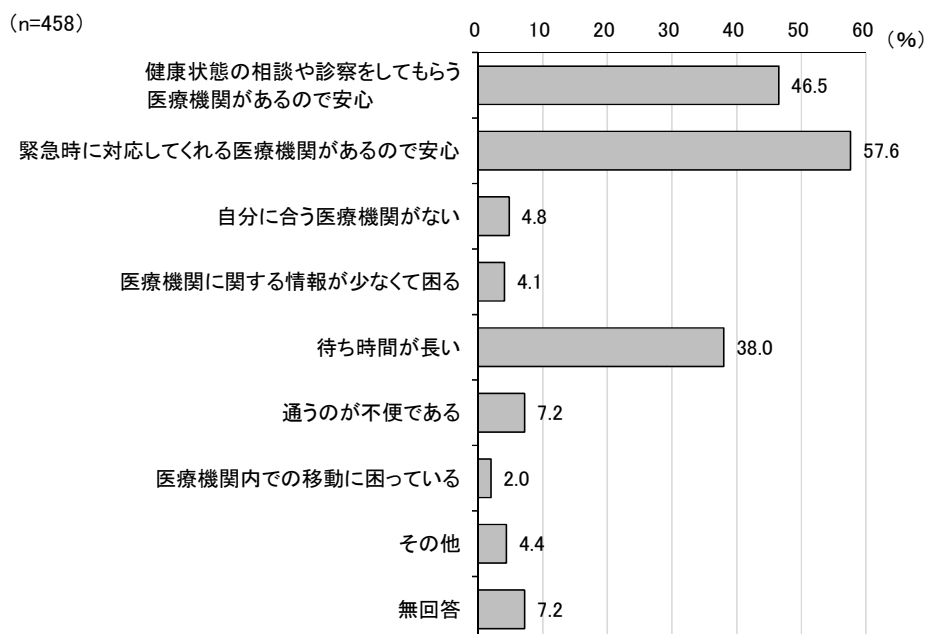
問 17-1 問 17 で「1 大変感じる」「2 少し感じる」と答えた方におきします。ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることは、「睡眠や休養」が51.4%と最も高く、次いで「テレビや読書」が38.9%、「友人、知人との交流」が34.3%となっています。



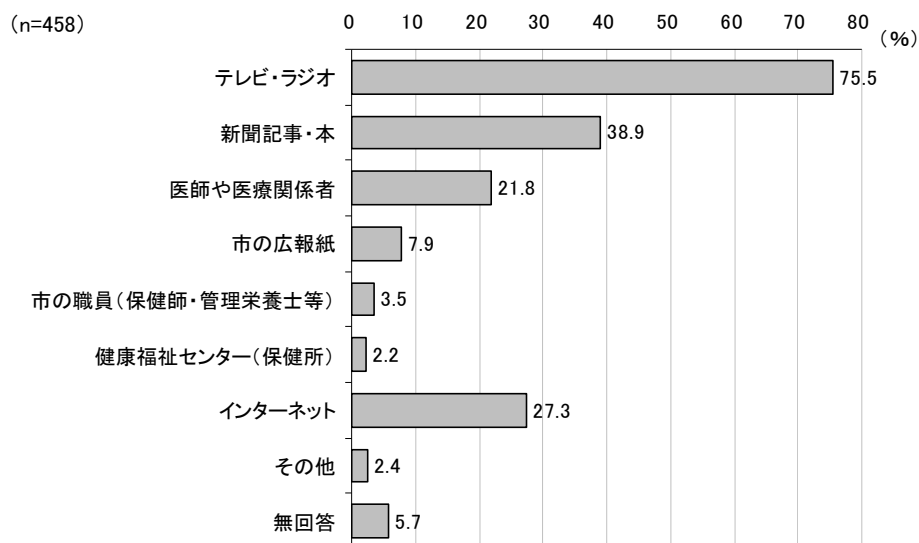
問 18 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

近隣の医療機関について、どのように感じているかは、「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」が57.6%と最も高く、次いで「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」が46.5%、「待ち時間が長い」が38.0%となっています。



問 19 健康維持や健康づくりなどに関する情報はどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

健康維持や健康づくりなどに関する情報をどこから得ているかは、「テレビ・ラジオ」が75.5%と最も高く、次いで「新聞記事・本」が38.9%、「インターネット」が27.3%となっています。



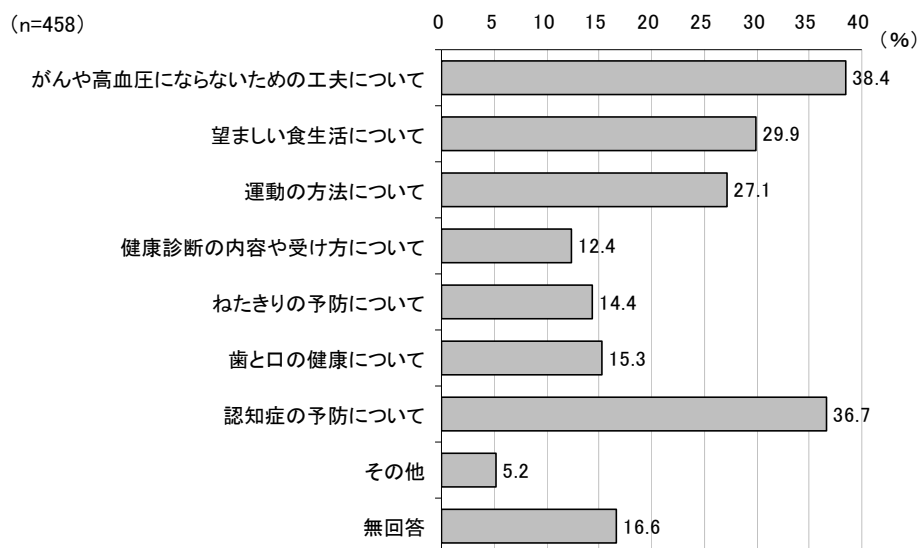
■年代別にみた健康維持や健康づくりなどに関する情報源

年代別にみると、すべての年代で「テレビ・ラジオ」が最も高くなっています。また、40歳代では「インターネット」、60歳代では「新聞記事・本」が他の年代よりも高くなっています。

単位(%)	サンプル数(人)	テレビ・ラジオ	新聞記事・本	医師や医療関係者	市の広報紙	市の職員(保健師・管理栄養士等)	健康福祉センター(保健所)	インターネット	その他	無回答
40歳代	137	76.6	33.6	21.2	4.4	2.9	0.7	37.2	2.9	4.4
50歳代	170	75.9	36.5	22.4	9.4	2.9	2.4	29.4	3.5	5.3
60歳代	127	74.0	47.2	23.6	11.0	5.5	3.9	15.7	0.8	5.5

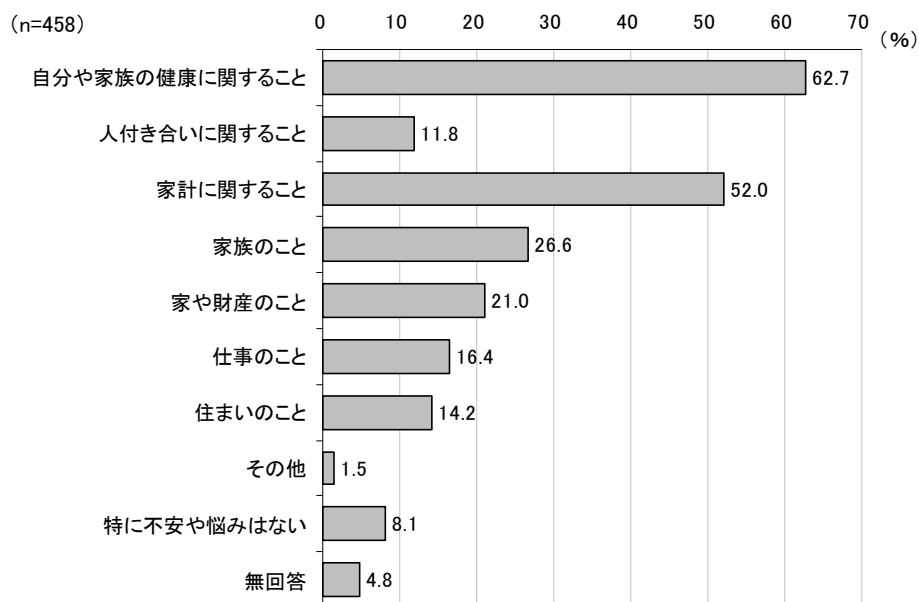
問 20 健康について主に知りたいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

健康について主に知りたいことは、「がんや高血圧にならないための工夫について」が38.4%と最も高く、次いで「認知症の予防について」が36.7%、「望ましい食生活について」が29.9%となっています。



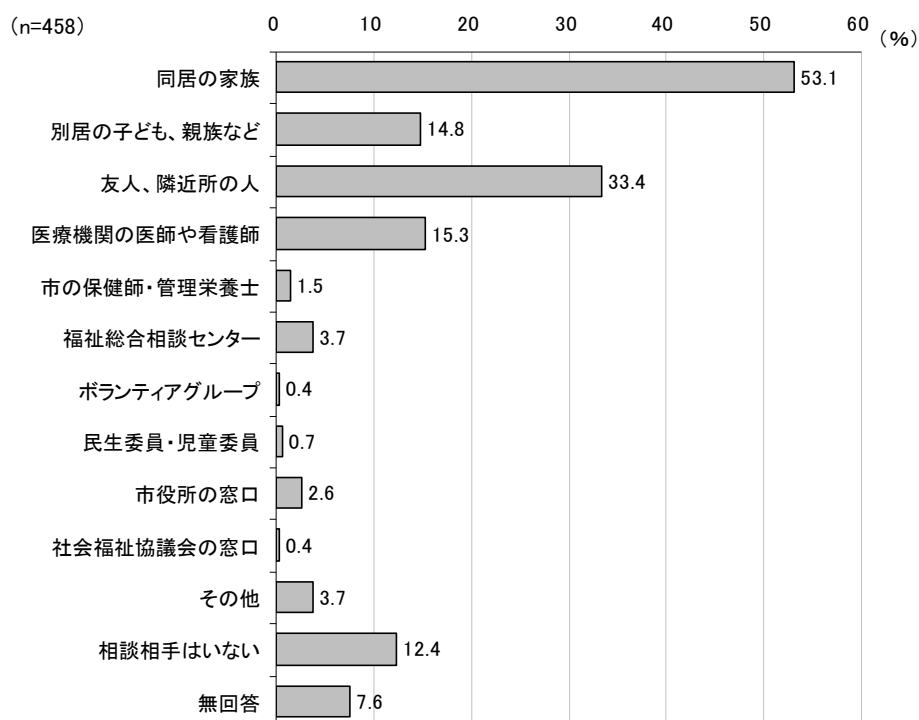
問 21 老後の生活でどのようなことが不安ですか。（あてはまるものすべてに○）

老後の生活で不安なことは、「自分や家族の健康に関すること」が62.7%と最も高く、次いで「家計に関すること」が52.0%、「家族のこと」が26.6%となっています。



問 22 あなたは、健康や福祉についての不安や悩みを誰（どこ）に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

健康や福祉についての不安や悩みの相談先は、「同居の家族」が53.1%と最も高く、次いで「友人、隣近所の人」が33.4%、「医療機関の医師や看護師」が15.3%となっています。



■家族構成別にみた不安・悩みの相談先

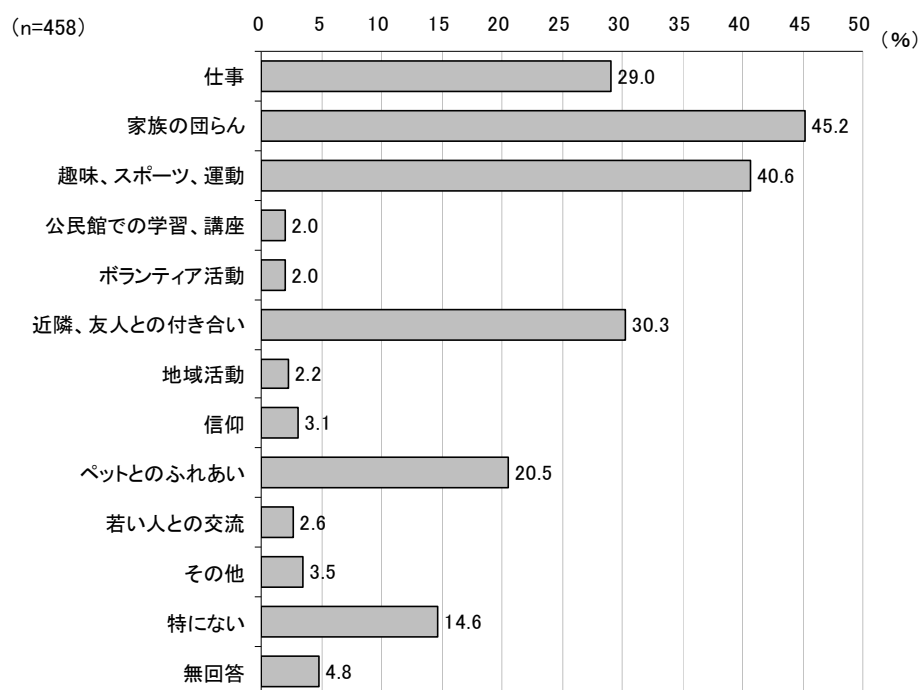
家族構成別にみると、一人暮らしでは「相談相手はいない」、夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯およびその他では「同居の家族」が最も高くなっています。また、息子・娘との2世帯では「友人、隣近所の人」や「医療機関の医師や看護師」が他の項目よりもやや高くなっています。

単位(%)	サンプル数(人)	同居の家族	別居の子ども、親族など	友人、隣近所の人	医療機関の医師や看護師	市の保健師・管理栄養士	福祉総合相談センター	ボランティアグループ	民生委員・児童委員	市役所の窓口
一人暮らし	43	4.7	20.9	30.2	14.0	4.7	4.7	2.3	2.3	2.3
夫婦2人暮らし	98	63.3	18.4	31.6	13.3	1.0	5.1	1.0	1.0	4.1
息子・娘との2世帯	64	57.8	14.1	45.3	20.3	1.6	3.1	0.0	0.0	1.6
その他	229	57.2	12.7	31.9	16.2	1.3	3.1	0.0	0.4	2.2

単位(%)	サンプル数(人)	社会福祉協議会の窓口	その他	相談相手はいない	無回答
一人暮らし	43	2.3	2.3	37.2	11.6
夫婦2人暮らし	98	0.0	4.1	5.1	7.1
息子・娘との2世帯	64	0.0	1.6	12.5	3.1
その他	229	0.4	4.8	10.9	7.4

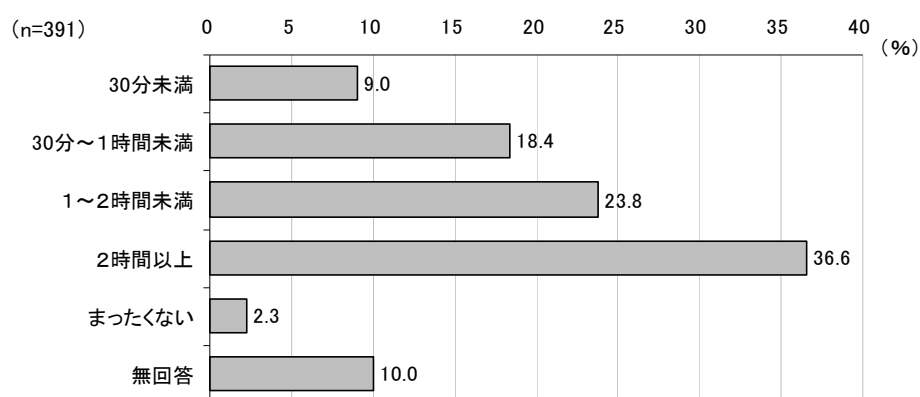
問 23 現在の心の支えや楽しみは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

現在の心の支えや楽しみは、「家族の団らん」が45.2%と最も高く、次いで「趣味、スポーツ、運動」が40.6%、「近隣、友人との付き合い」が30.3%となっています。



問 24 （ご家族等と同居しておられる方のみお答えください。）平日の家族等との団らの時間がどれぐらいありますか。（1つに○）

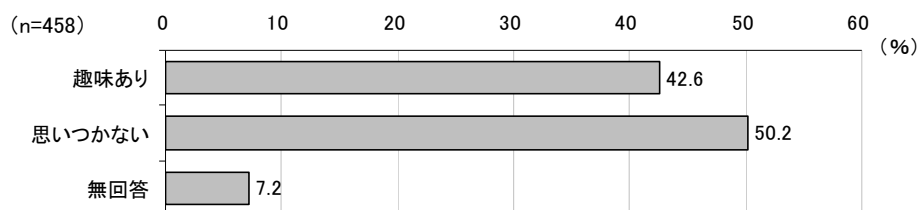
平日の家族等との団らの時間がどれぐらいあるかは、「2時間以上」が36.6%と最も高く、次いで「1～2時間未満」が23.8%、「30分～1時間未満」が18.4%となっています。



4 社会参加について

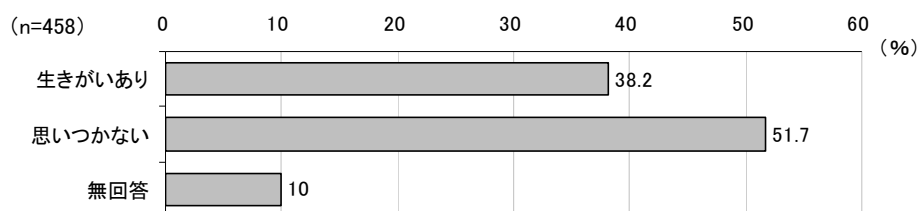
問 25 趣味はありますか。（1つに○）

趣味の有無は、「思いつかない」が50.2%で、「趣味あり」の42.6%を上回っています。



問 26 生きがいがありますか。（1つに○）

生きがいの有無は、「思いつかない」が51.7%で、「趣味あり」の38.2%を上回っています。

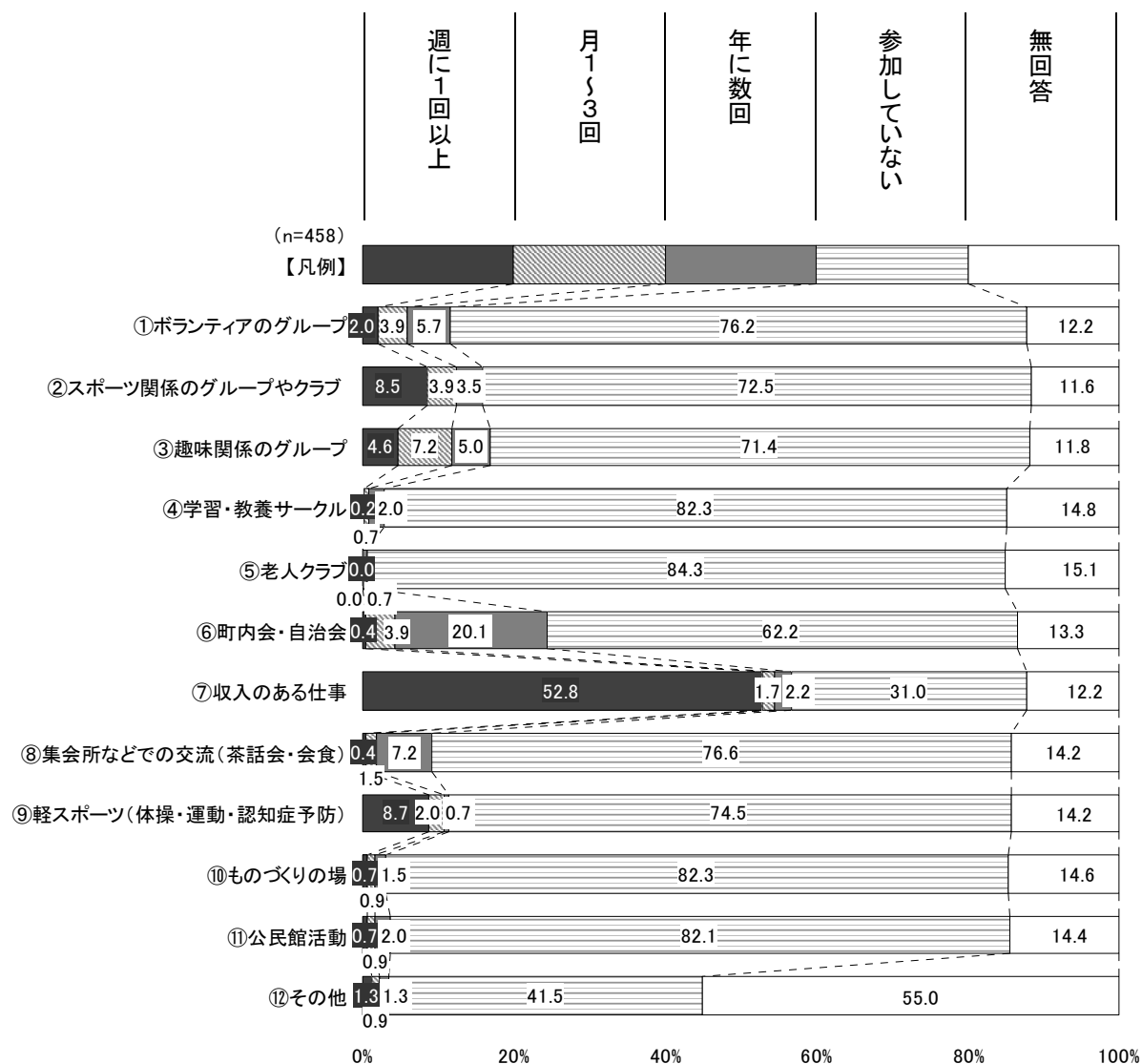


問 27 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑫それぞれに回答してください。（○はそれぞれ1つずつ）

各種会・グループ等への参加頻度は、⑦収入のある仕事を除くすべての項目で「参加していない」が最も高くなっています。また、⑥町内会・自治会では「年に数回」が20.1%と、他の項目よりも高くなっています。

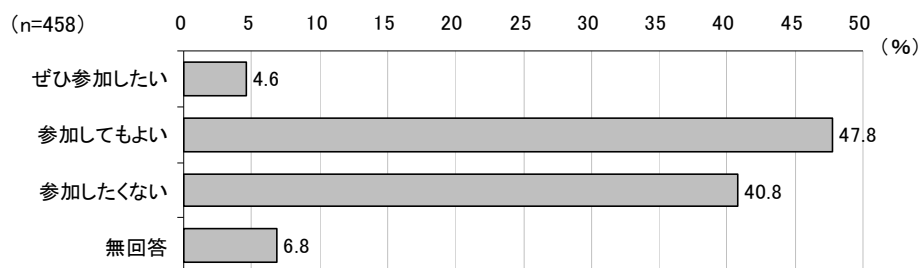
単位 (%)	サンプル数 (人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	458	0.4	0.7	0.9	3.9	5.7	76.2	12.2
②スポーツ関係のグループやクラブ	458	1.5	3.9	3.1	3.9	3.5	72.5	11.6
③趣味関係のグループ	458	0.7	1.7	2.2	7.2	5.0	71.4	11.8
④学習・教養サークル	458	0.0	0.0	0.2	0.7	2.0	82.3	14.8
⑤老人クラブ	458	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	84.3	15.1
⑥町内会・自治会	458	0.0	0.0	0.4	3.9	20.1	62.2	13.3
⑦収入のある仕事	458	46.7	5.9	0.2	1.7	2.2	31.0	12.2
⑧集会所などでの交流(茶話会・会食)	458	0.4	0.0	0.0	1.5	7.2	76.6	14.2
⑨軽スポーツ(体操・運動・認知症予防)	458	2.6	3.9	2.2	2.0	0.7	74.5	14.2
⑩ものづくりの場	458	0.0	0.7	0.0	0.9	1.5	82.3	14.6
⑪公民館活動	458	0.0	0.0	0.7	0.9	2.0	82.1	14.4
⑫その他	458	0.7	0.4	0.2	0.9	1.3	41.5	55.0

■「週に4回以上」、「週に2～3回」、「週に1回」の数値をまとめ、グラフ化した結果



問 28 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

地域住民の有志によるグループ活動等への参加意向は、「参加してもよい」が47.8%と最も高く、次いで「参加したくない」が40.8%となっています。

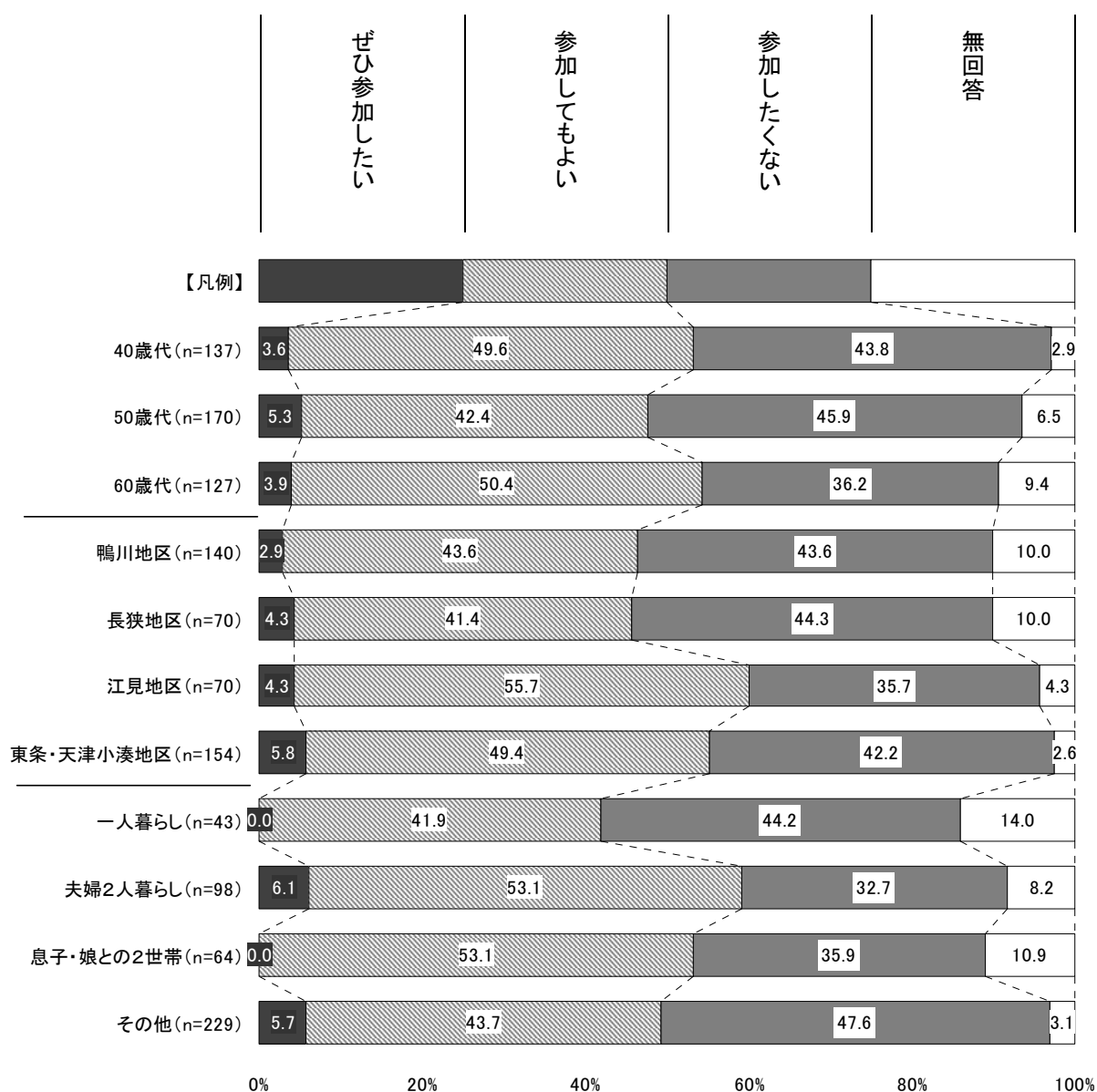


■年代、日常生活圏域、家族構成別にみたグループ活動等への参加意向

年代別にみると、40歳代と60歳代で「参加してもよい」、50歳代で「参加したくない」が最も高くなっています。また、40歳代と50歳代では「参加したくない」が60歳代よりも10ポイント弱高くなっています。

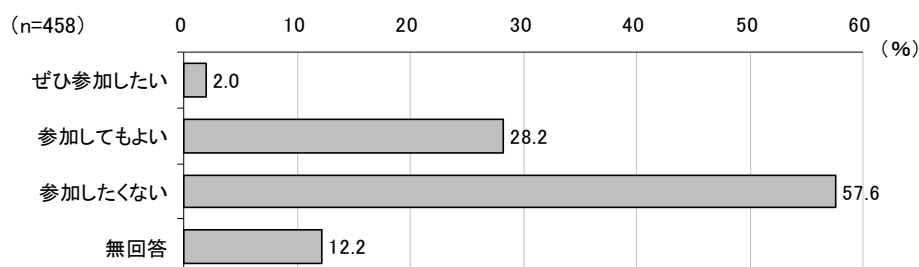
日常生活圏域別にみると、鴨川地区では「参加してもよい」と「参加したくない」がともに43.6%、長狭地区では「参加したくない」、江見地区および東条・天津小湊地区では「参加してもよい」が最も高くなっており、特に江見地区では55.7%を占めています。

家族構成別にみると、一人暮らしとその他では「参加したくない」、夫婦2人暮らしと息子・娘との2世帯では「参加してもよい」が最も高くなっています。



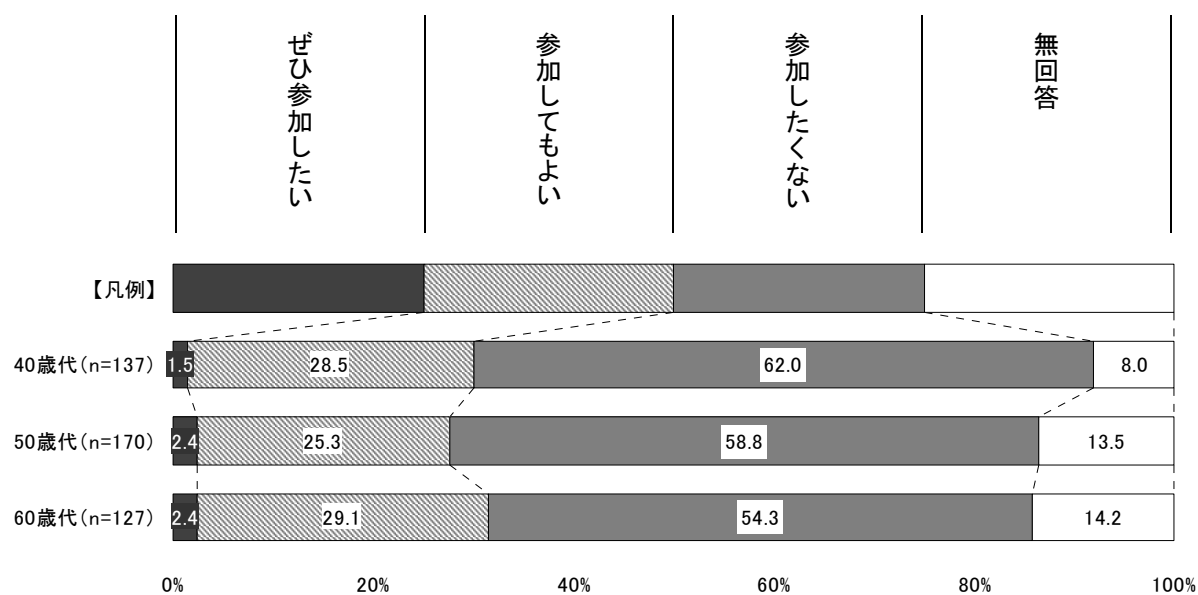
問 29 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

地域住民の有志によるグループ活動等への企画・運営としての参加意向は、「参加したくない」が57.6%と最も高く、次いで「参加してもよい」が28.2%となっています。



■年代別にみたグループ活動等への企画・運営としての参加意向

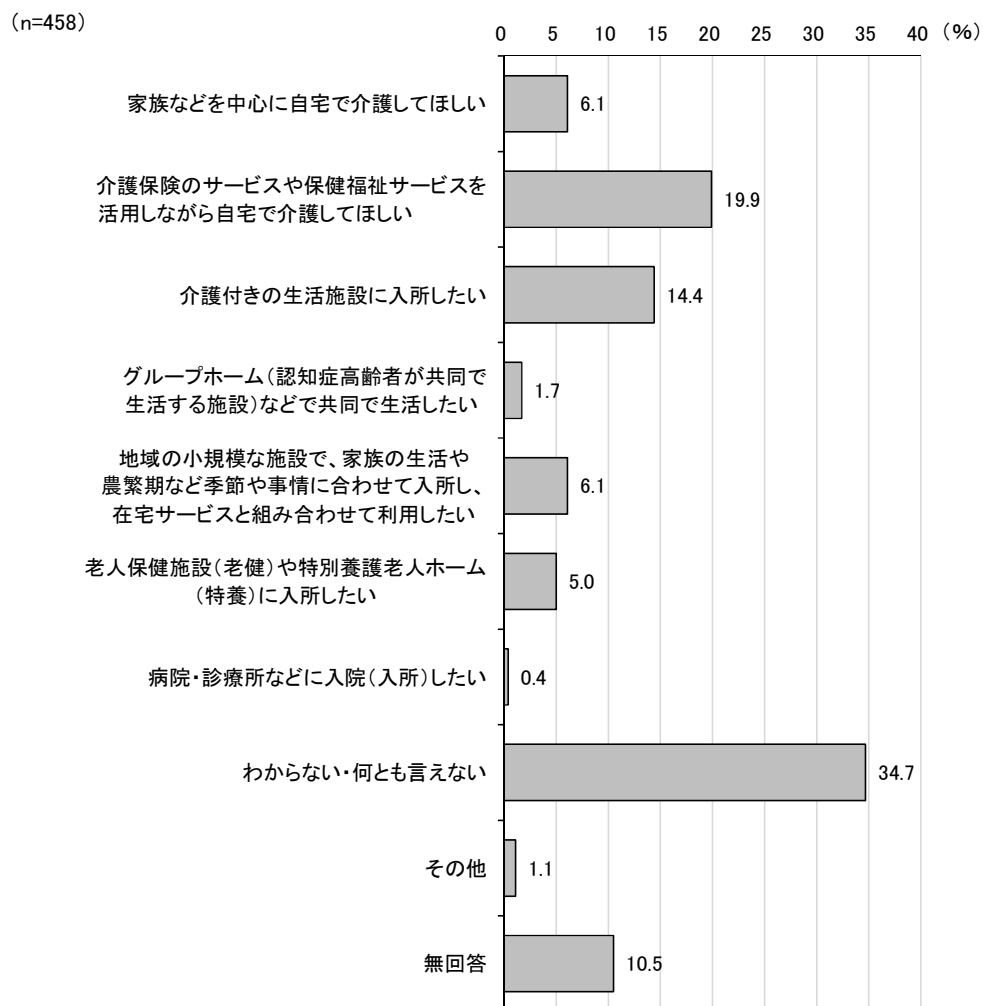
年代別にみると、すべての年代で「参加したくない」が最も高く、特に40歳代と50歳代では6割前後を占めています。



5 介護保険について

問 30 今後、もしご自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。（1
つに○）

今後、自分に介護が必要になった場合については、「わからない・何とも言えない」が34.7%と最も高く、次いで「介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい」が19.9%、「介護付きの生活施設に入所したい」が14.4%となっています。



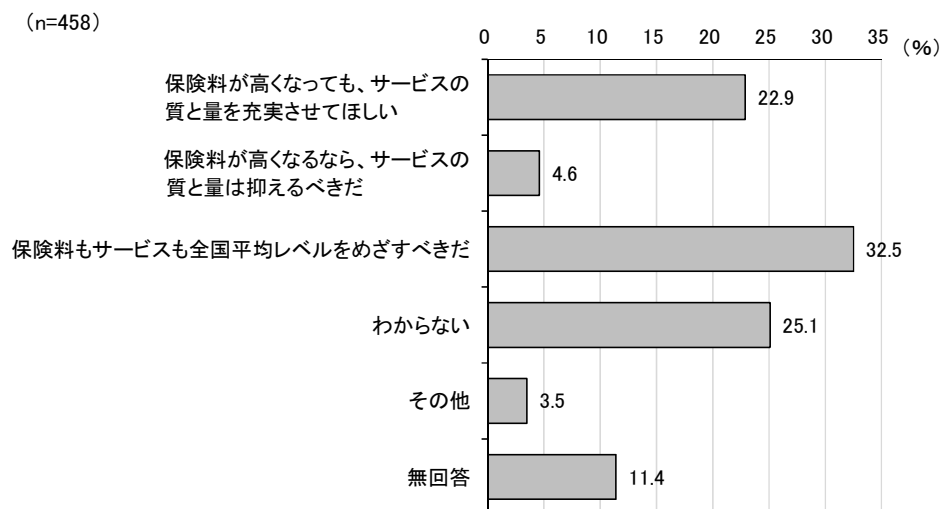
■年代別にみた今後、介護が必要になった場合の意向

年代別にみると、すべての年代で「わからない・何とも言えない」が最も高く、特に 40 歳代ではおおむね4割を占めています。また、40 歳代と 50 歳代では「介護付きの生活施設に入所したい」、50 歳代と 60 歳代では「介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい」が他の年代よりも高くなっています。

単位(%)	サンプル数(人)	家族などを中心に自宅で介護してほしい	介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい	介護付きの生活施設に入所したい	グループホーム(認知症高齢者が共同で生活する施設)などで共同で生活したい	地域の小規模な施設で、家族の生活や農繁期など季節や事情に合わせて入所し、在宅サービスと組み合わせたい	老人保健施設(老健)や特別養護老人ホーム(特養)に入所したい	病院・診療所などに入院(入所)したい	わからない・何とも言えない	その他	無回答
40歳代	137	7.3	16.1	18.2	1.5	4.4	4.4	0.7	40.9	0.0	6.6
50歳代	170	7.1	20.0	17.1	1.2	7.1	5.9	0.0	28.2	2.4	11.2
60歳代	127	3.9	25.2	7.1	2.4	6.3	3.9	0.8	36.2	0.8	13.4

問 31 今後、平成 30 年度に介護保険料が改定される予定となっていますが、介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。(1つに○)

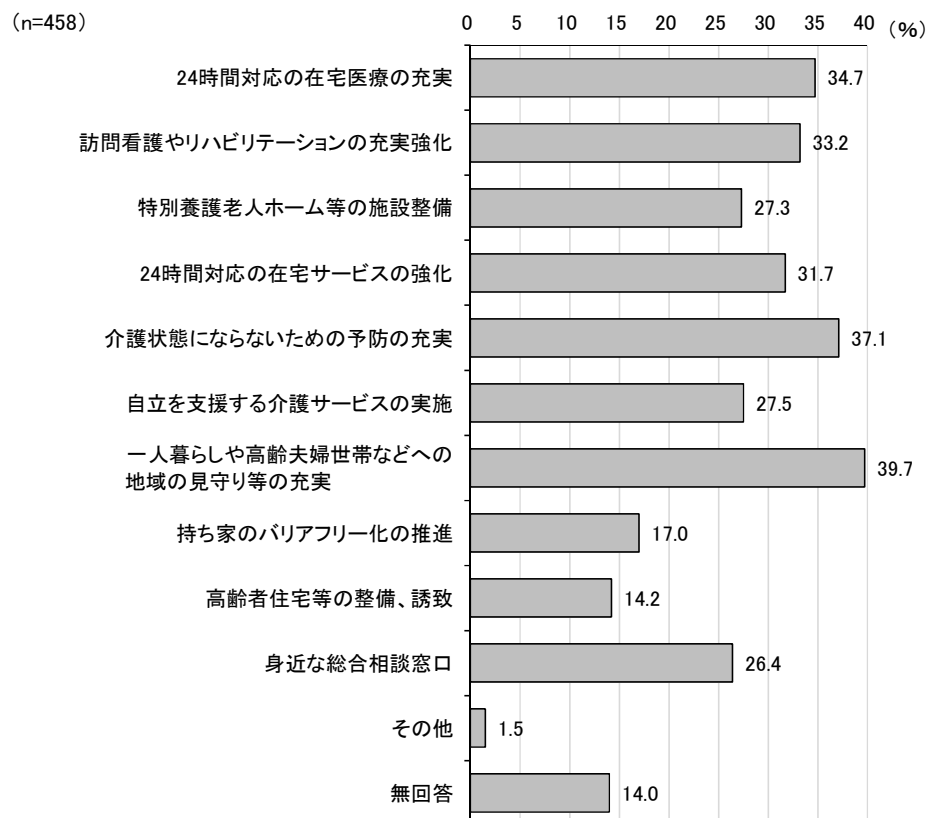
介護保険のサービスと保険料の関係は、「保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ」が 32.5%と最も高く、次いで「わからない」が 25.1%、「保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい」が 22.9%となっています。



6 今後の高齢者施策について

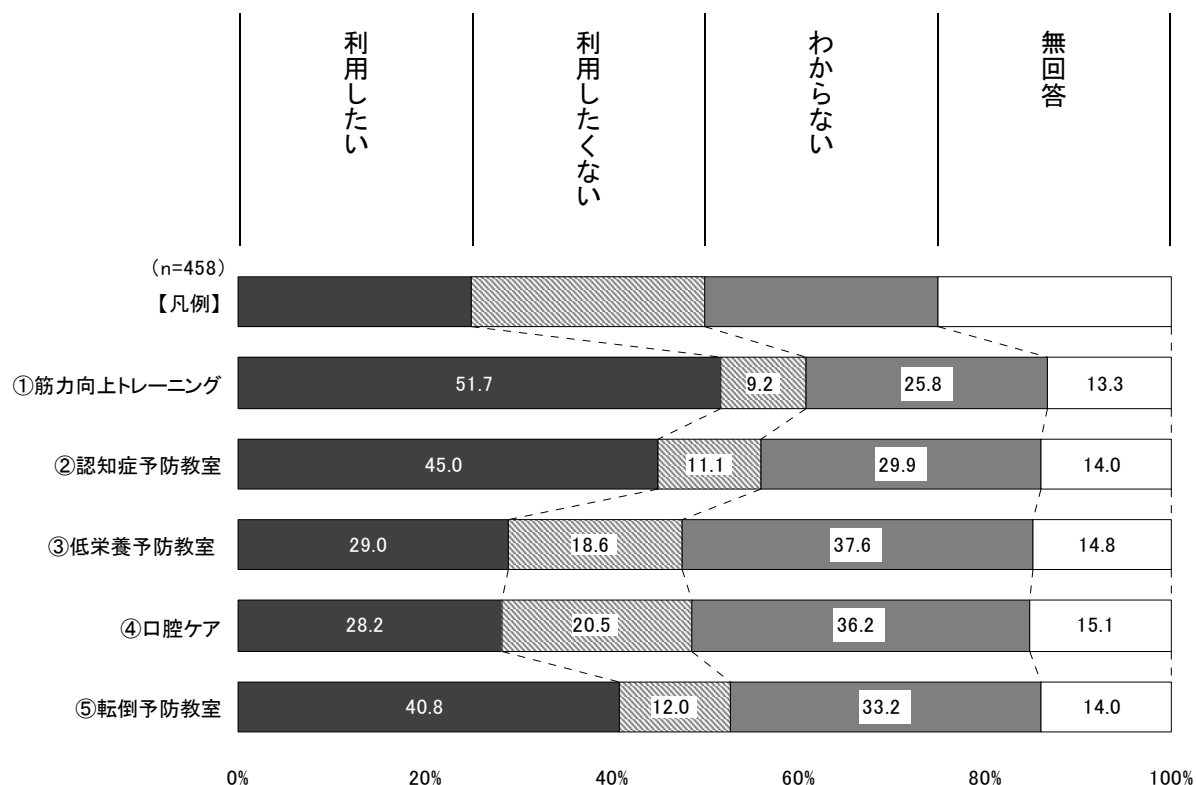
問 32 国においては、日常の生活圏域における総合的なケアシステムの充実を、今後の施策の中心として進めていく予定です。鴨川市として、次に挙げる対策のうちどの対策を優先すべきだと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

鴨川市で優先すべき対策は、「一人暮らしや高齢夫婦世帯などへの地域の見守り等の充実」が39.7%と最も高く、次いで「介護状態にならないための予防の充実」が37.1%、「24時間対応の在宅医療の充実」が34.7%となっています。



問 33 今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスがあるとしたら、利用したいと思いますか。①～⑤それぞれに回答してください。（〇はそれぞれ1つずつ）

介護予防のための保健福祉サービスの利用意向は、「利用したい」が①筋力向上トレーニングで最も高く 51.7%、②認知症予防教室が 45.0%、⑤転倒予防教室が 40.8%と続いています。また、③低栄養予防教室や④口腔ケアでは「利用したくない」が2割前後と、他の項目よりもやや高くなっています。

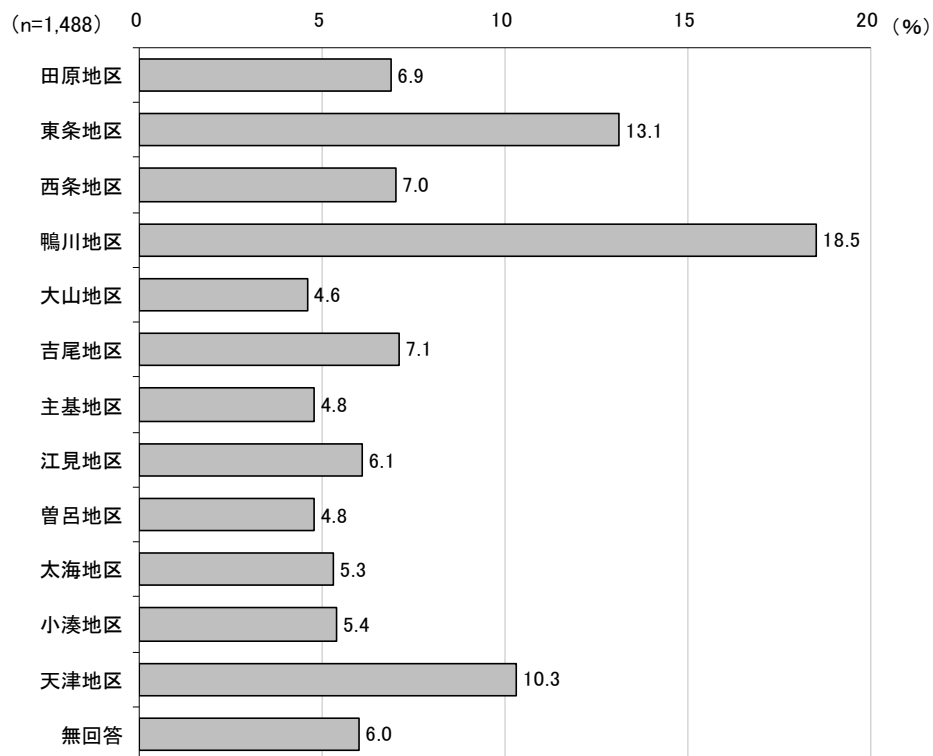


第3章 高齡者一般対象 調査結果

1 年齢や性別等について

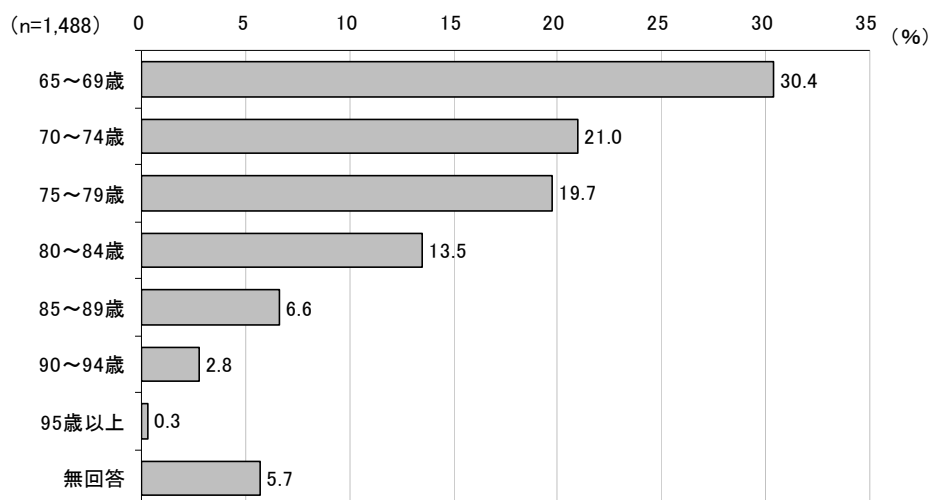
問1 お住まいの地区はどこですか。（1つに○）

居住地区は、「鴨川地区」が18.5%と最も高く、次いで「東条地区」が13.1%、「天津地区」が10.3%となっています。



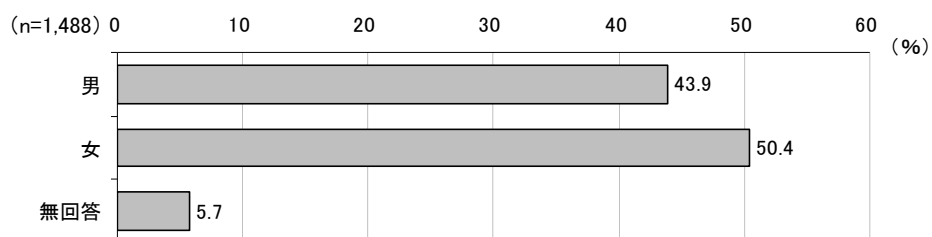
問2 平成29年1月1日現在の年齢をお答えください。(1つに○)

現在の年齢は、「65～69歳」が30.4%と最も高く、次いで「70～74歳」が21.0%、「75～79歳」が19.7%となっています。



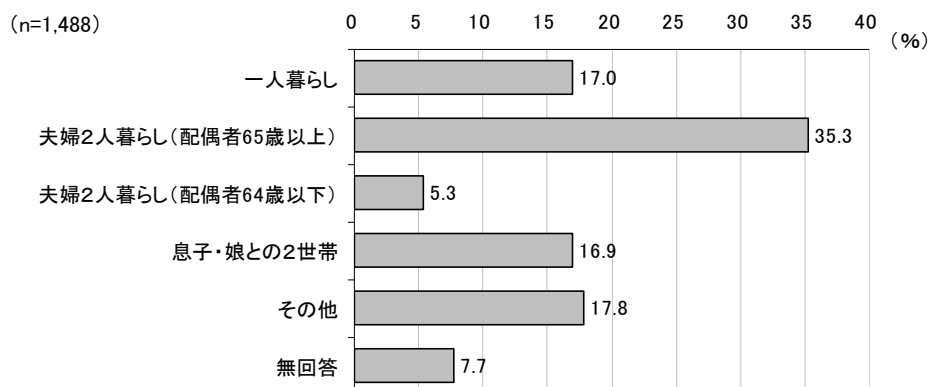
問3 性別をお答えください。(1つに○)

性別は、「女」が50.4%で、「男」の43.9%を上回っています。



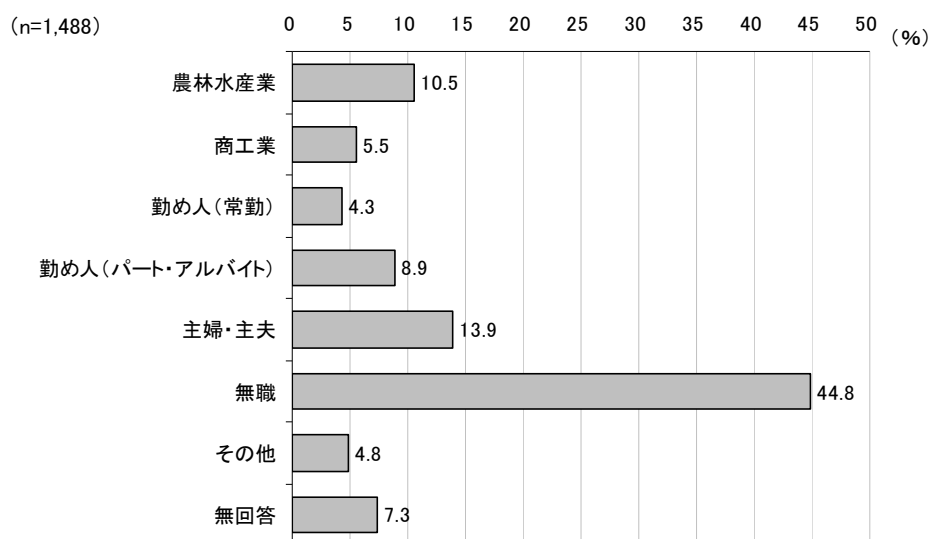
問4 家族構成をお答えください。(1つに○)

家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が35.3%と最も高く、次いで「その他」が17.8%、「一人暮らし」が17.0%となっています。



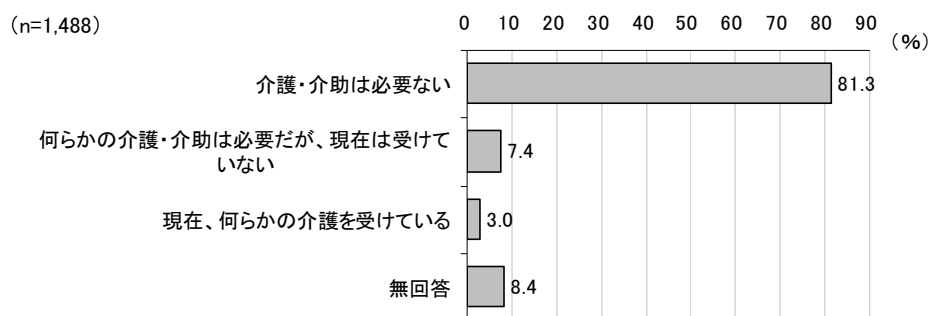
問5 あなたの主な就業形態をお答えください。（1つに○）

主な就業形態は、「無職」が44.8%と最も高く、次いで「主婦・主夫」が13.9%、「農林水産業」が10.5%となっています。



問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つに○）

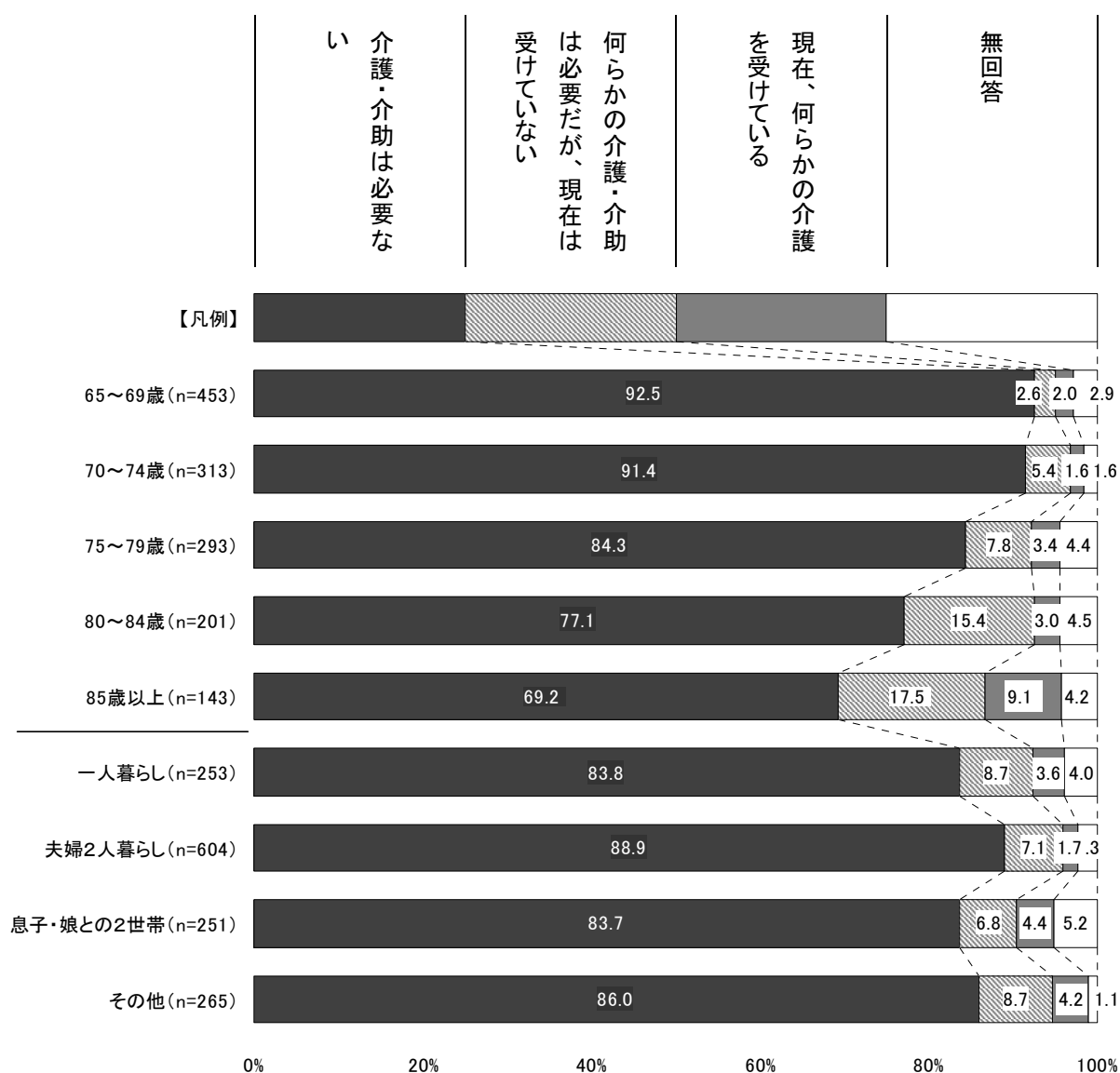
普段の生活で介護・介助の必要性の有無は、「介護・介助は必要ない」が81.3%と最も高くなっています。



■年代、家族構成別にみた介護・介助の必要性の有無

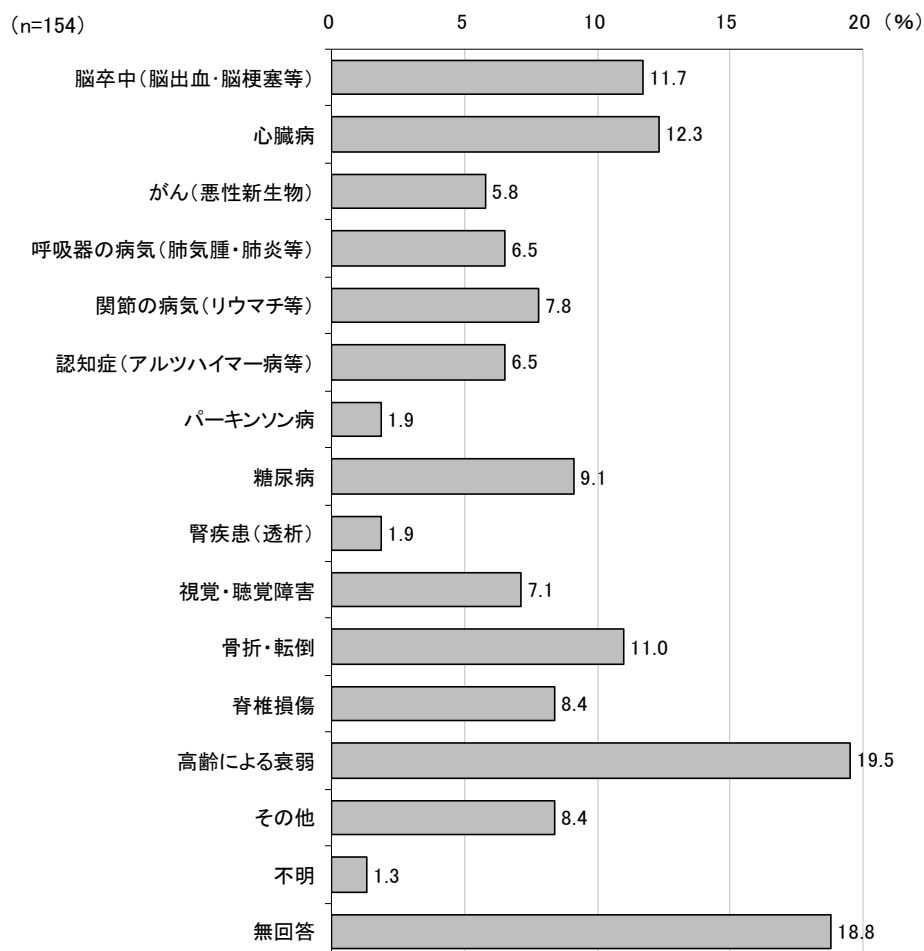
年代別にみると、すべての年代で「介護・介助は必要ない」が最も高くなっているものの、高齢になるほどその割合が低くなっています。また、80 歳以上で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が1割以上、85 歳以上で「現在、何らかの介護を受けている」がおおむね1割と、他の年代よりも高くなっています。

家族構成別にみると、すべての項目で「介護・介助は必要ない」が最も高くなっています。また、一人暮らしで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた『何らかの介護・介助の必要性がある』人が1割以上を占めています。



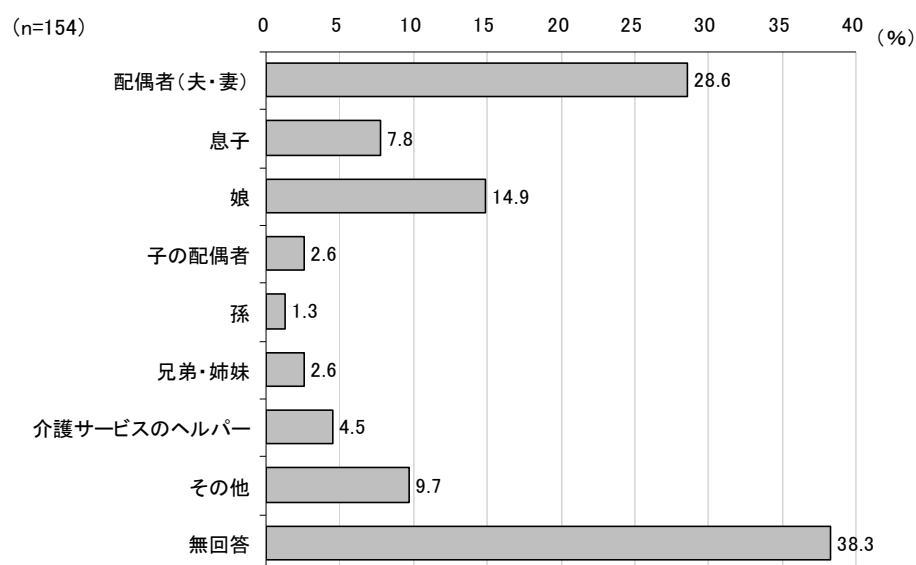
問6－1 問6で「2」か「3」と答えた方におききます。介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が19.5%と最も高く、次いで「心臓病」が12.3%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が11.7%となっています。



問6-2 問6で「2」か「3」と答えた方におききます。主にどなたの介護、介助を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

主に誰の介護、介助を受けているかは、「配偶者」が28.6%と最も高く、次いで「娘」が14.9%、「その他」が9.7%となっています。



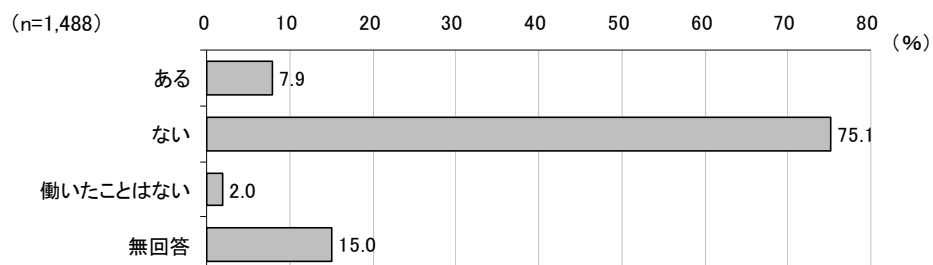
■年代別にみた主な介護・介助者

年代別にみると、65～69歳では「娘」と「その他」、70～84歳では「配偶者」、85歳以上では「娘」が最も高くなっています。また、85歳以上では「息子」や「子の配偶者」、「介護サービスのヘルパー」が1割を超え、他の年代よりも高くなっています。

単位 (%)	サンプル数 (人)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
65～69歳	21	9.5	0.0	19.0	0.0	0.0	9.5	4.8	19.0	47.6
70～74歳	22	50.0	9.1	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	27.3
75～79歳	33	36.4	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	48.5
80～84歳	37	37.8	8.1	8.1	0.0	2.7	0.0	5.4	8.1	37.8
85歳以上	38	10.5	15.8	28.9	10.5	2.6	5.3	10.5	2.6	31.6

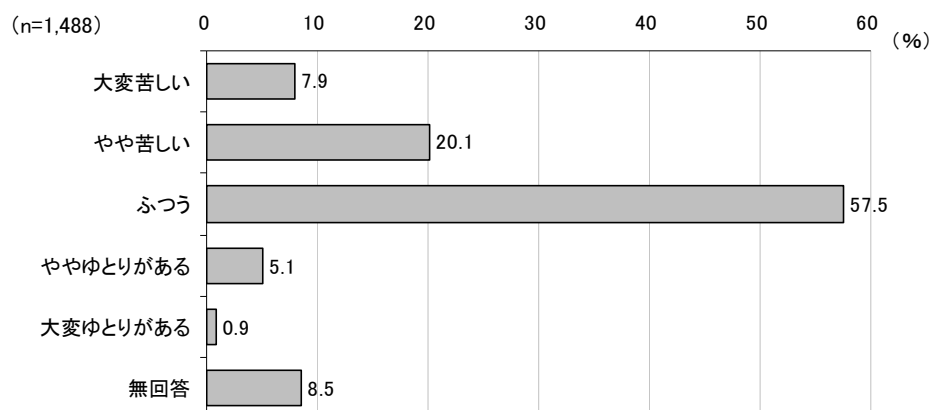
問7 ご家族やご親族の介護を主な理由として、仕事を辞めた経験はありますか。（1つに○）

介護を主な理由で仕事を辞めた経験の有無は、「ない」が75.1%と最も高くなっています。



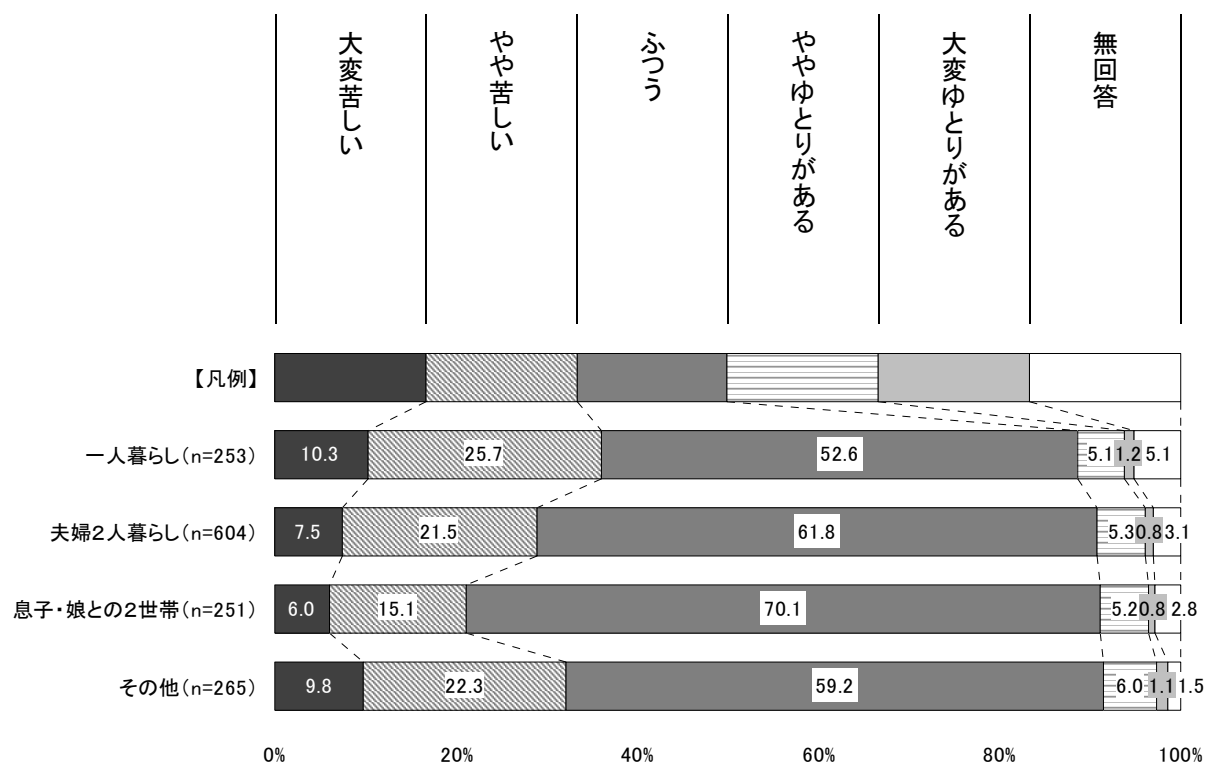
問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つに○）

経済的にみた現在の暮らしの状況は、「ふつう」が57.5%と最も高く、次いで「やや苦しい」が20.1%となっています。



■家族構成別にみた現在の暮らしの経済的状況

家族構成別にみると、すべての項目で「ふつう」が最も高くなっているものの、夫婦2人暮らしや息子・娘との2世帯では6割から7割を占めるのに対し、一人暮らしでは5割強に止まっています。また、一人暮らしでは「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が36.0%と他の項目よりもやや高くなっています。

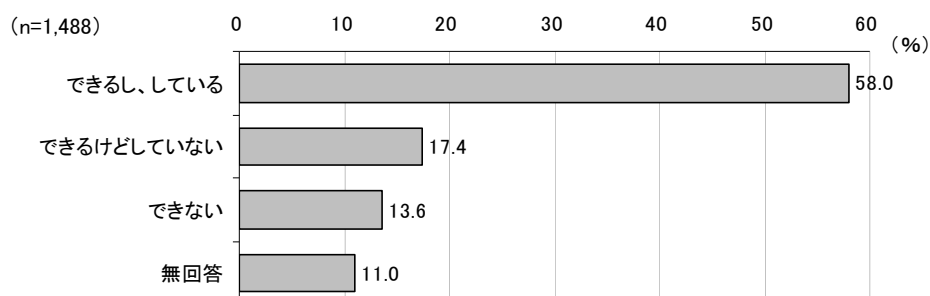


2 日常生活について

問9 日常生活の状況について、①～⑬それぞれに回答してください。（〇はそれぞれ1つずつ）

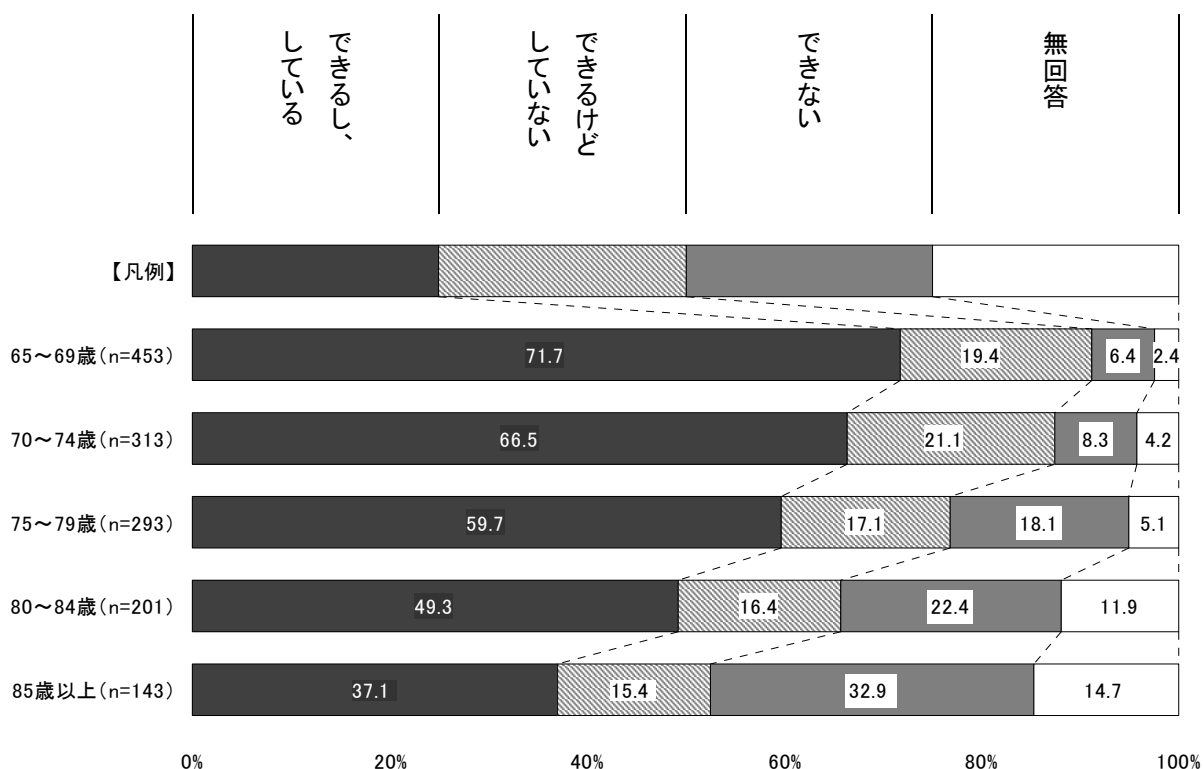
①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、「できるし、している」が58.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.4%となっています。



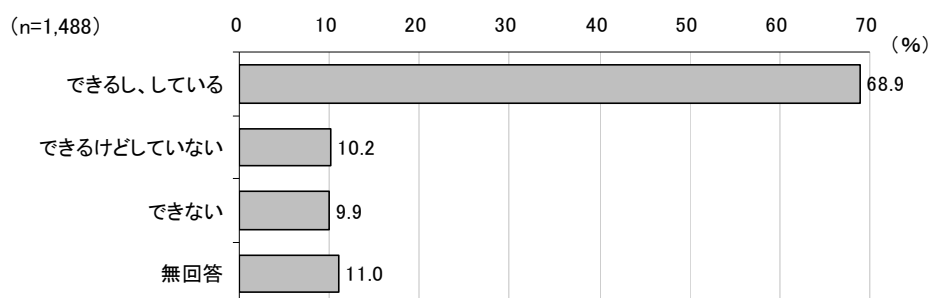
■年代別にみた階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかの状況

年代別にみると、すべての年代で「できるし、している」が最も高くなっているものの、高齢になるほどその割合が低くなっており、85歳以上では4割弱となっています。また、75歳以上では「できない」が1割を超え、年齢とともに高くなっており、85歳以上では3割を超えています。



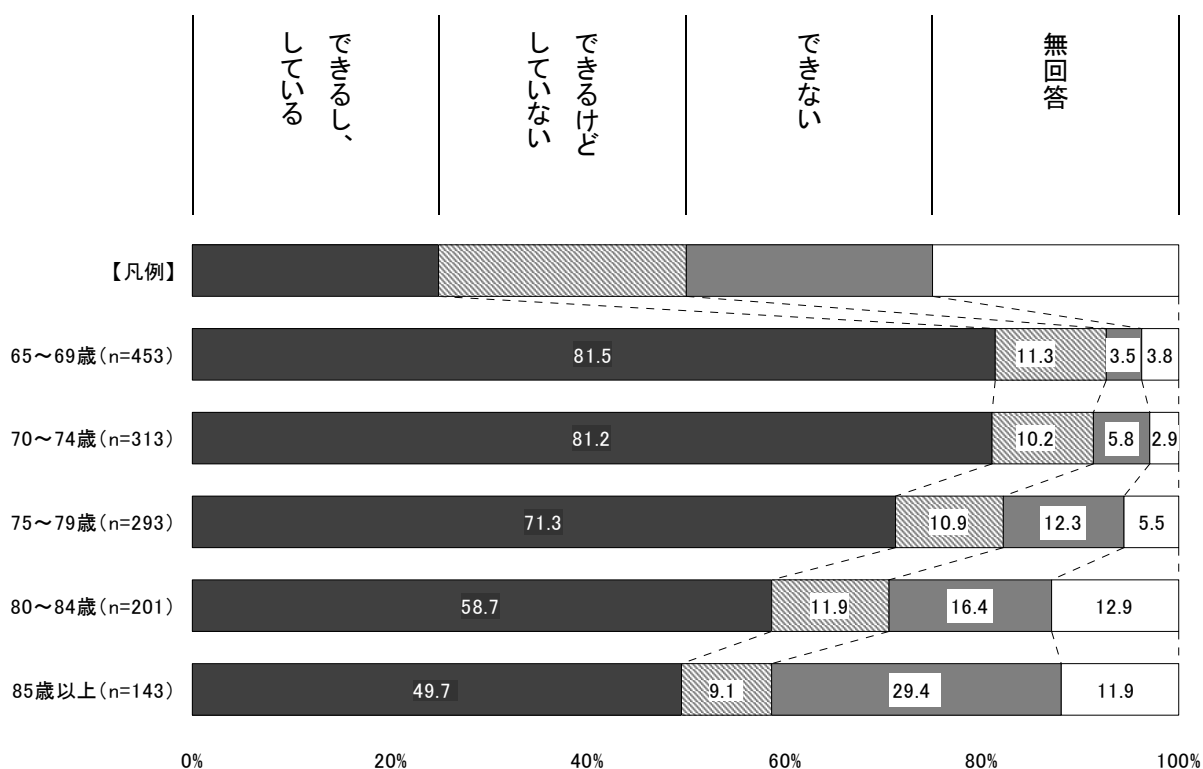
②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは、「できるし、している」が68.9%と最も高くなっています。



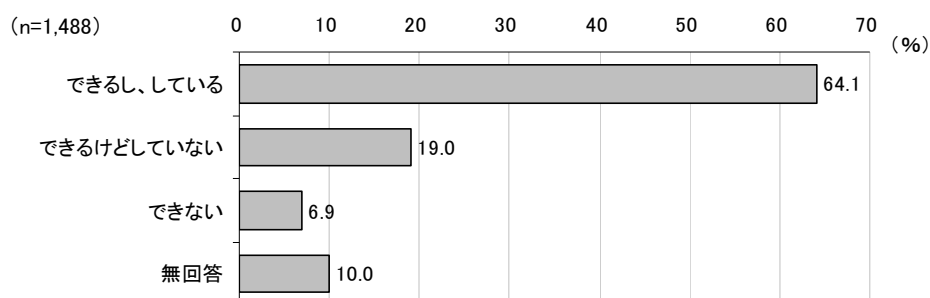
■年代別にみた椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかの状況

年代別にみると、すべての年代で「できるし、している」が最も高くなっているものの、高齢になるほどその割合が低くなっており、85 歳以上ではおおむね5割となっています。また、75 歳以上では「できない」が1割を超え、年齢とともに高くなっており、85 歳以上ではおおむね3割となっています。



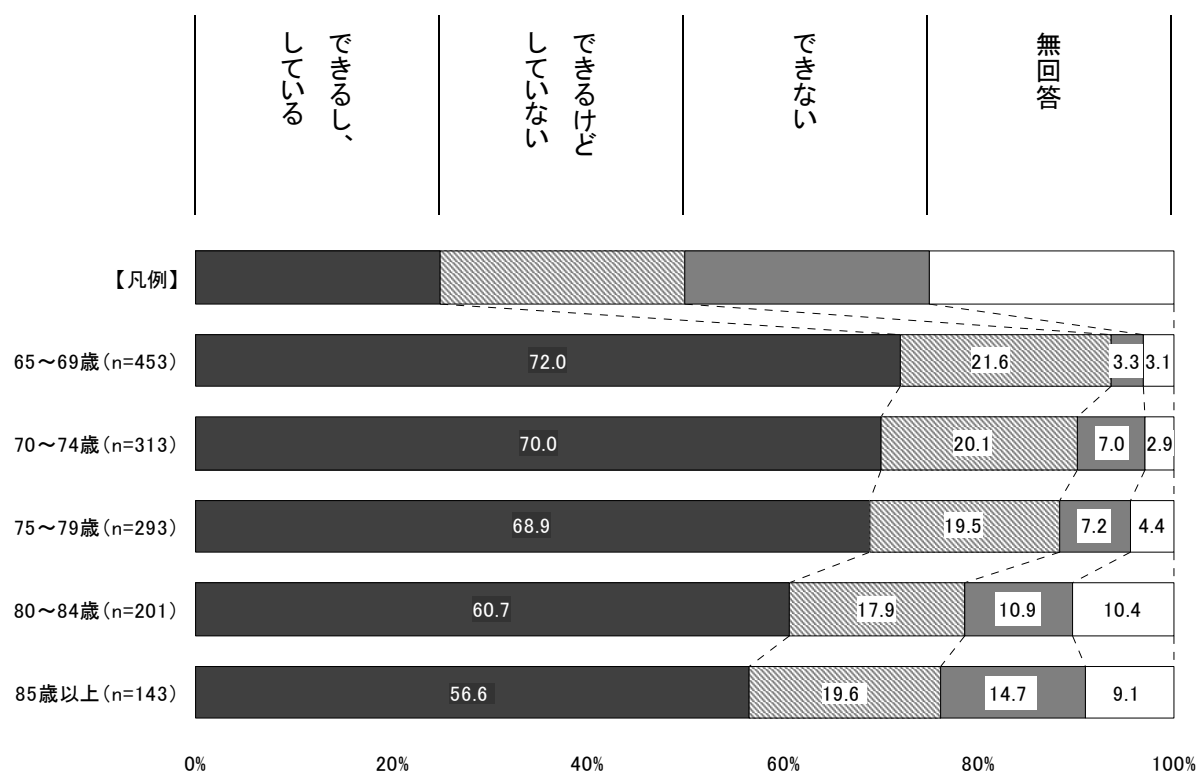
③15 分位続けて歩いていますか

15 分位続けて歩いているかは、「できるし、している」が 64.1%と最も高くなっています。



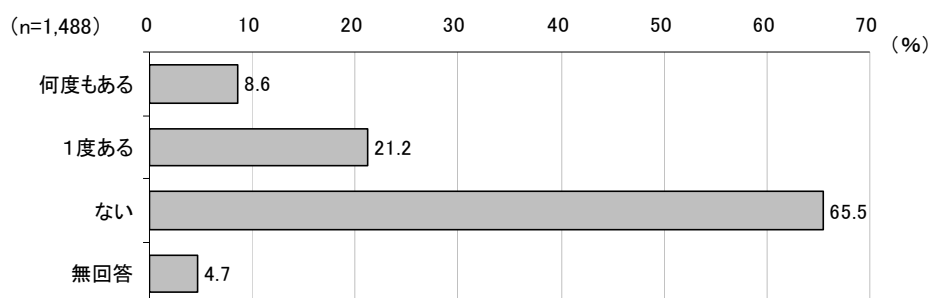
■年代別にみた 15 分位続けて歩いているかの状況

年代別にみると、すべての年代で「できるし、している」が最も高くなっているものの、高齢になるほどその割合が低くなっており、85 歳以上では5割半ばとなっています。また、「できない」が年齢とともに高くなっており、75 歳以上ではおおむね1 割、85 歳以上では1 割半ばとなっています。



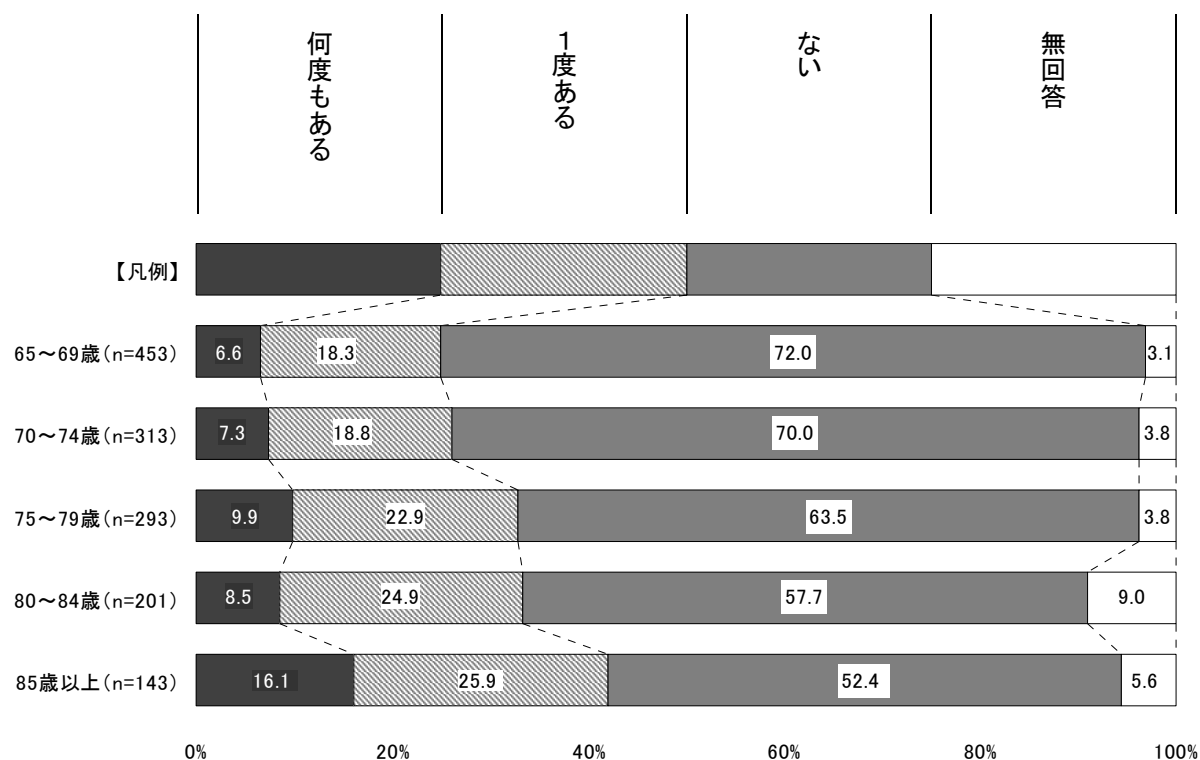
④過去 1 年間に転んだ経験がありますか

過去 1 年間に転んだ経験があるかは、「ない」が 65.5%と最も高く、次いで「1 度ある」が 21.2%となっています。



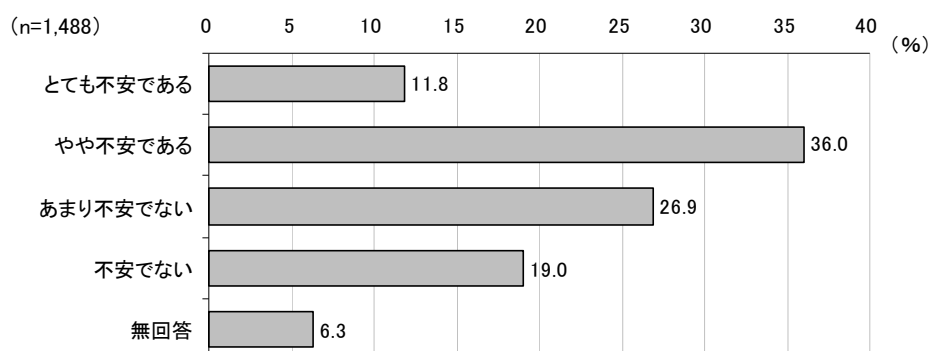
■年代別にみた過去 1 年間に転んだ経験の有無

年代別にみると、すべての年代で「ない」が最も高くなっているものの、高齢になるほどその割合が低くなっており、80 歳以上では 5 割台に止まっています。また、85 歳以上では「何度もある」が 1 割半ばを占め、他の年代よりも高くなっています。



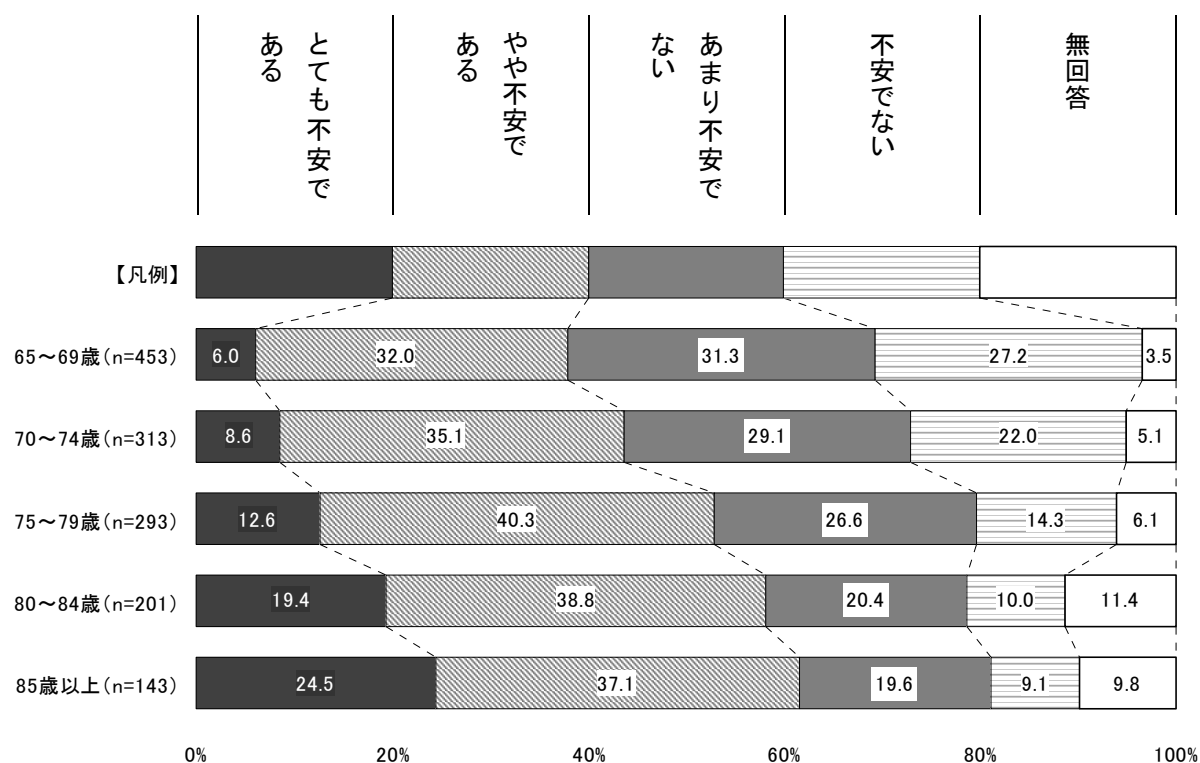
⑤転倒に対する不安は大きいですか

転倒に対する不安は大きいかは、「やや不安である」が36.0%と最も高く、「とても不安である」の11.8%と合わせると、47.8%の約半数が『不安である』と回答しています。



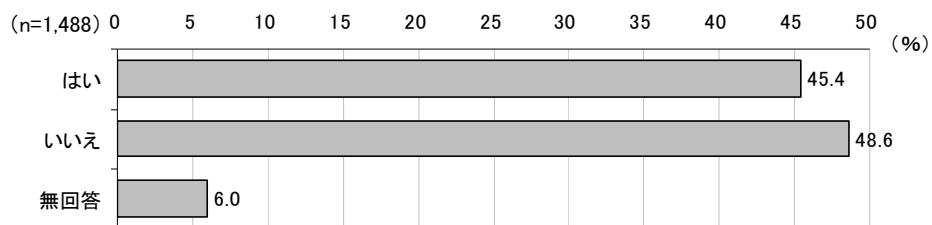
■年代別にみた転倒に対する不安は大きいかの状況

年代別にみると、すべての年代で「やや不安である」が最も高くなっています。また、『不安である』の割合が高齢になるほど高くなっており、65～69歳は4割弱であるのに対し、85歳以上では6割弱となっています。



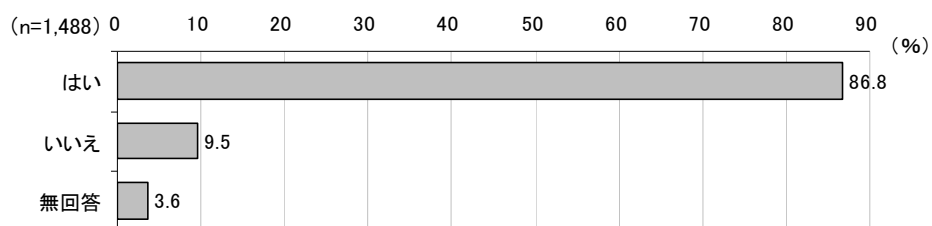
⑥物忘れが多いと感じますか

物忘れが多いと感じるかは、「いいえ」が48.6%で、「はい」の45.4%をやや上回っています。



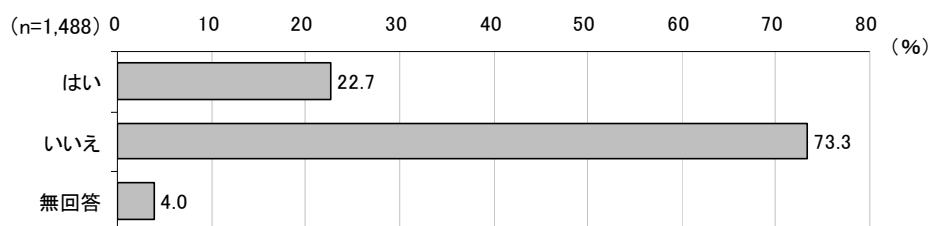
⑦自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかは、「はい」が86.8%で、「いいえ」の9.5%を上回っています。



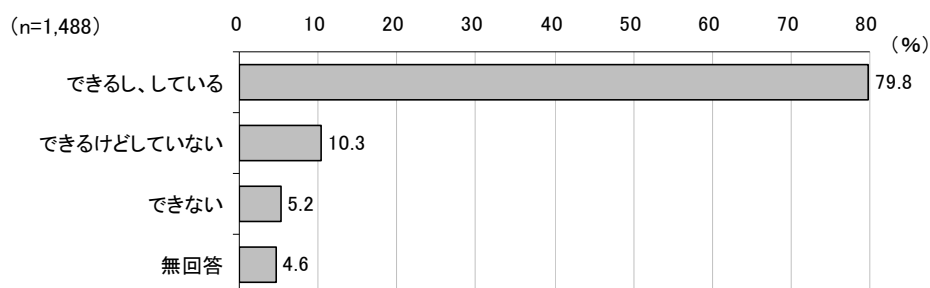
⑧今日が何月何日かわからない時がありますか

今日が何月何日かわからない時があるかは、「いいえ」が73.3%で、「はい」の22.7%を上回っています。



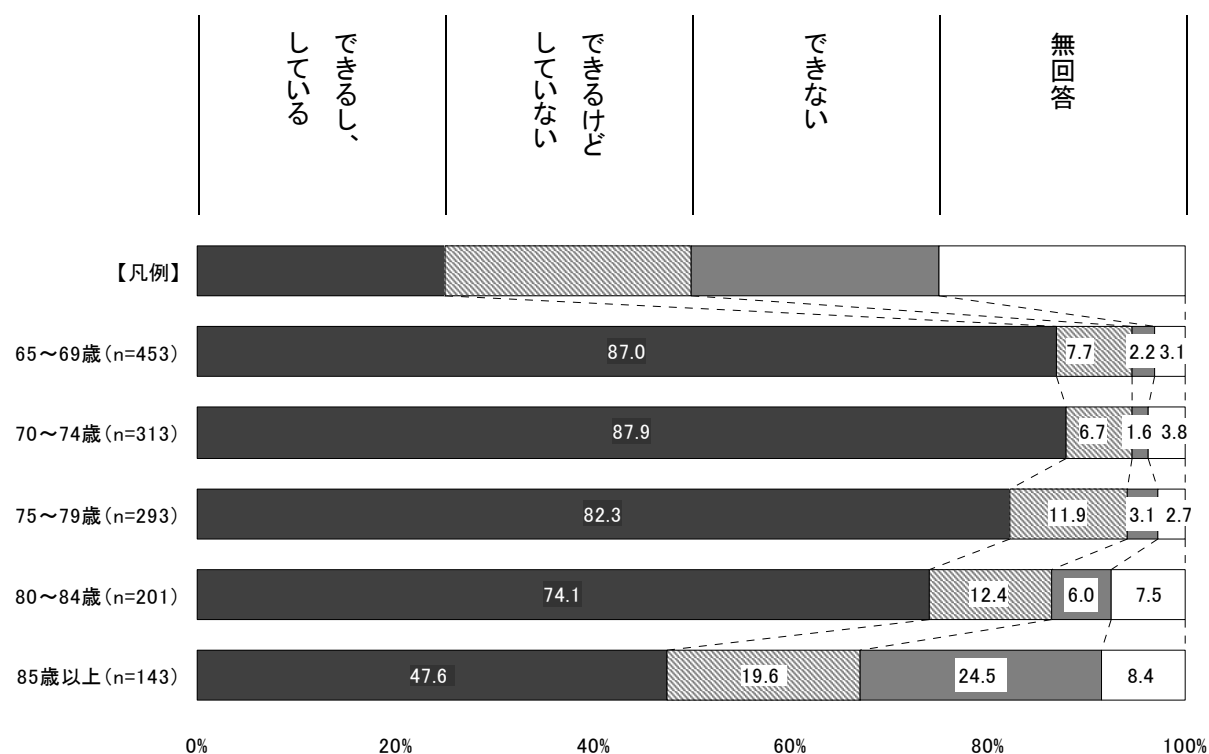
⑨バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

バスや電車を使って1人で外出しているかは、「できるし、している」が79.8%と最も高くなっています。



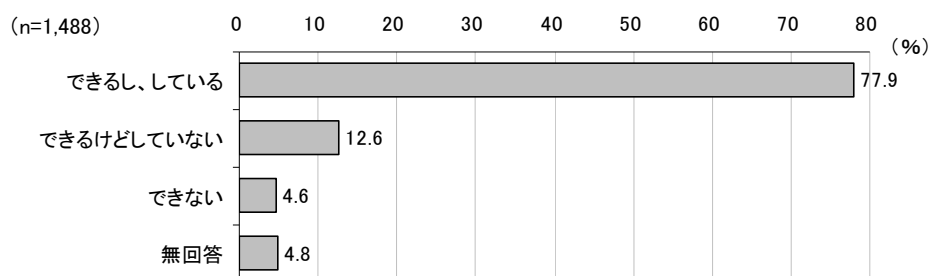
■年代別にみたバスや電車を使って1人で外出しているかの状況

年代別にみると、すべての年代で「できるし、している」が最も高くなっているものの、高齢になるほどその割合が低くなっており、85歳以上では5割弱に止まっています。また、「できるけどしていない」が75歳以上で1割以上からおおむね2割、「できない」が85歳以上では2割半ばを占め、他の年代よりも高くなっています。



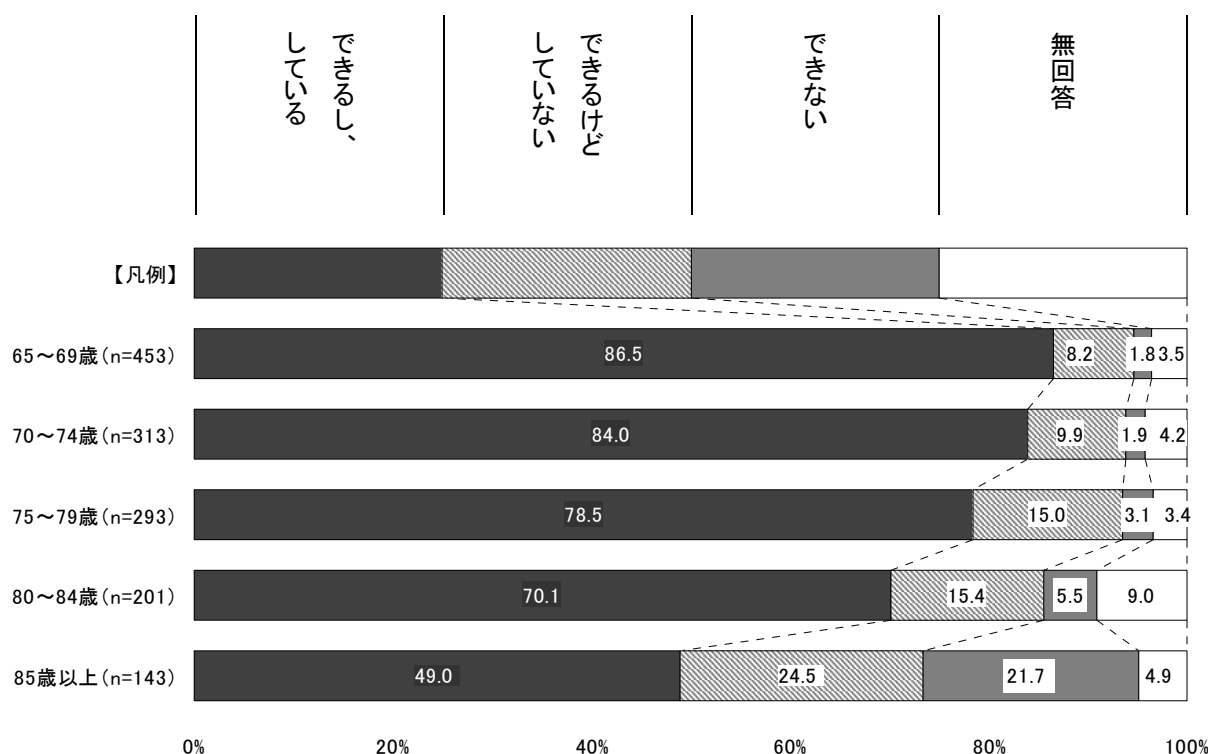
⑩自分で食品・日用品の買物をしていますか

自分で食品・日用品の買物をしているかは、「できるし、している」が77.9%と最も高くなっています。



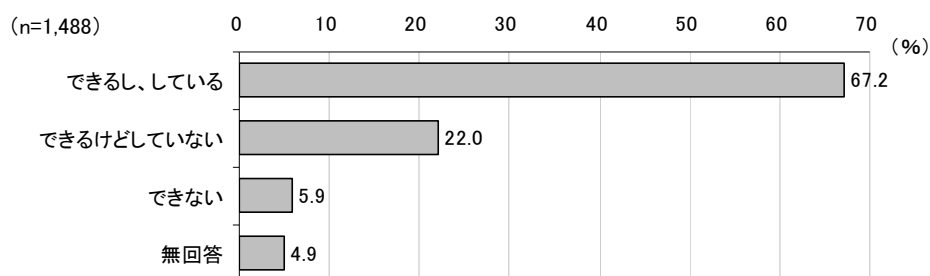
■年代別にみた自分で食品・日用品の買物をしているかの状況

年代別にみると、すべての年代で「できるし、している」が最も高くなっているものの、高齢になるほどその割合が低くなっており、85歳以上ではおおむね5割となっています。また、「できるけどしていない」が75歳以上で1割半ばかり2割半ば、「できない」が85歳以上ではおおむね2割を占め、他の年代よりも高くなっています。



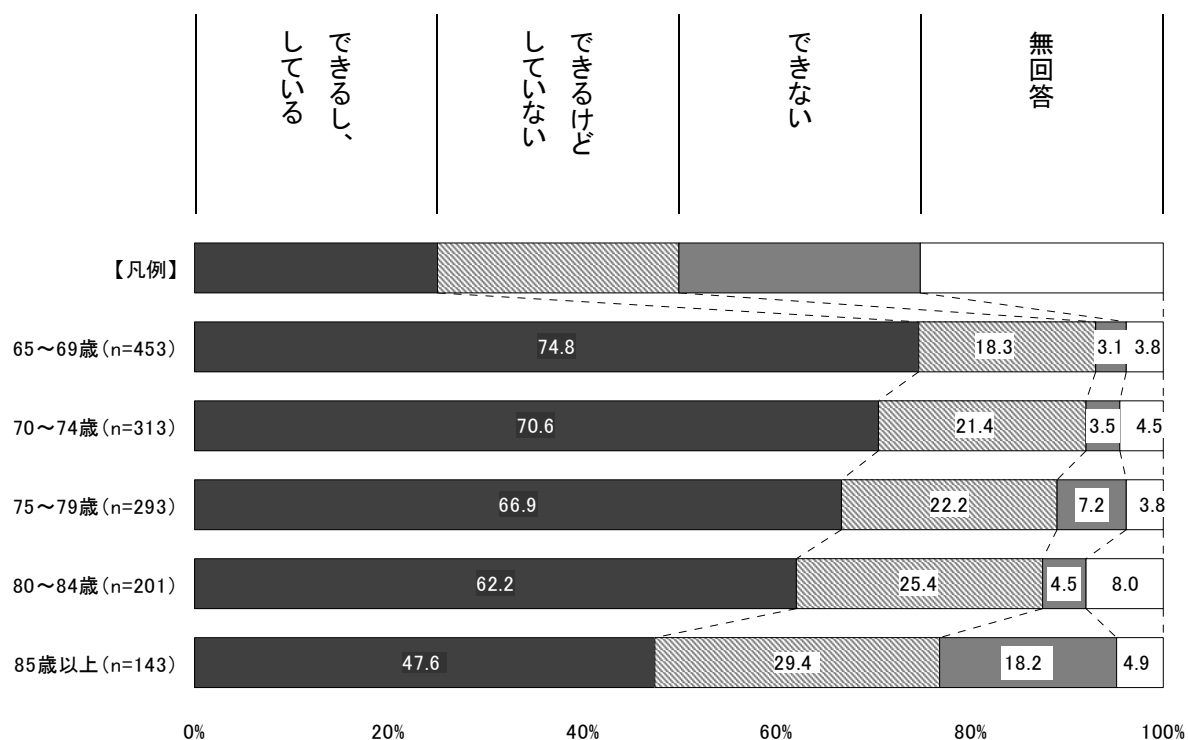
⑪自分で食事の用意をしていますか

自分で食事の用意をしているかは、「できるし、している」が67.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が22.0%となっています。



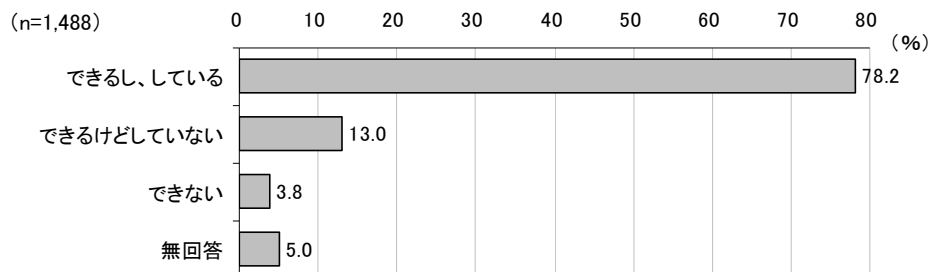
■年代別にみた自分で食事の用意をしているかの状況

年代別にみると、すべての年代で「できるし、している」が最も高くなっているものの、高齢になるほどその割合が低くなっており、85歳以上では5割弱に止まっています。また、85歳以上では「できない」が2割弱と、他の年代よりも高くなっています。



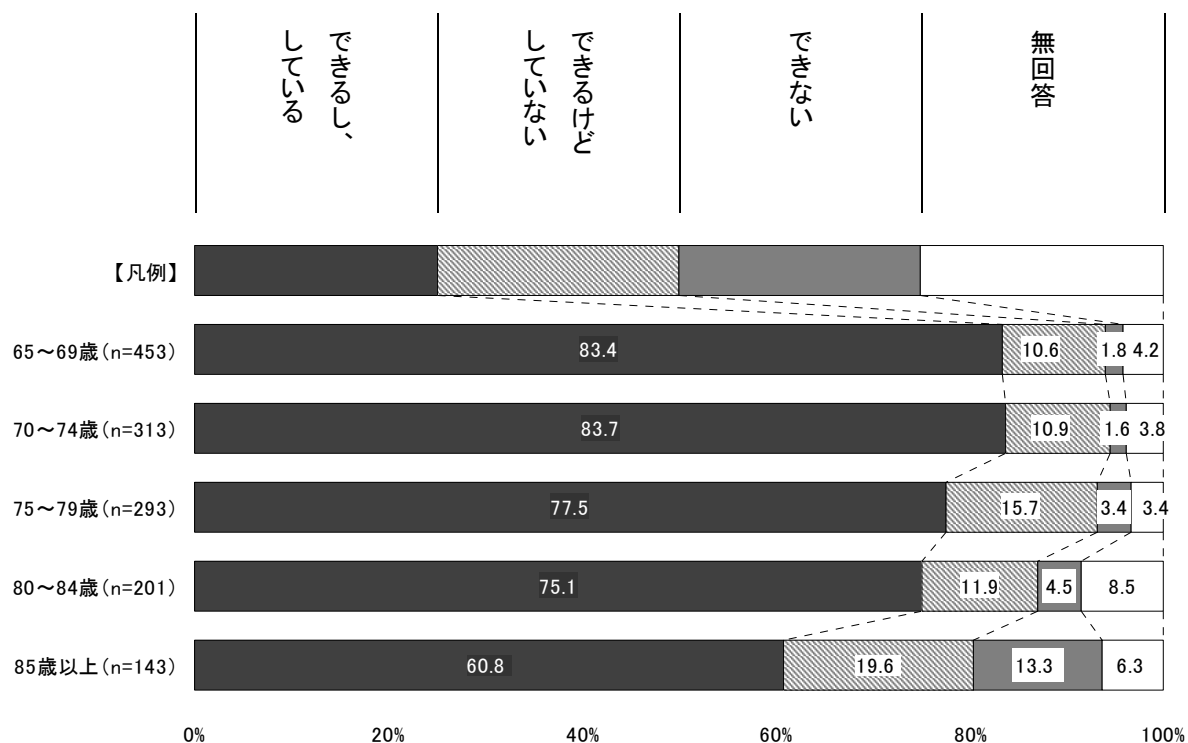
⑫自分で請求書の支払いをしていますか

自分で請求書の支払いをしているかは、「できるし、している」が78.2%と最も高くなっています。



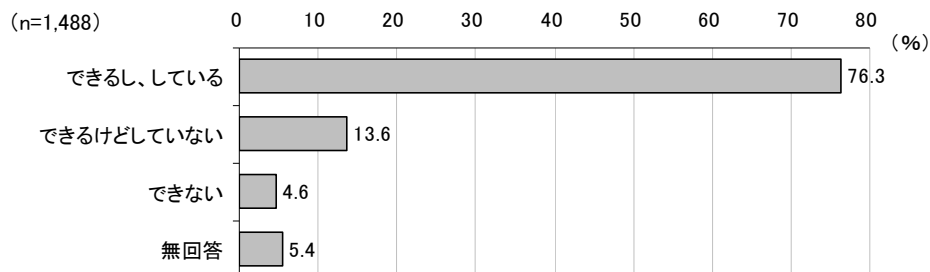
■年代別にみた自分で請求書の支払いをしているかの状況

年代別にみると、すべての年代で「できるし、している」が最も高くなっているものの、高齢になるほどその割合が低くなる傾向があり、85歳以上ではおおむね6割となっています。また、85歳以上では「できるけどしていない」がおおむね2割、「できない」が1割を超え、他の年代よりも高くなっています。



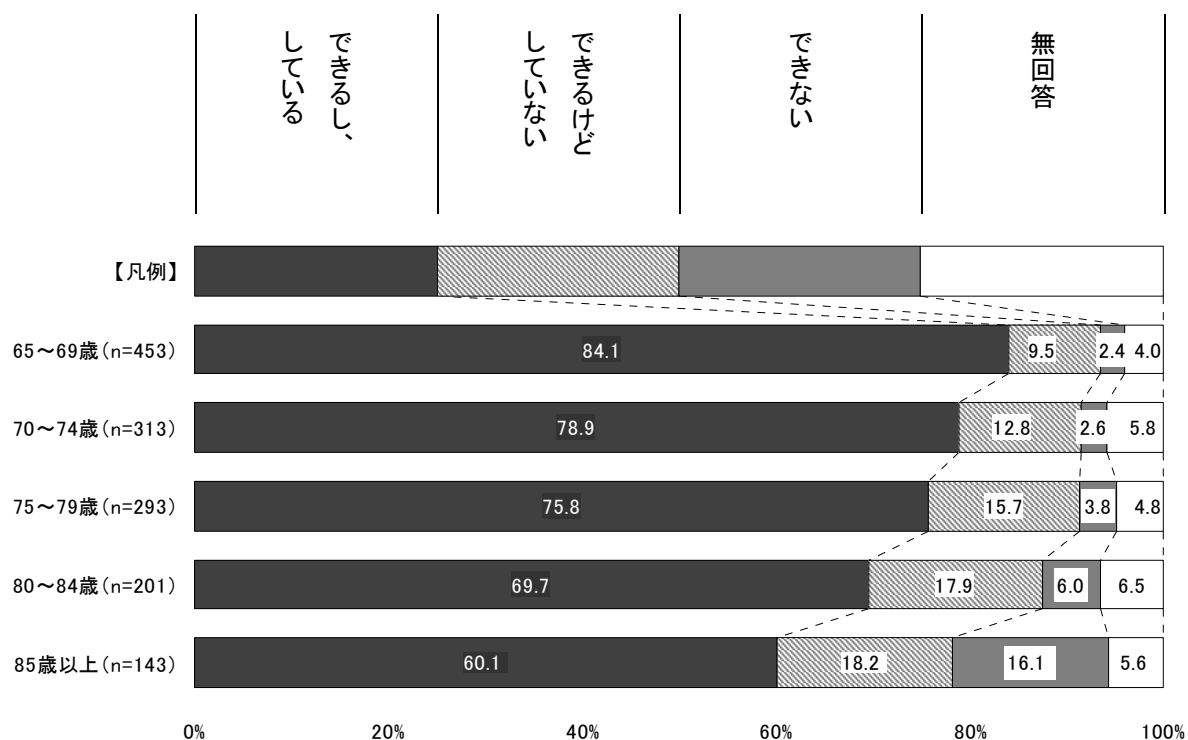
⑬自分で預貯金の出し入れをしていますか

自分で預貯金の出し入れをしているかは、「できるし、している」が76.3%と最も高くなっています。



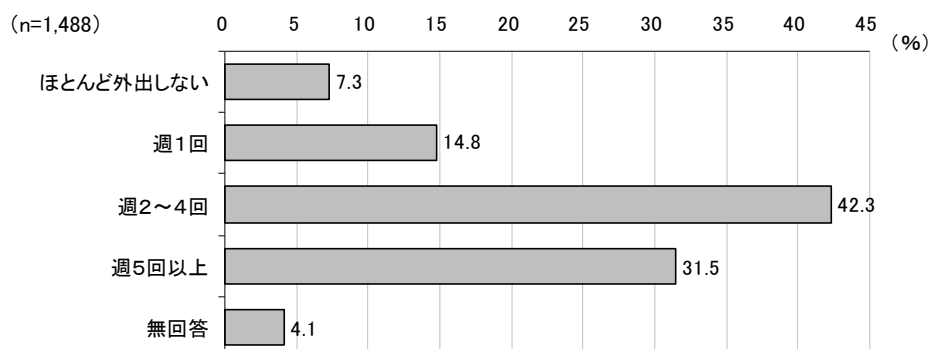
■年代別にみた自分で預貯金の出し入れをしているかの状況

年代別にみると、すべての年代で「できるし、している」が最も高くなっているものの、高齢になるほどその割合が低くなっており、85 歳以上ではおおむね6割となっています。また、85 歳以上では「できない」が1割半ばを占め、他の年代よりも高くなっています。



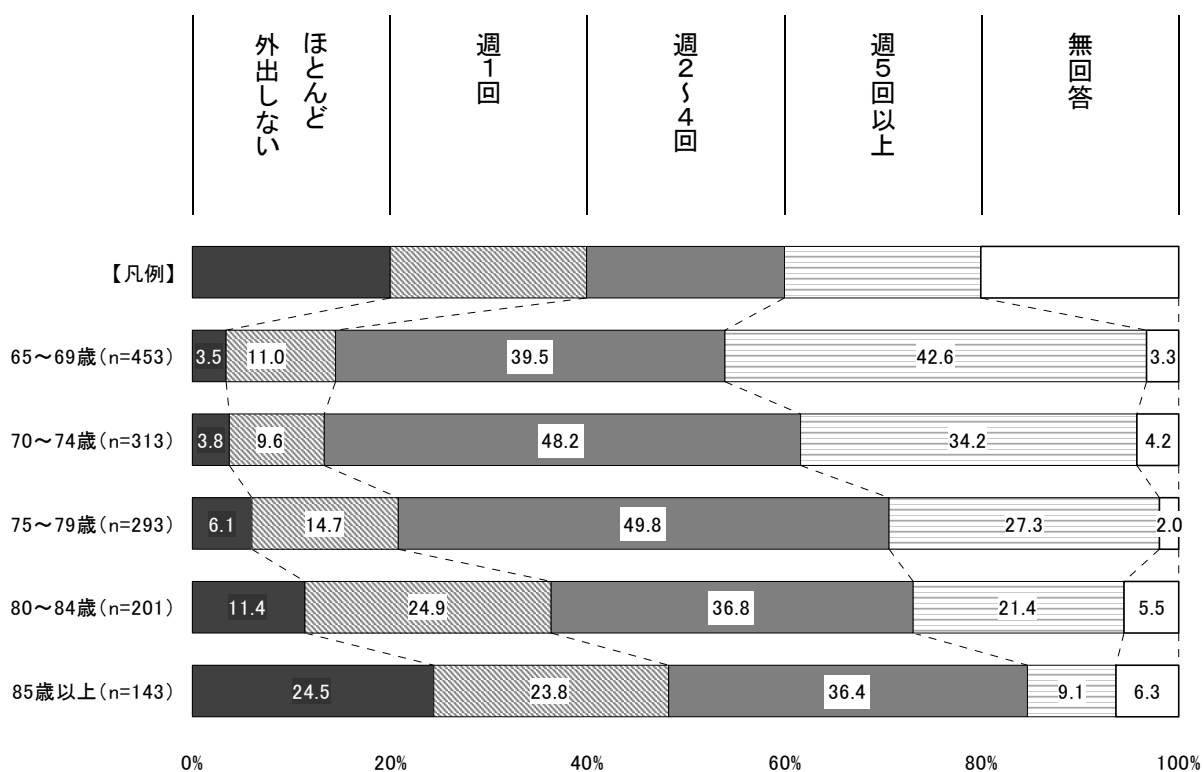
問 10 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

週に1回以上外出しているかは、「週2～4回」が42.3%と最も高く、次いで「週5回以上」が31.5%、「週1回」が14.8%となっています。



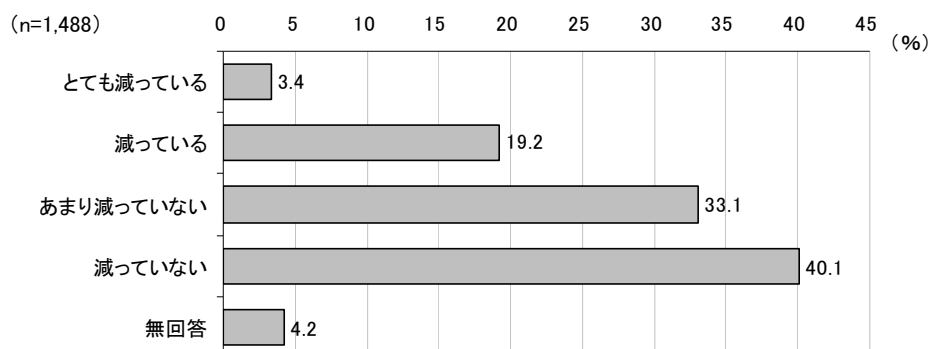
■年代別にみた外出の状況

年代別にみると、65～69歳では「週5回以上」、70歳以上では「週2～4回」が最も高くなっています。また、80歳以上では「週1回」が2割以上、「ほとんど外出しない」が1割から2割半ばを占め、他の年代よりも高くなっています。



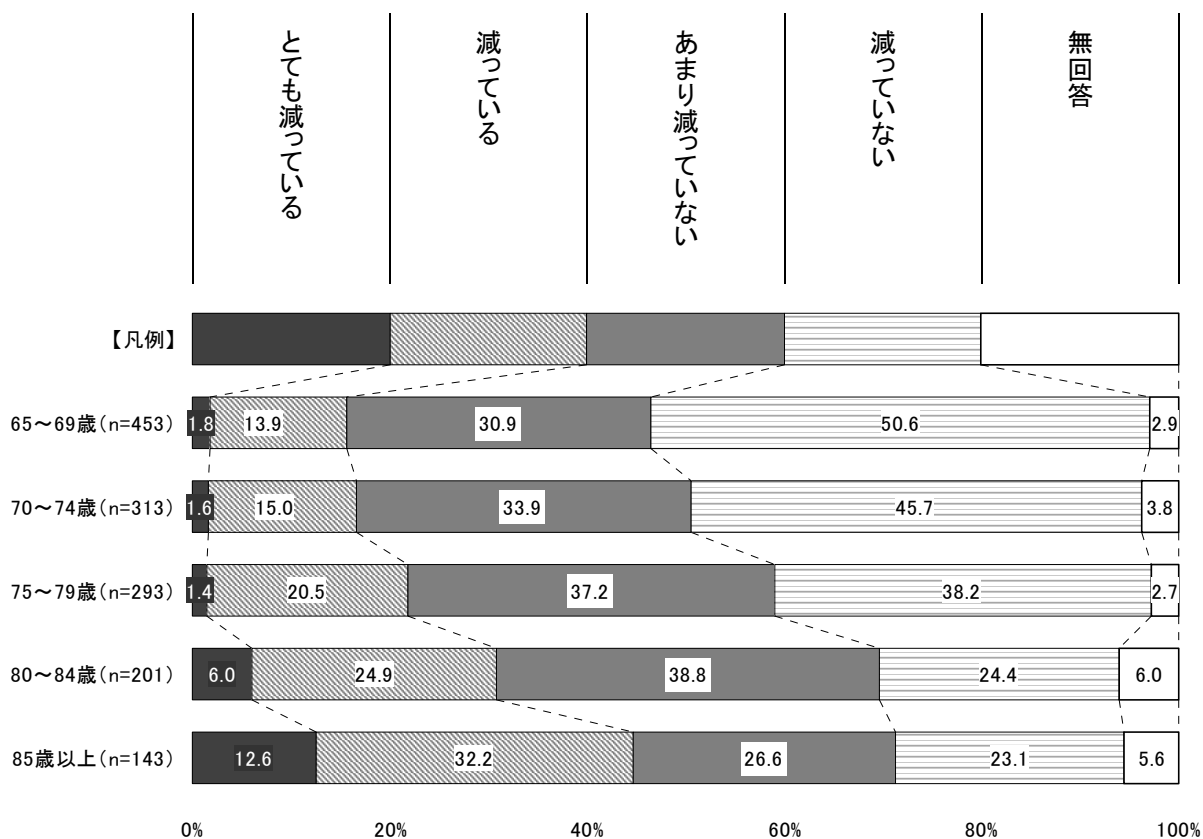
問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（1つに○）

昨年と比べて外出の回数が減っているかは、「減っていない」が40.1%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が33.1%、「減っている」が19.2%となっています。



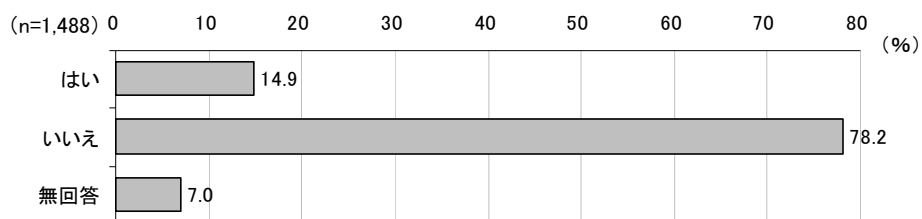
■年代別にみた昨年と比べての外出回数の状況

年代別にみると、65～79 歳では「減っていない」、80～84 歳では「あまり減っていない」、85 歳以上では「減っている」が最も高くなっています。また、75 歳以上では「減っている」が2割から3割以上、85 歳以上では「とても減っている」が1割以上となっており、他の年代よりも高くなっています。



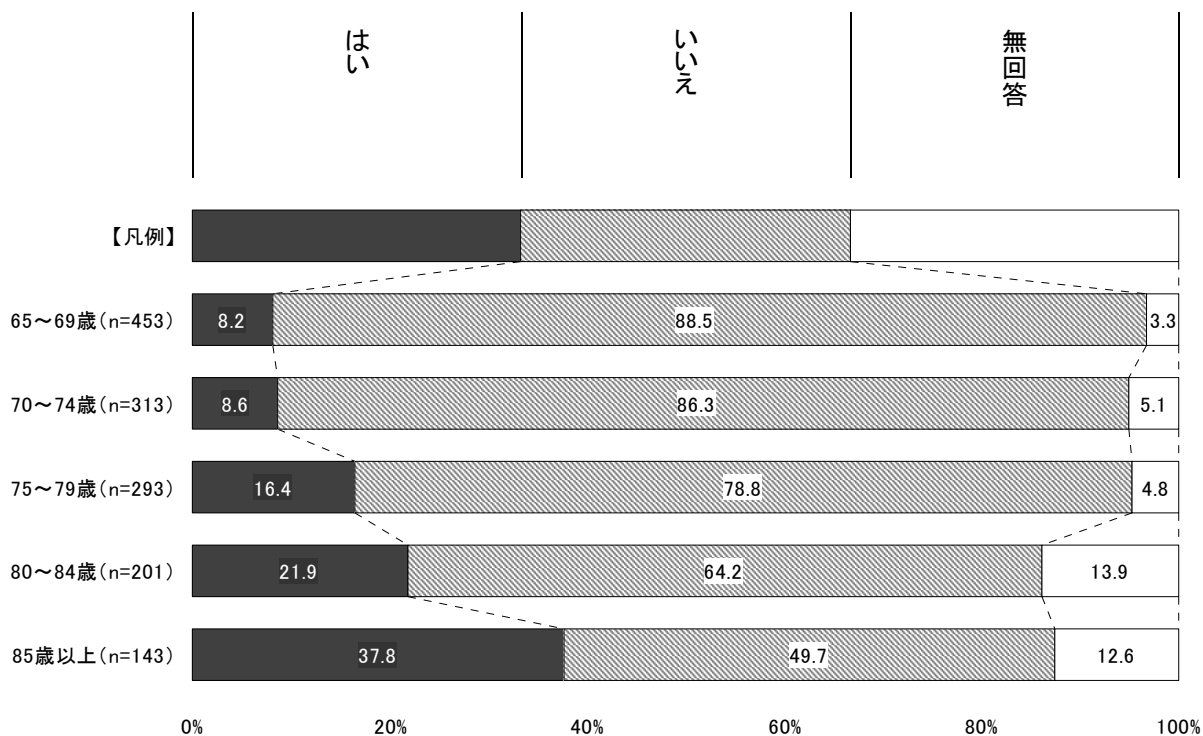
問 12 外出を控えていますか。（1つに○）

外出を控えているかは、「いいえ」が78.2%で、「はい」の14.9%を上回っています。



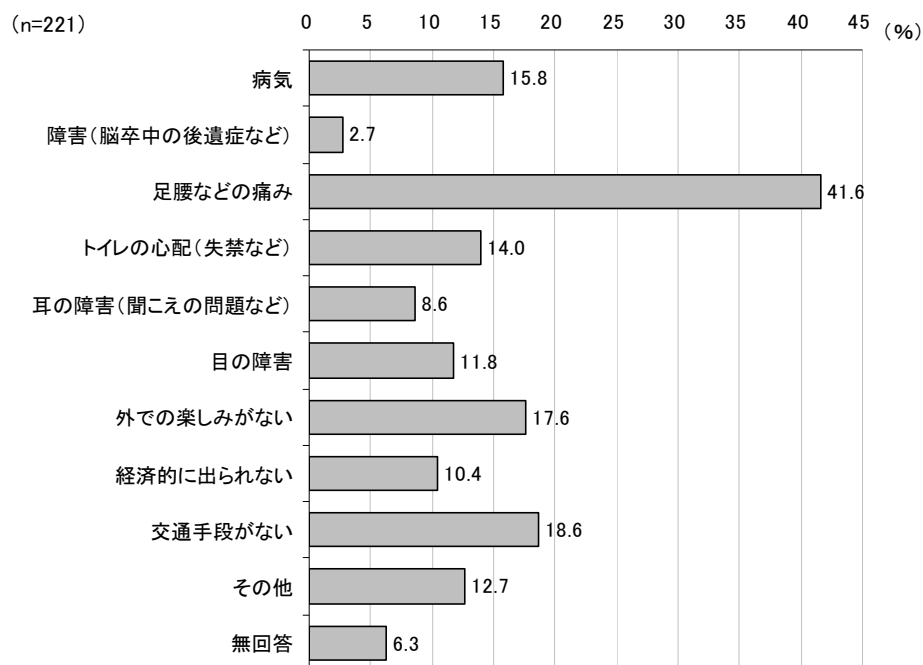
■年代別にみた外出を控えているかの状況

年代別にみると、すべての年代で「いいえ」が「はい」を上回っているものの、高齢になるほど「はい」の割合が高くなっており、80～84歳で2割以上、85歳以上で4割弱を占めています。



問 12-1 問 12 で「1. はい」（外出を控えている）と答えた方におききます。外出を控えている理由は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が 41.6%と最も高く、次いで「交通手段がない」が 18.6%、「外での楽しみがない」が 17.6%となっています。



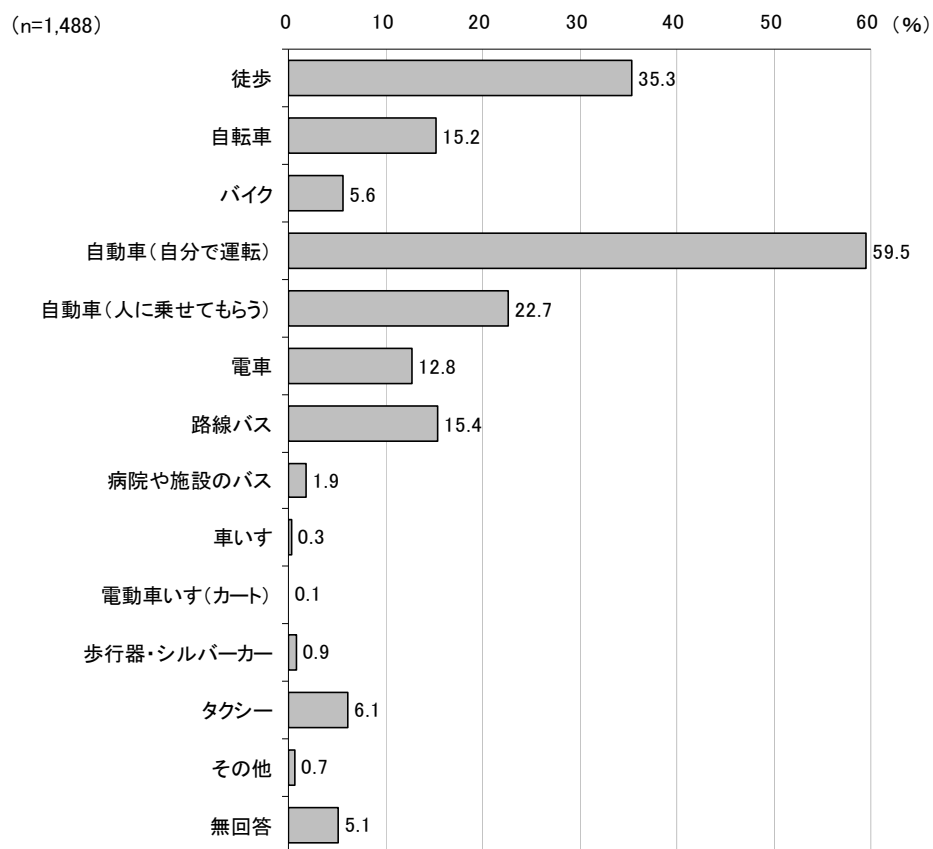
■年代別にみた外出を控えている理由

年代別にみると、65～69 歳では「病気」、「足腰などの痛み」、70 歳以上では「足腰などの痛み」が最も高くなっています。また、80～84 歳では「交通手段がない」が3割半ばを占め、他の年代よりも高くなっています。

単位 (%)	サンプル数 (人)	病気	障害 (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	耳の障害 (聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
65～69歳	37	27.0	5.4	27.0	5.4	8.1	10.8	21.6	18.9	16.2	24.3	2.7
70～74歳	27	14.8	0.0	48.1	7.4	0.0	11.1	7.4	18.5	3.7	7.4	7.4
75～79歳	48	14.6	2.1	37.5	12.5	4.2	10.4	18.8	14.6	16.7	10.4	8.3
80～84歳	44	6.8	4.5	50.0	20.5	6.8	11.4	18.2	4.5	34.1	9.1	11.4
85歳以上	54	11.1	1.9	44.4	22.2	18.5	14.8	18.5	3.7	16.7	14.8	1.9

問 13 外出する際の移動手段は何ですか。（あてはまるすべてに○）

外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が59.5%と最も高く、次いで「徒歩」が35.3%、「自動車（人に乗せてもらう）」が22.7%となっています。



■日常生活圏域、家族構成別にみた外出する際の移動手段

日常生活圏域別にみると、すべての地区で「自動車（自分で運転）」が最も高くなっています。また、鴨川地区では「徒歩」、東条・天津小湊地区では「路線バス」が他の地区よりもやや高くなっています。

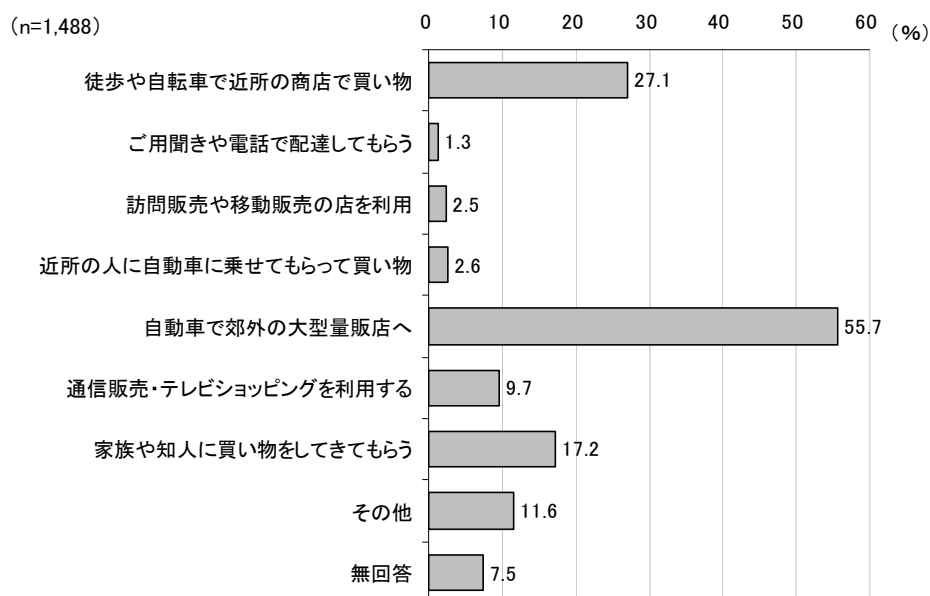
家族構成別にみると、すべての項目で「自動車（自分で運転）」が最も高くなっています。また、一人暮らしでは「徒歩」や「路線バス」が他の項目よりも高くなっています。

単位(%)		サンプル数(人)	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす
圏域別	鴨川地区	482	40.2	16.0	7.7	58.5	21.6	10.0	14.5	1.5	0.2
	長狭地区	245	26.9	9.4	2.9	71.8	23.3	8.6	11.0	0.4	0.8
	江見地区	242	31.8	13.2	4.5	64.5	18.2	16.9	15.3	4.5	0.4
	東条・天津小湊地区	429	36.1	17.9	5.4	53.6	27.7	15.9	20.0	2.1	0.2
家族構成別	一人暮らし	253	41.5	15.4	5.5	54.5	16.2	14.6	24.9	2.8	0.0
	夫婦2人暮らし	604	37.7	14.2	5.3	67.9	20.7	14.1	14.4	1.3	0.0
	息子・娘との2世帯	251	26.7	17.5	6.4	55.0	27.9	8.4	12.0	4.0	0.4
	その他	265	32.8	15.1	5.7	57.4	27.9	11.3	13.2	1.5	1.5

単位(%)		サンプル数(人)	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
圏域別	鴨川地区	482	0.2	1.5	7.9	1.2	5.2
	長狭地区	245	0.4	0.4	0.8	0.4	2.9
	江見地区	242	0.0	0.0	4.5	1.2	2.9
	東条・天津小湊地区	429	0.0	0.9	8.2	0.0	5.8
家族構成別	一人暮らし	253	0.4	0.8	9.9	0.8	3.6
	夫婦2人暮らし	604	0.2	0.7	5.3	0.3	4.5
	息子・娘との2世帯	251	0.0	1.2	3.6	0.8	4.0
	その他	265	0.0	0.8	6.4	1.5	6.0

問 14 毎日の買い物をどのようにしていますか。（あてはまるものすべてに○）

毎日の買い物をどのようにしているかは、「自動車で郊外の大型量販店へ」が55.7%と最も高く、次いで「徒歩や自転車で近所の商店で買い物」が27.1%となっています。



■年代、日常生活圏域別にみた毎日の買い物の状況

年代別にみると、65～84歳では「自動車で郊外の大型量販店へ」、85歳以上では「家族や知人に買い物をしてくる」が最も高くなっています。また、80歳以上では「家族や知人に買い物をしてくる」が若年層よりも高くなっています。

日常生活圏域別にみると、すべての地区で「自動車で郊外の大型量販店へ」が最も高くなっています。また、鴨川地区や東条・天津小湊地区では「徒歩や自転車で近所の商店で買い物」、長狭地区や江見地区では「自動車で郊外の大型量販店へ」が他の地区よりもやや高くなっています。

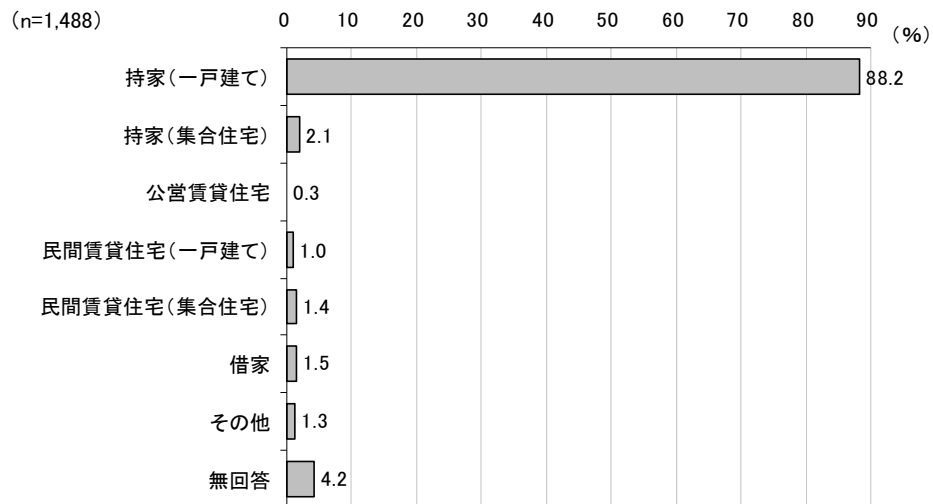
単位 (%)		サンプル数 (人)	徒歩や自転車で近所の商店で買い物	ご用聞きや電話で配達してもらう	訪問販売や移動販売の店を利用	近所の人に自動車に乗せてもらって買い物	自動車で郊外の大型量販店へ	通信販売・テレビショッピングを利用する	家族や知人に買い物をしてくる	その他	無回答
年代別	65～69歳	453	23.6	0.0	2.2	1.1	69.1	9.7	11.7	11.7	6.4
	70～74歳	313	27.2	1.3	2.6	1.6	67.1	12.8	8.9	13.7	6.4
	75～79歳	293	30.0	2.7	2.4	5.5	53.2	9.9	15.4	10.6	6.5
	80～84歳	201	30.8	2.0	3.0	4.5	38.3	8.5	28.4	13.4	6.0
	85歳以上	143	25.2	1.4	3.5	2.1	25.9	4.9	40.6	5.6	12.6
圏域別	鴨川地区	482	29.0	0.8	1.7	3.1	50.6	10.2	18.5	11.0	7.3
	長狭地区	245	15.9	0.8	2.0	1.6	65.7	11.0	17.1	14.3	2.9
	江見地区	242	22.3	1.2	2.5	1.2	60.7	8.3	15.7	9.9	7.9
	東条・天津小湊地区	429	33.1	2.1	4.0	3.7	55.5	9.6	17.0	11.7	8.6

3 住まいについて

問 15 住まいの状況についておたずねします。①～②それぞれに回答してください。（○はそれぞれ1つつ）

①お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

住まいは、「持家（一戸建て）」が88.2%と最も高くなっています。



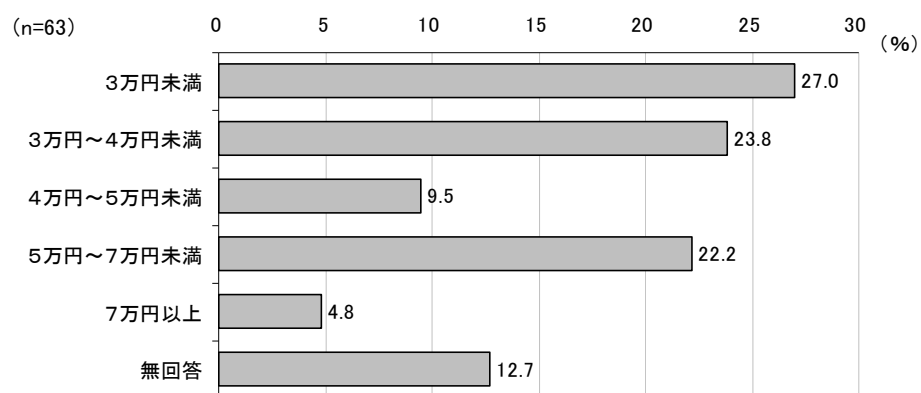
■家族構成別にみた住まいの状況

家族構成別にみると、すべての項目で「持家（一戸建て）」が最も高くなっています。また、一人暮らしでは「民間賃貸住宅（一戸建て）」、「民間賃貸住宅（集合住宅）」、「借家」が他の項目よりもわずかに高くなっています。

単位 (%)	サンプル数 (人)	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答
一人暮らし	253	76.3	5.5	0.0	2.4	3.6	2.8	4.0	5.5
夫婦2人暮らし	604	92.2	1.5	0.7	0.3	1.5	1.3	0.3	2.2
息子・娘との2世帯	251	94.0	1.6	0.0	0.8	0.0	0.8	0.4	2.4
その他	265	88.7	0.4	0.4	1.1	0.8	1.9	2.6	4.2

②①で3～6と回答された方（賃貸の方）におうかがいします。家賃はいくらくらいですか

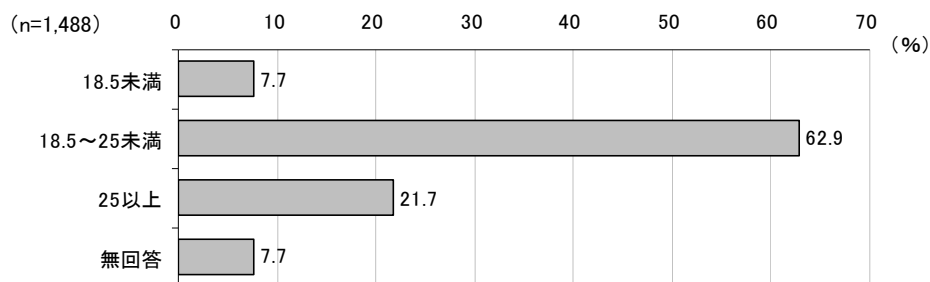
家賃は、「3万円未満」が27.0%と最も高く、次いで「3万円～4万円未満」が23.8%、「5万円～7万円未満」が22.2%となっています。



4 健康の状況や意識等について

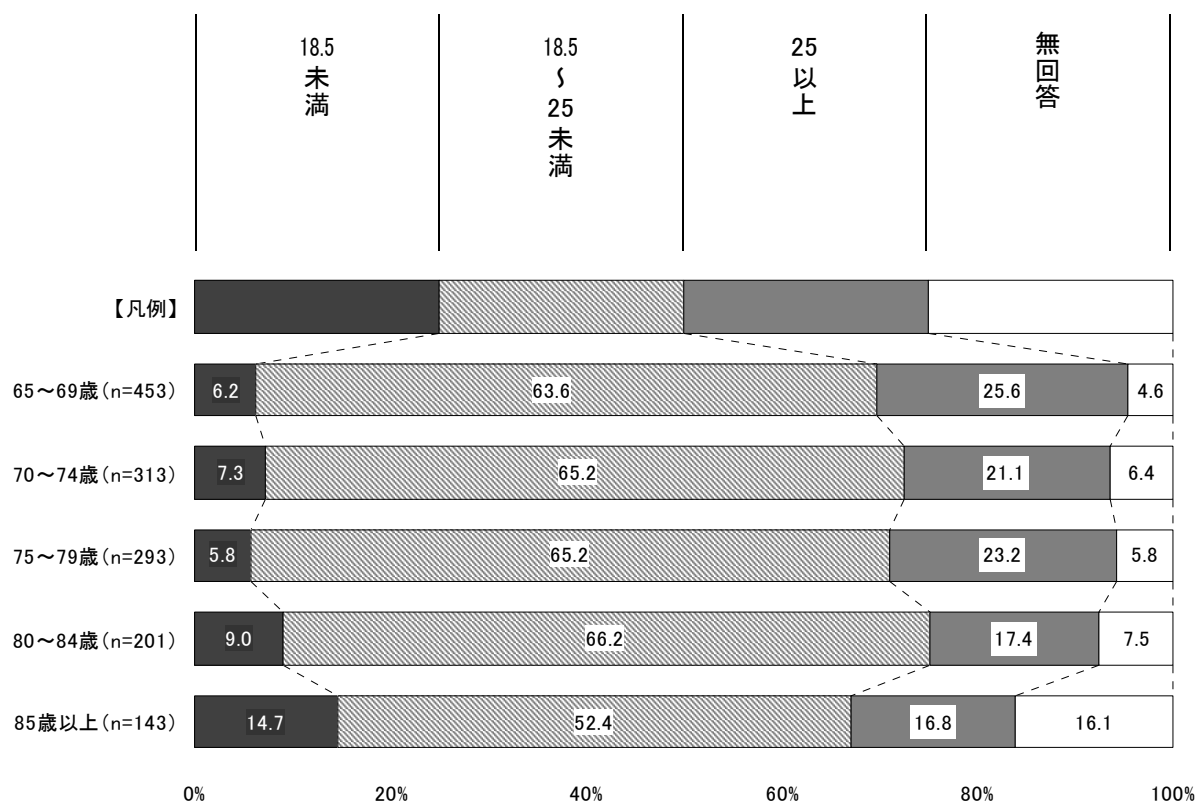
問 16 あなたの身長・体重はいくつですか。

身長・体重から算出したBMIは、「18.5～25 未満」が62.9%と最も高く、次いで「25 以上」が21.7%となっています。



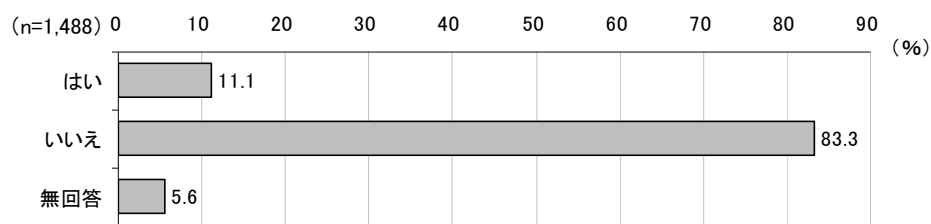
■年代別にみたBMI

年代別にみると、すべての年代で「18.5～25 未満」が最も高くなっているものの、高齢になるほどその割合が低くなる傾向がみられます。また、「18.5 未満」が80～84 歳ではおむね1割、85 歳以上では1割半ばを占め、若年層よりも高くなっています。



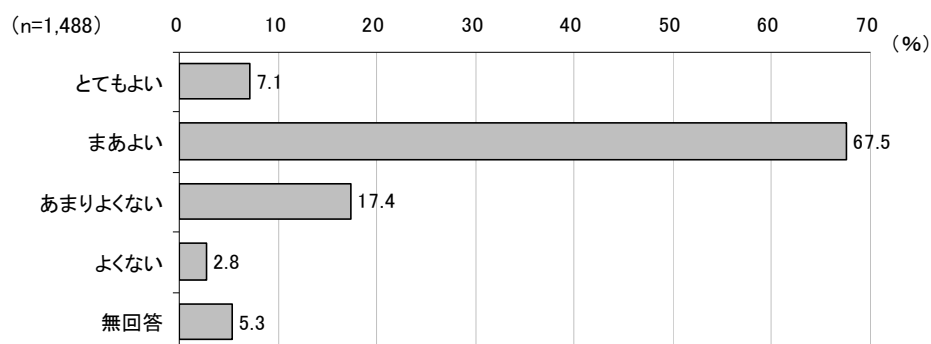
問 17 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか。（1 つに○）

6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少があったかは、「いいえ」が 83.3%で、「はい」の 11.1%を上回っています。



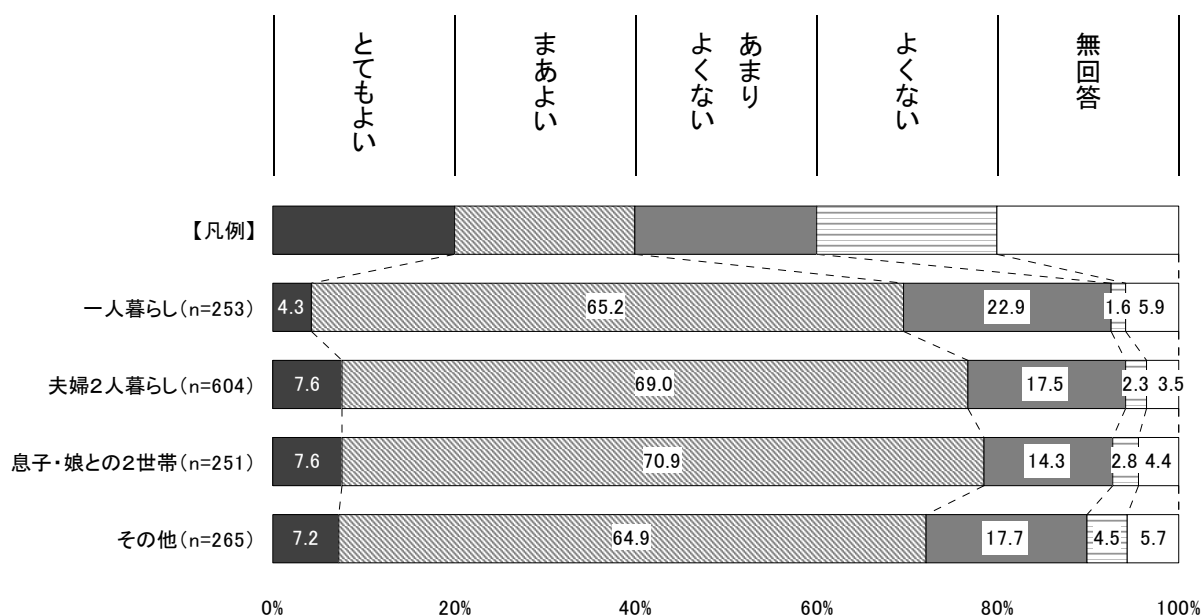
問 18 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（1 つに○）

現在の健康状態は、「まあよい」が 67.5%と最も高く、「とてもよい」の 7.1%と合わせると、74.6%が『よい』と回答しています。



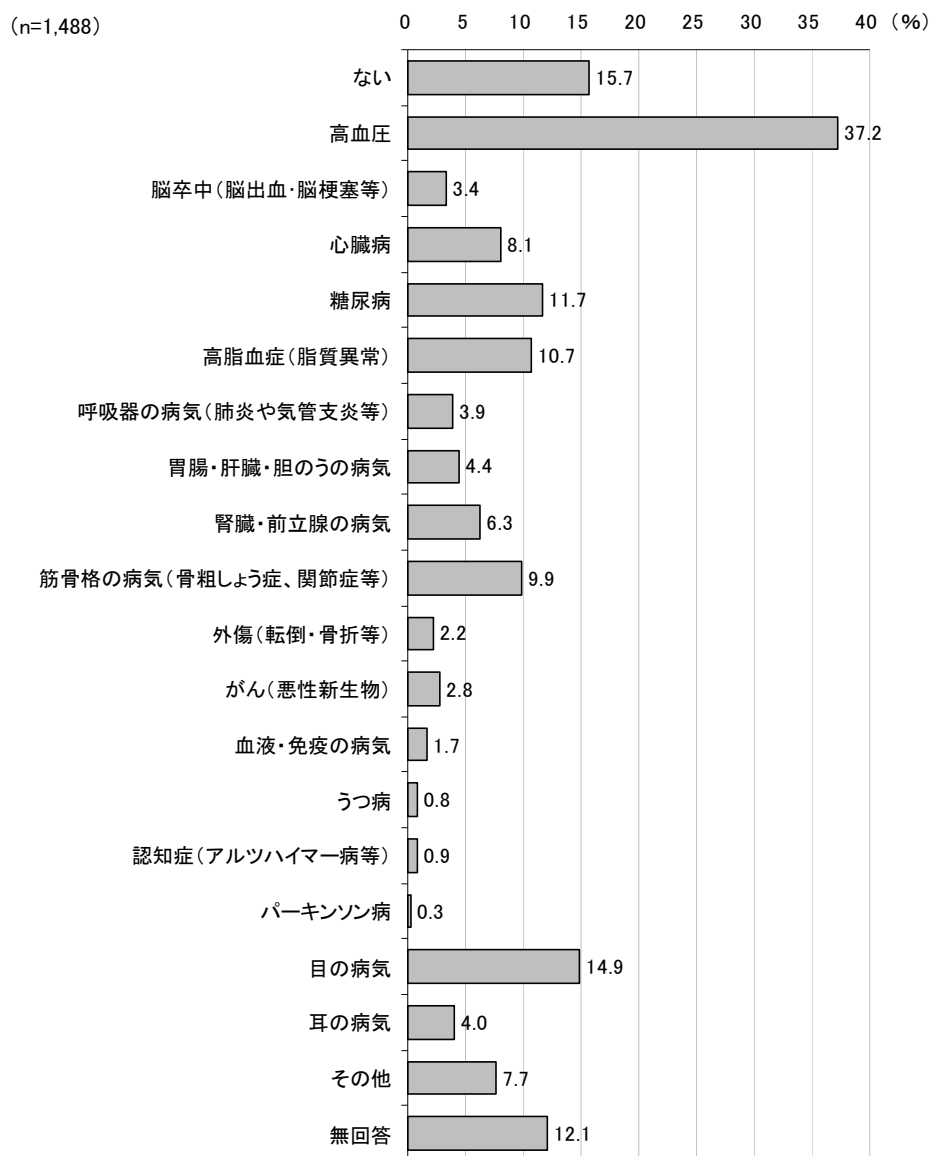
■ 家族構成別にみた現在の健康状態

家族構成別にみると、すべての項目で「まあよい」が最も高くなっています。また、一人暮らしでは「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』が2割半ばを占め、他の項目よりもやや高くなっています。



問 19 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるものすべてに○）

治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」が37.2%と最も高く、次いで「ない」が15.7%、「目の病気」が14.9%となっています。



■年代別にみた治療中または後遺症のある病気

年代別にみると、すべての年代で「高血圧」が最も高くなっています。また、65～74 歳では「高脂血症（脂質異常）」、80 歳以上では「高血圧」が他の年代よりも高くなっています。

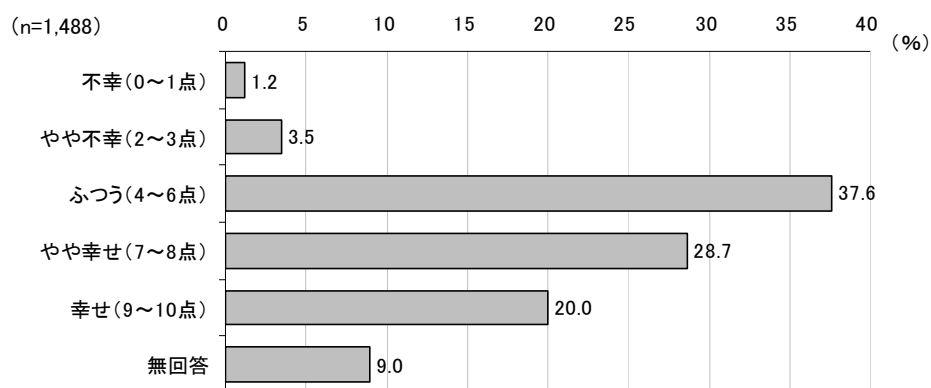
一方で、「ない」では年代が若くなるほど割合が高くなる傾向がみられます。

単位(%)	サンプル数(人)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
65～69歳	453	22.5	33.6	3.1	3.8	11.5	13.2	2.6	2.6	3.3	6.8
70～74歳	313	15.3	36.1	2.6	9.6	12.5	15.0	3.5	5.1	6.4	7.0
75～79歳	293	12.6	39.6	2.7	8.2	11.3	7.8	5.5	5.8	7.8	12.3
80～84歳	201	9.0	43.3	8.5	12.9	13.4	8.5	4.0	6.5	7.5	16.4
85歳以上	143	9.8	42.0	2.8	14.0	8.4	4.2	5.6	4.2	12.6	11.2

単位(%)	サンプル数(人)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
65～69歳	453	1.3	1.3	1.1	0.9	0.7	0.4	10.2	2.2	9.3	11.3
70～74歳	313	1.9	4.2	1.6	1.0	0.3	0.0	12.1	1.9	7.7	13.1
75～79歳	293	1.7	3.1	1.7	0.7	1.0	0.7	18.4	3.8	8.9	9.9
80～84歳	201	5.5	3.5	3.0	1.0	0.5	0.0	23.4	6.5	5.0	10.0
85歳以上	143	2.1	2.1	2.1	0.0	1.4	0.0	19.6	11.9	4.9	12.6

問 20 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、1つに○）

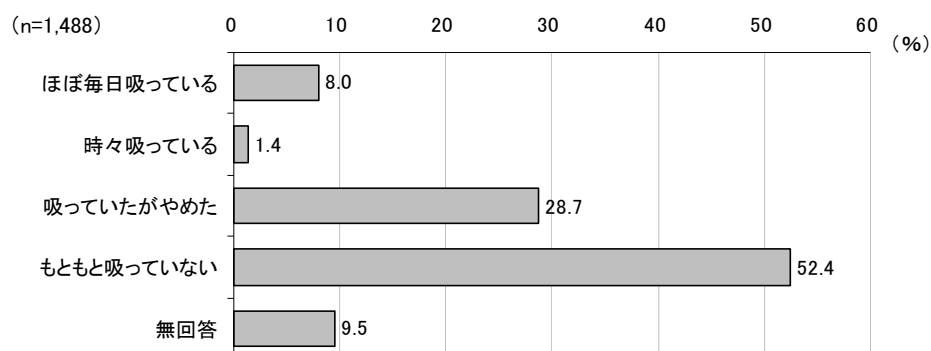
どの程度幸せかは、「ふつう（4～6点）」が37.6%と最も高く、次いで「やや幸せ（7～8点）」が28.7%、「幸せ（9～10点）」が20.0%となっています。



問 21 あなたの生活習慣についておたずねします。①～⑥それぞれに回答してください。（○はそれぞれ1つずつ）

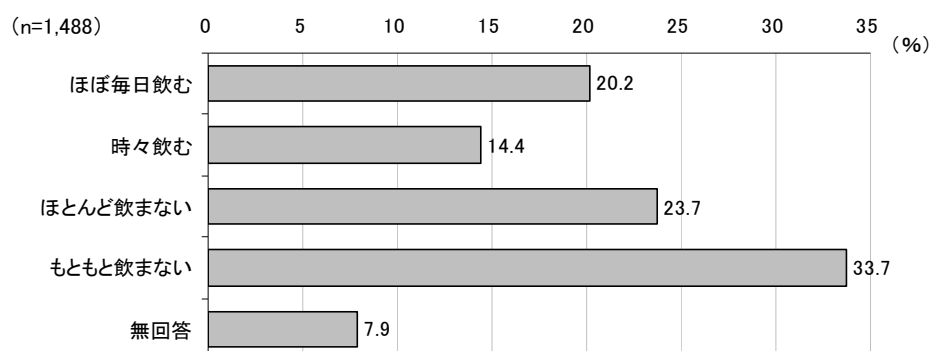
①たばこ

たばこに関する生活習慣は、「もともと吸っていない」が52.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が28.7%となっています。



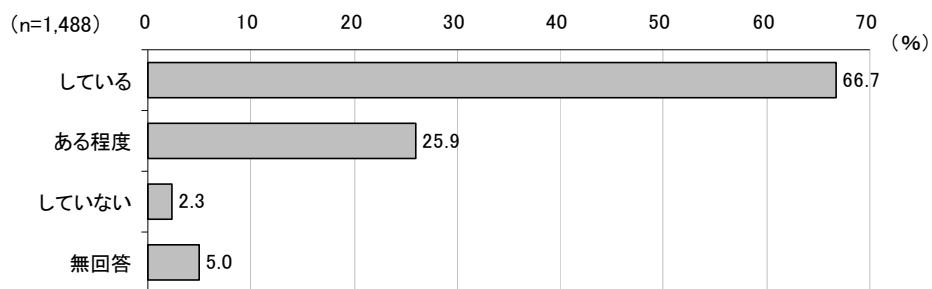
②お酒・アルコール

お酒・アルコールに関する生活習慣は、「もともと飲まない」が33.7%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が23.7%、「ほぼ毎日飲む」が20.2%となっています。



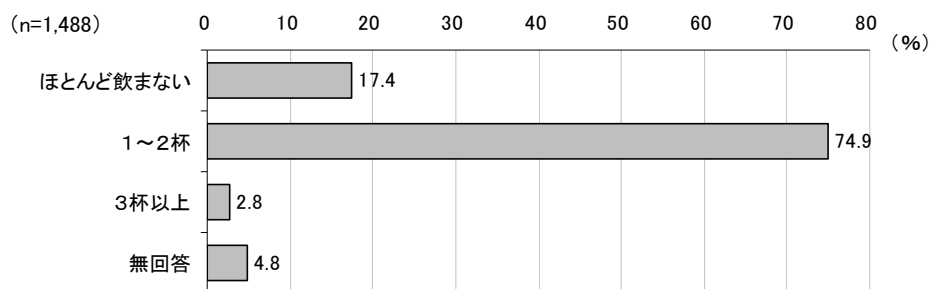
③規則的な食事

規則的な食事に関する生活習慣は、「している」が66.7%と最も高く、次いで「ある程度」が25.9%となっています。



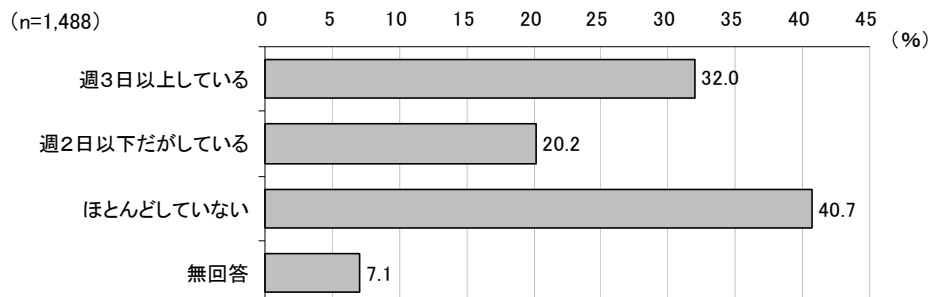
④一日の味噌汁

一日の味噌汁に関する生活習慣は、「1～2杯」が74.9%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が17.4%となっています。



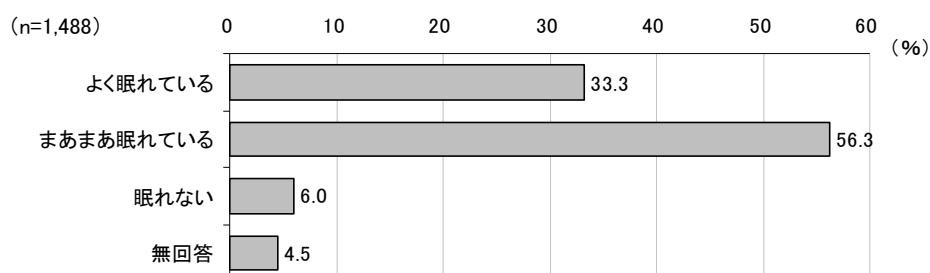
⑤定期的な運動

定期的な運動に関する生活習慣は、「ほとんどしていない」が40.7%と最も高く、次いで「週3日以上している」が32.0%となっています。



⑥睡眠

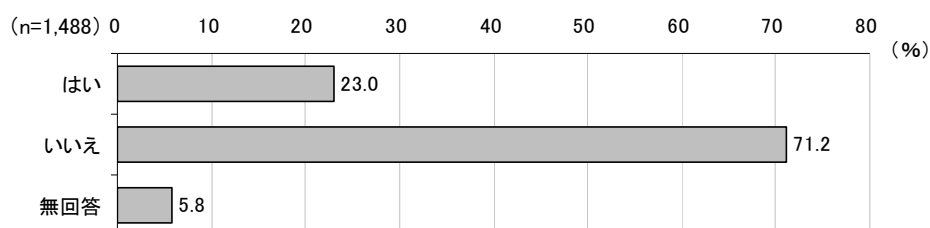
睡眠に関する生活習慣は、「まあまあ眠れている」が56.3%と最も高く、次いで「よく眠れている」が33.3%となっています。



問 22 健康状態や食べることについて、①～⑦それぞれに回答してください。（○はそれぞれ1つつ）

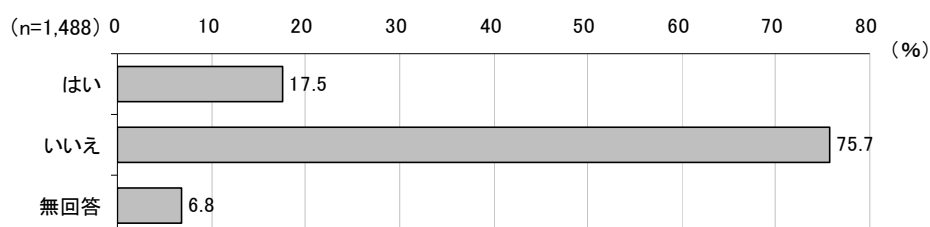
①この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかは、「いいえ」が71.2%で、「はい」の23.0%を上回っています。



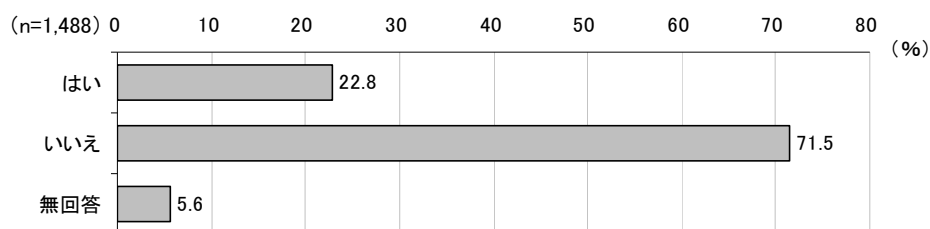
②この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかは、「いいえ」が75.7%で、「はい」の17.5%を上回っています。



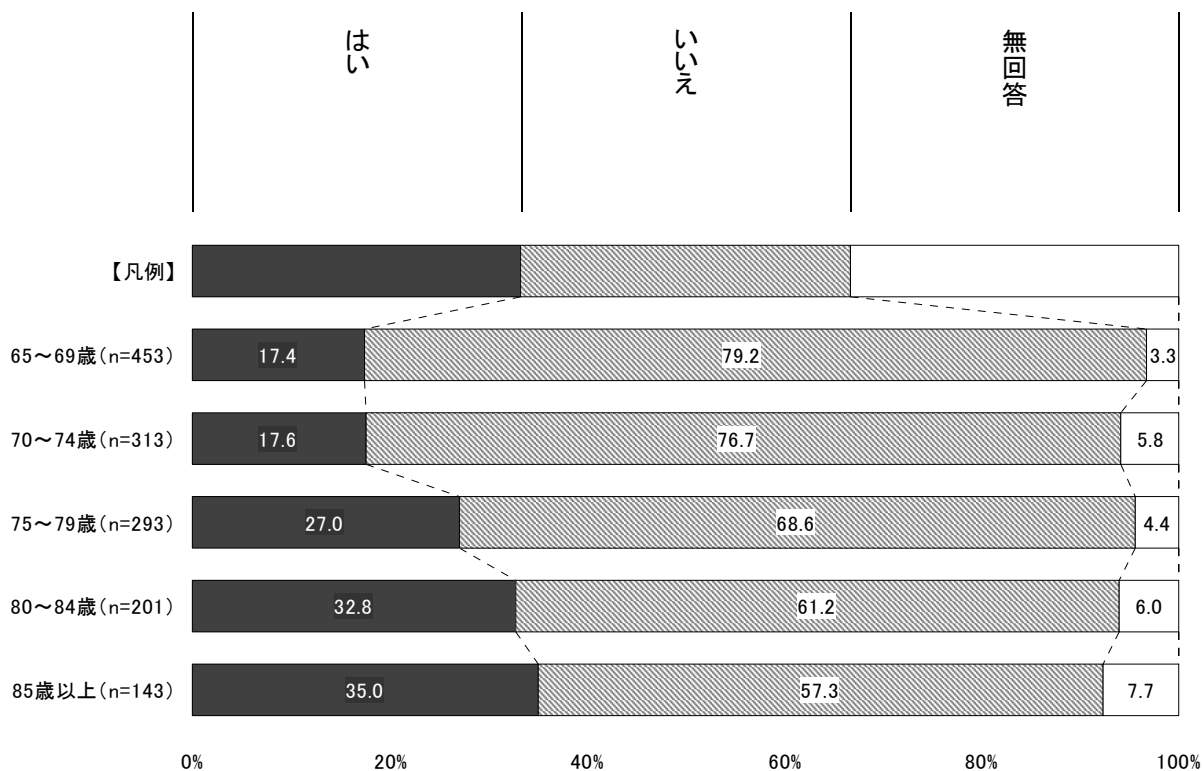
③半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、「いいえ」が71.5%で、「はい」の22.8%を上回っています。



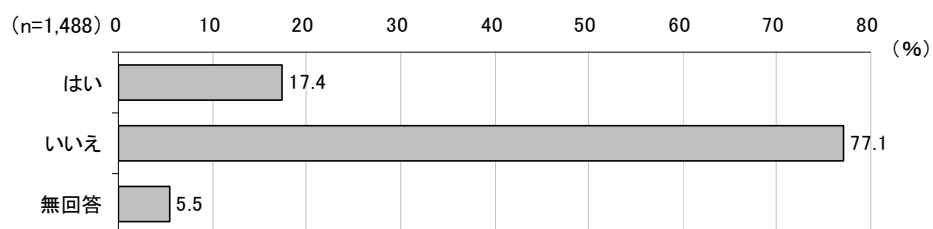
■年代別にみた半年前に比べての固いものが食べにくくなったかの状況

年代別にみると、すべての年代で「いいえ」が「はい」を上回っているものの、高齢になるほど「はい」の割合が高くなっています。



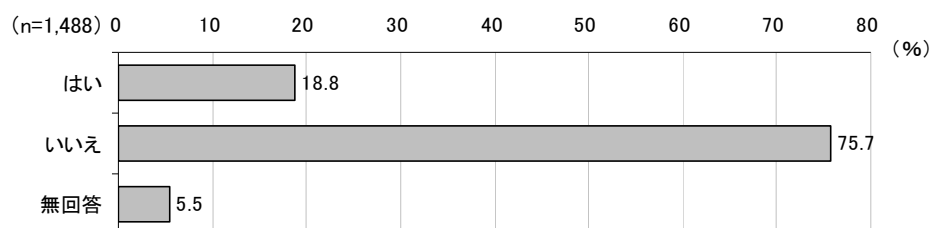
④お茶や汁物等でむせることがありますか

お茶や汁物等でむせることがあるかは、「いいえ」が77.1%で、「はい」の17.4%を上回っています。



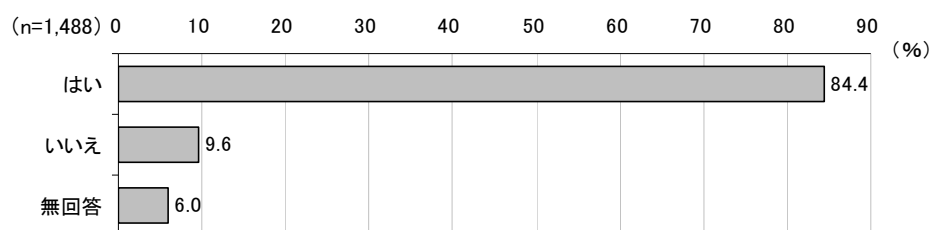
⑤口の渇きが気になりますか

口の渇きが気になるかは、「いいえ」が75.7%で、「はい」の18.8%を上回っています。



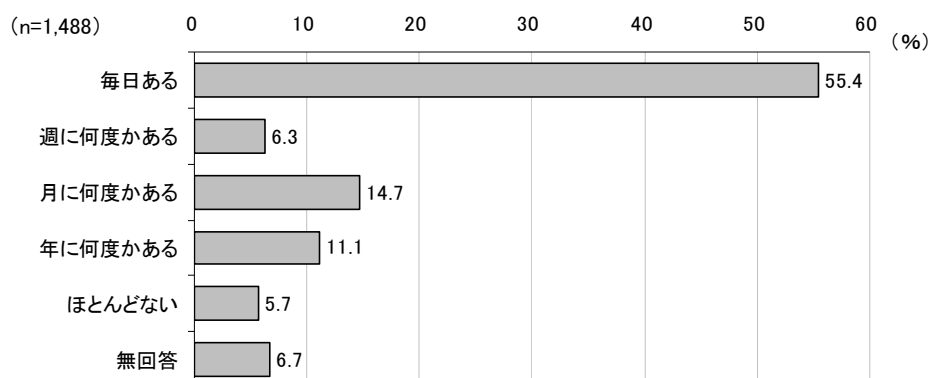
⑥歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかは、「はい」が84.4%で、「いいえ」の9.6%を上回っています。



⑦どなたかと食事をとにもする機会がありますか

誰かと食事をとにもする機会があるかは、「毎日ある」が55.4%と最も高く、次いで「月に何度かある」が14.7%、「年に何度かある」が11.1%となっています。



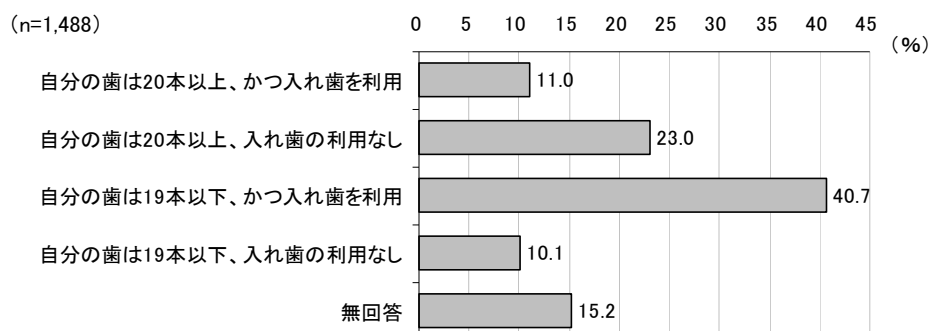
■家族構成別にみた誰かと食事をとにもする機会

家族構成別にみると、一人暮らし以外では「毎日ある」が最もおいのに対し、一人暮らしでは「月に何度かある」が最も高く、また、「ほとんどない」も1割を超え高くなっています。

単位 (%)	サンプル数 (人)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
一人暮らし	253	7.9	16.6	33.2	22.9	12.6	6.7
夫婦2人暮らし	604	63.2	3.8	11.4	10.8	3.8	7.0
息子・娘との2世帯	251	64.9	4.4	13.5	7.2	4.4	5.6
その他	265	73.2	4.9	7.2	5.7	4.2	4.9

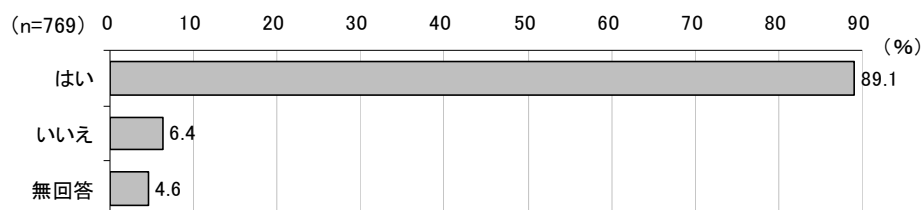
問 23 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）（1 つに○）

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 40.7%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 23.0%となっています。



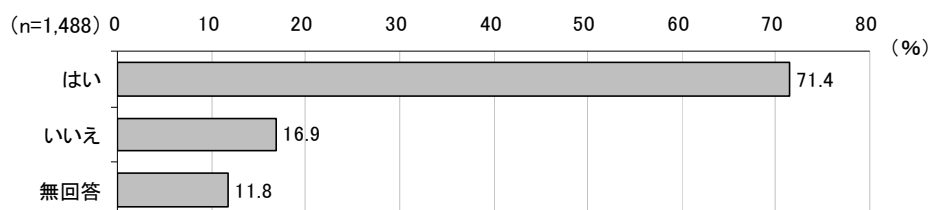
問 23-1 問 23 で「1 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と答えた方におききます。毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

毎日入れ歯の手入れをしているかは、「はい」が89.1%で、「いいえ」の6.4%を上回っています。



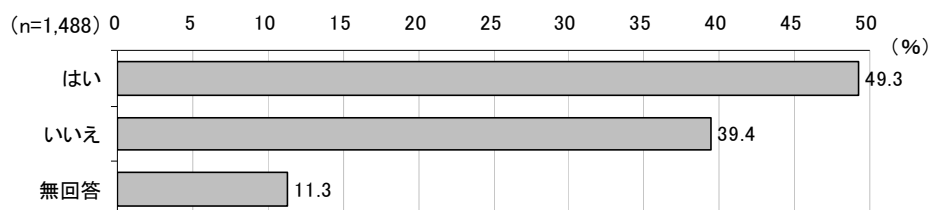
問 24 噛み合わせは良いですか。(1つに○)

噛み合わせは良いかは、「はい」が71.4%で、「いいえ」の16.9%を上回っています。



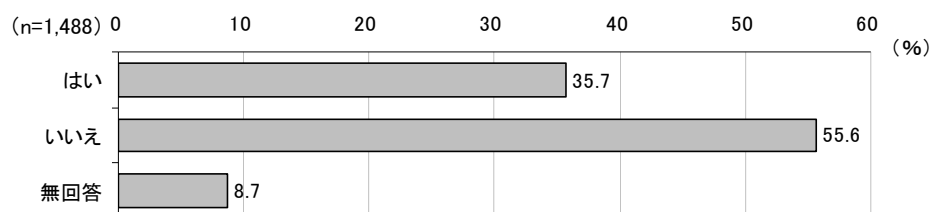
問 25 歯間清掃用具（デンタルフロス、糸楊枝、歯間ブラシ）を使っていますか。(1つに○)

歯間清掃用具を使っているかは、「はい」が49.3%で、「いいえ」の39.4%を上回っています。



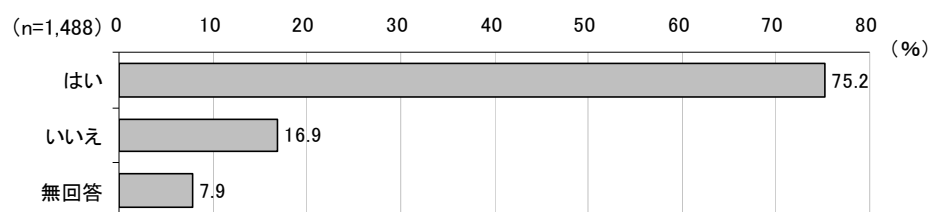
問 26 定期的に歯科検診を受けていますか。（1つに○）

定期的に歯科検診を受けているかは、「いいえ」が55.6%で、「はい」の35.7%を上回っています。



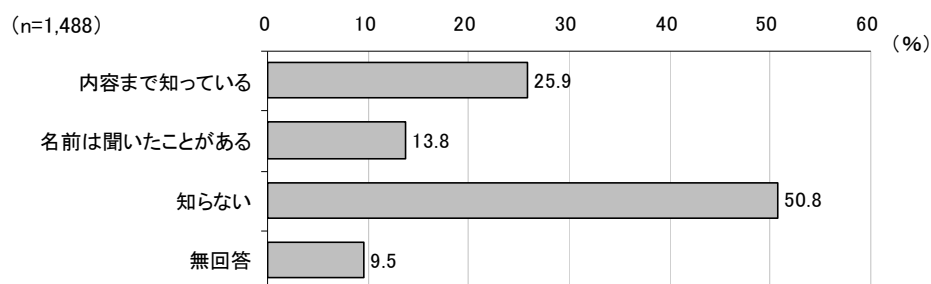
問 27 かかりつけ歯科医がありますか。（1つに○）

かかりつけ歯科医があるかについては、「はい」が75.2%と「いいえ」の16.9%を上回っています。



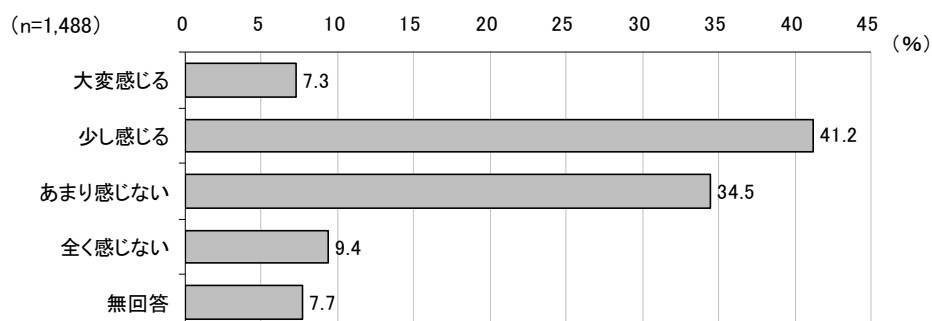
問 28 8020運動を知っていますか。（1つに○）

8020運動を知っているかは、「知らない」が50.8%と最も高く、次いで「内容まで知っている」が25.9%となっています。



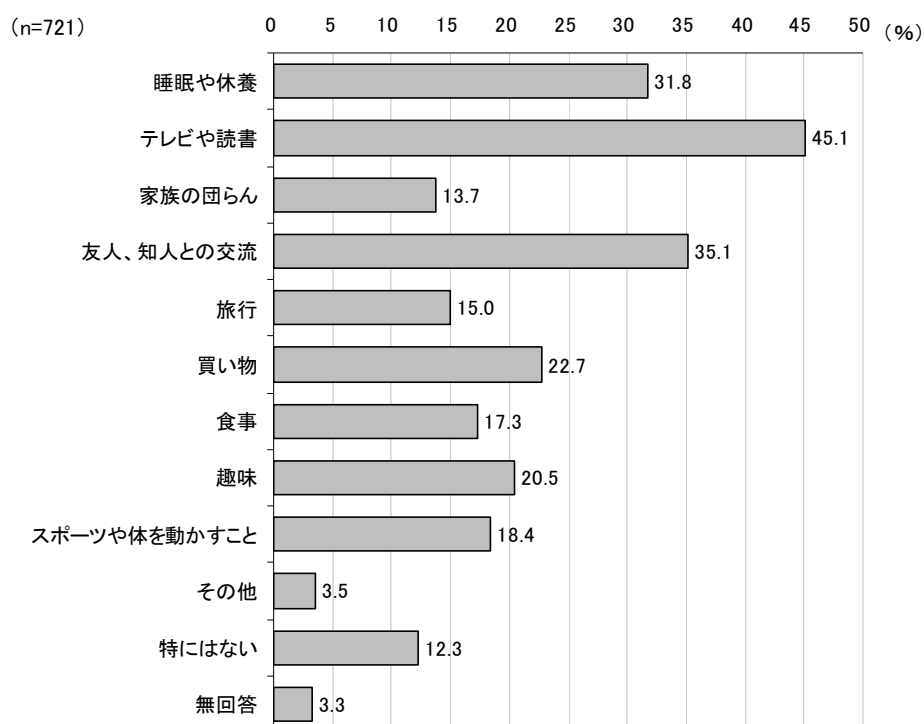
問 29 普段の生活でストレスを感じますか。(1つに○)

普段の生活でストレスを感じるかは、「少し感じる」が41.2%と最も高く、「大変感じる」の7.3%と合わせると、48.5%が『感じる』と回答しています。



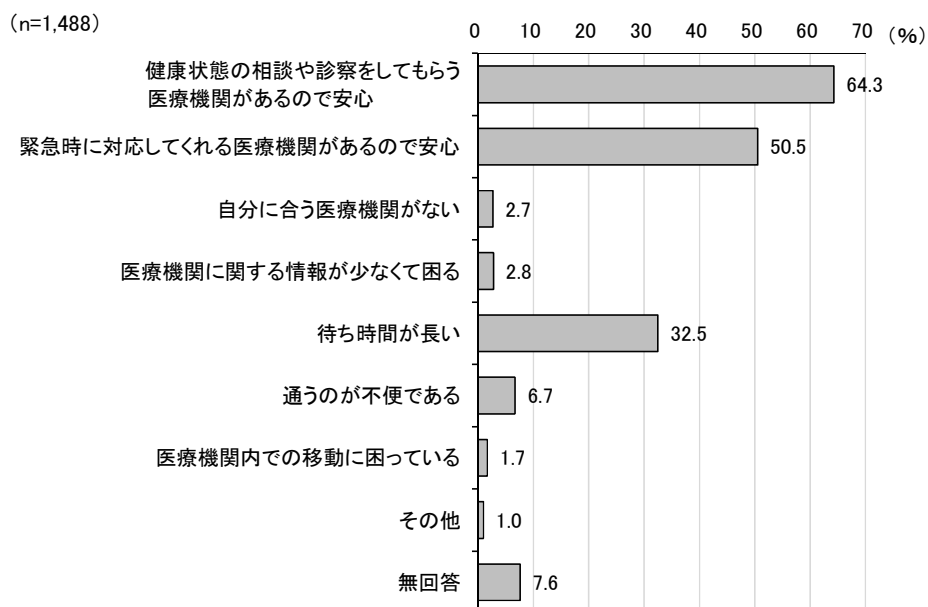
問 29-1 問 29 で「1 大変感じる」「2 少し感じる」と答えた方におききます。ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることは、「テレビや読書」が45.1%と最も高く、次いで「知人、友人との交流」が35.1%、「睡眠や休養」が31.8%となっています。



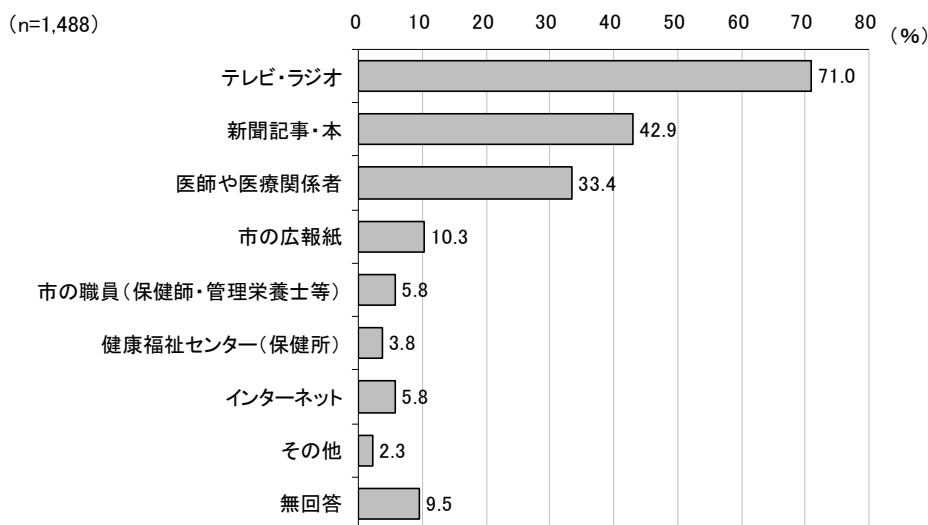
問 30 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

近隣の医療機関について、どのように感じているかは、「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」が64.3%と最も高く、次いで「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」が50.5%、「待ち時間が長い」が32.5%となっています。



問 31 健康維持や健康づくりなどに関する情報はどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

健康維持や健康づくりなどに関する情報はどこから得ているかは、「テレビ・ラジオ」が71.0%と最も高く、次いで「新聞記事・本」が42.9%、「医師や医療関係者」が33.4%となっています。



■年代、日常生活圏域別にみた健康維持や健康づくりに関する情報源

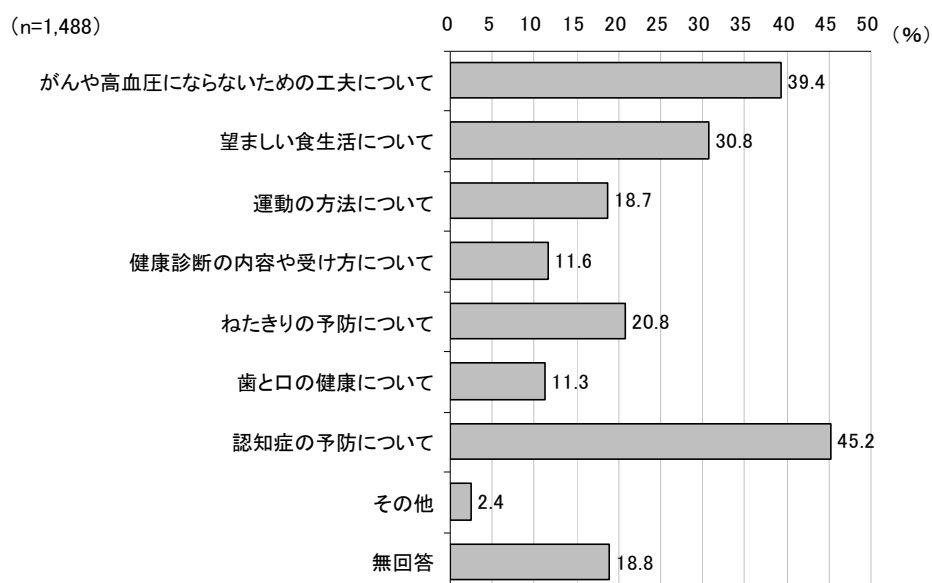
年代別にみると、すべての年代で「テレビ・ラジオ」が最も高く、特に 65～74 歳では 7 割を超えています。

日常生活圏域別にみると、すべての地区で「テレビ・ラジオ」が最も高くなっています。また、長狭地区では「市の職員（保健師・管理栄養士等）」が 1 割を超え、他の地区よりも高くなっています。

単位(%)		サンプル数(人)	テレビ・ラジオ	新聞記事・本	医師や医療関係者	市の広報紙	市の職員 (保健師・管理栄養士等)	健康福祉センター (保健所)	インターネット	その他	無回答
年代別	65～69歳	453	78.4	49.9	25.2	11.0	2.6	2.2	9.9	2.9	8.4
	70～74歳	313	73.8	45.4	34.2	11.5	7.0	2.2	5.4	2.9	8.0
	75～79歳	293	69.6	38.9	36.9	7.5	5.8	6.1	2.7	1.7	9.6
	80～84歳	201	64.7	35.8	37.8	12.4	10.4	5.5	4.0	1.5	11.4
	85歳以上	143	62.2	39.2	42.0	11.2	7.7	4.9	0.7	1.4	11.2
圏域別	鴨川地区	482	74.9	47.9	33.4	9.5	4.8	4.6	4.8	0.8	9.3
	長狭地区	245	69.8	42.4	33.5	13.1	13.5	5.7	3.3	2.0	7.8
	江見地区	242	67.8	40.1	33.5	12.4	6.6	2.1	5.4	3.7	9.1
	東条・天津小湊地区	429	71.3	41.5	33.3	9.3	2.6	2.8	8.4	3.3	10.3

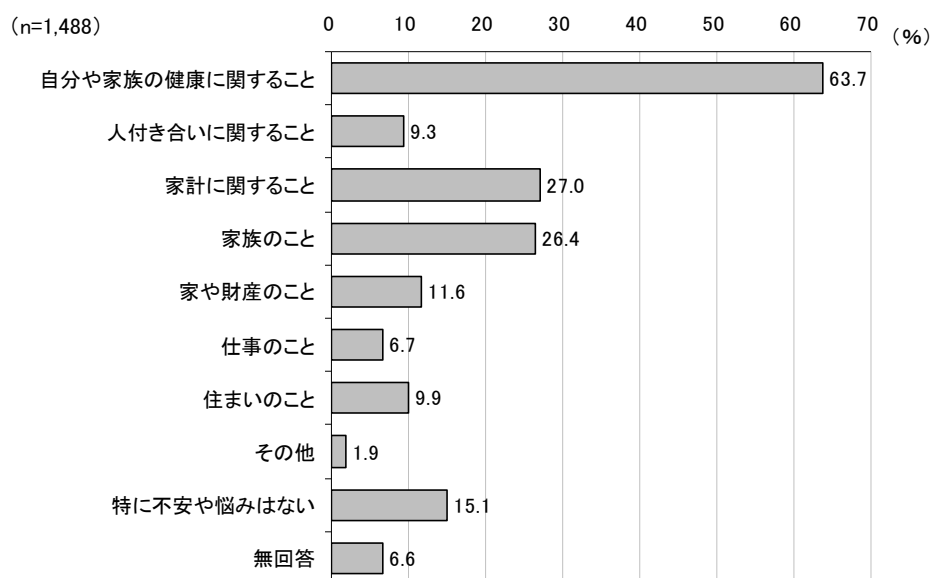
問 32 健康について主に知りたいことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

健康について主に知りたいことは、「認知症の予防について」が 45.2%と最も高く、次いで「がんや高血圧にならないための工夫について」が 39.4%、「望ましい食生活について」が 30.8%となっています。



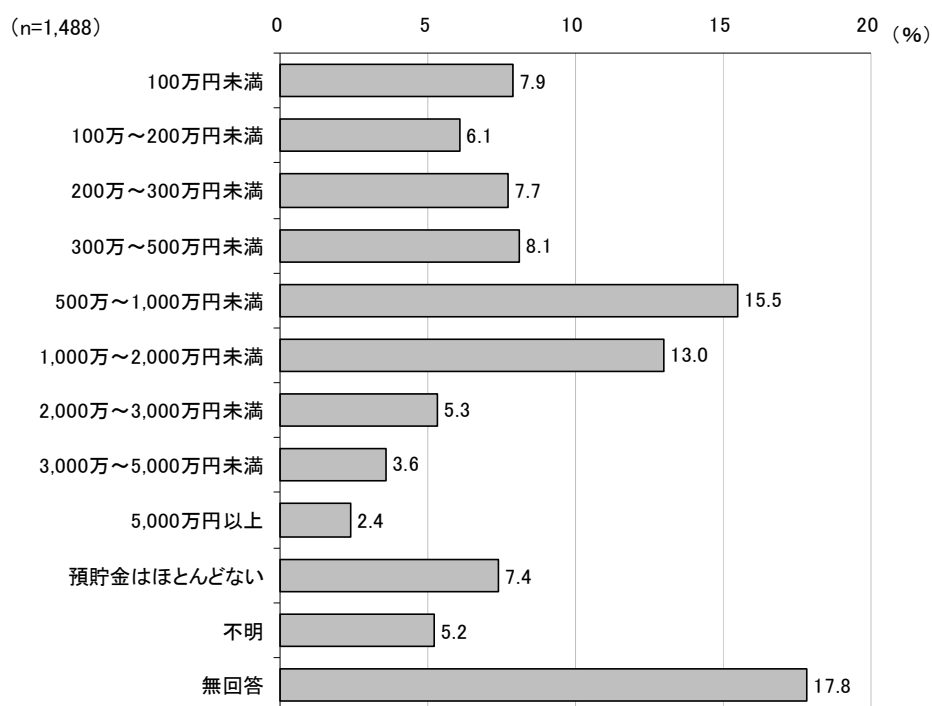
問 33 老後の生活でどのようなことが不安ですか。（あてはまるものすべてに○）

老後の生活で不安なことは、「自分や家族の健康に関すること」が63.7%と最も高く、次いで「家計に関すること」が27.0%、「家族のこと」が26.4%となっています。



問 34 生活の備えとしていくらかの預貯金額（銀行・郵便局等の口座の預貯金や手元で管理されている現金等を合わせた金額）がありますか。（1つに○）

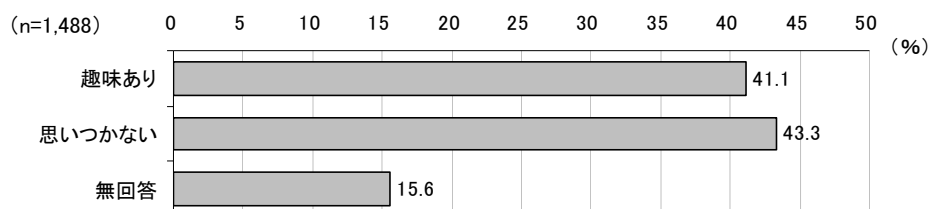
生活の備えとしていくらかの預貯金額があるかは、「500 万～1,000 万円未満」が15.5%と最も高く、次いで「1,000 万～2,000 万円未満」が13.0%となっています。



5 社会参加等について

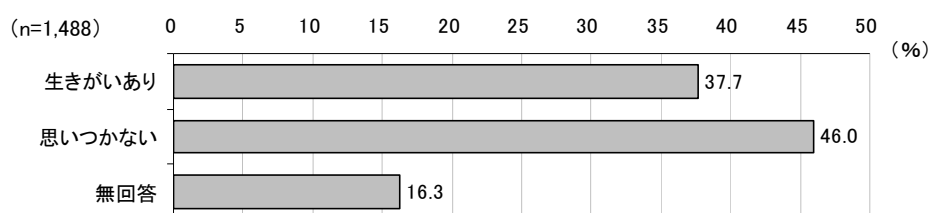
問 35 趣味はありますか。（1つに○）

趣味の有無は、「思いつかない」が43.3%で、「趣味あり」の41.1%をわずかに上回っています。



問 36 生きがいがありますか。（1つに○）

生きがいの有無は、「思いつかない」が46.0%で、「生きがいあり」の37.7%をわずかに上回っています。

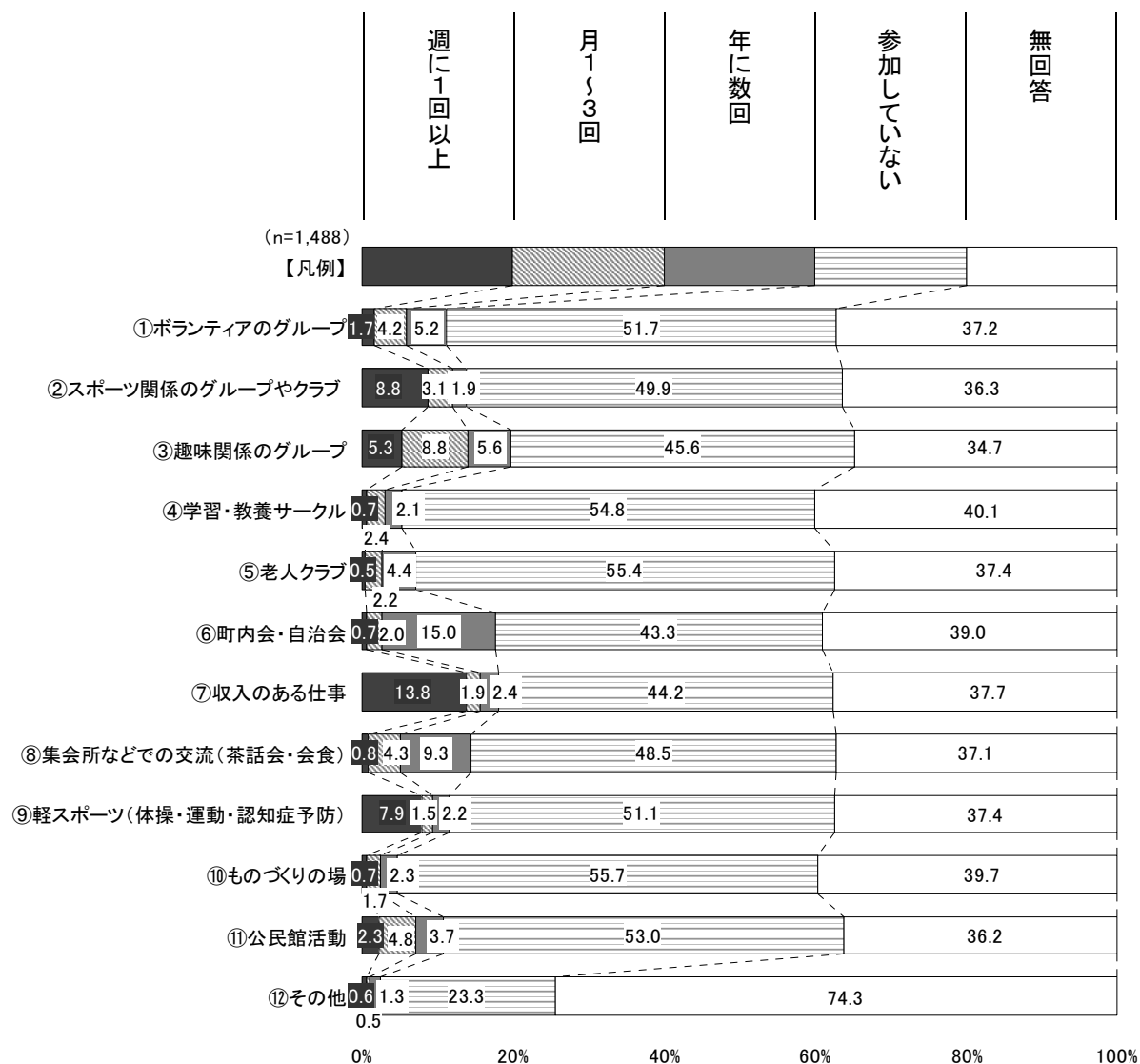


問 37 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑫それぞれに回答してください。（○はそれぞれ1つずつ）

各種会・グループ等への参加頻度は、すべての項目で「参加していない」が最も高くなっています。また、⑥町内会・自治会では「年に数回」が15.0%と、他の項目よりも高くなっています。

単位 (%)	サンプル数 (人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	1,488	0.2	0.5	1.0	4.2	5.2	51.7	37.2
②スポーツ関係のグループやクラブ	1,488	1.0	4.0	3.8	3.1	1.9	49.9	36.3
③趣味関係のグループ	1,488	0.5	2.2	2.6	8.8	5.6	45.6	34.7
④学習・教養サークル	1,488	0.0	0.4	0.3	2.4	2.1	54.8	40.1
⑤老人クラブ	1,488	0.2	0.2	0.1	2.2	4.4	55.4	37.4
⑥町内会・自治会	1,488	0.3	0.1	0.3	2.0	15.0	43.3	39.0
⑦収入のある仕事	1,488	8.2	4.7	0.9	1.9	2.4	44.2	37.7
⑧集会所などでの交流(茶話会・会食)	1,488	0.3	0.2	0.3	4.3	9.3	48.5	37.1
⑨軽スポーツ(体操・運動・認知症予防)	1,488	2.1	3.2	2.6	1.5	2.2	51.1	37.4
⑩ものづくりの場	1,488	0.1	0.3	0.3	1.7	2.3	55.7	39.7
⑪公民館活動	1,488	0.3	1.1	0.9	4.8	3.7	53.0	36.2
⑫その他	1,488	0.3	0.2	0.1	0.5	1.3	23.3	74.3

■「週に4回以上」、「週に2～3回」、「週に1回」の数値をまとめ、グラフ化した結果



■年代別にみた⑦収入のある仕事

年代別にみると、すべての年代で「参加していない」が最も高くなっています。また、「週4回以上」では年代が若くなるほどその割合が高くなっており、65～74歳では1割を超えています。

単位(%)	サンプル数(人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
65～69歳	453	13.5	7.7	0.7	3.1	2.9	48.1	24.1
70～74歳	313	11.5	6.1	2.2	1.6	3.8	45.4	29.4
75～79歳	293	2.4	3.1	0.7	1.7	1.4	41.6	49.1
80～84歳	201	4.5	0.0	0.0	1.5	2.5	41.3	50.2
85歳以上	143	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	42.7	55.9

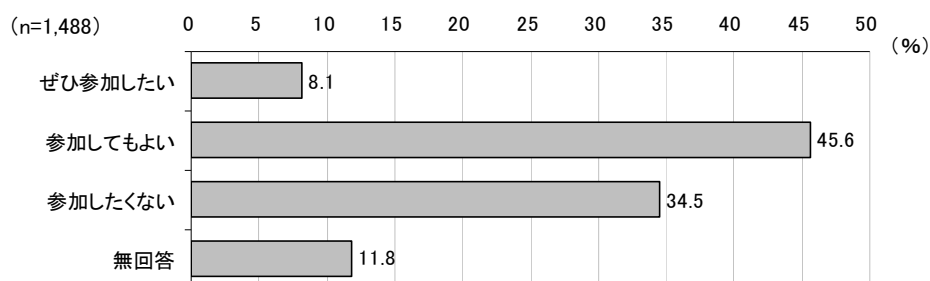
■日常生活圏域別にみた⑧集会所などでの交流（茶話会・会食）

日常生活圏域別にみると、すべての地区で「参加していない」が最も高くなっており、特に鴨川地区と東条・天津小湊地区では5割を超えています。また、長狭地区と江見地区では「年に数回」が1割から2割弱を占め、他の地区よりも高くなっています。

単位(%)	サンプル数(人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
鴨川地区	482	0.0	0.2	0.2	3.9	7.5	52.9	35.3
長狭地区	245	0.8	0.0	0.0	5.3	19.2	40.4	34.3
江見地区	242	0.4	0.8	0.4	5.8	11.2	43.8	37.6
東条・天津小湊地区	429	0.5	0.0	0.5	3.5	4.2	50.8	40.6

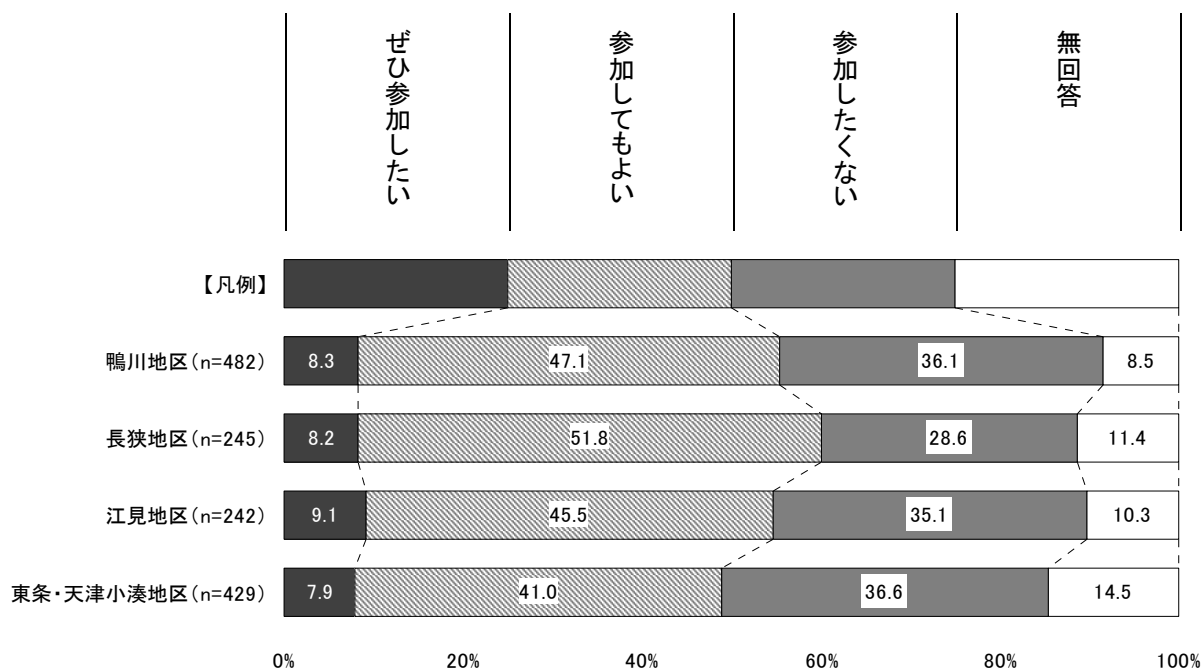
問 38 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

地域住民の有志によるグループ活動等への参加意向は、「参加してもよい」が45.6%と最も高く、次いで「参加したくない」が34.5%となっています。



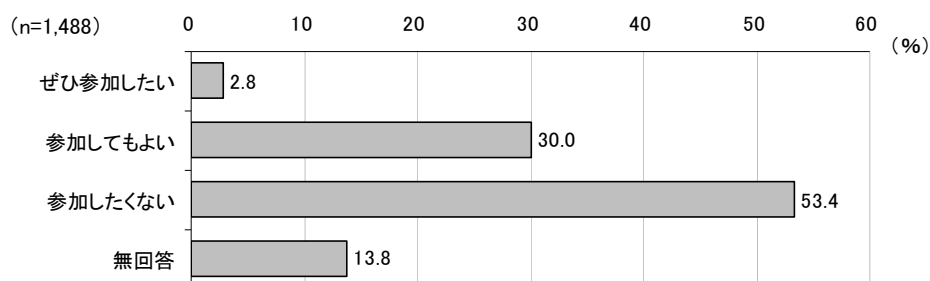
■日常生活圏域別にみたグループ活動等への参加意向

日常生活圏域別にみると、すべての地区で「参加してもよい」が最も高く、特に長狭地区では5割を超えています。一方で、鴨川地区、江見地区、東条・天津小湊地区では「参加したくない」が3割半ばを占め、他の地区よりも高くなっています。



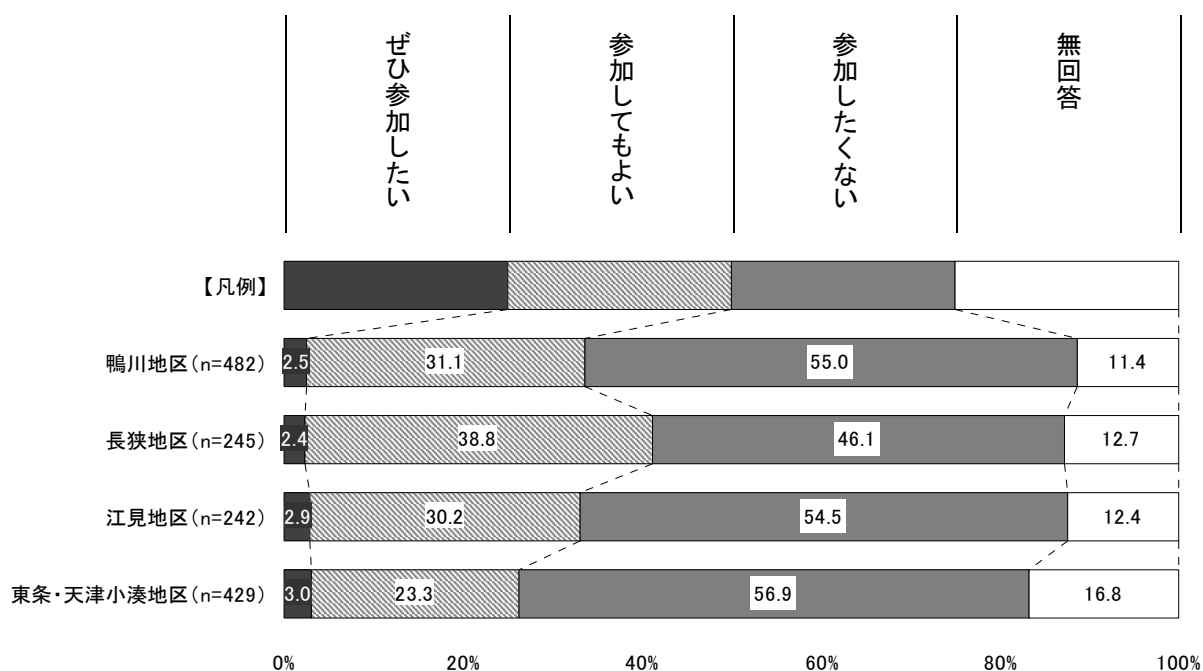
問 39 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

地域住民の有志によるグループ活動等への企画・運営としての参加意向は、「参加したくない」が53.4%と最も高く、次いで「参加してもよい」が30.0%となっています。



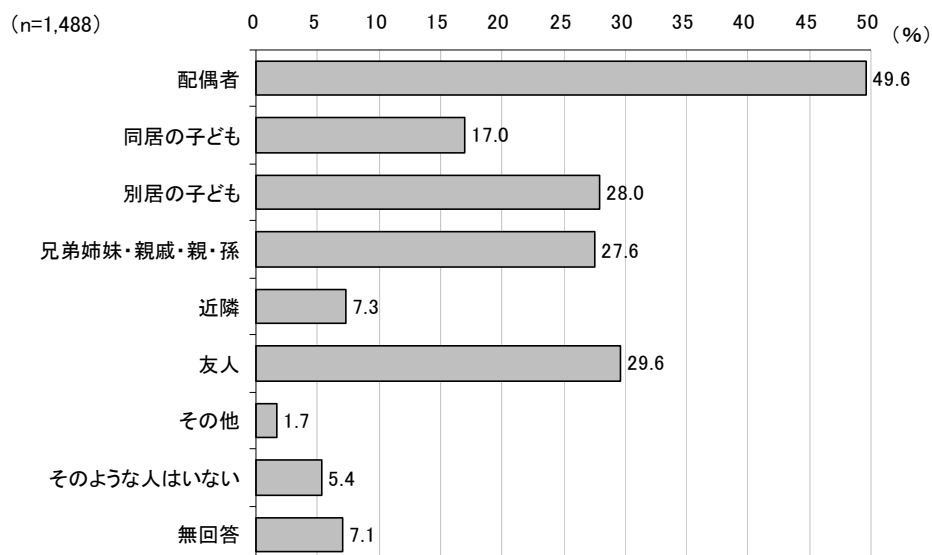
■日常生活圏域別にみたグループ活動等への企画・運営としての参加意向

日常生活圏域別にみると、すべての地区で「参加したくない」が最も高くなっていますが、長狭地区では「参加してもよい」が4割弱と他の地区より高くなっています。



問 40 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が49.6%と最も高く、次いで「友人」が29.6%、「別居の子ども」が28.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.6%となっています。



■年代、家族構成別にみた心配事や愚痴を聞いてくれる人

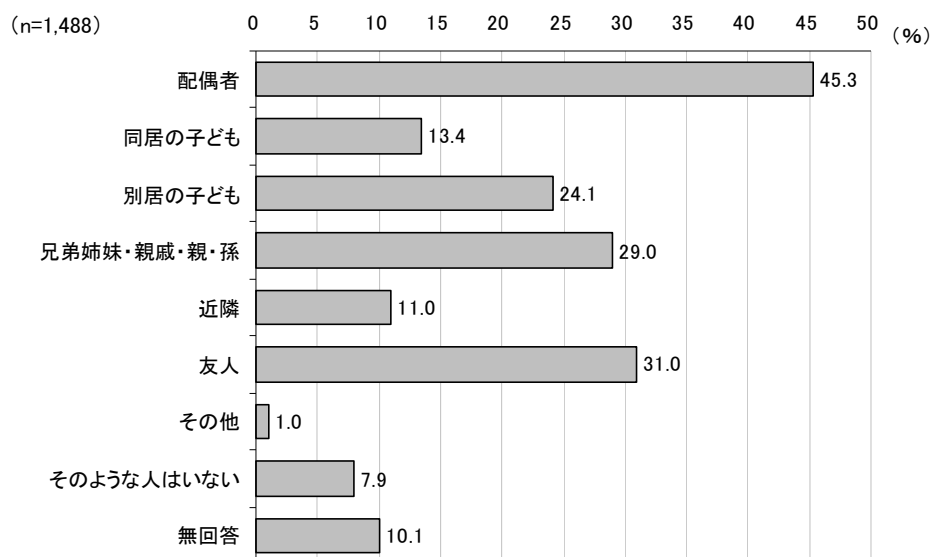
年代別にみると、65～84歳では「配偶者」、85歳以上では「同居の子ども」が最も高くなっています。

家族構成別にみると、一人暮らしでは「友人」、夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯およびその他では「配偶者」が最も高くなっています。また、一人暮らしでは「そのような人はいない」が1割を超え、他の項目よりも高くなっています。

単位 (%)		サンプル数 (人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
年代別	65～69歳	453	56.5	15.0	27.4	30.2	7.3	38.6	2.2	5.1	5.7
	70～74歳	313	55.0	14.7	25.2	24.0	5.1	32.6	1.6	7.3	4.8
	75～79歳	293	49.8	11.6	26.6	27.0	7.5	25.9	0.7	6.1	6.8
	80～84歳	201	43.3	26.4	32.8	26.9	9.0	24.9	2.5	3.5	8.0
	85歳以上	143	25.2	30.8	31.5	26.6	7.7	11.9	0.7	4.9	12.6
家族構成別	一人暮らし	253	2.8	0.0	36.4	34.8	11.9	41.5	2.8	13.4	7.5
	夫婦2人暮らし	604	74.0	3.5	32.8	24.8	6.3	28.6	1.2	3.0	6.5
	息子・娘との2世帯	251	47.0	48.6	16.3	25.5	6.0	23.9	0.8	4.4	6.8
	その他	265	43.4	34.7	21.9	26.8	5.7	27.9	3.0	4.9	5.7

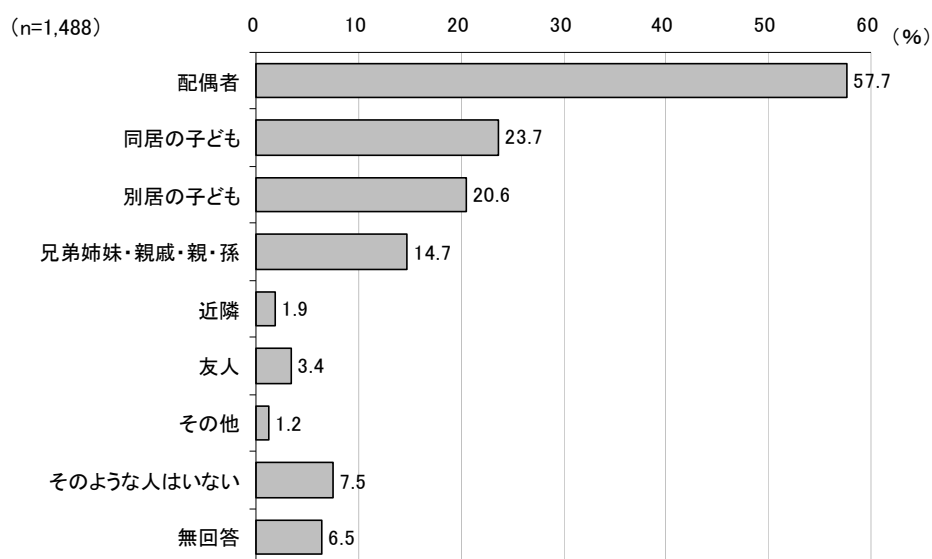
問 41 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」が45.3%と最も高く、次いで「友人」が31.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.0%、「別居の子ども」が24.1%となっています。



問 42 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が57.7%と最も高く、次いで「同居の子ども」が23.7%、「別居の子ども」が20.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が14.7%となっています。



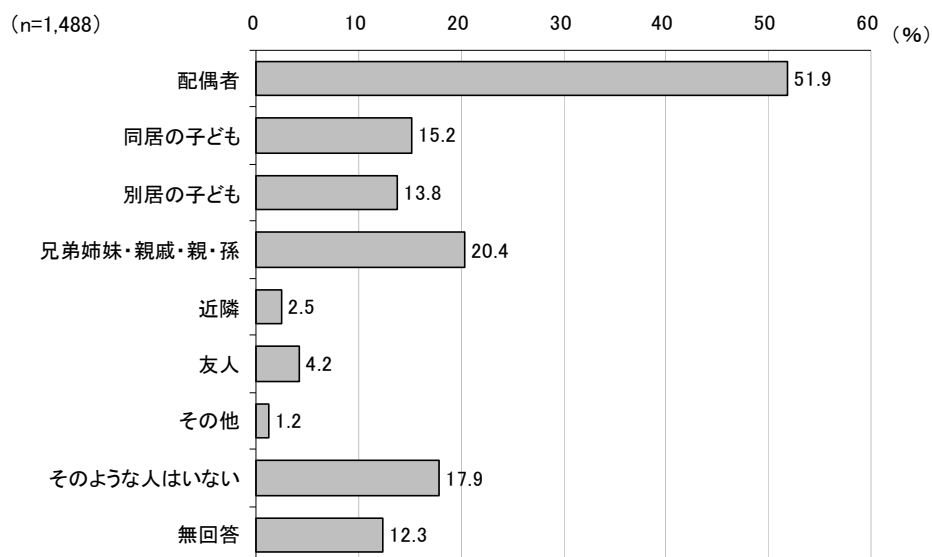
■家族構成別にみた看病や世話をしてくれる人

家族構成別にみると、一人暮らしでは「別居の子ども」、夫婦2人暮らしおよびその他では「配偶者」、息子・娘との2世帯では「同居の子ども」が最も高くなっています。また、一人暮らしでは「そのような人はいない」が2割半ばを占め、他の項目よりも高くなっています。

単位(%)	サンプル数(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一人暮らし	253	3.2	1.6	34.8	25.7	4.0	9.1	4.7	25.7	7.5
夫婦2人暮らし	604	83.6	4.1	23.0	12.4	1.3	2.3	0.3	3.0	5.8
息子・娘との2世帯	251	53.8	64.9	9.2	10.8	0.4	0.4	0.0	2.0	7.2
その他	265	54.0	47.5	15.5	12.8	2.6	3.0	1.5	6.0	4.2

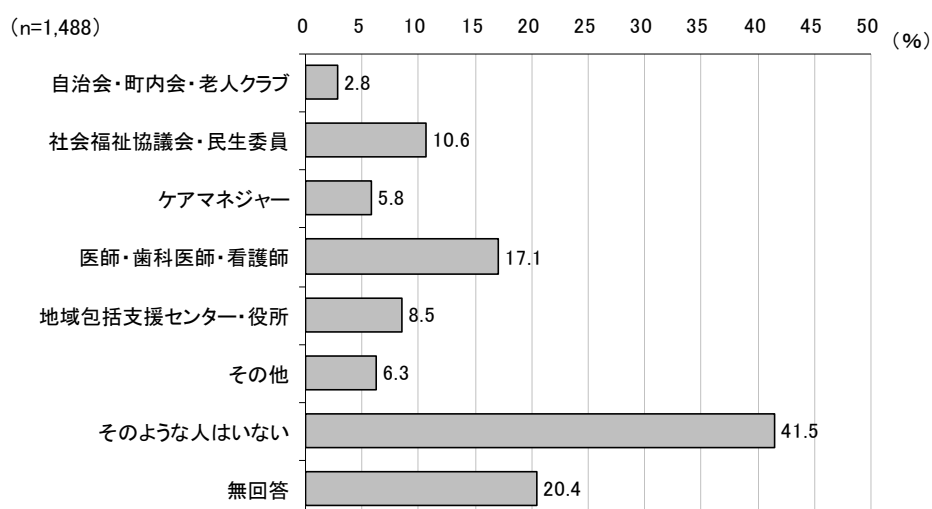
問 43 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が51.9%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.4%、「そのような人はいない」が17.9%となっています。



問 44 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えて下さい。（あてはまるものすべてに○）

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「そのような人はいない」が41.5%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が17.1%、「社会福祉協議会・民生委員」が10.6%となっています。



■年代、日常生活圏域別にみた相談相手

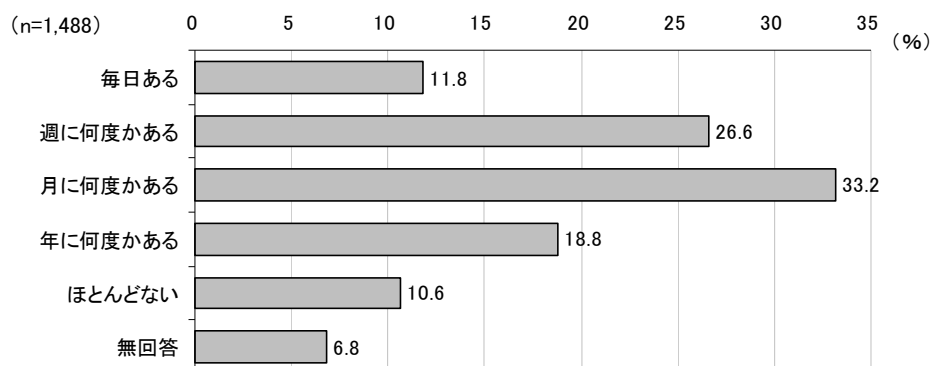
年代別にみると、すべての年代で「そのような人はいない」が最も高く、特に65～74歳では4割半ばから5割以上を占めています。また、80歳以上では「社会福祉協議会・民生委員」が1割半ばと、他の年代よりもやや高くなっています。

日常生活圏域別にみると、すべての地区で「そのような人はいない」が最も高くなっています。また、長狭地区では「社会福祉協議会・民生委員」や「地域包括支援センター・役所」、東条・天津小湊地区では「医師・歯科医師・看護師」が他の地区よりもやや高くなっています。

単位 (%)		サンプル数 (人)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答
年代別	65～69歳	453	2.6	6.6	5.5	16.6	7.3	7.9	51.4	13.0
	70～74歳	313	2.6	9.9	7.3	11.8	11.8	6.4	46.0	16.3
	75～79歳	293	2.0	12.6	4.8	18.8	7.8	5.5	39.2	23.2
	80～84歳	201	3.5	16.4	5.0	21.9	10.0	5.0	26.9	29.4
	85歳以上	143	4.2	15.4	7.0	22.4	6.3	2.8	28.0	30.8
圏域別	鴨川地区	482	3.5	9.3	6.0	14.7	7.5	6.2	42.1	21.6
	長狭地区	245	3.7	18.8	6.5	18.0	13.1	5.7	38.0	16.3
	江見地区	242	2.9	7.9	5.8	16.1	8.7	7.0	43.8	18.6
	東条・天津小湊地区	429	1.4	10.0	5.1	20.5	7.7	6.1	42.0	21.0

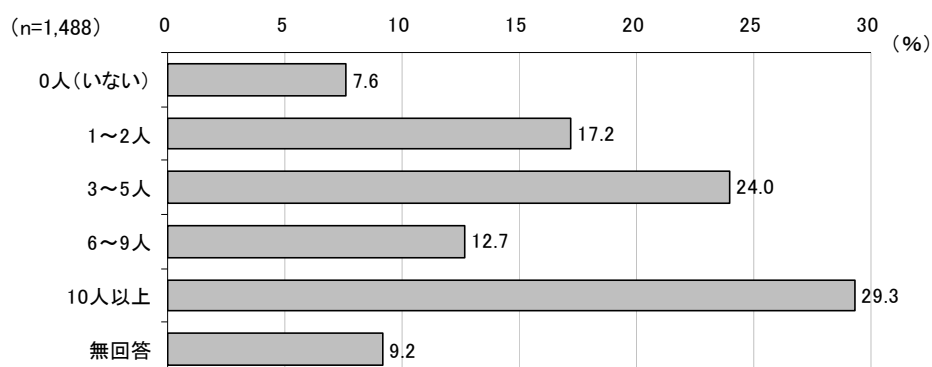
問 45 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（あてはまるものすべてに○）

友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」が 33.2%と最も高く、次いで「週に何度かある」が 26.6%、「年に何度かある」が 18.8%となっています。



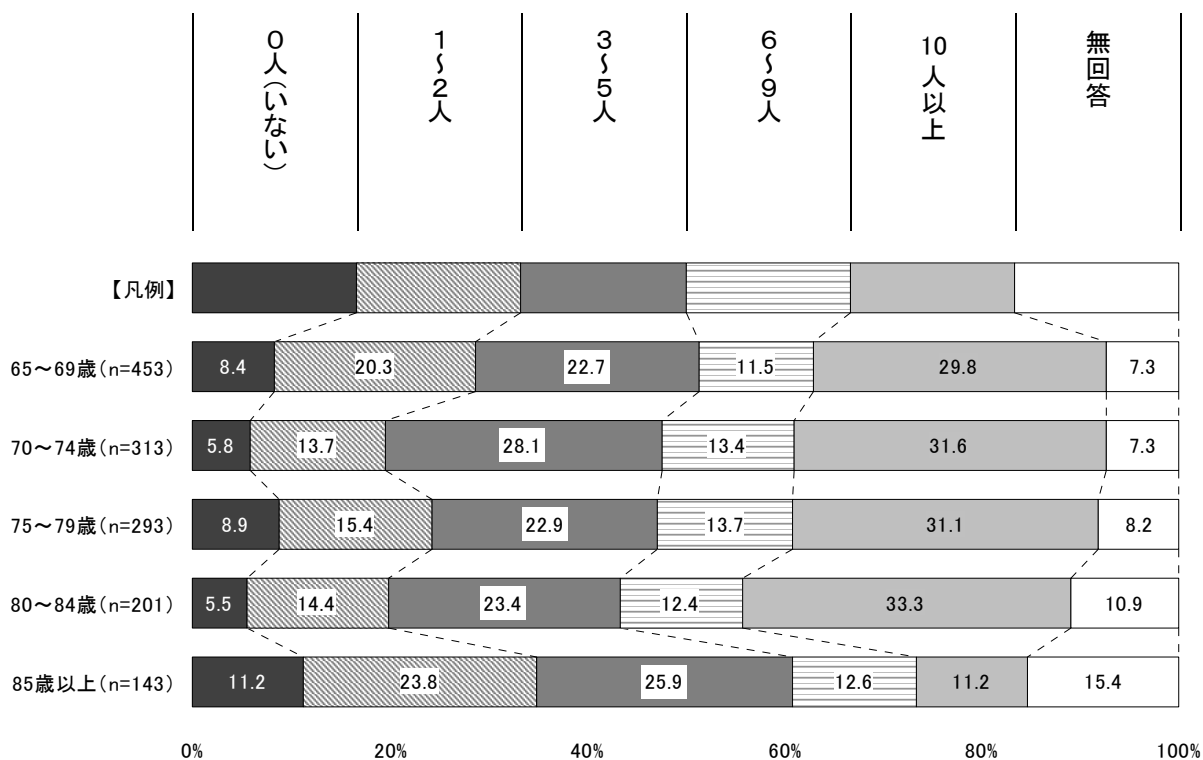
問 46 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。（1つに○）

この1か月間、何人の友人・知人と会ったかは、「10人以上」が 29.3%と最も高く、次いで「3～5人」が 24.0%、「1～2人」が 17.2%となっています。



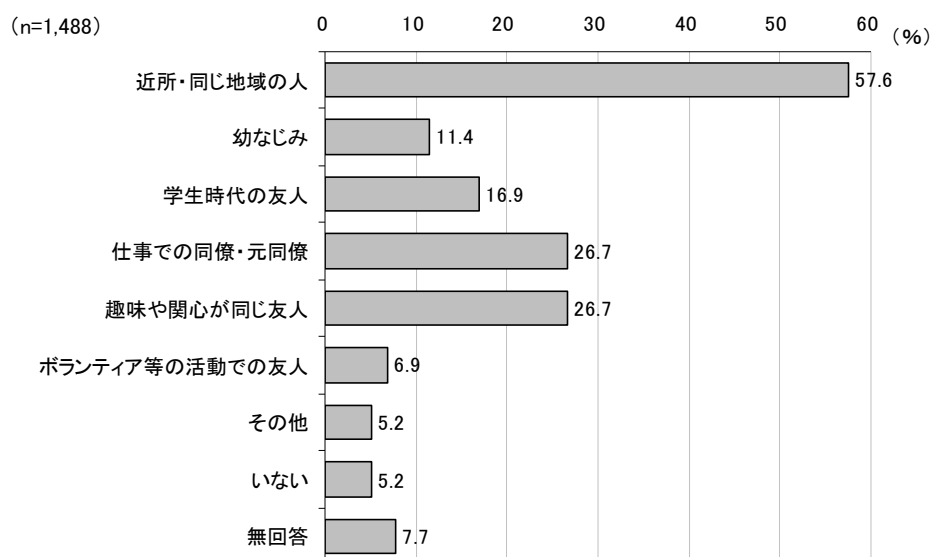
■年代別にみたこの1か月間に会った友人・知人

年代別にみると、65～84歳では「10人以上」、85歳以上では「3～5人」が最も高くなっています。また、85歳以上では「1～2人」が2割を超え、他の年代よりも高くなっています。



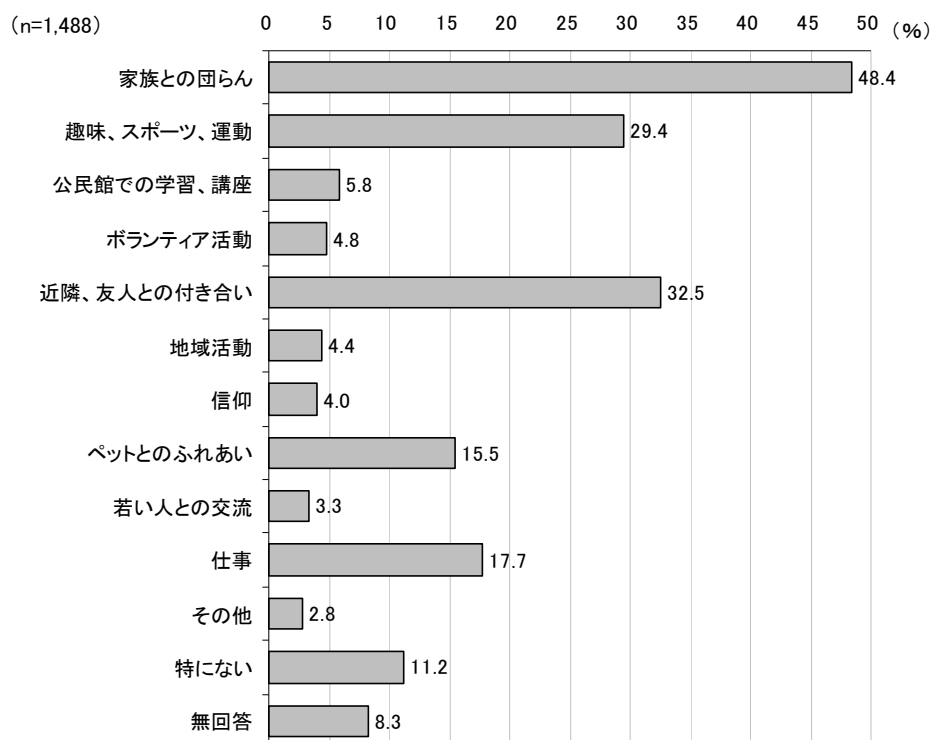
問 47 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（あてはまるものすべてに○）

よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が57.6%と最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」と「趣味や関心が同じ友人」がともに26.7%となっています。



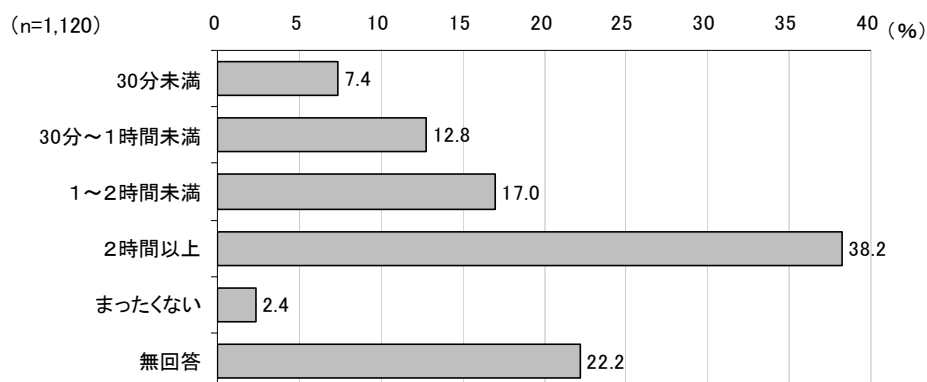
問 48 現在の心の支えや楽しみは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

現在の心の支えや楽しみは、「家族との団らん」が48.4%と最も高く、次いで「近隣、友人との付き合い」が32.5%、「趣味、スポーツ、運動」が29.4%となっています。



問 49 （ご家族等と同居しておられる方のみお答えください。） 平日の家族等との団らんの時間がどれぐらいありますか。（1つに○）

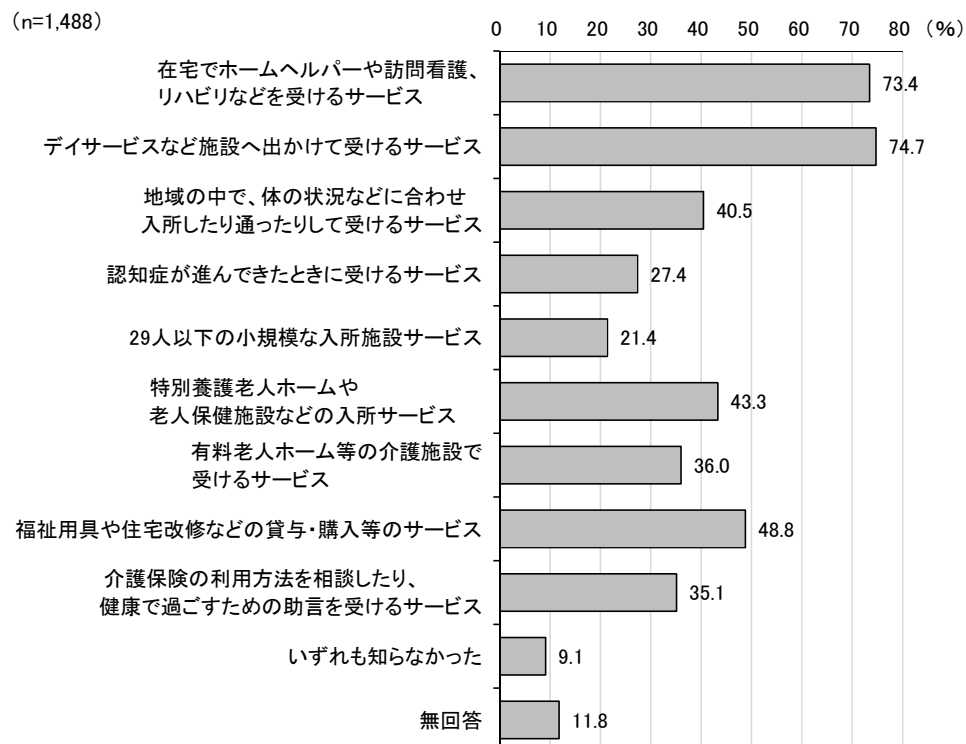
平日の家族等との団らんの時間は、「2時間以上」が38.2%と最も高く、次いで「1～2時間未満」が17.0%、「30分～1時間未満」が12.8%となっています。



6 介護保険について

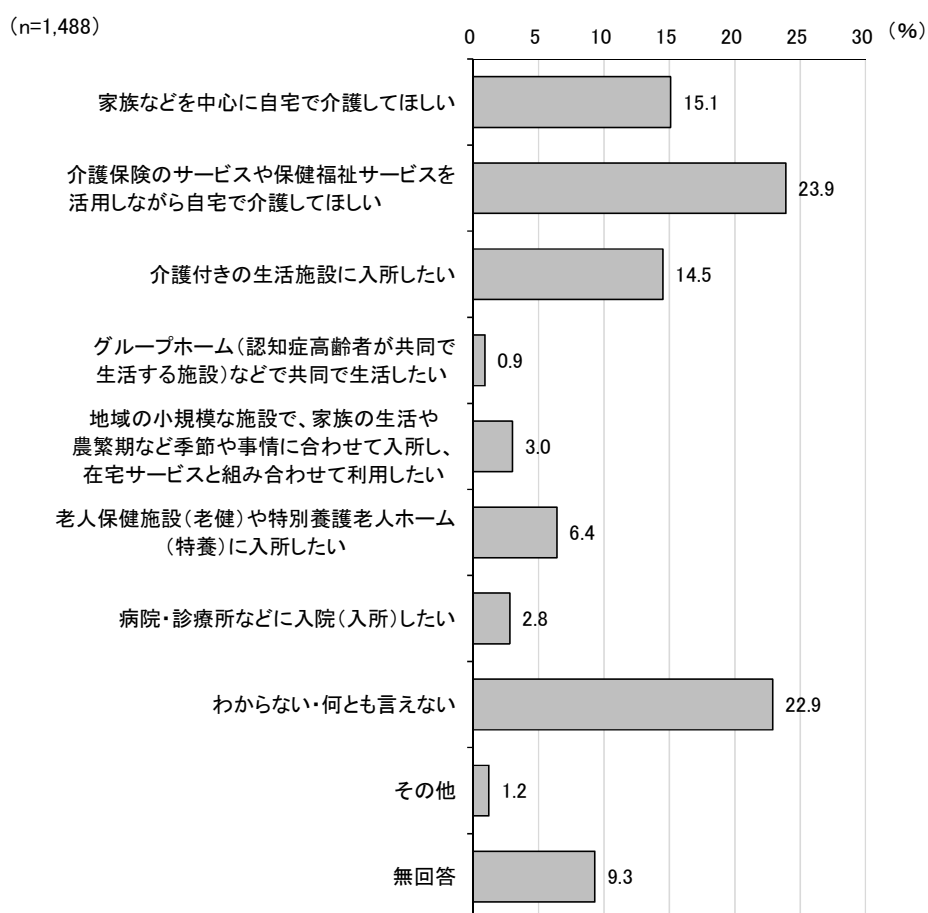
問 50 介護保険で次のようなサービスが受けられることを知っていましたか。（知っていたものすべてのものに○をつけてください。）

介護保険で受けられるサービスの認知は、「デイサービスなど施設へ出かけて受けるサービス」が74.7%と最も高く、次いで「在宅でホームヘルパーや訪問看護、リハビリなどを受けるサービス」が73.4%、「福祉用具や住宅改修などの貸与・購入等のサービス」が48.8%となっています。



問 51 今後、もしご自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(1
つに○)

今後、自分に介護が必要になった場合については、「介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい」が23.9%と最も高く、次いで「わからない・何とも言えない」が22.9%、「家族などを中心に自宅で介護してほしい」が15.1%、「介護付きの生活施設に入所したい」が14.5%となっています。



■年代、日常生活圏域、家族構成別にみた今後、介護が必要になった場合の意向

年代別にみると、65～74 歳では「わからない・何とも言えない」、75 歳以上では「介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい」が最も高くなっています。また、「家族などを中心に自宅で介護してほしい」が高齢になるほど割合が高くなっており、80～84 歳で2割以上、85 歳以上で3割以上となっています。

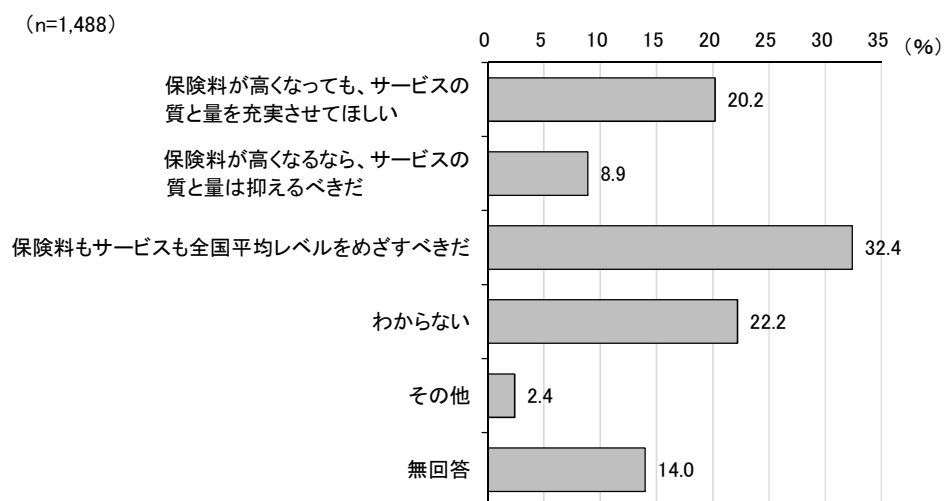
日常生活圏域別にみると、鴨川地区および長狭地区では「介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい」、江見地区と東条・天津小湊地区では「わからない・何とも言えない」が最も高くなっています。

家族構成別にみると、一人暮らしおよびその他では「わからない・何とも言えない」、夫婦2人暮らしと息子・娘との2世帯では「介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい」が最も高くなっています。また、一人暮らしでは「介護付きの生活施設に入所したい」、息子・娘との2世帯では「家族などを中心に自宅で介護してほしい」が他の項目よりも高くなっています。

単位 (%)		サンプル数 (人)	家族などを中心に自宅で介護してほしい	介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい	介護付きの生活施設に入所したい	グループホーム（認知症高齢者が共同で生活する施設）などで共同で生活したい	地域の小規模な施設で、家族の生活や農繁期など季節や事情に合わせて入所し、在宅サービスと組み合わせて利用したい	老人保健施設（老健）や特別養護老人ホーム（特養）に入所したい	病院・診療所などに入院（入所）したい	わからない・何とも言えない	その他	無回答
年代別	65～69歳	453	10.2	21.9	16.3	0.9	3.1	8.8	0.9	28.9	1.3	7.7
	70～74歳	313	12.5	24.9	16.6	0.3	3.5	5.4	3.5	25.2	1.9	6.1
	75～79歳	293	13.0	28.7	14.3	1.0	2.4	7.8	2.7	20.8	0.7	8.5
	80～84歳	201	21.4	28.4	13.4	0.5	3.5	1.5	3.0	17.9	1.0	9.5
	85歳以上	143	32.9	20.3	8.4	0.7	1.4	4.9	8.4	9.8	0.7	12.6
圏域別	鴨川地区	482	15.1	26.6	16.8	0.8	2.3	5.2	3.3	22.4	0.8	6.6
	長狭地区	245	15.1	26.1	12.2	1.2	4.1	8.2	3.7	20.4	1.2	7.8
	江見地区	242	11.6	25.6	16.9	0.4	1.2	4.1	2.1	28.1	2.9	7.0
	東条・天津小湊地区	429	17.5	21.2	12.6	0.5	3.7	8.2	2.3	21.9	0.5	11.7
家族構成別	一人暮らし	253	5.5	23.7	19.8	2.0	1.2	8.7	2.4	25.7	2.4	8.7
	夫婦2人暮らし	604	14.9	27.6	14.6	0.5	2.3	6.3	3.0	22.0	0.8	7.9
	息子・娘との2世帯	251	21.9	24.7	11.2	0.4	5.2	3.6	2.4	21.9	0.4	8.4
	その他	265	19.2	18.9	14.7	0.4	4.2	5.3	3.0	24.5	1.5	8.3

問 52 今後、平成 30 年度に介護保険料が改定される予定となっていますが、介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。（1つに○）

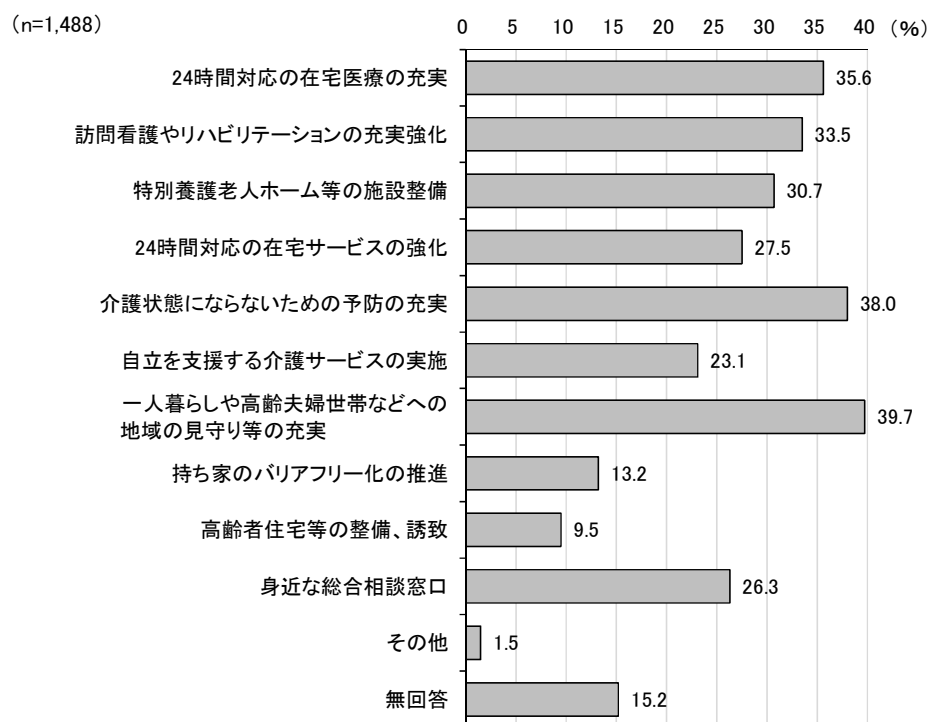
介護保険のサービスと保険料の関係は、「保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ」が 32.4%と最も高く、次いで「わからない」が 22.2%、「保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい」が 20.2%となっています。



7 今後の高齢者施策について

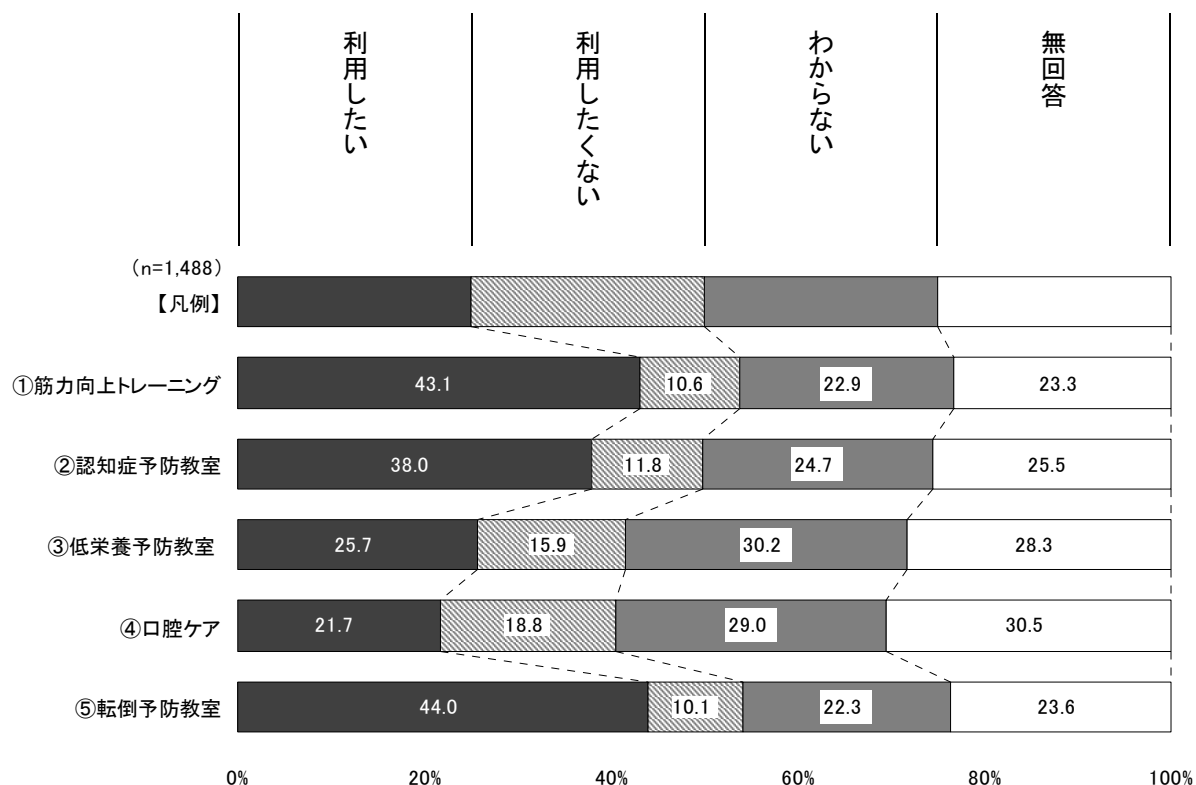
問 53 国においては、日常の生活圏域における総合的なケアシステムの充実を、今後の施策の中心として進めていく予定です。鴨川市として、次に挙げる対策のうちどの対策を優先すべきだと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

鴨川市で優先すべき対策は、「一人暮らしや高齢世帯などへの地域の見守り等の充実」が39.7%と最も高く、次いで「介護状態にならないための予防の充実」が38.0%、「24 時間対応の在宅医療の充実」が35.6%、「訪問看護やリハビリテーションの充実強化」が33.5%、「特別養護老人ホーム等の施設整備」が30.7%となっています。



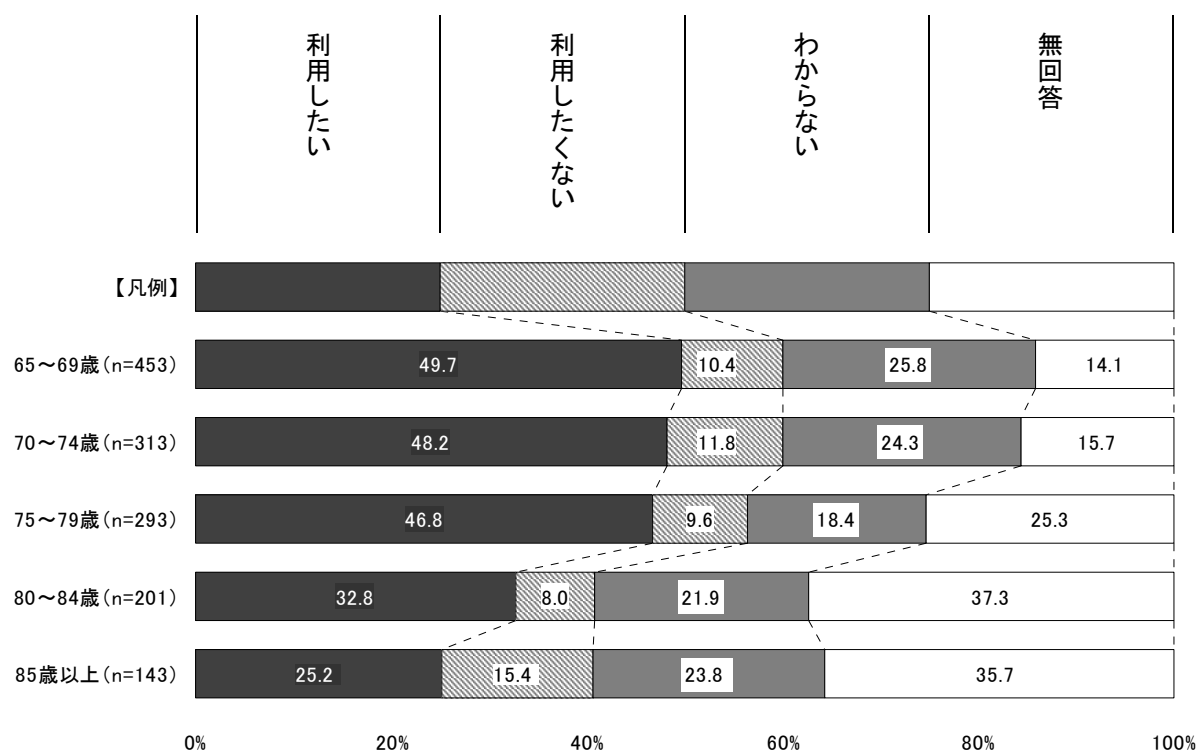
問 54 今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスがあるとしたら、利用したいと
 思いますか。①～⑤それぞれに回答してください。（〇はそれぞれ1つずつ）

介護予防のための保健福祉サービスの利用意向は、「利用したい」が⑤転倒予防教室で最も
 高く 44.0%、①筋力向上トレーニングが 43.1%、②認知症予防教室が 38.0%と続いてい
 ます。また、③低栄養予防教室や④口腔ケアでは「わからない」が3割前後と、他の項目よ
 りもやや高くなっています。



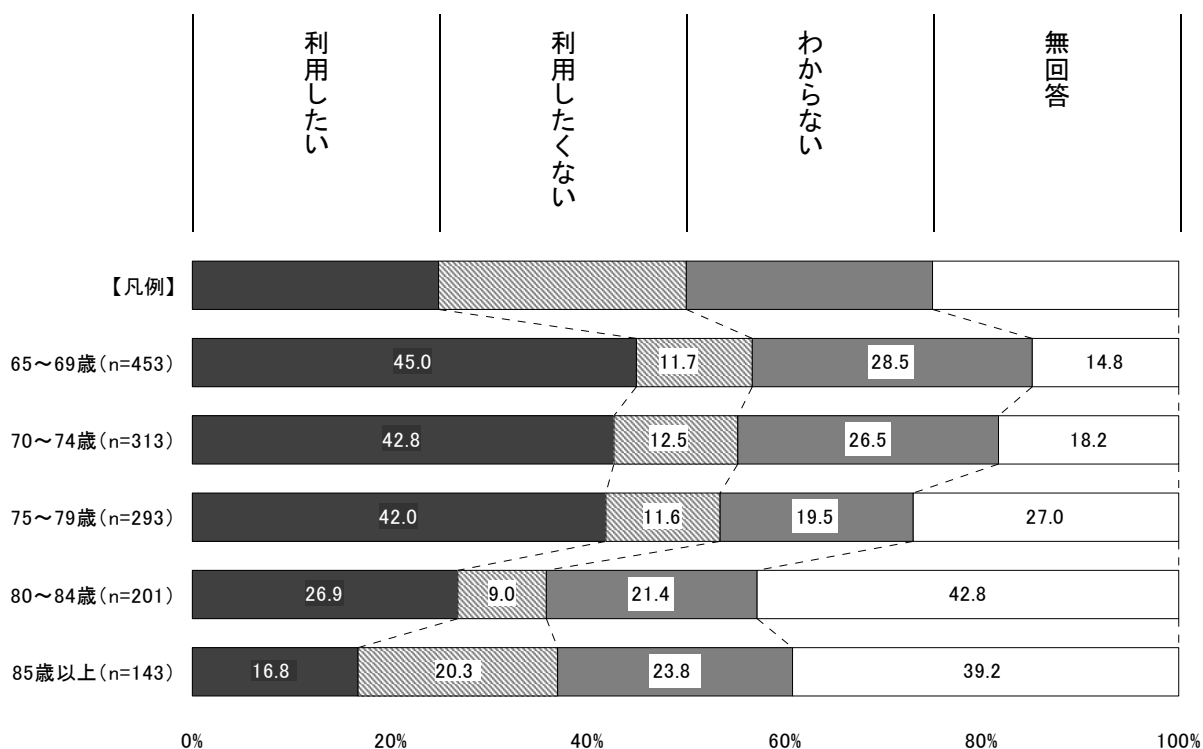
■年代別にみた①筋力向上トレーニング

年代別にみると、すべての年代で「利用したい」が最も高くなっており、特に 65～79 歳では4割を超えています。



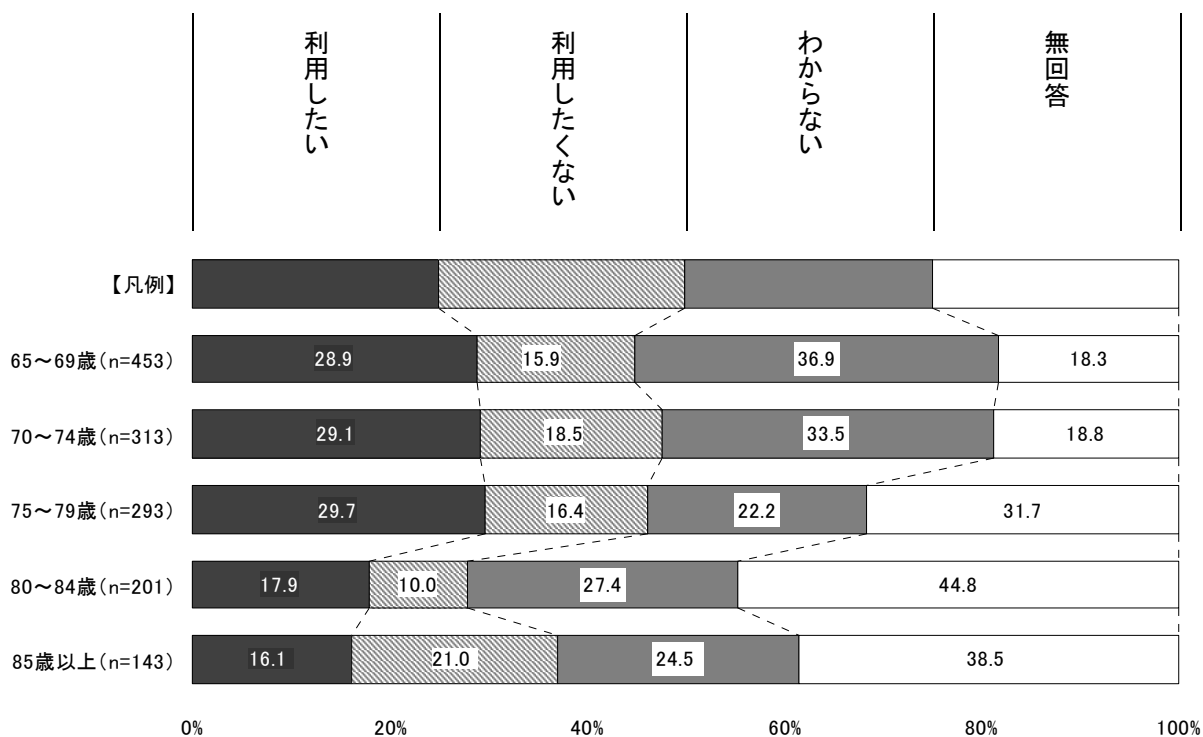
■年代別にみた②認知症予防教室

年代別にみると、65～84 歳で「利用したい」が最も高くなっており、特に 65～79 歳では4割を超えています。また、85 歳以上では「わからない」が最も高くなっています。



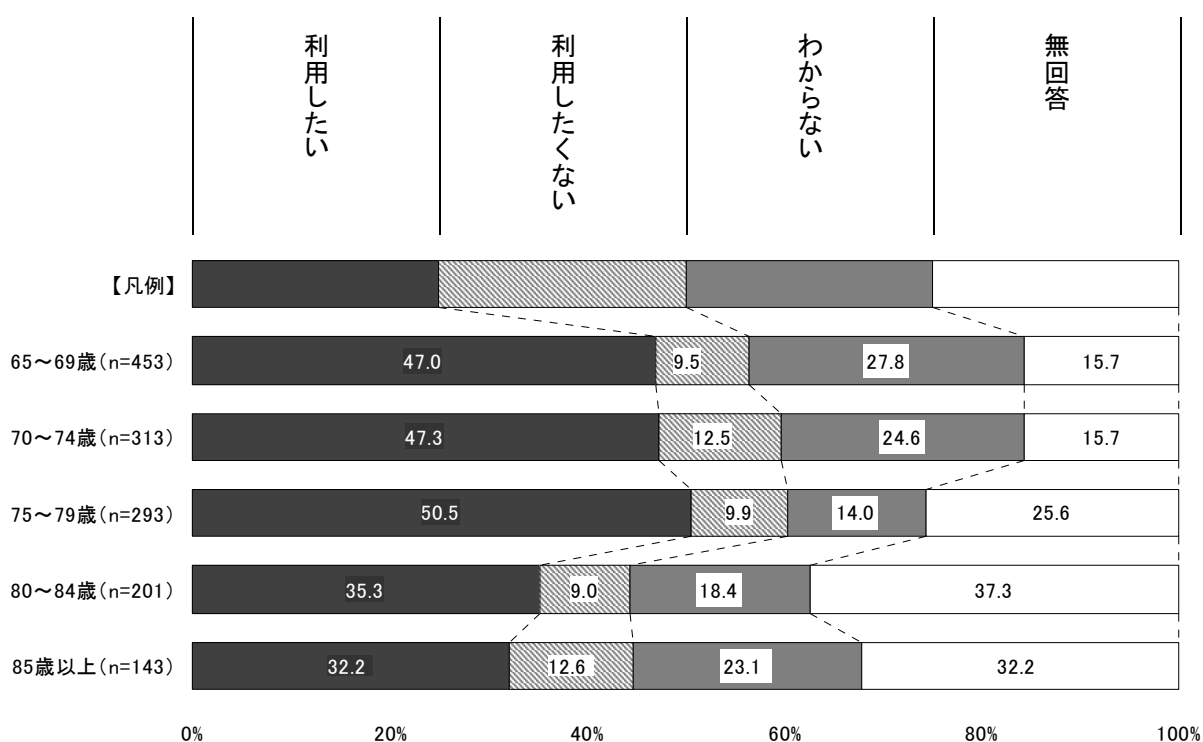
■年代別にみた③低栄養予防教室

年代別にみると、65～74 歳および 80 歳以上では「わからない」、75～79 歳では「利用したい」が最も高くなっています。また、65～79 歳の若年層では「利用したい」がおおむね3割と、高齢層よりも高くなっています。



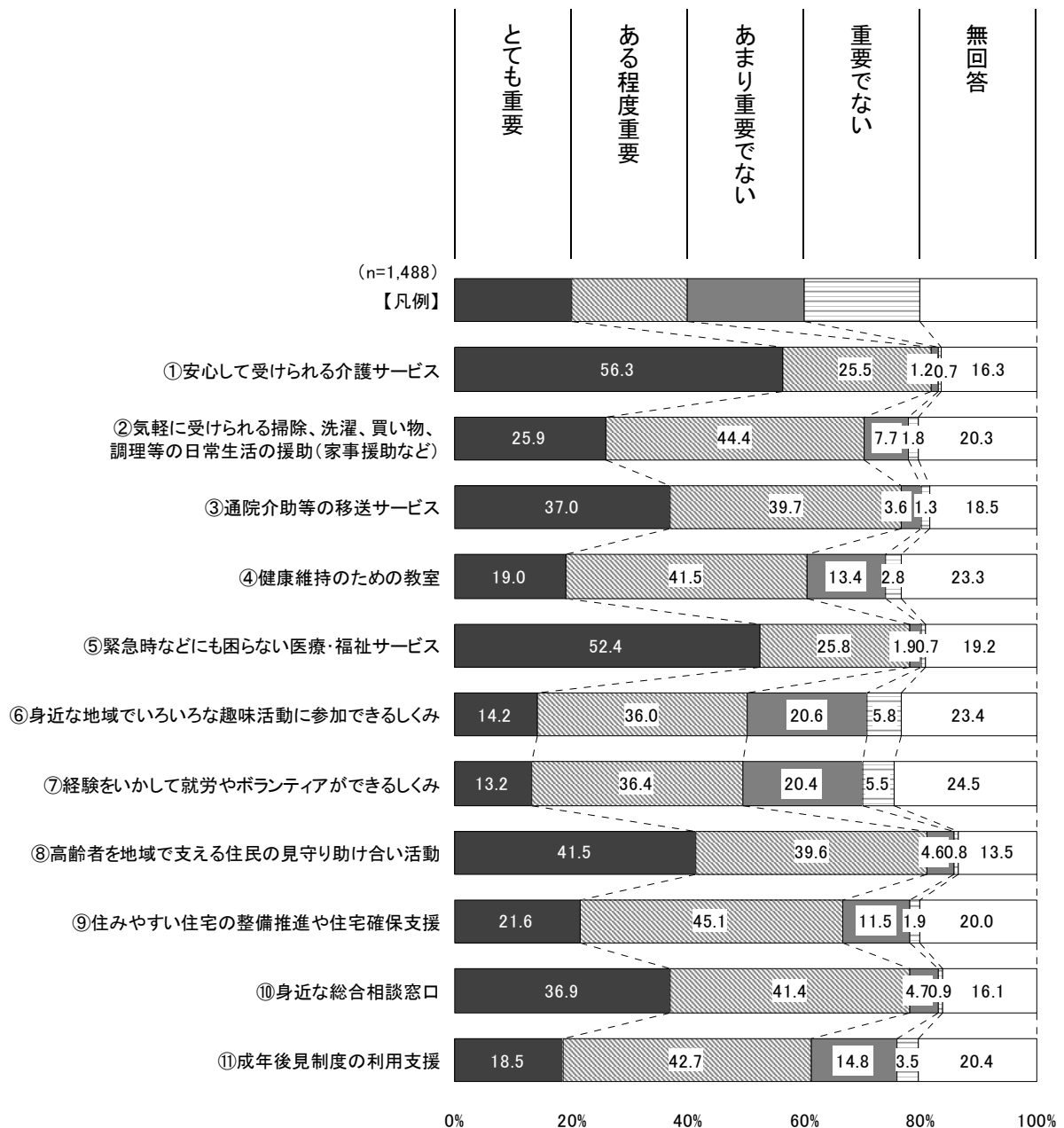
■年代別にみた⑤転倒予防教室

年代別にみると、すべての年代で「利用したい」が最も高くなっており、特に 65～79 歳では5割前後を占めています。



問 55 以下の高齢者施策は、どの程度重要と考えますか。①～⑪それぞれに回答してください。（〇はそれぞれ1つずつ）

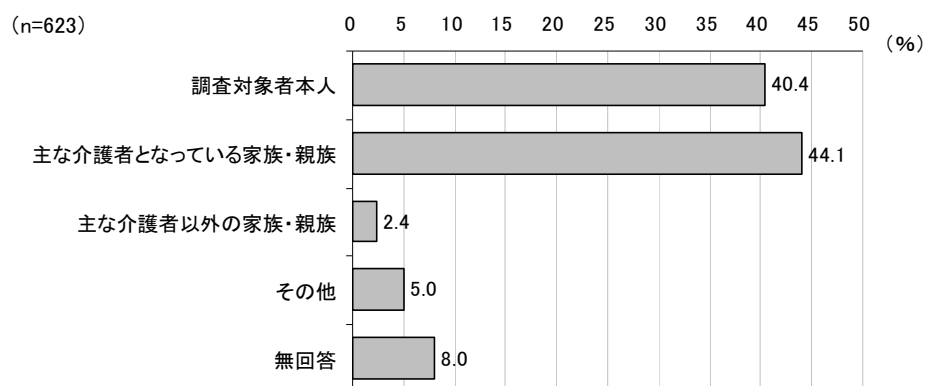
高齢者施策をどの程度重要と考えるかは、「とても重要」が①安心して受けられる介護サービスで最も高く 56.3%、⑤緊急時などにも困らない医療・福祉サービスが 52.4%、⑧高齢者を地域で支える住民の見守り助け合い活動が 41.5%と続いています。また、⑥身近な地域でいろいろな趣味活動に参加できるしくみや⑦経験をいかして就労やボランティアができるしくみでは「あまり重要でない」がおおむね2割と、他の項目よりもやや高くなっています。



第4章 要介護・要支援認定者対象 調査結果

■はじめに、この調査の回答者を教えてください。（1つに○）

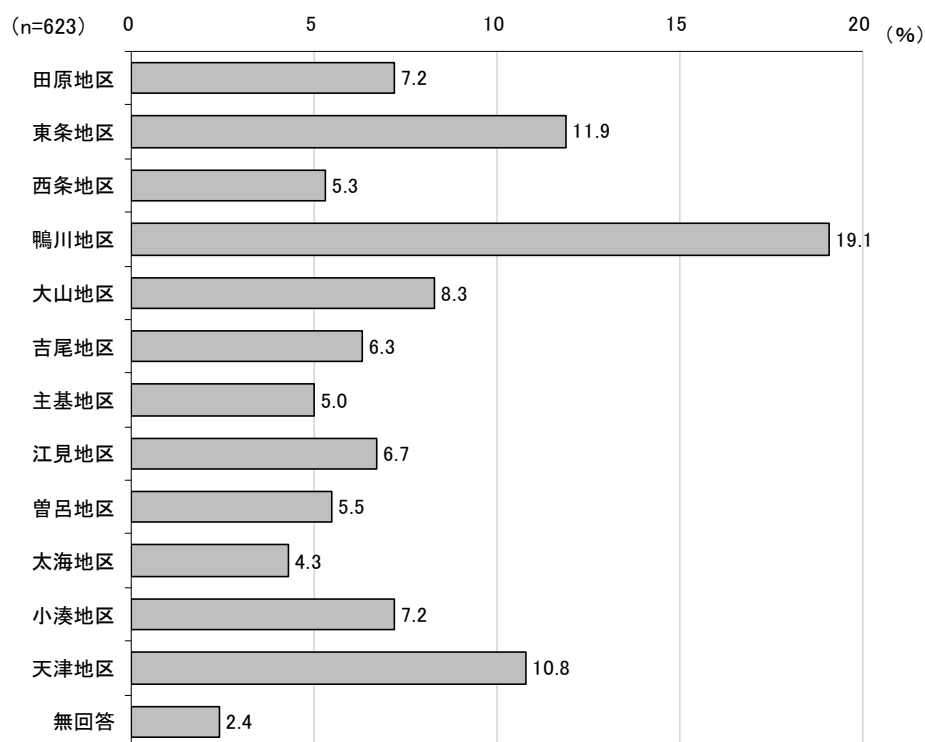
調査回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が44.1%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が40.4%となっています。



1 年齢や性別等について

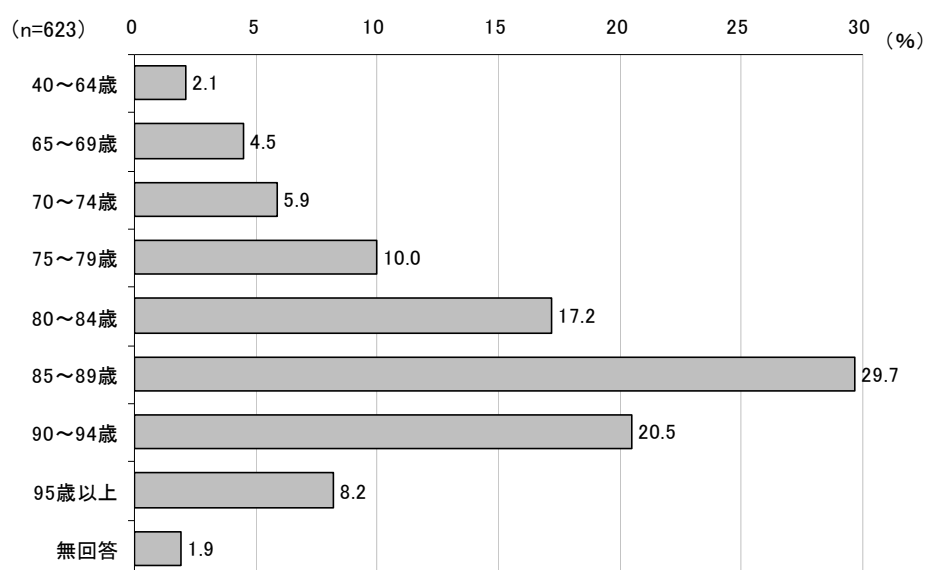
問1 お住まいの地区はどこですか。（1つに○）

居住地区は、「鴨川地区」が19.1%と最も高く、次いで「東条地区」が11.9%、「天津地区」が10.8%となっています。



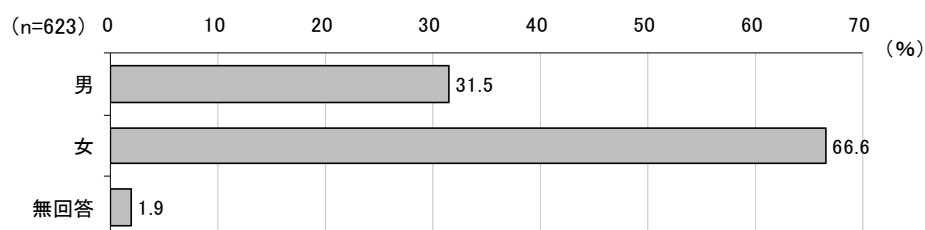
問2 平成29年1月1日現在の年齢をお答えください。(1つに○)

現在の年齢は、「85～89歳」が29.7%と最も高く、次いで「90～94歳」が20.5%、「80～84歳」が17.2%となっています。



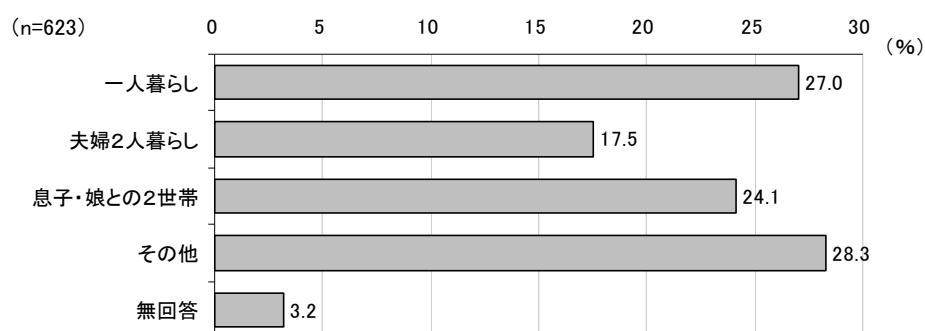
問3 性別をお答えください。(1つに○)

性別は、「女」が66.6%で、「男」の31.5%を上回っています。



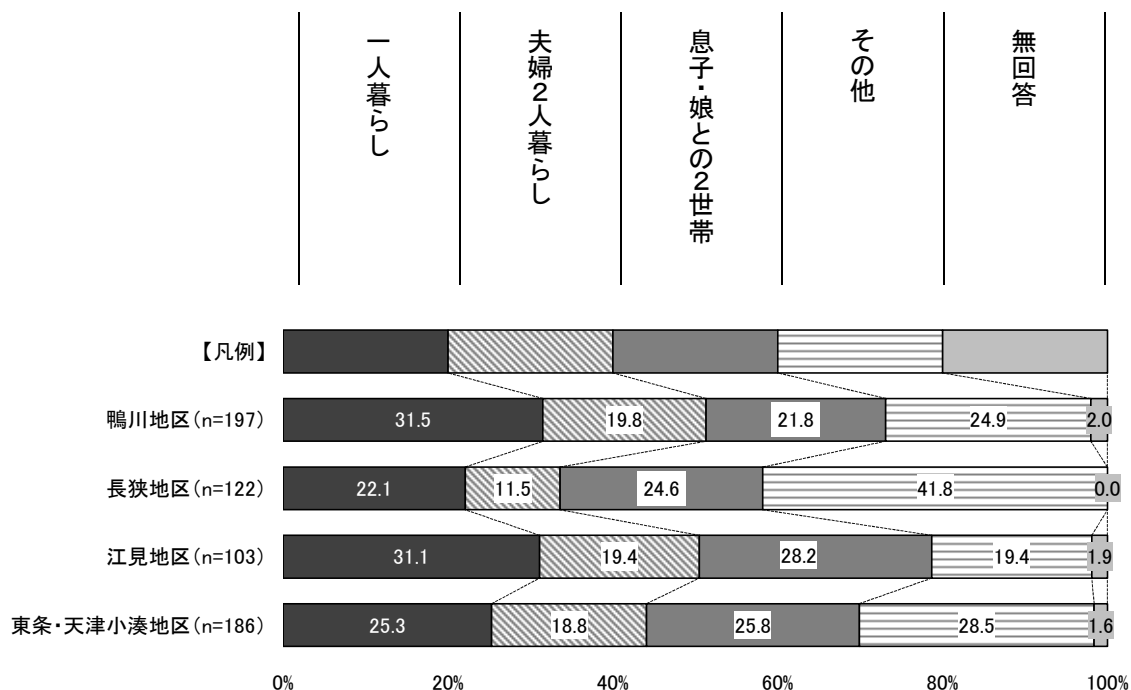
問4 家族構成をお答えください。(1つに○)

家族構成は、「その他」が28.3%と最も高く、次いで「一人暮らし」が27.0%、「息子・娘との2世帯」が24.1%となっています。



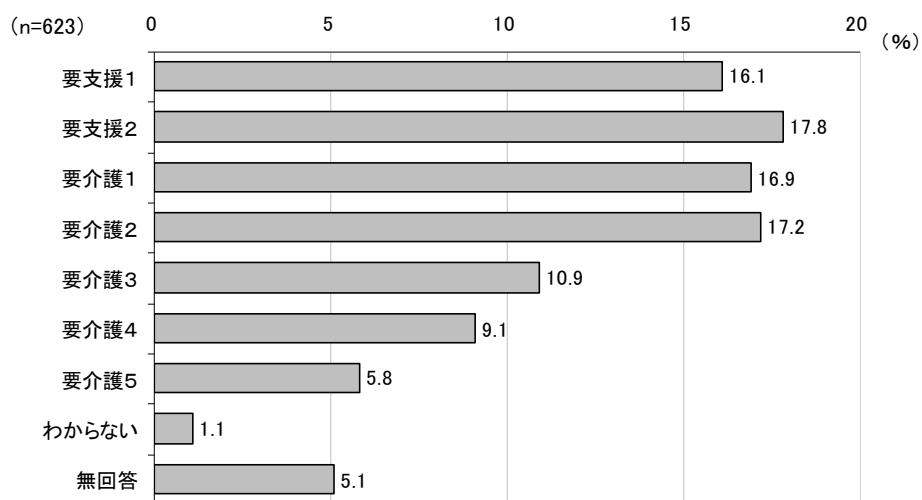
■地区別にみた家族構成

地区別にみると、鴨川地区と江見地区では「一人暮らし」が約3割と高くなっています。



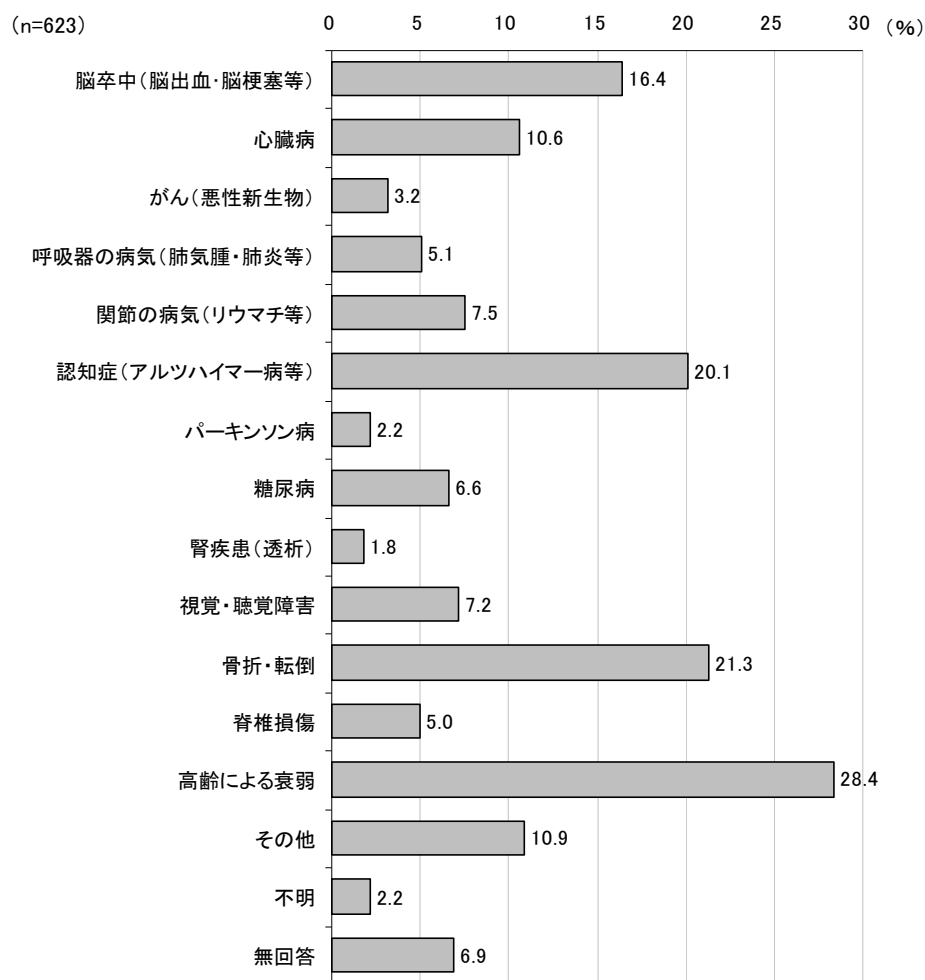
問5 平成29年1月1日現在の要介護度は、次のどれですか。（1つに○）

現在の要介護度は、「要支援2」が17.8%と最も高く、次いで「要介護2」が17.2%、「要介護1」が16.9%、「要支援1」が16.1%となっています。



問6 介護が必要になった原因は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護が必要になった原因は、「高齢による衰弱」が28.4%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が21.3%、「認知症（アルツハイマー病等）」が20.1%となっています。



■介護度別にみた介護が必要になった原因

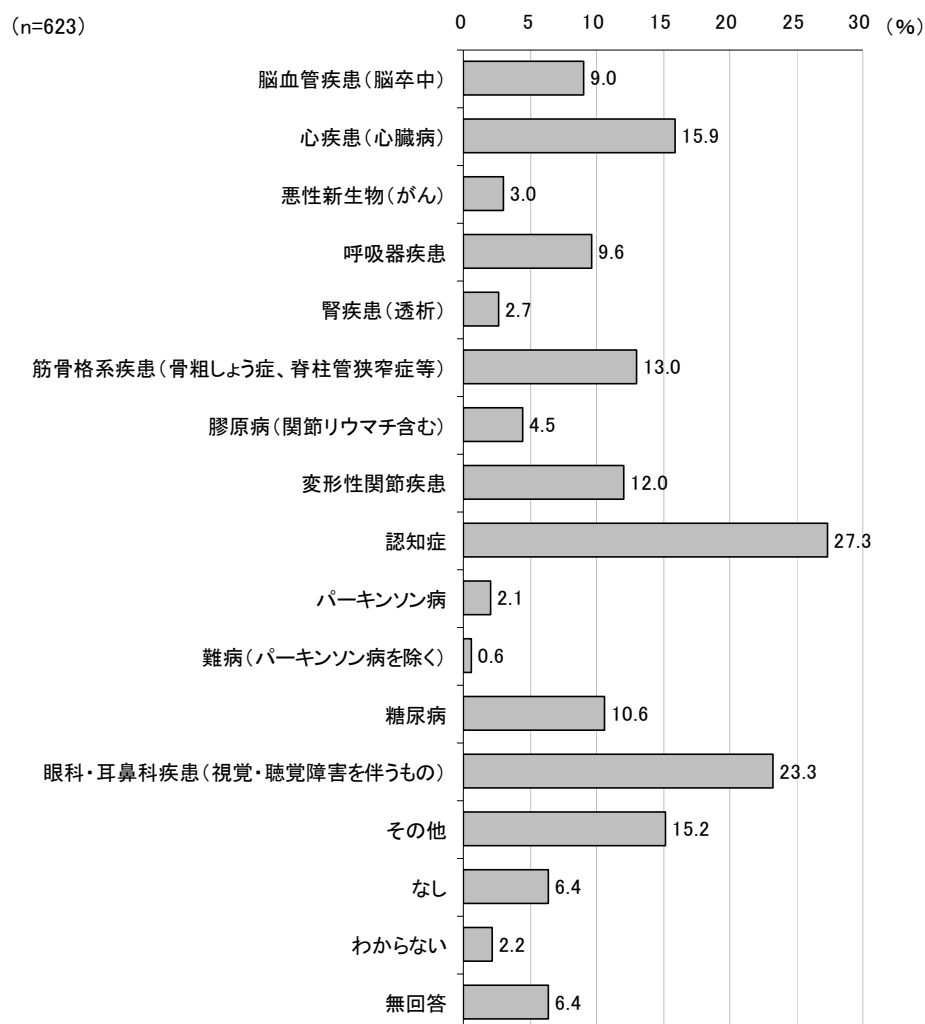
介護度別にみると、要支援および中度（要介護１～３）では「高齢による衰弱」、重度（要介護４～５）では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が最も高くなっています。また、中度（要介護１～３）や重度（要介護４～５）では「認知症（アルツハイマー病等）」がおおむね３割を占め、他の項目よりも高くなっています。

単位(%)	サンプル数(人)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)
要支援	211	13.7	10.0	3.3	5.2	10.4	4.3	1.9	6.6	1.4
中度(要介護１～３)	280	14.6	12.1	3.9	5.0	6.4	31.1	2.5	6.1	1.8
重度(要介護４～５)	93	33.3	9.7	2.2	4.3	2.2	29.0	3.2	8.6	3.2
わからない	7	0.0	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0

単位(%)	サンプル数(人)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
要支援	211	10.9	23.2	7.6	26.1	13.7	0.5	9.0
中度(要介護１～３)	280	6.8	21.1	3.6	33.9	10.0	2.5	1.4
重度(要介護４～５)	93	3.2	21.5	4.3	21.5	9.7	3.2	1.1
わからない	7	0.0	28.6	0.0	28.6	14.3	14.3	28.6

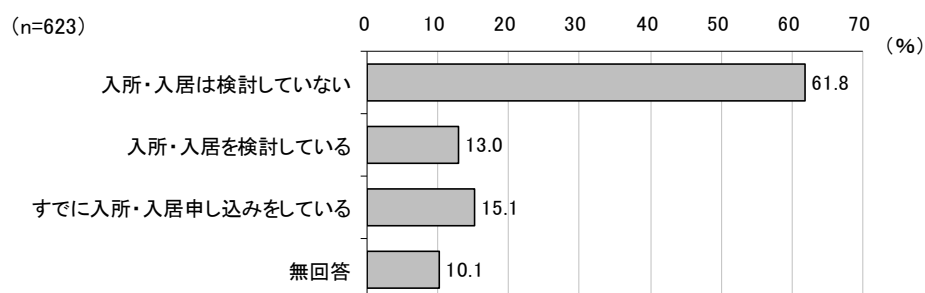
問7 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病はありますか。（あてはまるものすべてに○）

調査対象者が現在抱えている傷病は、「認知症」が27.3%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が23.3%、「心疾患（心臓病）」が15.9%となっています。



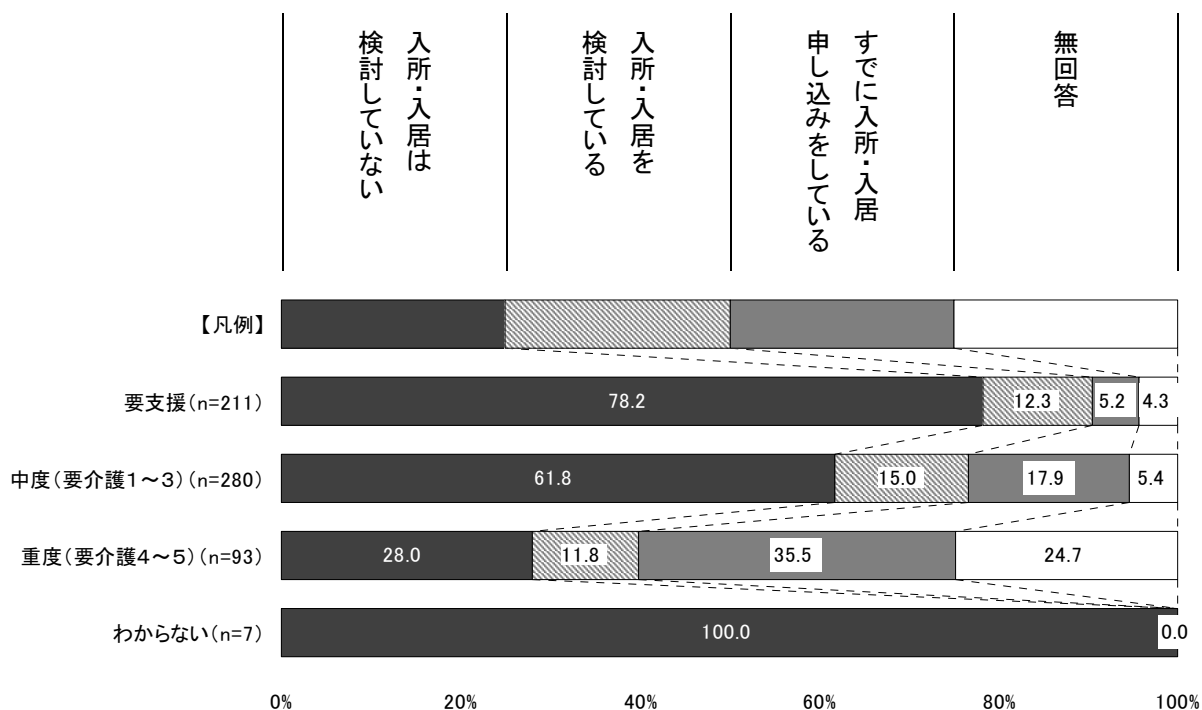
問8 現時点で、施設等への入所・入居について検討していますか。（1つに○）

施設等への入所・入居について検討しているかは、「入所・入居は検討していない」が61.8%と最も高くなっています。



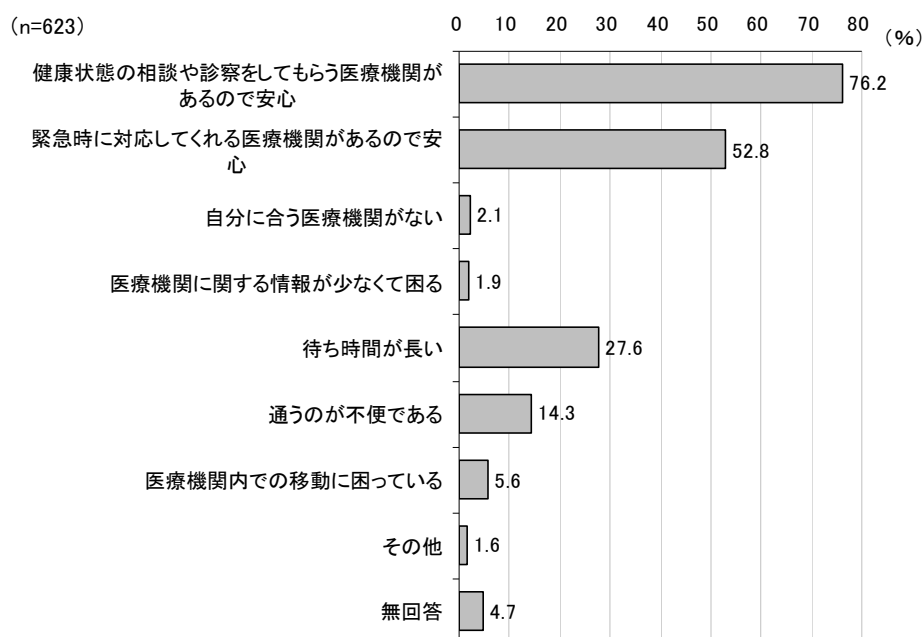
■介護度別にみた施設等への入所・入居について検討しているかの状況

介護度別にみると、要支援および中度（要介護1～3）では「入所・入居は検討していない」、重度（要介護4～5）では「すでに入所・入居申し込みをしている」が最も高くなっています。



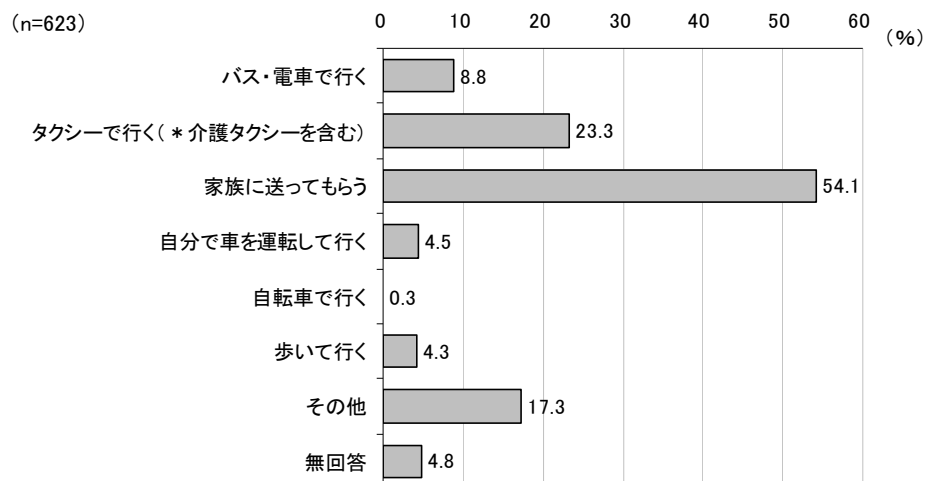
問9 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

近隣の医療機関について、どのように感じているかは、「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」が76.2%と最も高く、次いで「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」が52.8%、「待ち時間が長い」が27.6%となっています。



問 10 あなたは医療機関に、どのような交通手段で通っていますか。（あてはまるものすべてに○）

医療機関への交通手段は、「家族に送ってもらう」が54.1%と最も高く、次いで「タクシーで行く（介護タクシーを含む）」が23.3%、「その他」が17.3%となっています。



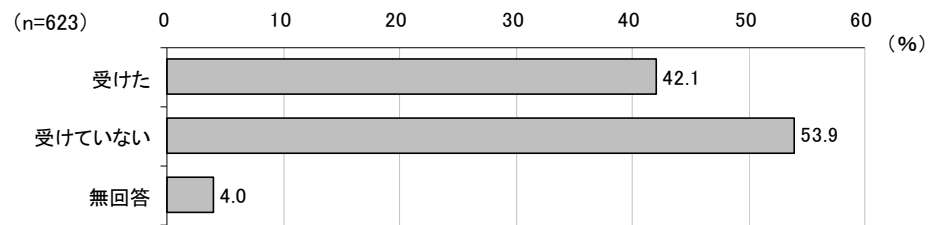
■家族構成別にみた医療機関への交通手段

家族構成別にみると、すべての項目で「家族に送ってもらう」が最も高くなっています。また、一人暮らしでは「バス・電車で行く」、一人暮らしや夫婦2人暮らしでは「タクシーで行く（介護タクシーを含む）」、息子・娘との2世帯では「家族に送ってもらう」が他の項目よりも高くなっています。

単位 (%)	サンプル数 (人)	バス・電車で行く	タクシーで行く (* 介護タクシーを含む)	家族に送ってもらう	自分で車を運転して行く	自転車で行く	歩いて行く	その他	無回答
一人暮らし	168	14.9	32.1	38.7	4.8	0.6	6.0	19.0	6.0
夫婦2人暮らし	109	8.3	33.9	56.9	7.3	0.0	2.8	10.1	4.6
息子・娘との2世帯	150	8.0	16.0	72.7	0.7	0.0	5.3	10.0	2.0
その他	176	4.5	13.6	52.3	5.1	0.6	2.8	27.8	5.1

問 11 この1年間に歯科医院で健診や治療を受けましたか。（1つに○）

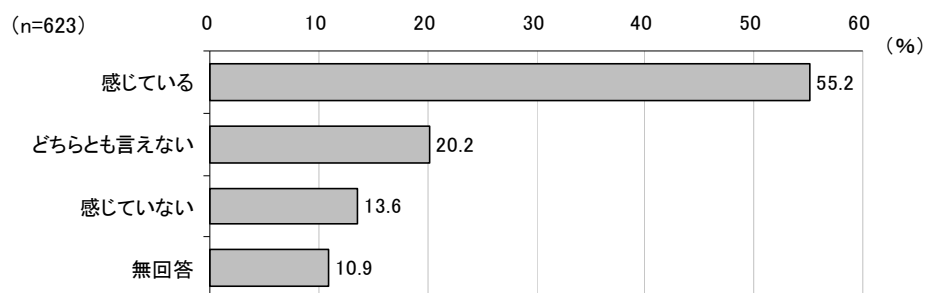
この1年間に歯科医院で健診や治療を受けたかは、「受けていない」が53.9%で、「受けた」の42.1%を上回っています。



2 日常生活について

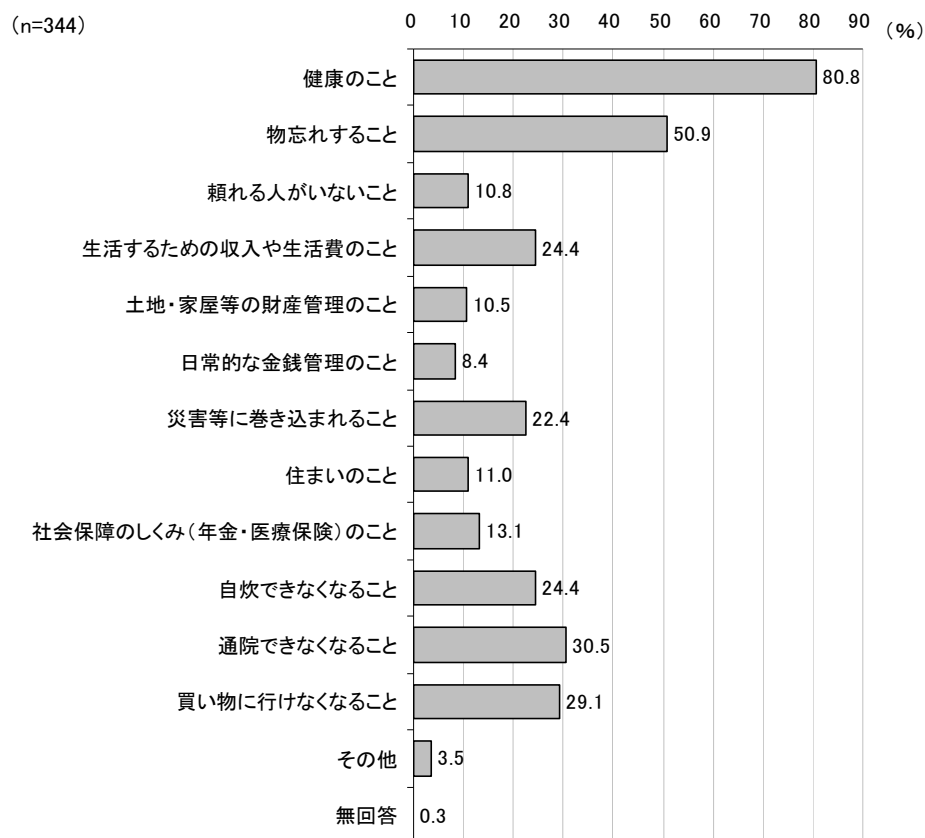
問 12 日常生活全般を通して何か不安を感じていますか。（1 つに○）

日常生活全般を通して不安を感じているかは、「感じている」が 55.2%と最も高くなっています。



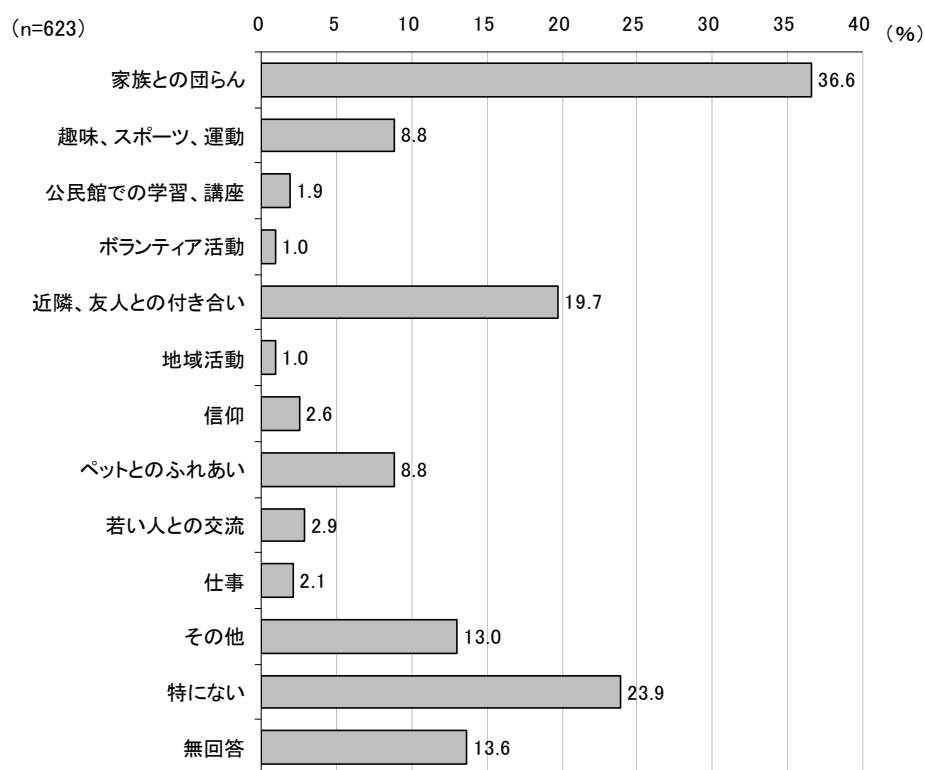
問 12-1 問 12 で「1 感じている」と答えた方におきします。どのようなことに不安を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

どのようなことに不安を感じているかは、「健康のこと」が 80.8%と最も高く、次いで「物忘れすること」が 50.9%となっています。



問 13 現在の心の支えや楽しみは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

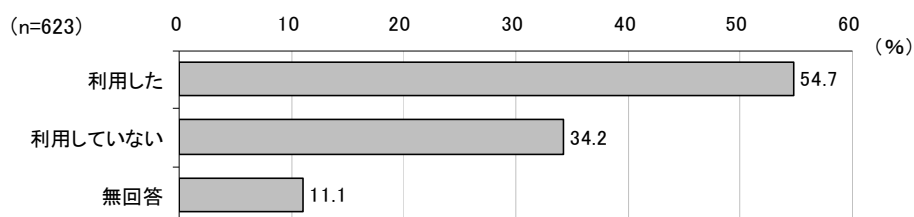
現在の心の支えや楽しみは、「家族との団らん」が36.6%と最も高く、次いで「特にない」が23.9%、「近隣、友人との付き合い」が19.7%となっています。



3 居宅サービスの利用状況について

問 14 平成 28 年 12 月の 1 か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（1 つに○）

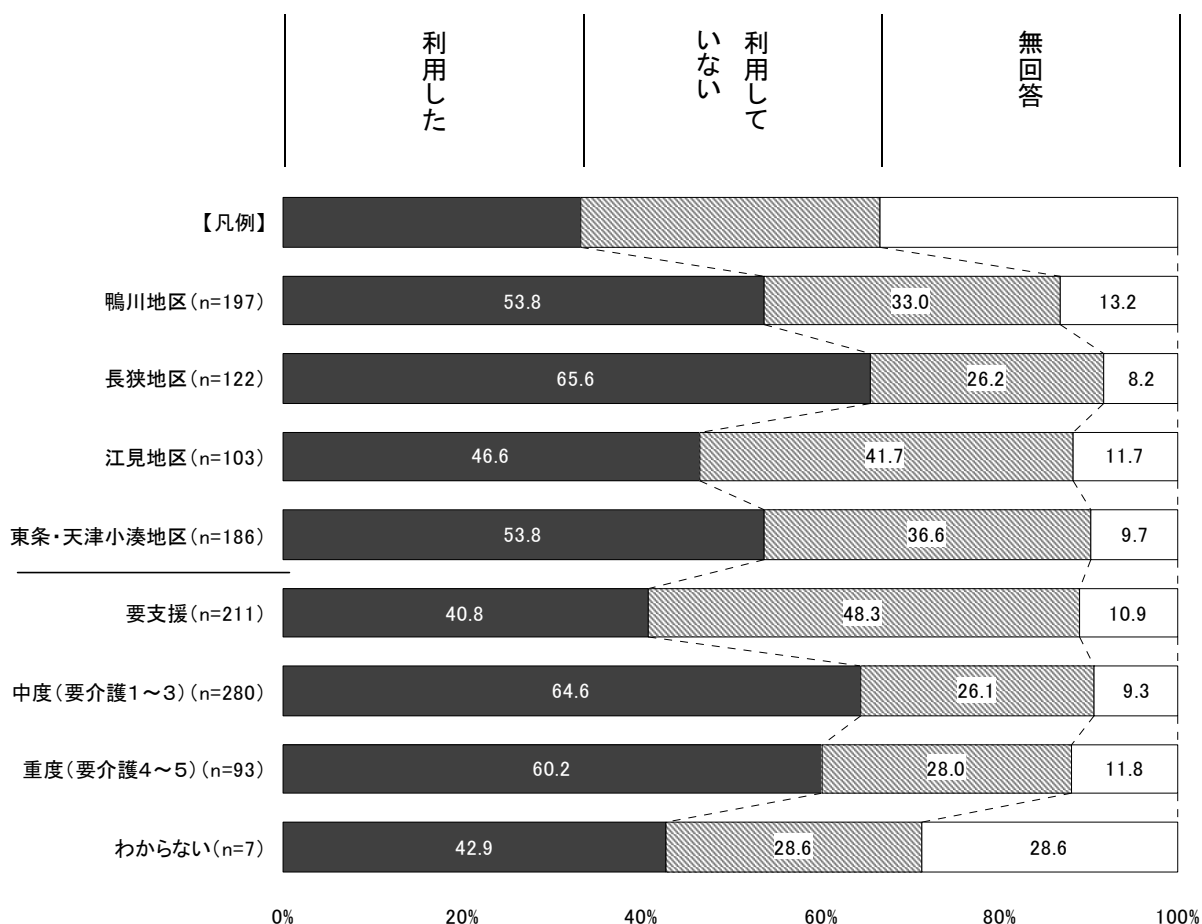
平成 28 年 12 月の 1 か月の間の（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用状況は、「利用した」が 54.7%で、「利用していない」の 34.2%を上回っています。



■日常生活圏域、介護度別にみた介護保険サービスの利用状況

日常生活圏域別にみると、すべての地区で「利用した」が「利用していない」を上回っており、特に長狭地区では6割を超え、他の地区よりも高くなっています。

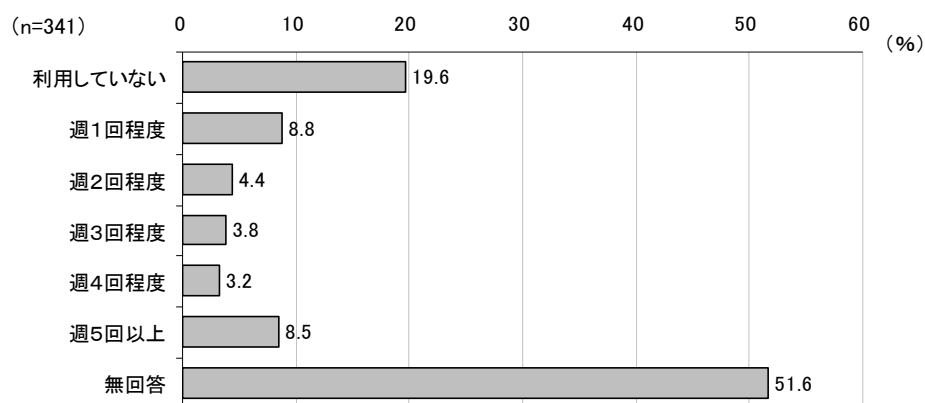
介護度別にみると、要支援では「利用していない」が「利用した」を、中度以降では「利用した」が「利用していない」を上回っています。



問 14-1 問 14 で「1 利用した」と答えた方におききます。以下の介護保険サービスについて、平成 28 年 12 月の 1 か月間の利用状況をお答えください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。

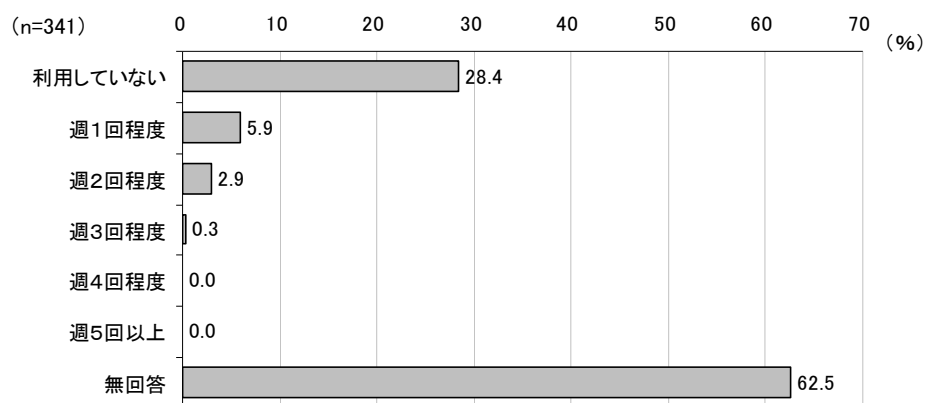
A 訪問介護（ホームヘルプサービス）

訪問介護（ホームヘルプサービス）の利用状況は、「利用していない」が 19.6%と最も高く、次いで「週 1 回程度」が 8.8%、「週 5 回以上」が 8.5%となっています。



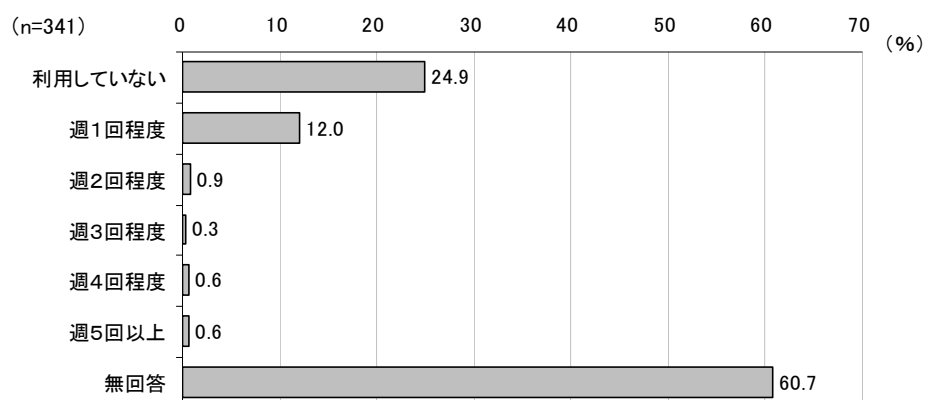
B 訪問入浴介護

訪問入浴介護の利用状況は、「利用していない」が 28.4%と最も高く、次いで「週 1 回程度」が 5.9%となっています。



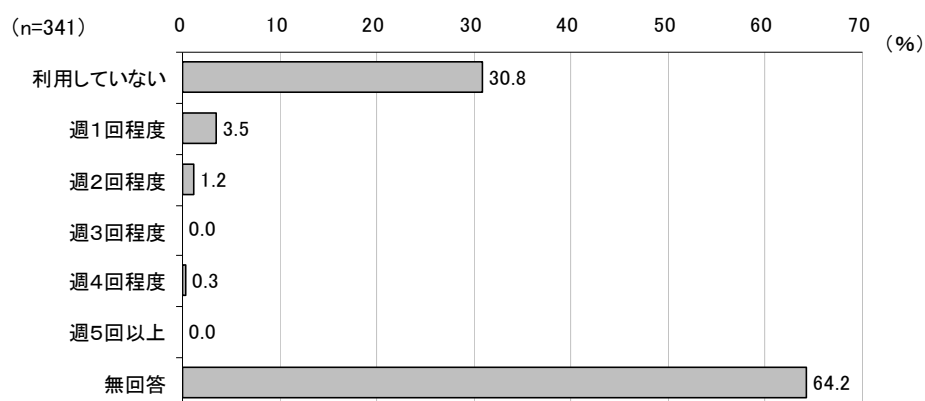
C 訪問看護

訪問看護の利用状況は、「利用していない」が24.9%と最も高く、次いで「週1回程度」が12.0%となっています。



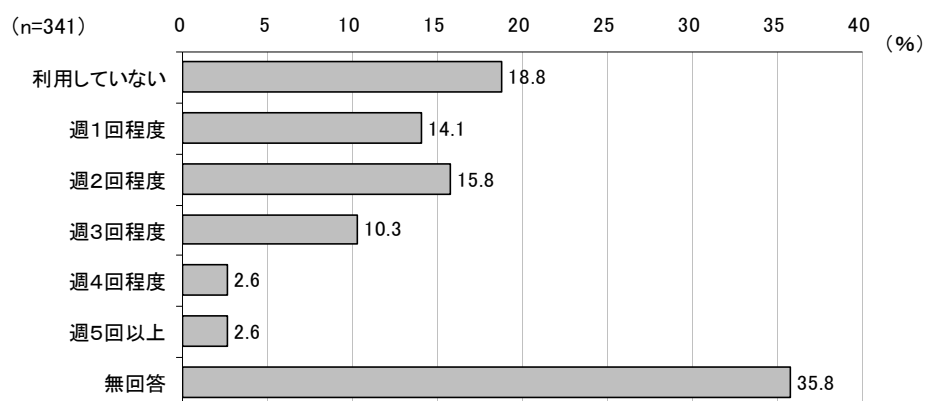
D 訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションの利用状況は、「利用していない」が30.8%と最も高くなっています。



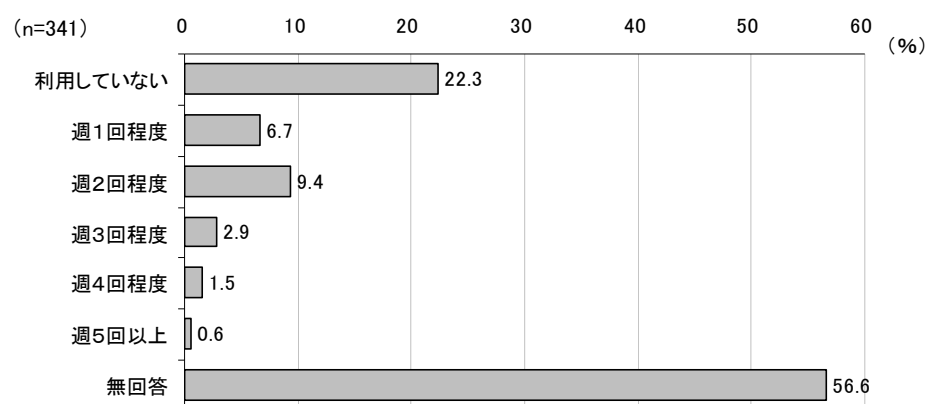
E 通所介護（デイサービス）

通所介護（デイサービス）の利用状況は、「利用していない」が18.8%と最も高く、次いで「週2回程度」が15.8%、「週1回程度」が14.1%、「週3回程度」が10.3%となっています。



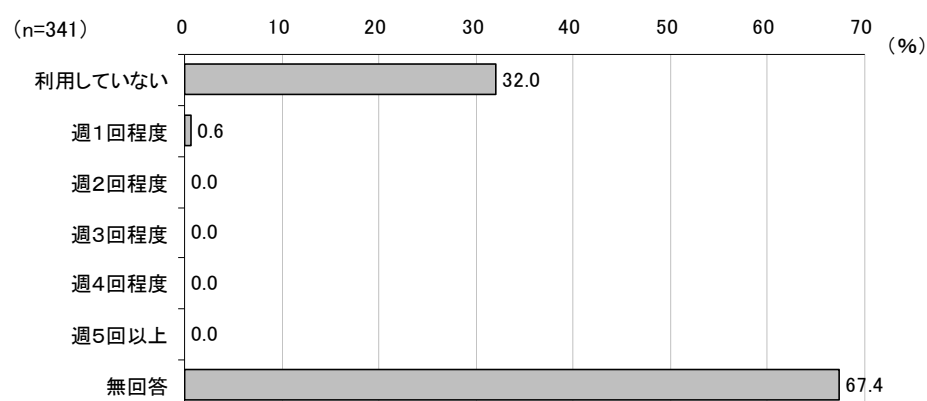
F 通所リハビリテーション（デイケア）

通所リハビリテーション（デイケア）の利用状況は、「利用していない」が22.3%と最も高く、次いで「週2回程度」が9.4%、「週1回程度」が6.7%となっています。



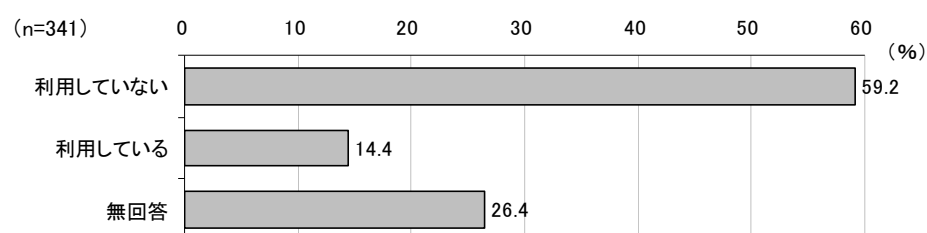
G 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）

夜間対応型訪問介護の利用状況は、「利用していない」が32.0%と最も高くなっています。



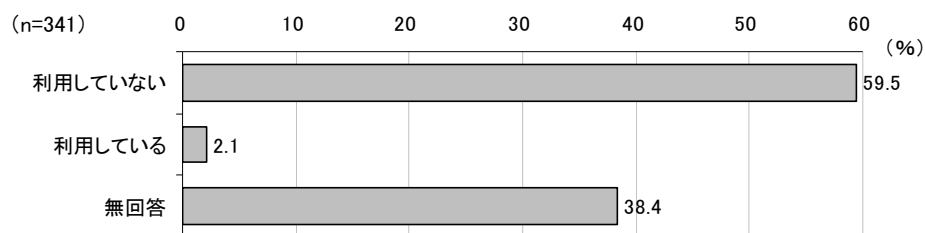
H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用状況は、「利用していない」が59.2%で、「利用している」の14.4%を上回っています。



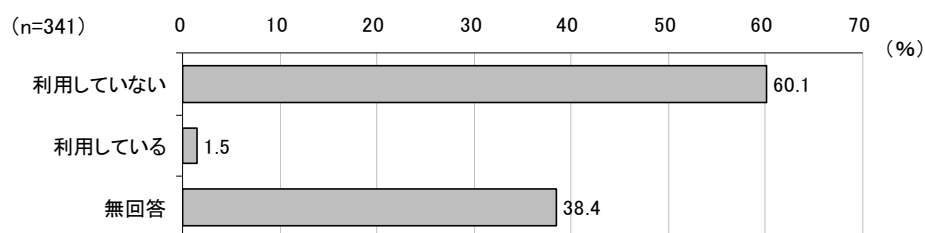
I 小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護の利用状況は、「利用していない」が59.5%で、「利用している」の2.1%を上回っています。



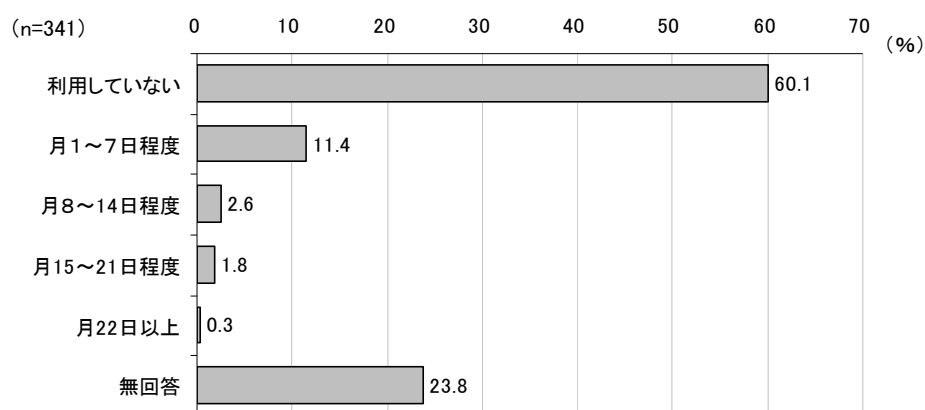
J 看護小規模多機能型居宅介護

看護小規模多機能型居宅介護の利用状況は、「利用していない」が60.1%で、「利用している」の1.5%を上回っています。



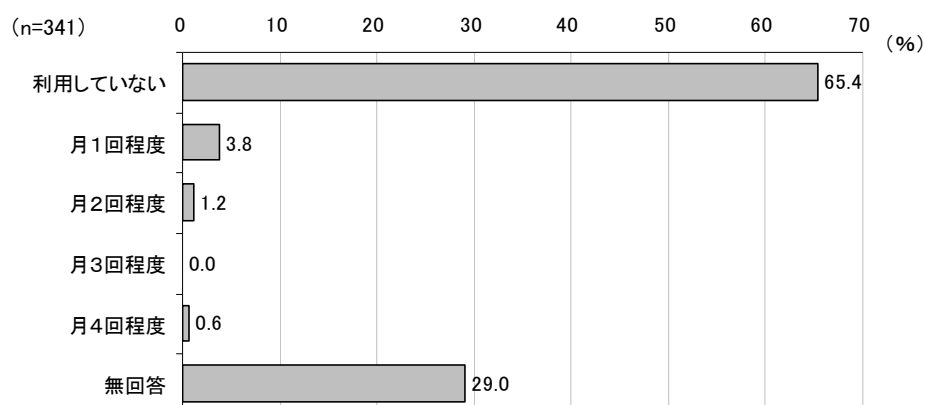
K ショートステイ

ショートステイの利用状況は、「利用していない」が60.1%と最も高く、次いで「月1～7日程度」が11.4%となっています。



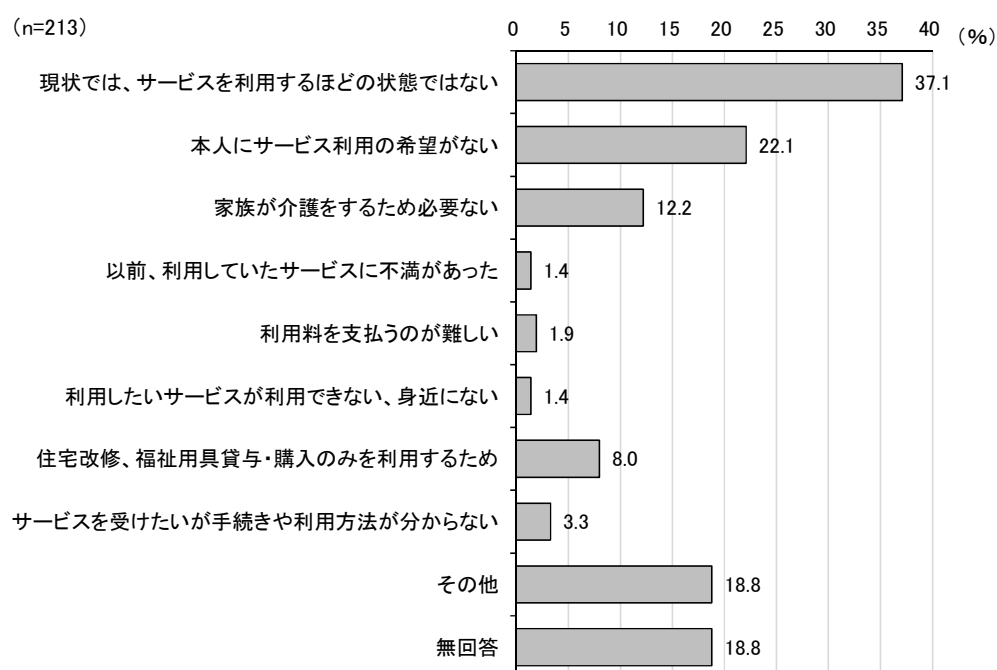
L 居宅療養管理指導

居宅療養管理指導の利用状況は、「利用していない」が65.4%と最も高くなっています。



問 14-2 問 14 で「2 利用していない」と答えた方におききます。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が37.1%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が22.1%、「その他」が18.8%となっています。



■日常生活圏域、介護度別にみた介護保険サービスを利用していない理由

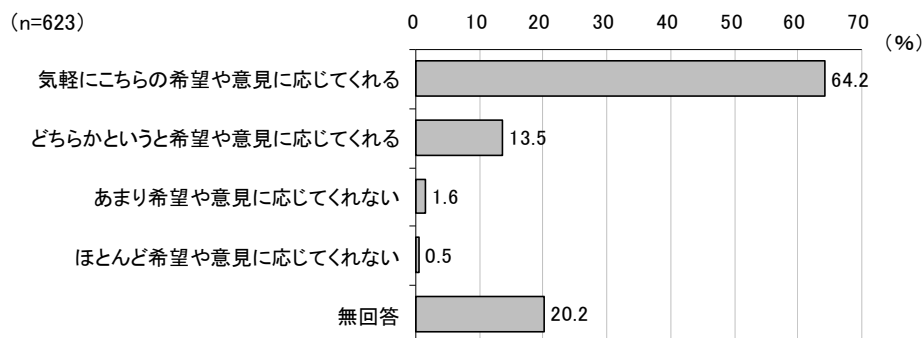
日常生活圏域別にみると、長狭地区を除くすべての地区で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、長狭地区で「その他」が最も高くなっています。また、「本人にサービス利用の希望がない」や「家族が介護をするため必要ない」では、鴨川地区や江見地区、東条・天津小湊地区など、地区によって割合が高くなっています。

介護度別にみると、要支援および中度（要介護1～3）では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、重度（要介護4～5）では「その他」が最も高くなっています。また、要支援や中度（要介護1～3）では「本人にサービス利用の希望がない」の割合も高くなっています。

単位(%)	サ ン プ ル 数 (人)	現 状 で は 、 サ ー ビ ス を 利 用 す る ほ ど の 状 態 で は な い	本 人 に サ ー ビ ス 利 用 の 希 望 が な い	家 族 が 介 護 を す る た め に 必 要 な い	以 前 、 利 用 し て い た サ ー ビ ス に 不 満 が あ っ た	利 用 料 を 支 払 う の が 難 し い	利 用 し た い サ ー ビ ス が 利 用 で き な い 、 身 近 に な い	住 宅 改 修 、 福 祉 用 具 貸 与 ・ 購 入 の た め	サ ー ビ ス を 受 け た い が 手 続 き や 利 用 方 法 が 分 か ら な い	そ の 他	無 回 答
鴨川地区	65	38.5	26.2	16.9	3.1	1.5	1.5	13.8	1.5	18.5	21.5
長狭地区	32	28.1	18.8	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	31.3	18.8
江見地区	43	32.6	27.9	7.0	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0	14.0	23.3
東条・天津小湊地区	68	45.6	16.2	14.7	1.5	2.9	2.9	4.4	5.9	16.2	11.8
要支援	102	45.1	25.5	9.8	2.0	1.0	2.0	5.9	2.0	3.9	21.6
中度(要介護1～3)	73	34.2	27.4	19.2	1.4	0.0	1.4	12.3	5.5	23.3	15.1
重度(要介護4～5)	26	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	65.4	19.2
わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

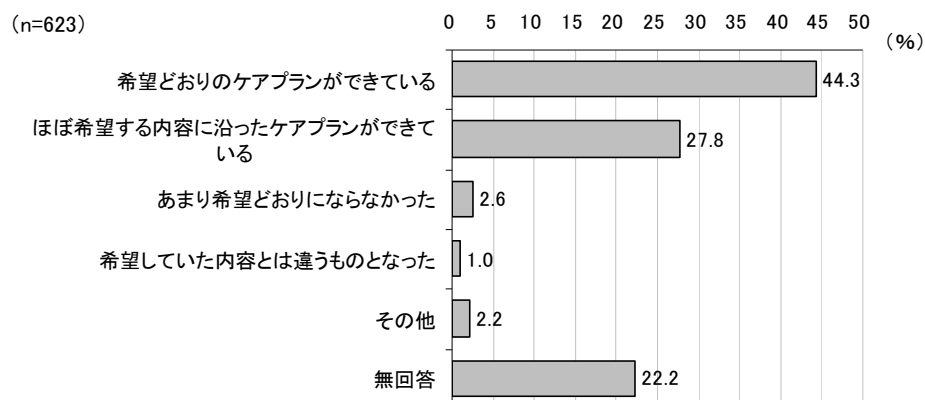
問 15 ケアマネジャー（ケアプラン作成事業者）に対して希望や意見を伝えることができますか。（1つに○）

ケアマネジャー（ケアプラン作成事業者）に対して希望や意見を伝えることができるかは、「気軽にこちらの希望や意見に応じてくれる」が64.2%と最も高く、次いで「どちらかという希望や意見に応じてくれる」が13.5%となっています。



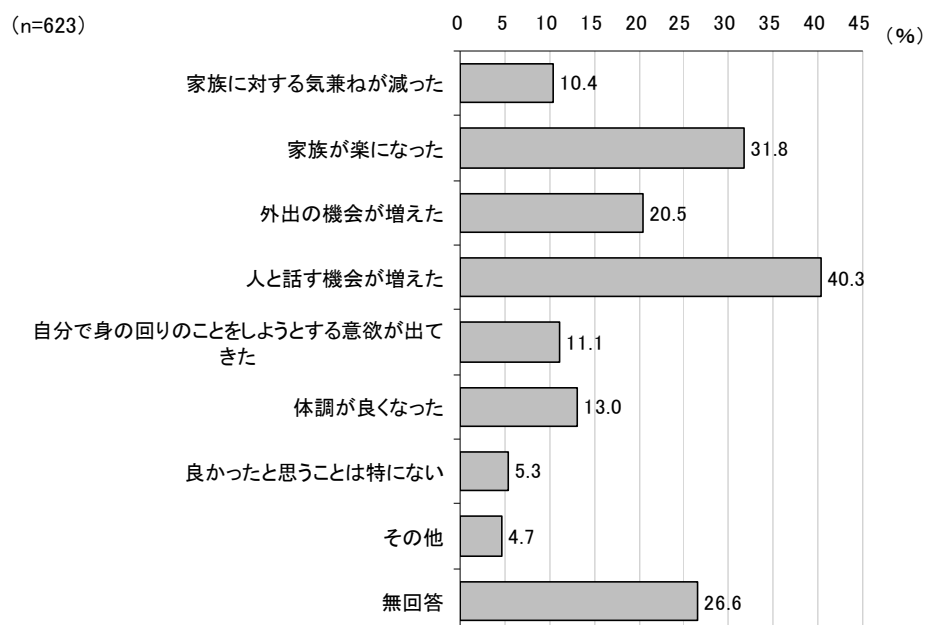
問 16 希望どおりのケアプランができていますか。（1つに○）

希望どおりのケアプランができているかは、「希望どおりのケアプランができている」が44.3%と最も高く、次いで「ほぼ希望する内容に沿ったケアプランができている」が27.8%となっています。



問 17 介護サービスを受けて良かったと思うことは何ですか。（3つまでに○）

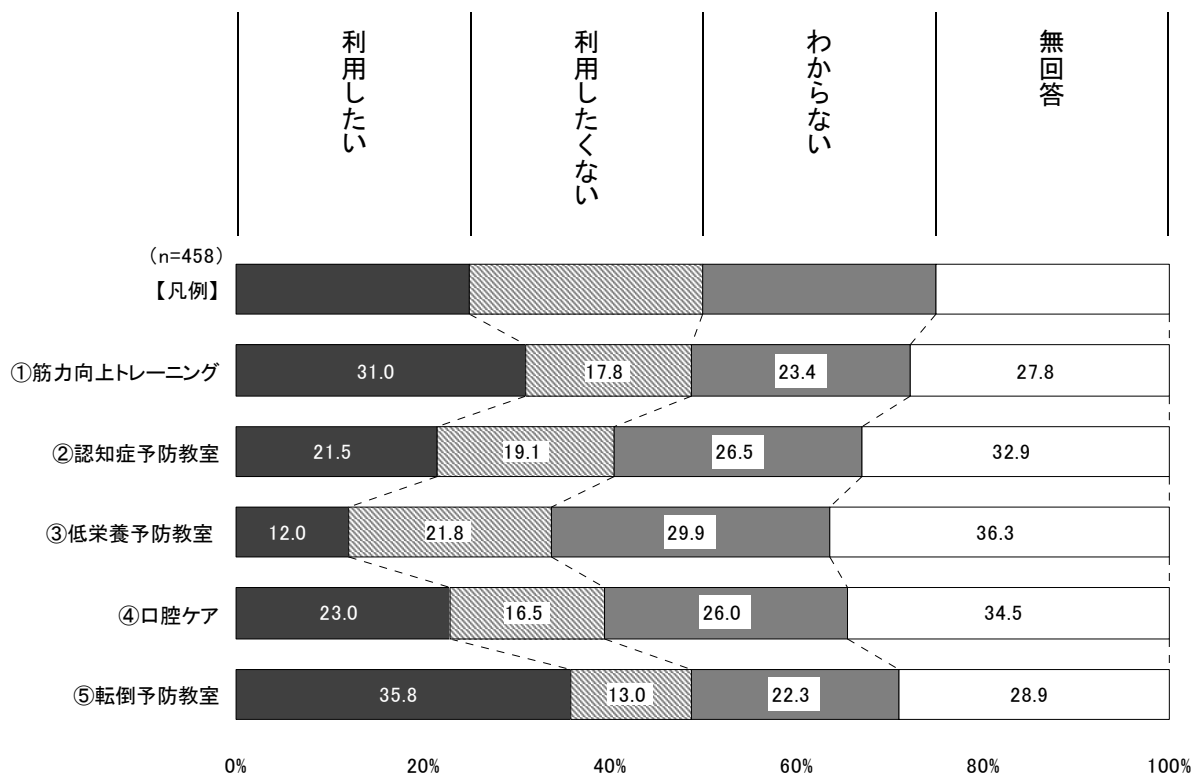
介護サービスを受けて良かったと思うことは、「人と話す機会が増えた」が40.3%と最も高く、次いで「家族が楽になった」が31.8%、「外出の機会が増えた」が20.5%となっています。



4 今後の介護や福祉の制度のあり方について

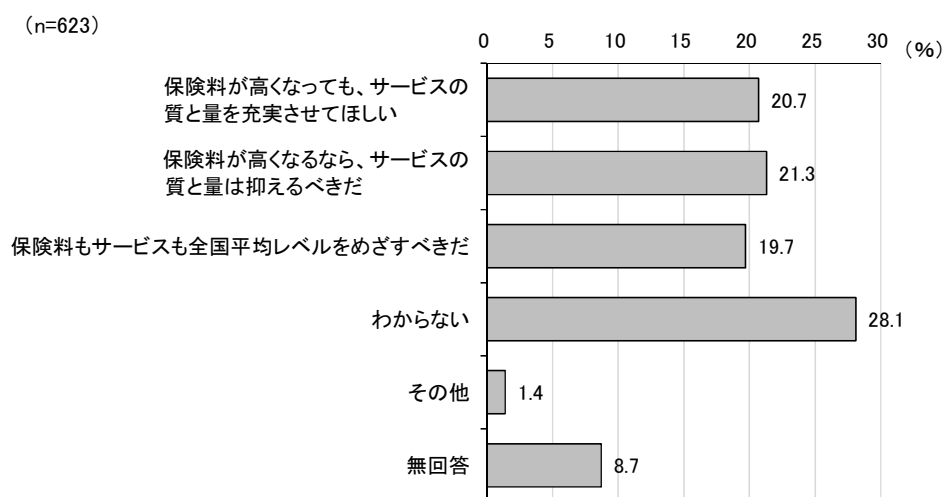
問 18 あなたは、今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスがあるとしたら、利用を希望しますか。①～⑤それぞれに回答してください。（〇はそれぞれ1つつ）

介護予防のための保健福祉サービスの利用意向は、「利用したい」の中で⑤転倒予防教室で最も高く 35.8%、①筋力向上トレーニングが 31.0%と続いています。また、③低栄養予防教室では「利用したくない」が 21.8%と2割を超え、他の項目よりもやや高くなっています。



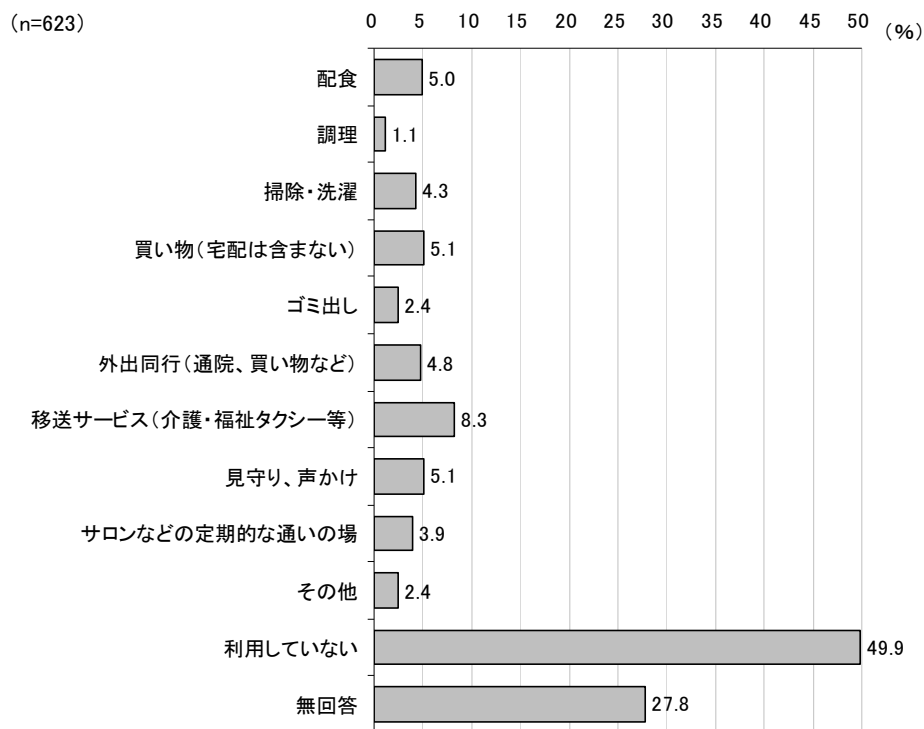
問 19 今後、介護保険の保険料が、平成 30 年度に改定される予定となっています。介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。（1つに〇）

介護保険のサービスと保険料の関係は、「わからない」が 28.1%と最も高く、次いで「保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ」が 21.3%、「保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい」が 20.7%となっています。



問 20 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「利用していない」が49.9%と最も高くなっています。利用している内容としては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が8.3%、「買い物（宅配は含まない）」が5.1%、「配食」が5.0%となっています。



■家族構成、介護度別にみた現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況

家族構成別にみると、すべての項目で「利用していない」が最も高くなっています。また、一人暮らしでは「配食」、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」で1割を超えており、他の項目よりも高くなっています。

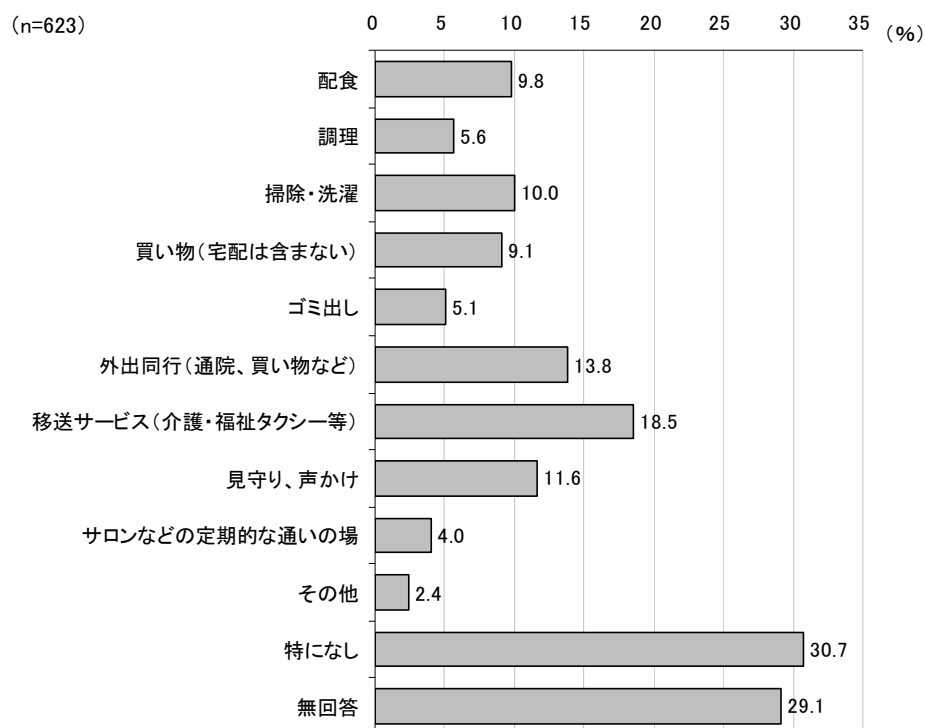
介護度別にみると、すべての項目で「利用していない」が最も高くなっています。また、要支援では「配食」や「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、中度（要介護1～3）では「買い物（宅配は含まない）」が他の項目よりもやや高くなっています。

単位(%)	サンプル数(人)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場
家族構成別										
一人暮らし	168	12.5	3.6	10.1	11.9	4.8	7.1	11.9	8.3	7.1
夫婦2人暮らし	109	1.8	0.9	2.8	2.8	3.7	4.6	10.1	6.4	3.7
息子・娘との2世帯	150	0.7	0.0	2.0	2.0	0.7	4.7	5.3	2.7	1.3
その他	176	2.8	0.0	0.6	1.7	0.6	2.3	5.1	2.8	2.3
介護度別										
要支援	211	7.1	1.9	7.6	6.2	3.8	5.7	9.0	4.7	6.2
中度（要介護1～3）	280	3.9	1.1	2.5	5.4	2.1	5.0	8.9	6.1	2.9
重度（要介護4～5）	93	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	1.1	4.3	1.1	0.0
わからない	7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3

単位(%)	サンプル数(人)	その他	利用していない	無回答
家族構成別				
一人暮らし	168	4.8	35.1	25.6
夫婦2人暮らし	109	0.9	56.0	23.9
息子・娘との2世帯	150	1.3	69.3	17.3
その他	176	2.3	47.7	38.6
介護度別				
要支援	211	3.8	46.0	24.2
中度（要介護1～3）	280	1.8	55.0	23.2
重度（要介護4～5）	93	2.2	46.2	46.2
わからない	7	0.0	85.7	0.0

問 21 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）はありますか。（あてはまるものすべてに○）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「特になし」が30.7%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が13.8%、「見守り、声かけ」が11.6%となっています。



■日常生活圏域別にみた今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

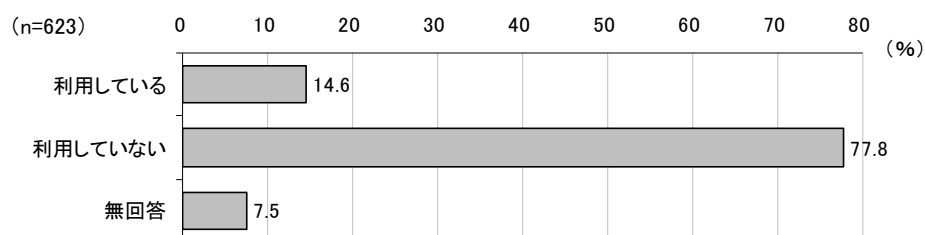
日常生活圏域別にみると、すべての地区で「特になし」が最も高くなっています。また、鴨川地区で「掃除・洗濯」や「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、東条・天津小湊地区で「配食」や「掃除・洗濯」が他の地区よりもやや高くなっています。

単位 (%)	サンプル数 (人)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場
鴨川地区	197	8.6	3.6	10.7	9.1	4.6	15.2	21.3	9.1	3.0
長狭地区	122	8.2	4.9	5.7	9.0	3.3	11.5	14.8	11.5	4.1
江見地区	103	6.8	5.8	6.8	5.8	4.9	15.5	18.4	9.7	6.8
東条・天津小湊地区	186	13.4	8.1	12.4	10.8	7.0	12.9	18.3	15.1	2.7

単位 (%)	サンプル数 (人)	その他	特になし	無回答
鴨川地区	197	1.5	33.5	24.4
長狭地区	122	0.8	31.1	38.5
江見地区	103	4.9	27.2	30.1
東条・天津小湊地区	186	3.2	30.6	25.8

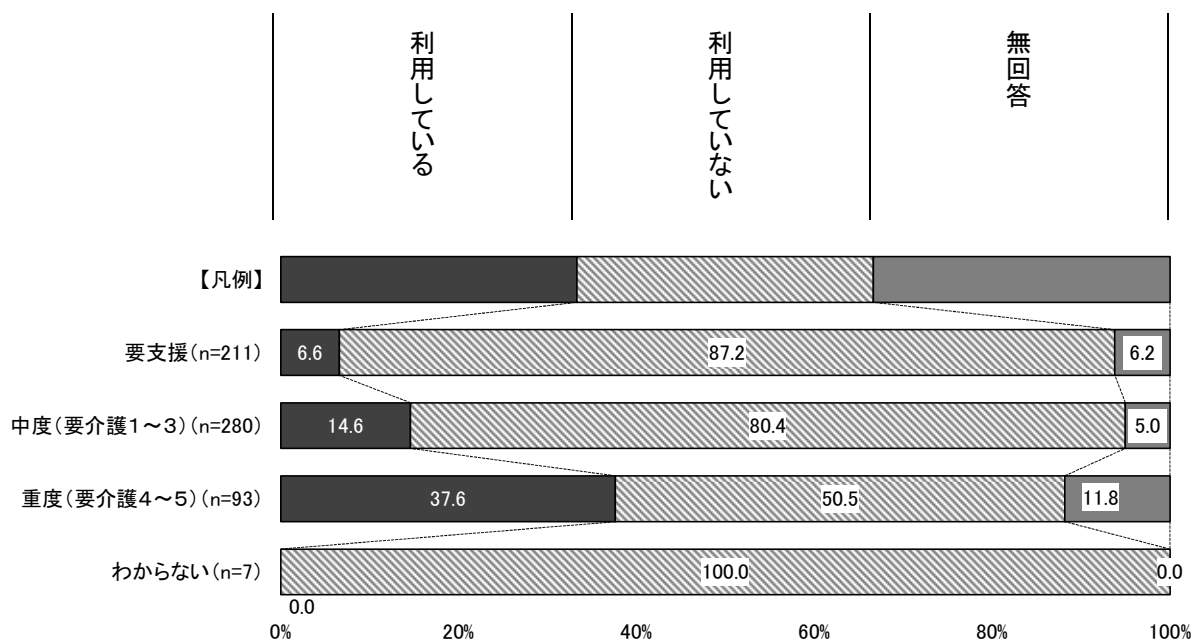
問 22 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つに○）

調査対象者が現在、訪問診療を利用しているかは、「利用していない」が77.8%で、「利用している」の14.6%を上回っています。



■介護度別にみた訪問診療の利用状況

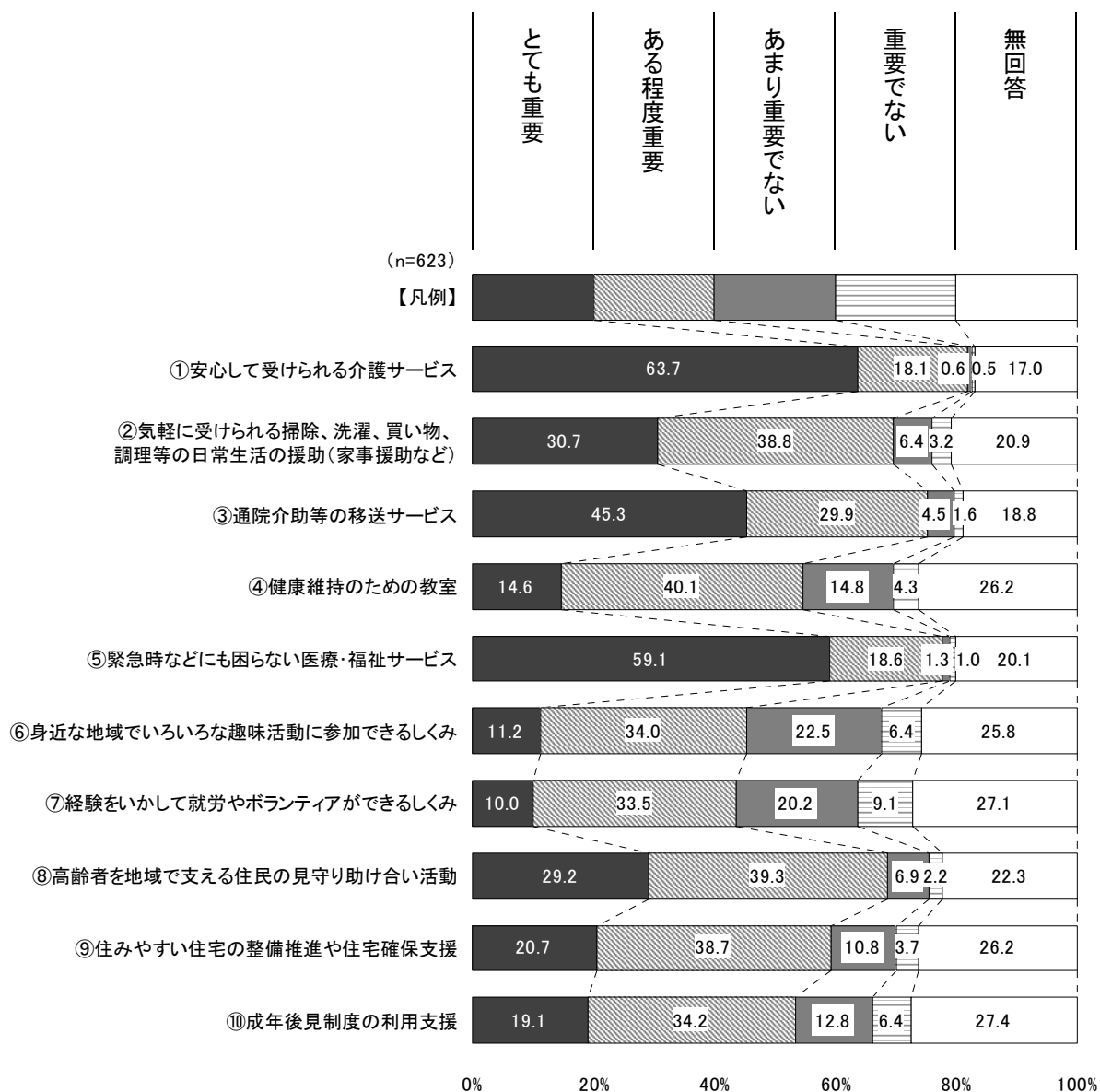
介護度別にみると、「利用している」は要介護度が上がるほど増えており、重度（要介護4～5）では37.6%と高くなっています。



問 23 以下の高齢者施策は、どの程度重要だと考えますか。①～⑩それぞれに回答してください。（〇はそれぞれ1つずつ）

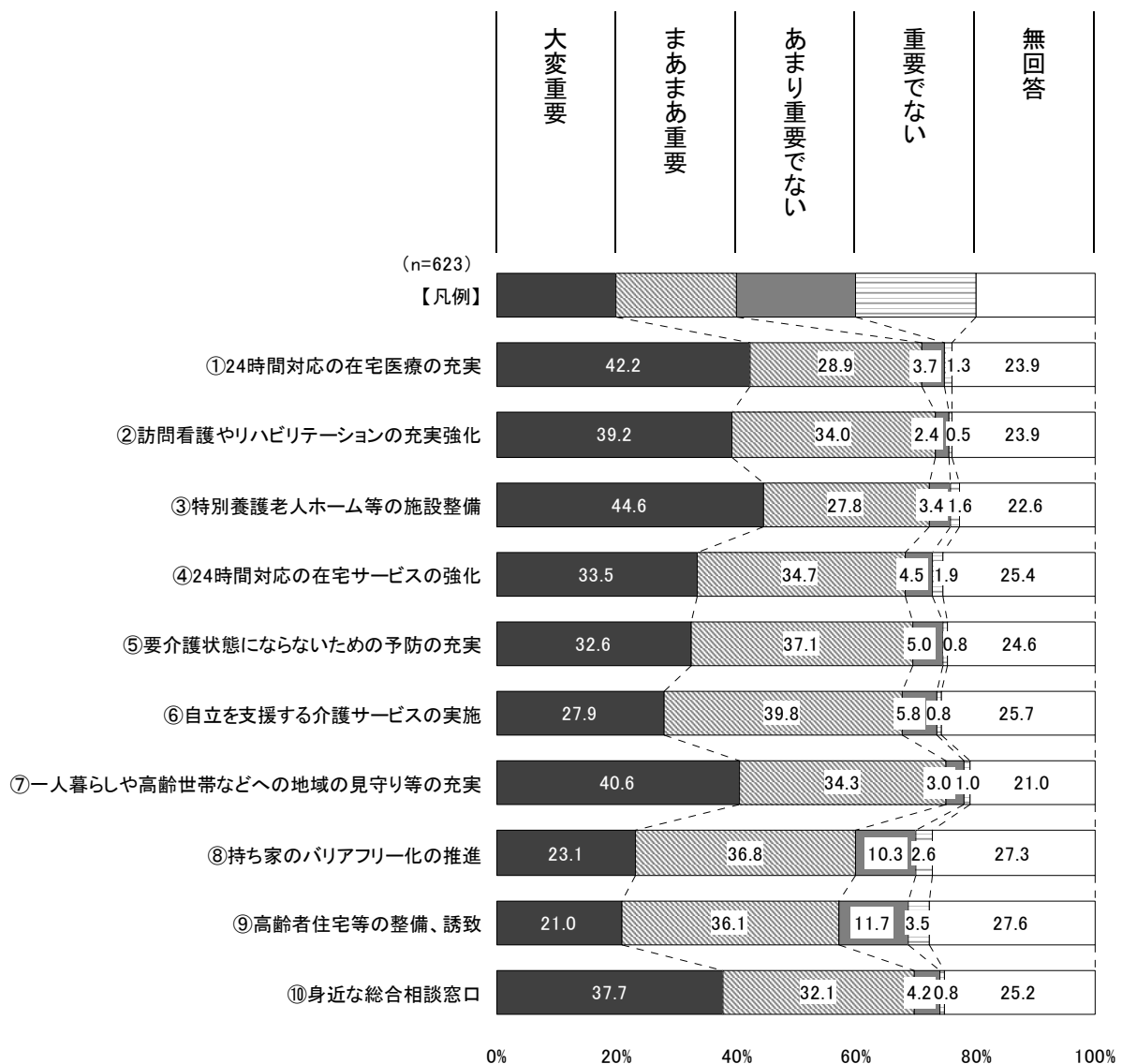
高齢者施策をどの程度重要と考えるかは、「とても重要」が①安心して受けられる介護サービスで最も高く 63.7%、⑤緊急時などにも困らない医療・福祉サービスが 59.1%、③通院介助等の移送サービスが 45.3%と続いています。

また、⑥身近な地域でいろいろな趣味活動に参加できるしくみや⑦経験をいかして就労やボランティアができるしくみでは「あまり重要でない」が2割を超え、他の項目よりもやや高くなっています。



問 24 国においては、日常の生活圏域における総合的なケアシステムの充実を、今後の施策の中心として進めていく予定です。鴨川市として、次に挙げる対策のうちどの対策を優先すべきだと思いますか。①～⑩それぞれに回答してください。（〇はそれぞれ1つずつ）

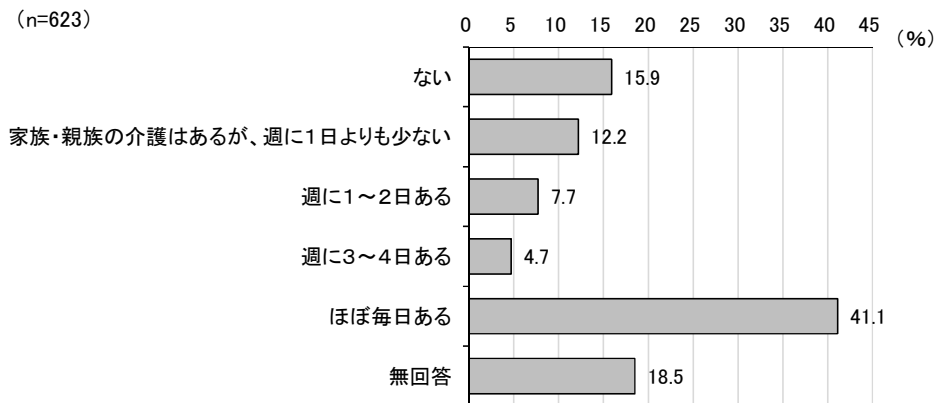
鴨川市で優先すべき対策は、「大変重要」が③特別養護老人ホーム等の施設整備で最も高く44.6%、①24時間対応の在宅医療の充実が42.2%、⑦一人暮らしや高齢世帯などへの地域の見守り等の充実が40.6%、⑩身近な総合相談窓口が37.7%と続いています。



5 介護の状況について

問 25 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つに○）

家族や親族からの介護が週にどれくらいあるかは、「ほぼ毎日ある」が41.1%と最も高く、次いで「ない」が15.9%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が12.2%となっています。

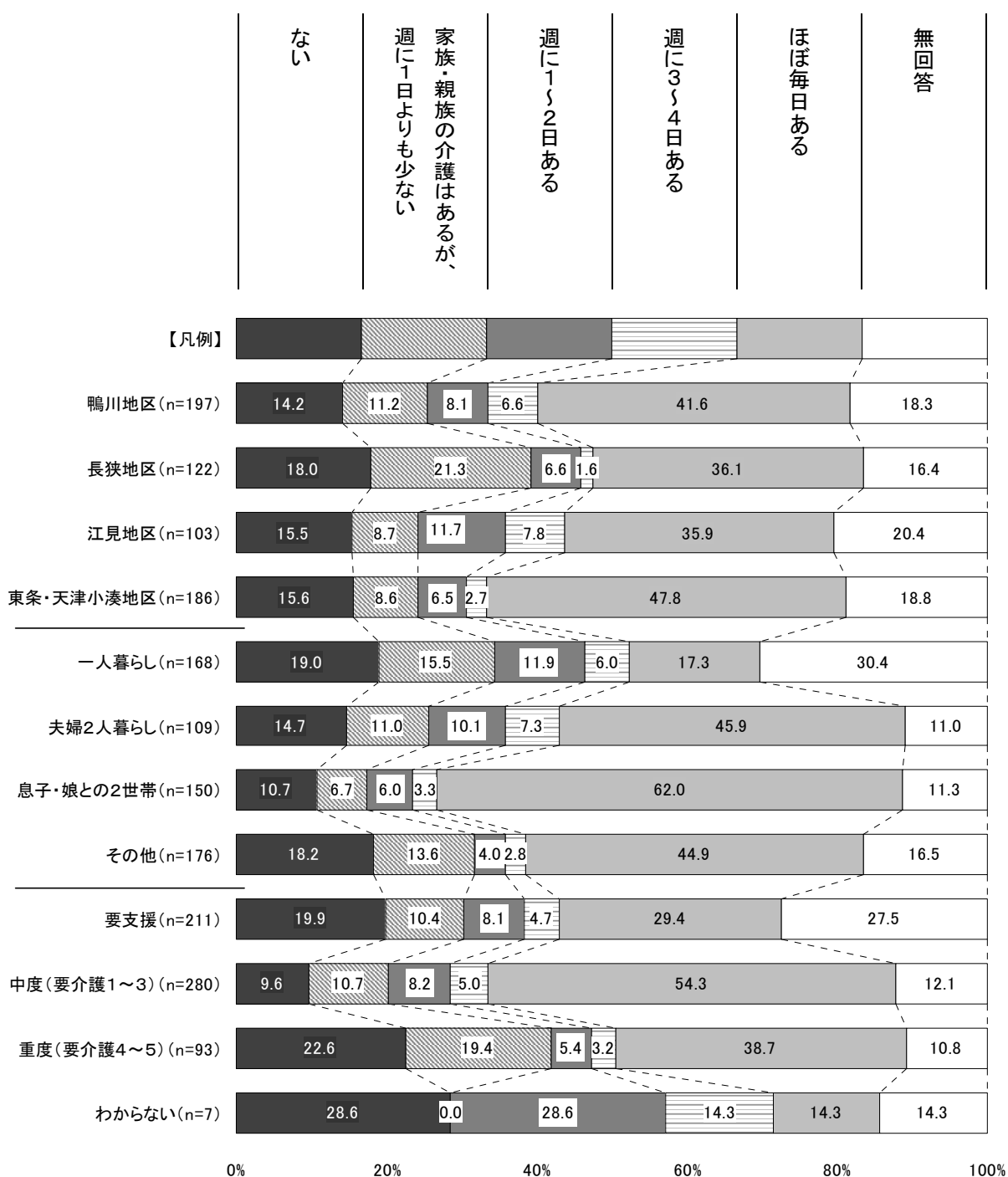


■日常生活圏域、家族構成、介護度別にみた家族や親族からの介護の頻度

日常生活圏域別にみると、すべての地区で「ほぼ毎日ある」が最も高くなっています。また、長狭地区では「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が2割以上、江見地区では「週に1～2日ある」が1割以上で、他の地区よりも高くなっています。

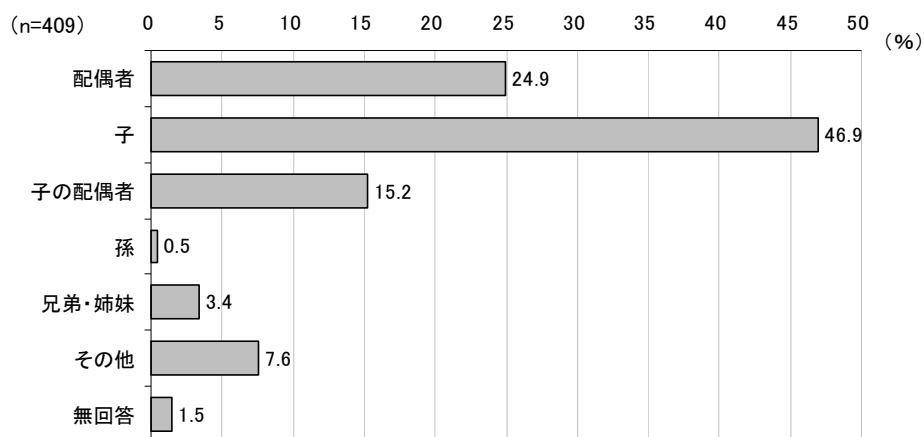
家族構成別にみると、一人暮らしでは「ない」、夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯およびその他では「ほぼ毎日ある」が最も高く、特に息子・娘との2世帯では6割を超えています。

介護度別にみると、わからないを除くすべての項目で「ほぼ毎日ある」が最も高く、特に中度（要介護1～3）では5割半ばを占めています。



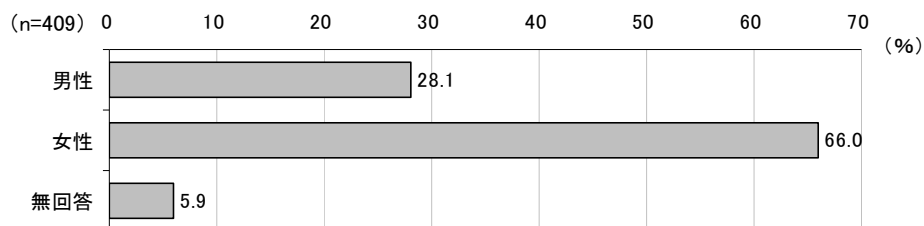
問 26 主な介護者の方は、どなたですか。（1つに○）

主な介護者は、「子」が46.9%と最も高く、次いで「配偶者」が24.9%、「子の配偶者」が15.2%となっています。



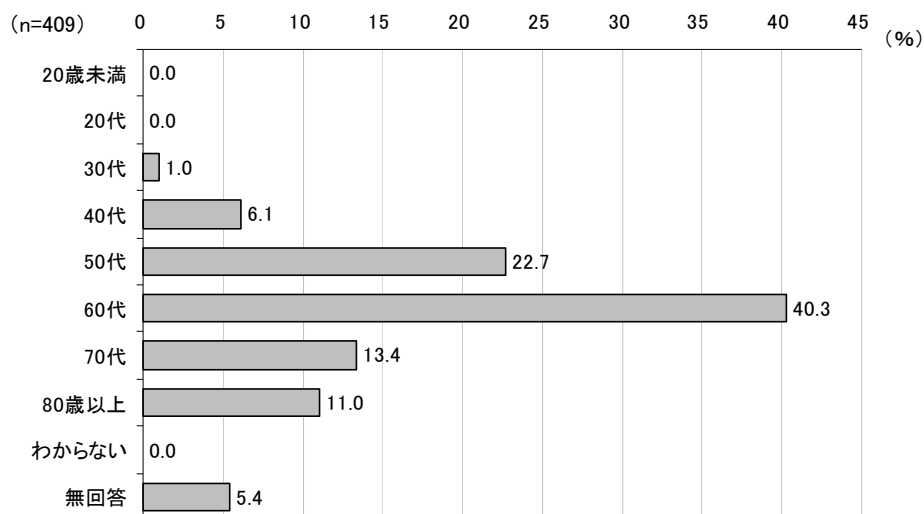
問 27 主な介護者の方の性別をお答えください。（1つに○）

主な介護者の性別は、「女性」が66.0%で、「男性」の28.1%を上回っています。



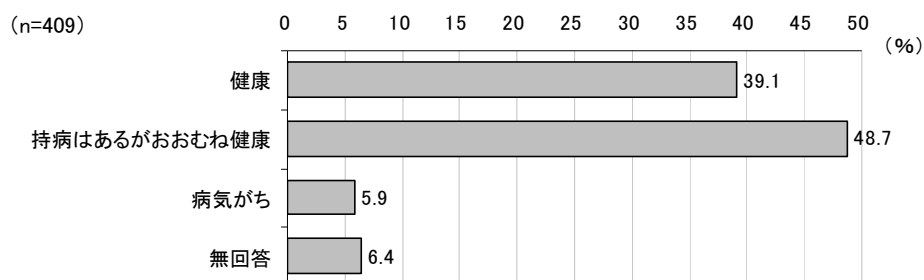
問 28 主な介護者の方の年齢をお答えください。（1つに○）

主な介護者の年齢は、「60代」が40.3%と最も高く、次いで「50代」が22.7%、「70代」が13.4%、「80歳以上」が11.0%となっています。



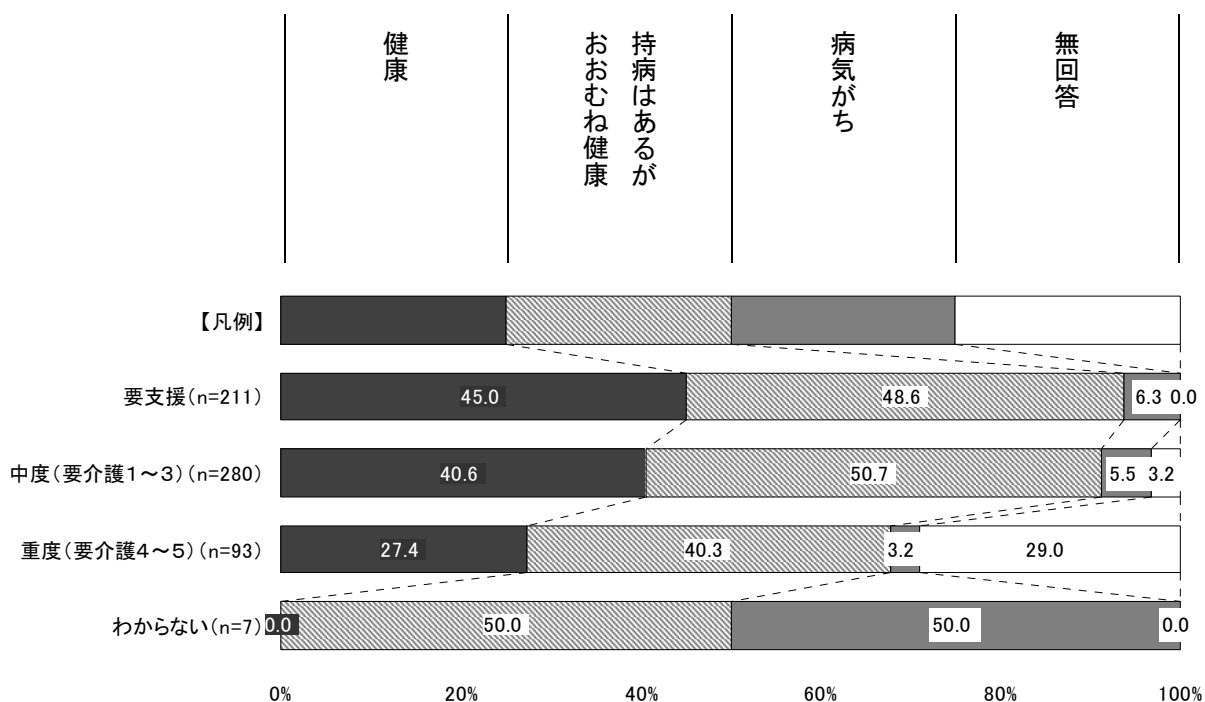
問 29 ご家庭で主に介護をされている方の健康状態はいかがですか。(1つに○)

主な介護者の健康状態は、「持病はあるがおおむね健康」が48.7%と最も高く、次いで「健康」が39.1%となっています。



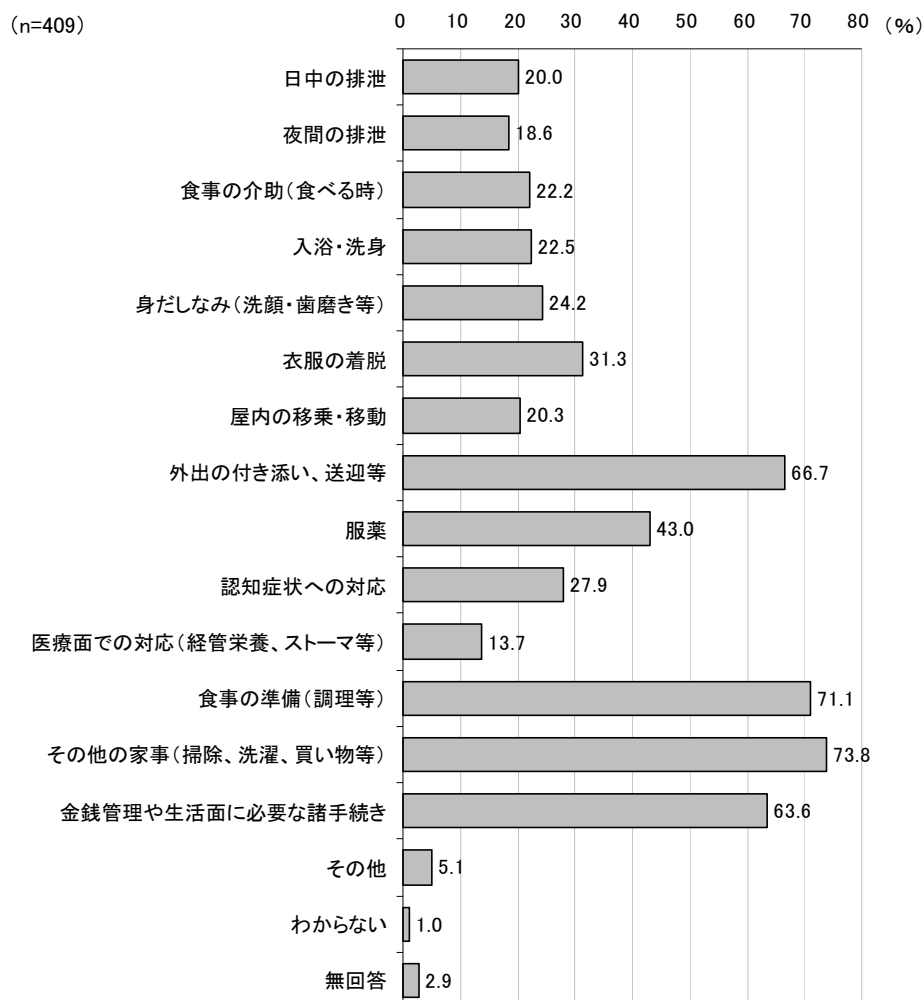
■介護度別にみた主な介護者の健康状態

介護度別にみると、わからないを除くすべての項目で「持病はあるがおおむね健康」が最も高くなっています。また、要支援と中度（要介護1～3）では「健康」が4割を超え、他の項目よりも高くなっています。



問 30 現在、主な介護者の方が行っている介護等は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

主な介護者の方が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 73.8%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 71.1%、「外出の付き添い、送迎等」が 66.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 63.6%となっています。



■介護度別にみた主な介護者の方が行っている介護等

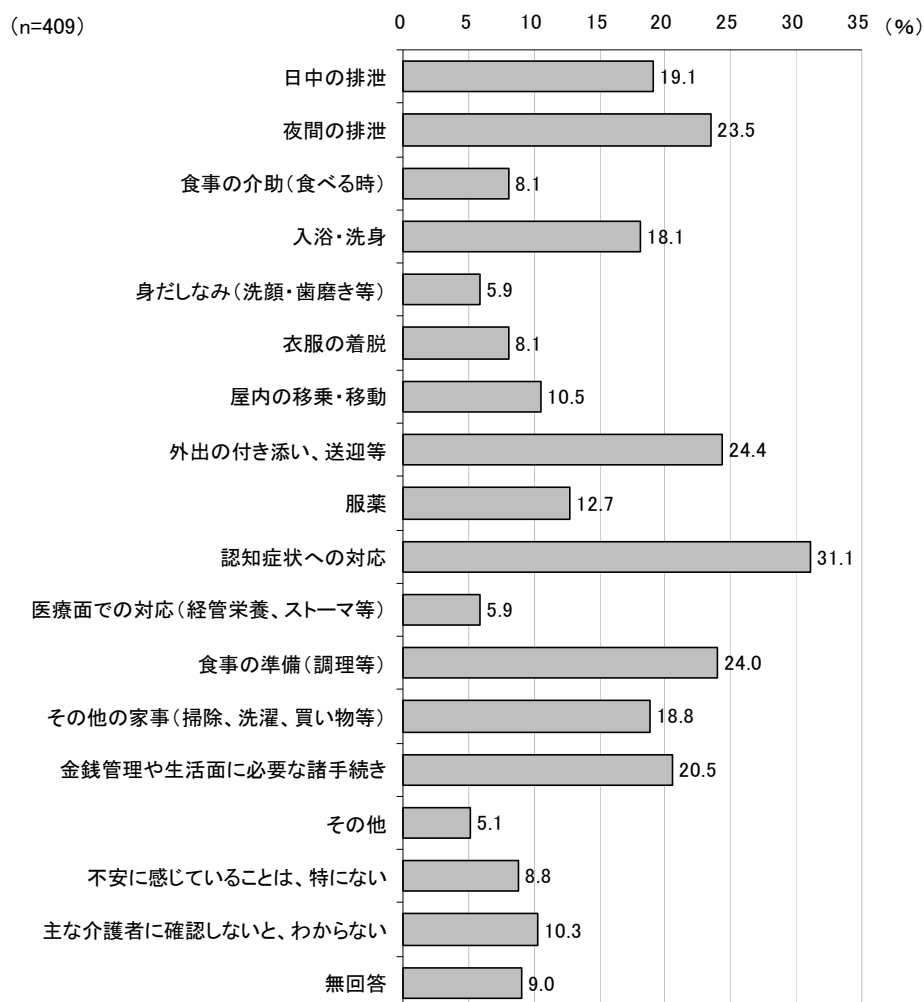
介護度別にみると、要支援および中度（要介護1～3）では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、重度（要介護4～5）では「食事の準備（調理等）」が最も高くなっています。また、重度（要介護4～5）ではすべての項目で要支援や中度（要介護1～3）よりも高い割合を示しています。

単位(%)	サンプル数(人)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
要支援	111	3.6	1.8	12.6	9.9	4.5	10.8	9.9	64.9	23.4
中度(要介護1～3)	219	15.1	15.1	18.3	23.7	22.8	32.0	14.6	67.6	44.7
重度(要介護4～5)	62	69.4	61.3	54.8	40.3	64.5	69.4	61.3	69.4	74.2
わからない	4	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0

単位(%)	サンプル数(人)	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
要支援	111	8.1	5.4	62.2	67.6	48.6	4.5	1.8	1.8
中度(要介護1～3)	219	32.9	9.1	72.6	74.9	67.6	5.5	0.9	3.2
重度(要介護4～5)	62	48.4	43.5	85.5	82.3	82.3	4.8	0.0	3.2
わからない	4	0.0	25.0	100.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0

問 31 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等は何ですか（現状で行っているか否かは問いません）。（3つまでに○）

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が 31.1%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 24.4%、「食事の準備（調理等）」が 24.0%、「夜間の排泄」が 23.5%となっています。



■介護度別にみた現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等

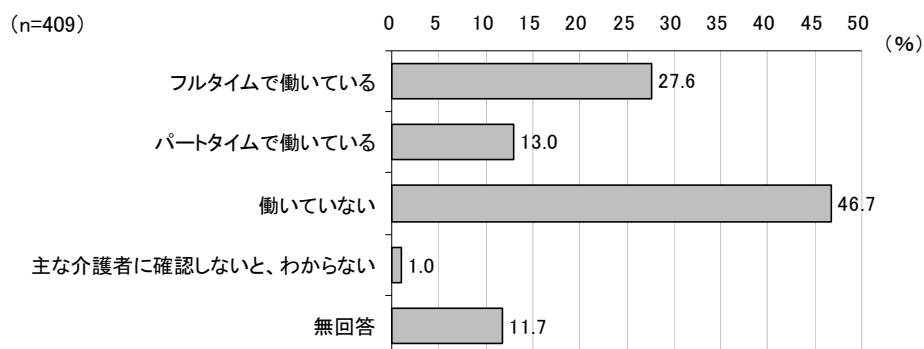
介護度別にみると、要支援では「食事の準備（調理等）」、中度（要介護1～3）では「認知症状への対応」、重度（要介護4～5）では「夜間の排泄」と「認知症状への対応」が最も高くなっています。また、要支援では「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が他の項目よりも高くなっています。

単位(%)	サンプル数(人)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
要支援	111	11.7	17.1	4.5	15.3	4.5	3.6	9.0	30.6	10.8
中度(要介護1～3)	219	22.8	26.0	10.0	20.5	6.8	9.6	11.4	24.7	16.0
重度(要介護4～5)	62	19.4	25.8	6.5	14.5	6.5	9.7	12.9	12.9	6.5
わからない	4	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

単位(%)	サンプル数(人)	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
要支援	111	18.0	3.6	34.2	29.7	18.9	3.6	9.9	6.3	11.7
中度(要介護1～3)	219	40.6	4.6	20.5	15.5	22.8	6.4	8.2	7.8	7.3
重度(要介護4～5)	62	25.8	16.1	14.5	9.7	16.1	3.2	11.3	24.2	9.7
わからない	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

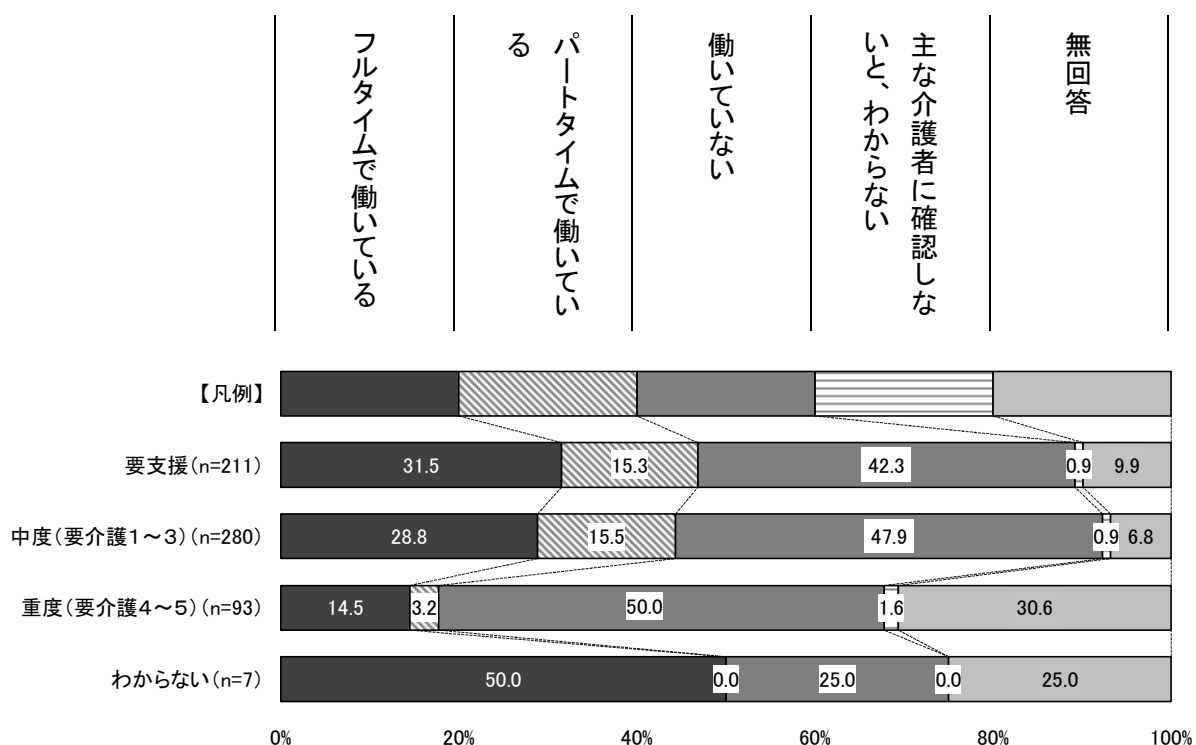
問 32 主な介護者の方の現在の勤務形態は何ですか。(1つに○)

主な介護者の現在の勤務形態は、「働いていない」が46.7%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が27.6%となっています。



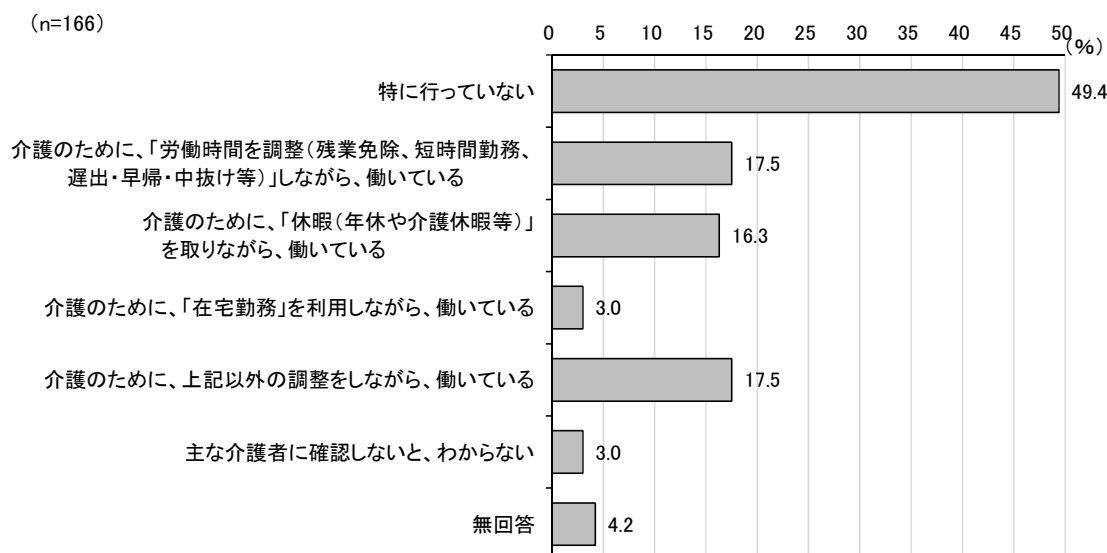
■介護度別にみた介護者の方の現在の勤務形態

介護度別にみると、要支援と中度（要介護1～3）では「フルタイムで働いている」が3割前後に対し、重度（要介護4～5）では1割半ばと低くなっています。



問 32-1 問 32 で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」と答えた方におききします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

介護をするにあたって、働き方についての調整等をしているかは、「特に行っていない」が49.4%と最も高く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」と「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」がともに17.5%、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が16.3%となっています。



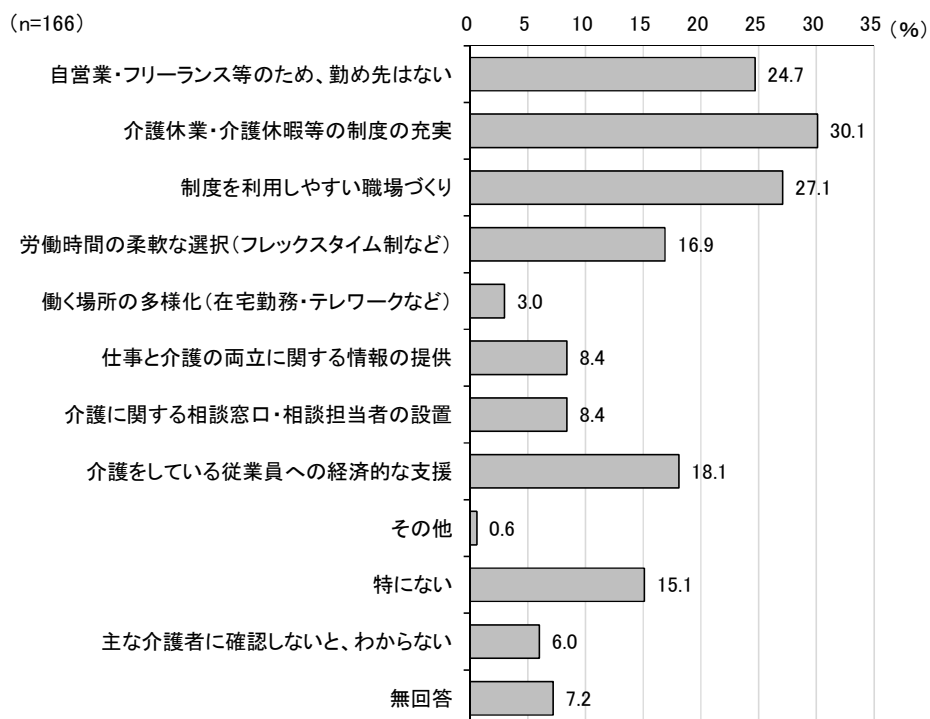
■介護度別にみた介護をするにあたって、働き方についての調整等をしているかの状況

介護度別にみると、要支援および中度（要介護1～3）では「特に行っていない」、重度（要介護4～5）では「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が最も高くなっています。また、重度（要介護4～5）では「介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている」が他の項目よりも高くなっています。

単位 (%)	サンプル数 (人)	特に行っていない	介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている	介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている	介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている	介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
要支援	52	59.6	19.2	7.7	1.9	11.5	1.9	7.7
中度(要介護1～3)	97	48.5	13.4	19.6	4.1	18.6	2.1	3.1
重度(要介護4～5)	11	27.3	45.5	9.1	0.0	27.3	9.1	0.0
わからない	2	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

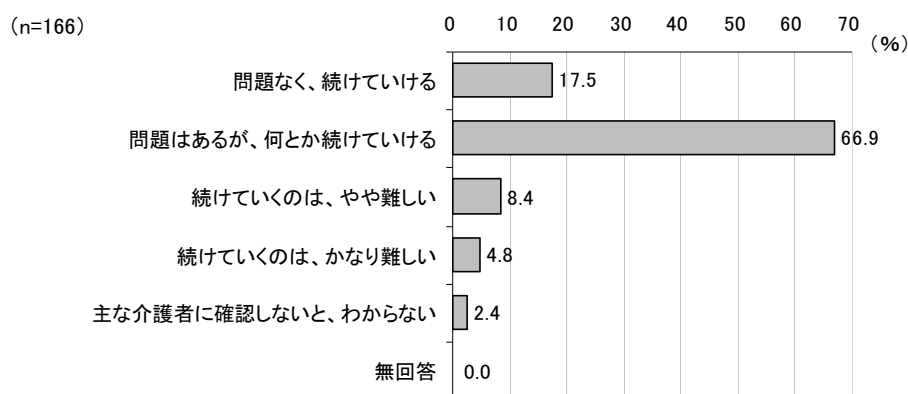
問 32-2 問 32 で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」と答えた方におききます。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまでに○）

勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかは、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 30.1%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が 27.1%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 24.7%となっています。



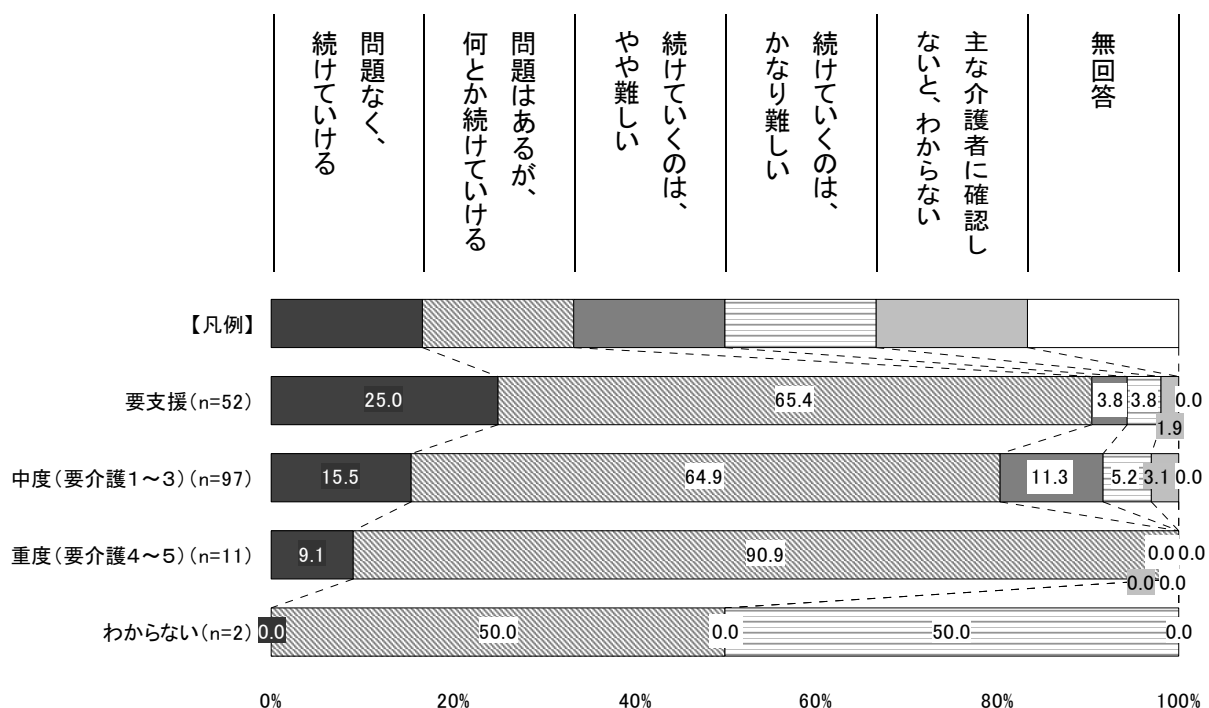
問 32-3 問 32 で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」と答えた方におききます。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つに○）

今後も働きながら介護を続けていけそうかは、「問題はあるが、何とか続けていける」が66.9%と最も高くなっています。



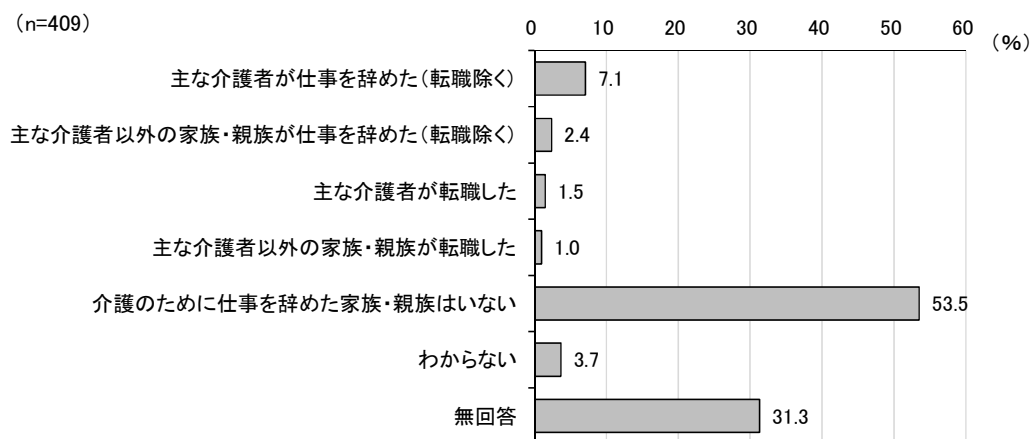
■介護度別にみた今後も働きながら介護を続けていけそうかの状況

介護度別にみると、すべての項目で「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、特に重度（要介護4～5）ではおおむね9割を占めています。



問 33 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。
（あてはまるものすべてに○）

介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいるかは、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 53.5%と最も高くなっています。



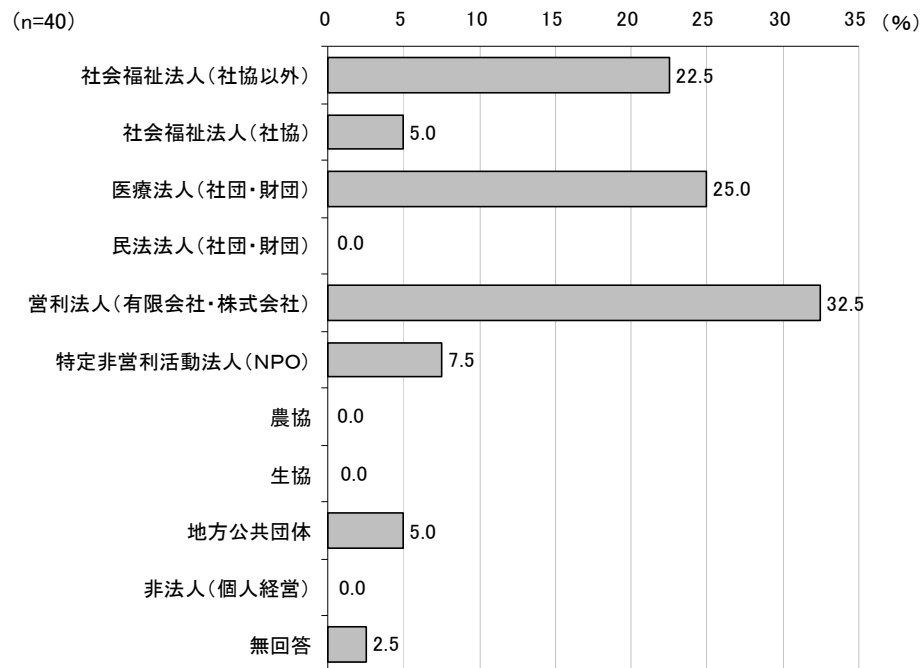
第5章 介護サービス提供事業所対象 調査結果

1 貴事業所の基本的なことについておうかがいします

問1 平成29年1月1日現在の貴事業所についてお答えください。

■法人種別

事業所の法人種別は、「営利法人（有限会社・株式会社）」が32.5%と最も高く、次いで「医療法人（社団・財団）」が25.0%、「社会福祉法人（社協以外）」が22.5%となっています。

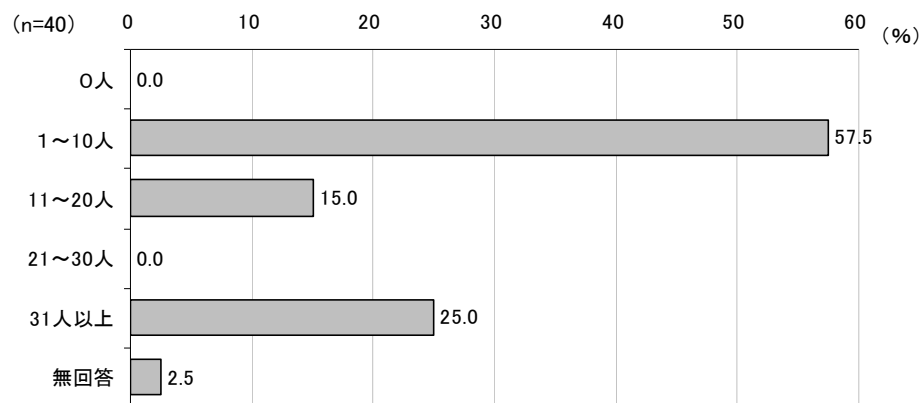


■従事者の人数

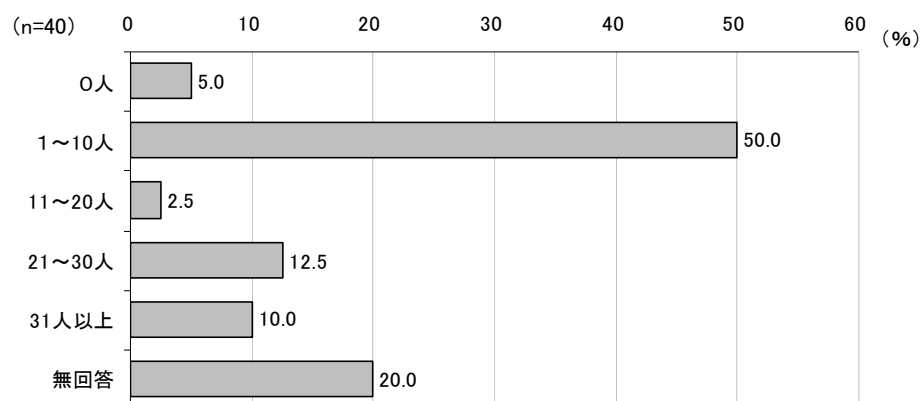
市内の従事者の人数は、「1～10人」が57.5%と最も高く、次いで「31人以上」が25.0%、「11～20人」が15.0%となっています。

市外の従事者の人数は、「1～10人」が50.0%と最も高く、次いで「21～30人」が12.5%、「31人以上」が10.0%となっています。

<市内>

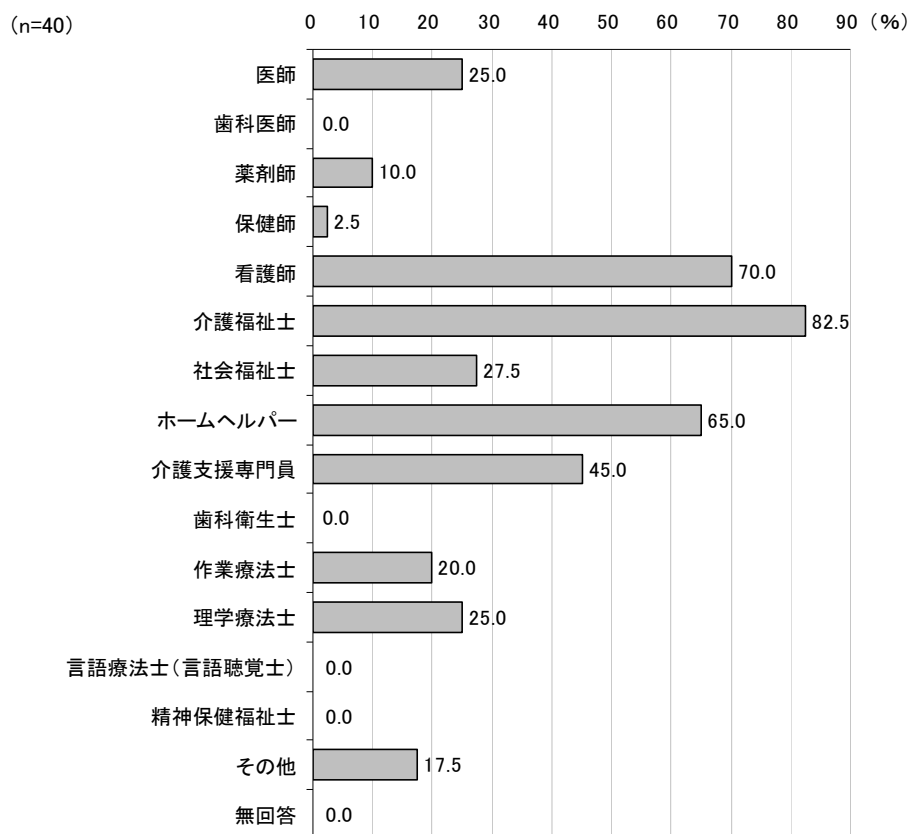


<市外>



問2 貴事業所において、どのような資格者が従事していますか。（あてはまるものすべてに○）

どのような資格者が従事しているかは、「介護福祉士」が82.5%と最も高く、次いで「看護師」が70.0%、「ホームヘルパー」が65.0%、「介護支援専門員」が45.0%となっています。



2 貴事業所が実施している事業についておうかがいします

問3 貴事業所が実施している介護保険事業（サービス）の状況や今後の意向を、それぞれの項目についてお答えください。あてはまるものすべてについて番号に○をつけ、今後の意向については予定年月も記入してください。

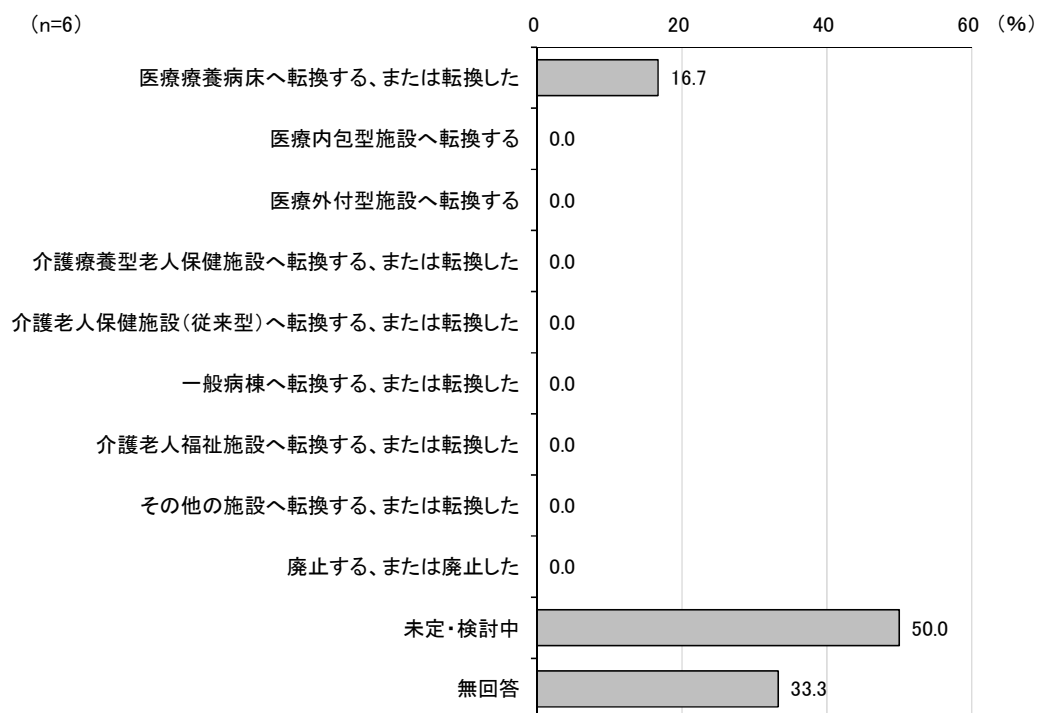
実施している介護保険事業（サービス）の状況や今後の意向については、市内ではほとんどの事業が実施中となっているものの、“定期巡回・随時対応型訪問介護看護”、“看護小規模多機能型居宅介護”、“地域密着型特定施設入居者生活介護”などが実施されていません。また、「新規予定（検討中）」は、“地域密着型通所介護”の1件となっています。一方で、「拡大予定」および「縮小・撤退予定」の該当事業は0件でした。

サービス種類	実施中	現状維持	拡大予定	縮小・撤退予定	新規予定 (検討中)
1 訪問介護	9	3	0	0	0
2 訪問入浴介護	1	2	0	0	0
3 訪問看護	3	2	0	0	0
4 訪問リハビリテーション	2	3	0	0	0
5 居宅療養管理指導	2	2	0	0	0
6 通所介護	9	0	0	0	0
7 通所リハビリテーション	4	4	0	0	0
8 短期入所生活介護	8	0	0	0	0
9 短期入所療養介護	2	4	0	0	0
10 特定施設入居者生活介護	1	1	0	0	0
11 福祉用具貸与	3	2	0	0	0
12 福祉用具購入	3	2	0	0	0
13 住宅改修	3	2	0	0	0
14 夜間対応型訪問介護	1	2	0	0	0
15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	2	0	0	0
16 認知症対応型通所介護	2	3	0	0	0
17 小規模多機能型居宅介護	1	2	0	0	0
18 認知症対応型共同生活介護	2	2	0	0	0
19 看護小規模多機能型居宅介護	0	2	0	0	0
20 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	2	0	0	0
21 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	3	0	0	0	0
22 地域密着型通所介護	3	3	0	0	1
23 居宅介護支援(介護予防支援)	10	1	0	0	0
24 介護老人福祉施設	8	0	0	0	0
25 介護老人保健施設	0	2	0	0	0
26 介護療養型医療施設	2	4	0	0	0

(単位:件)

問4 介護療養型医療施設を運営している、またはしていた事業所におうかがいします。施設について、他種の事業に転換等しましたか。また、今後転換する予定はありますか。
(1つに○)

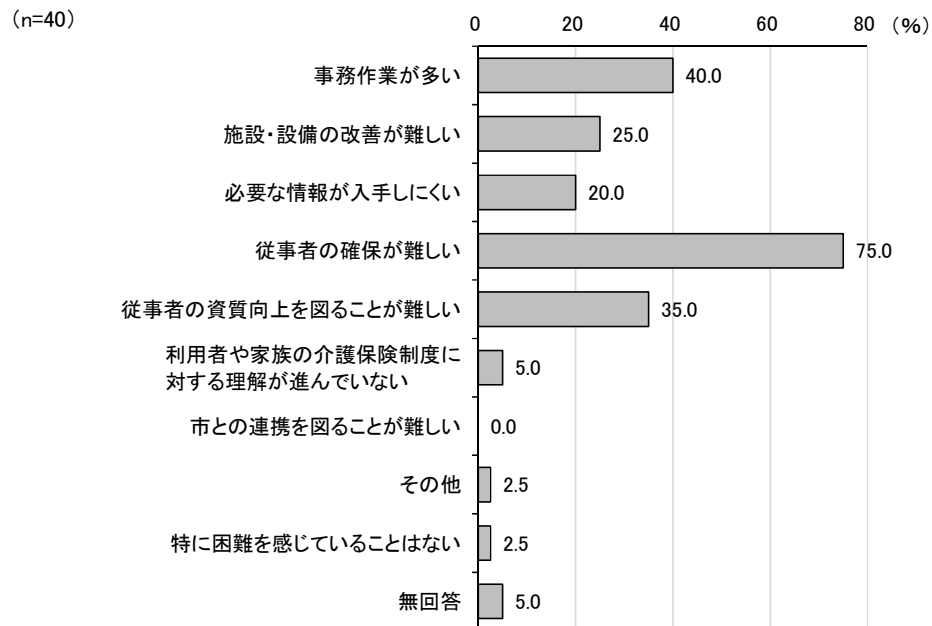
施設について、他種の事業に転換等をしたか、または、今後転換する予定があるかは、「未定・検討中」が50.0%と最も高く、次いで「医療療養病床へ転換する、または転換した」が16.7%となっています。



3 貴事業所の事業運営についておうかがいします

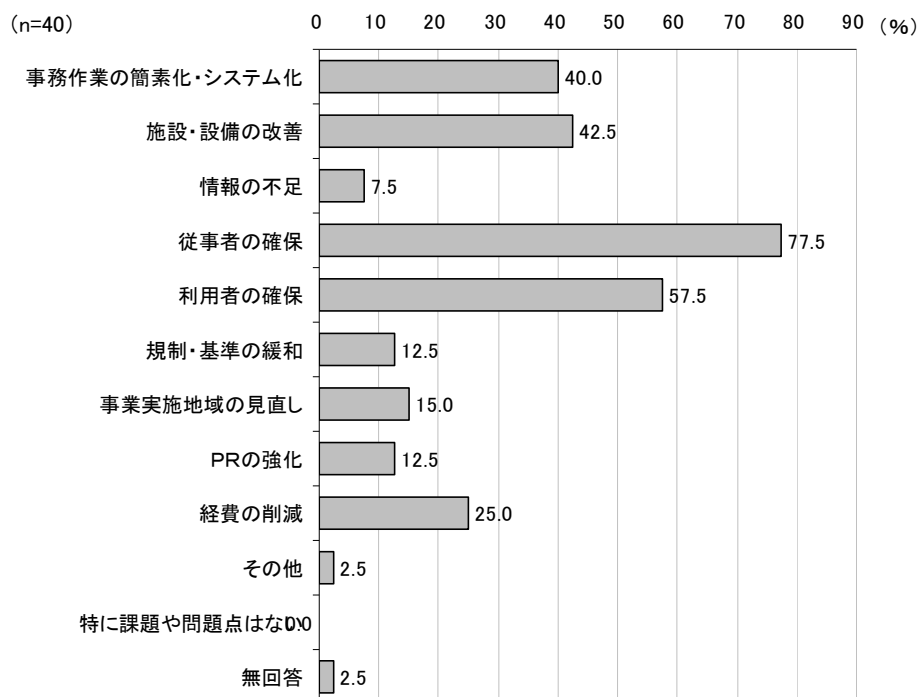
問5 貴事業所が円滑な事業運営を進めていく上で、現在困難を感じていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

円滑な事業運営を進めていく上で、現在困難を感じていることは、「従事者の確保が難しい」が75.0%と最も高く、次いで「事務作業が多い」が40.0%、「従事者の資質向上を図ることが難しい」が35.0%となっています。



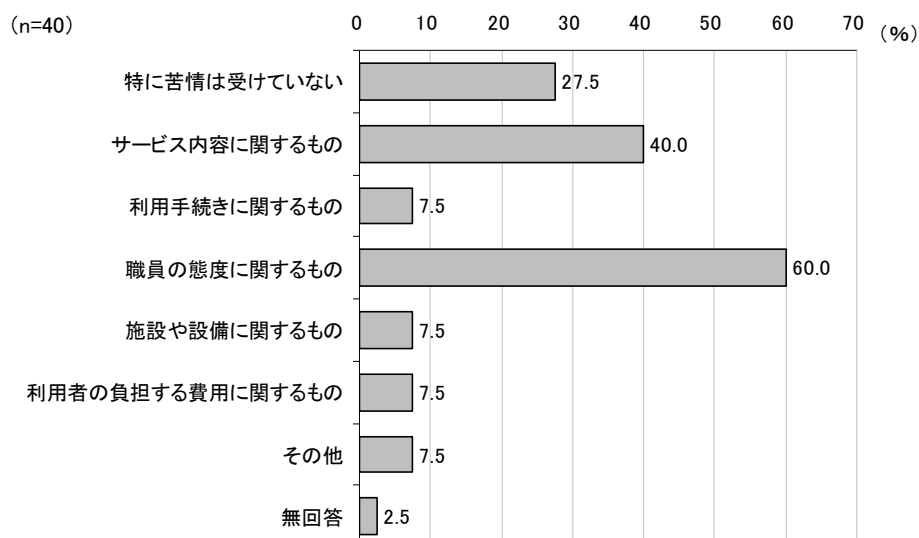
問6 貴事業所が事業の拡大を考える場合の課題や問題点はどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

事業の拡大を考える場合の課題や問題点は、「従事者の確保」が77.5%と最も高く、次いで「利用者の確保」が57.5%、「施設・設備の改善」が42.5%、「事務作業の簡素化・システム化」が40.0%となっています。



問7 これまで、利用者や家族から苦情を受けたことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

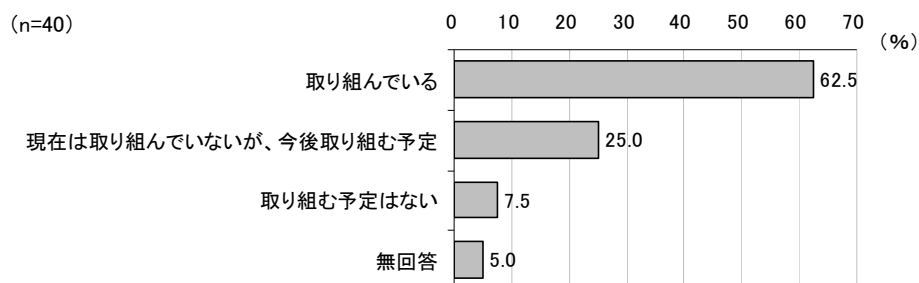
これまで、利用者や家族から苦情を受けたことがあるかは、「職員の態度に関するもの」が60.0%と最も高く、次いで「サービス内容に関するもの」が40.0%、「特に苦情は受けていない」が27.5%となっています。



問8 貴事業所は、サービスの質の確保や向上に関して、どのようにお考えですか。①～⑱
それぞれに回答してください。（○はそれぞれ1つつ）

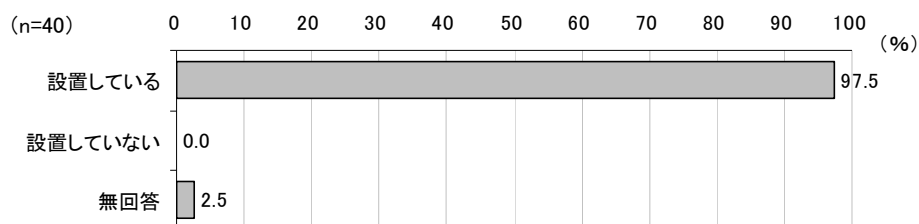
①利用者の満足度や利用者からのサービスの質の評価に取り組んでいますか。

利用者の満足度や利用者からのサービスの質の評価に取り組んでいるかは、「取り組んでいる」が62.5%と最も高くなっています。



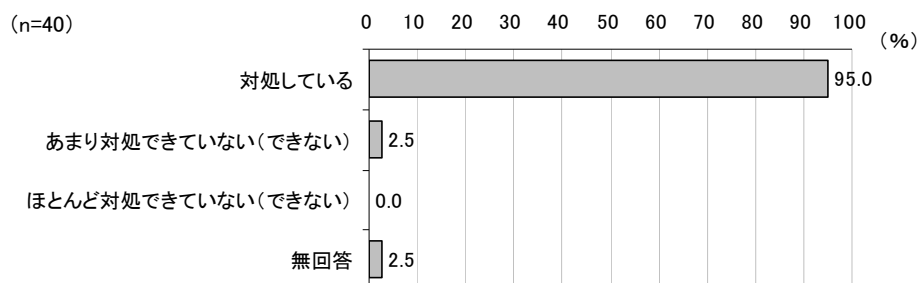
②サービスに苦情があった場合に対応を行う責任者や窓口を設置していますか。

サービスに苦情があった場合に対応を行う責任者や窓口を設置しているかは、「設置している」が97.5%となっています。



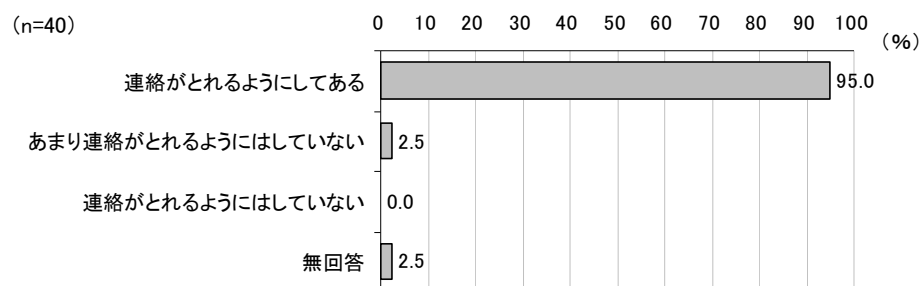
③サービスについての利用者や家族の不満や要望について、十分な対処を行っていますか。

サービスについての利用者や家族の不満や要望について、十分な対処を行っているかは、「対処している」が95.0%と最も高くなっています。



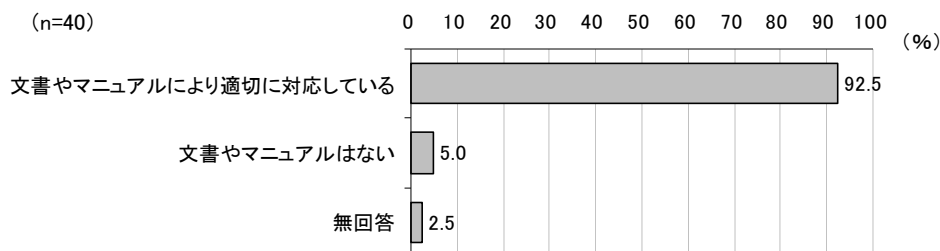
④利用者の事故など緊急の場合に家族等に連絡がとれる体制になっていますか。

利用者の事故など緊急の場合に家族等に連絡がとれる体制になっているかは、「連絡がとれるようにしてある」が95.0%と最も高くなっています。



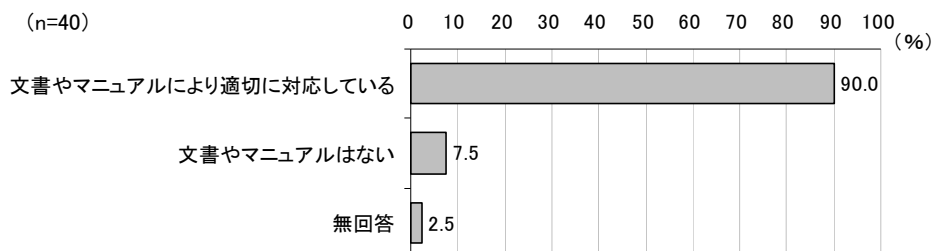
⑤事業所運営にあたり、苦情に対する手続きや事故対応などについて、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。

苦情に対する手続きや事故対応などについて、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応しているかは、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が92.5%で、「文書やマニュアルはない」の5.0%を上回っています。



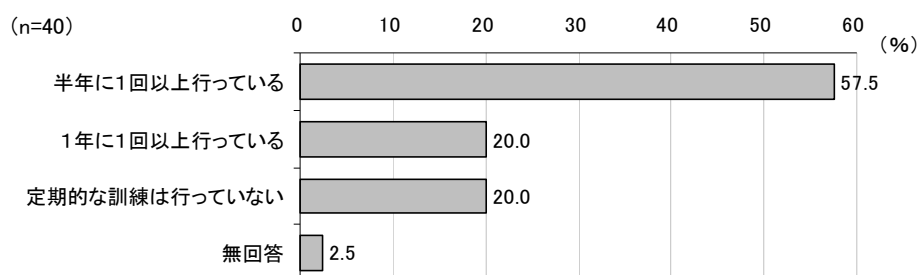
⑥災害発生時の対応方法について、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。

災害発生時の対応方法について、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応しているかは、「文書やマニュアルにより適切に対応している」が90.0%で、「文書やマニュアルはない」の7.5%を上回っています。



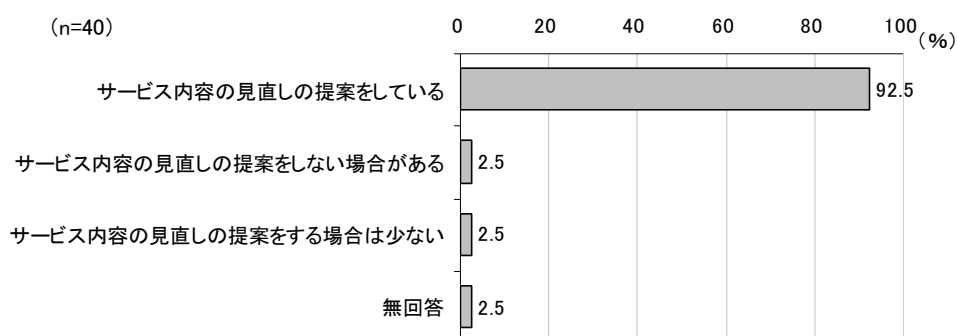
⑦定期的な訓練（避難訓練等）を行っていますか。

定期的な訓練（避難訓練等）を行っているかは、「半年に1回以上行っている」が57.5%と最も高く、次いで「1年に1回以上行っている」と「定期的な訓練は行っていない」がそれぞれ20.0%となっています。



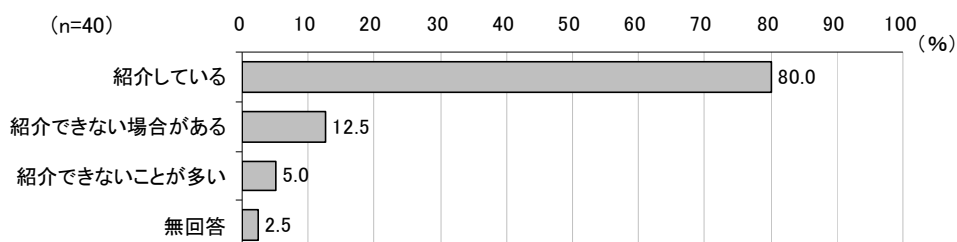
⑧サービスが提供された後に、（利用者の状況変化に応じて）サービス内容の見直しについて、利用者や家族に何らかの提案（ケアマネジャーへの相談を含みます）を行いますか。

サービスが提供された後に、（利用者の状況変化に応じて）サービス内容の見直しについて、利用者や家族に何らかの提案（ケアマネジャーへの相談を含みます）を行うかは、「サービス内容の見直しの提案をしている」が92.5%と最も高くなっています。



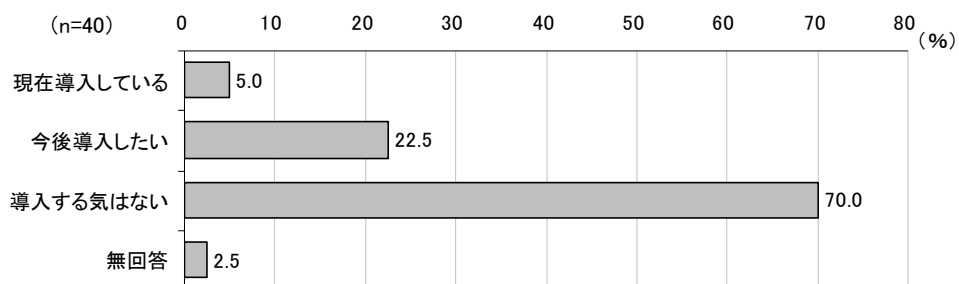
⑨利用しているサービスとは別のサービスが必要になった場合、もしくは貴事業者が提供しうる以上のサービスを利用者や家族が必要とした場合、他の事業者を紹介していますか。

利用しているサービスとは別のサービスが必要になった場合、もしくは貴事業者が提供しうる以上のサービスを利用者や家族が必要とした場合、他の事業者を紹介しているかは、「紹介している」が80.0%と最も高くなっています。



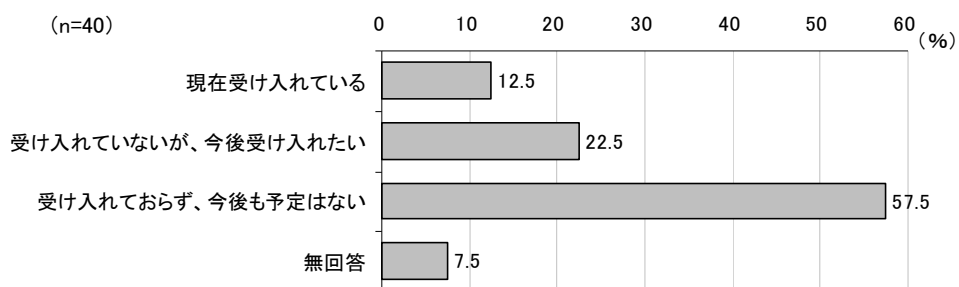
⑩介護負担の軽減に向けた、「介護ロボット」の導入についてどうお考えですか。

介護負担の軽減に向けた、「介護ロボット」の導入については、「導入する気はない」が70.0%と最も高く、次いで「今後導入したい」が22.5%となっています。



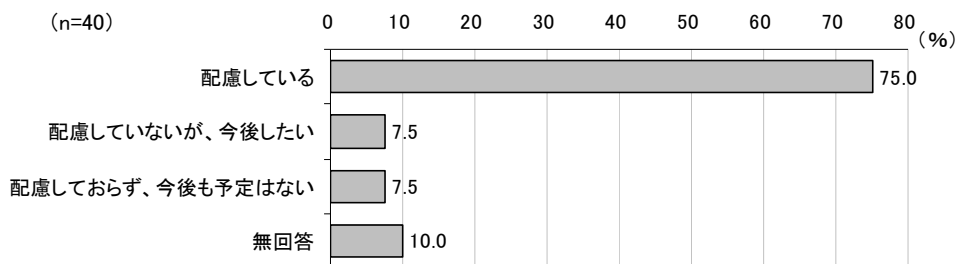
⑪外国人介護人材の受け入れについてどうお考えですか。

外国人介護人材の受け入れについては、「受け入れておらず、今後も予定はない」が57.5%と最も高く、次いで「受け入れていないが、今後受け入れたい」が22.5%となっています。



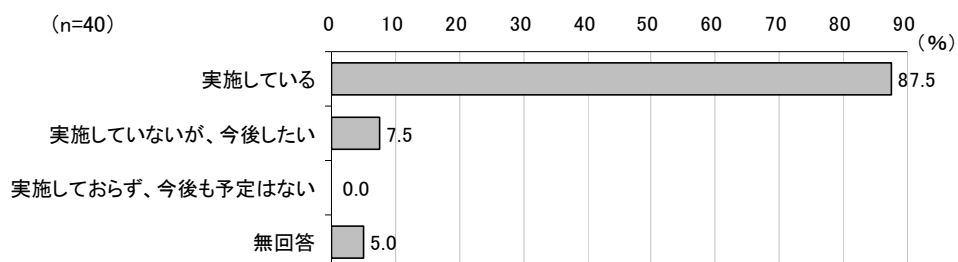
⑫介護従事者の資格取得時の費用補助や勤務時間の配慮をしていますか。

介護従事者の資格取得時の費用補助や勤務時間の配慮をしているかは、「配慮している」が75.0%と最も高くなっています。



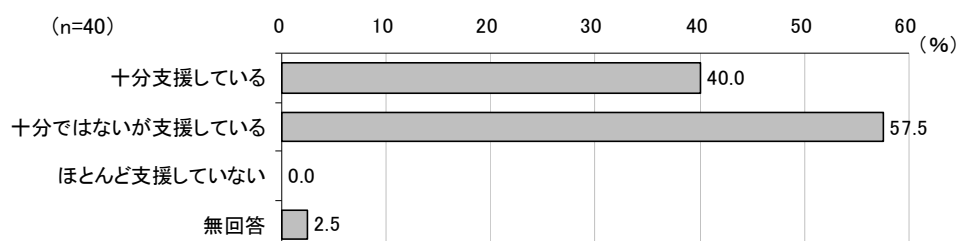
⑬介護従事者の質の向上のための研修を実施していますか。

介護従事者の質の向上のための研修を実施しているかは、「実施している」が87.5%と最も高くなっています。



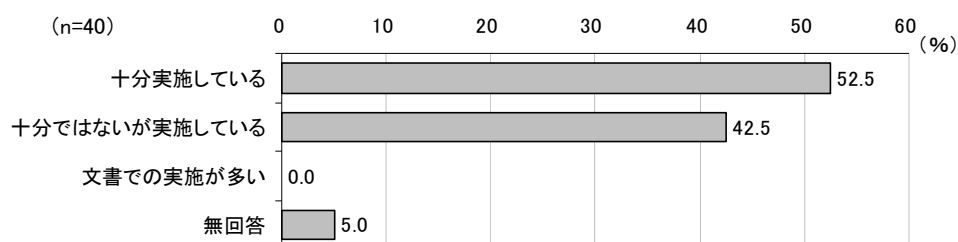
⑭外部の研修や事例検討、勉強会について、職員が積極的に参加できるよう支援していますか。

外部の研修や事例検討、勉強会について、職員が積極的に参加できるよう支援しているかは、「十分ではないが支援している」が57.5%と最も高く、次いで「十分支援している」が40.0%となっています。



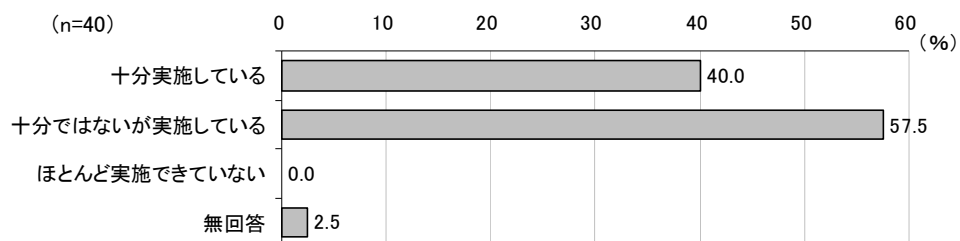
⑮「サービス担当者会議」について、十分実施できていますか。

「サービス担当者会議」について、十分実施できているかは、「十分実施している」が52.5%と最も高く、次いで「十分ではないが実施している」が42.5%となっています。



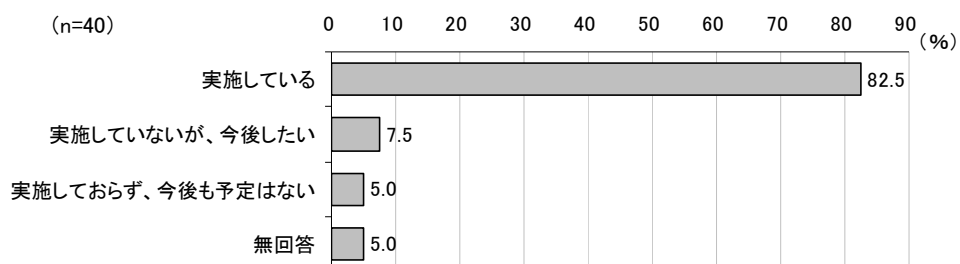
⑩事業者内での講習会・研修について、十分実施できていますか。

事業者内での講習会・研修について、十分実施できているかは、「十分ではないが実施している」が57.5%と最も高く、次いで「十分実施している」が40.0%となっています。



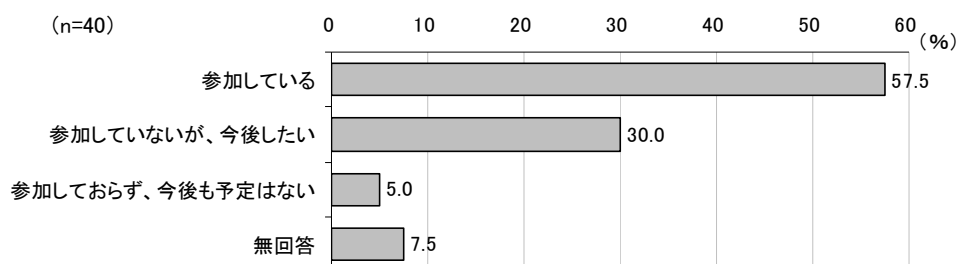
⑪介護従事者の処遇改善を行っていますか。

介護従事者の処遇改善を行っているかは、「実施している」が82.5%と最も高くなっています。



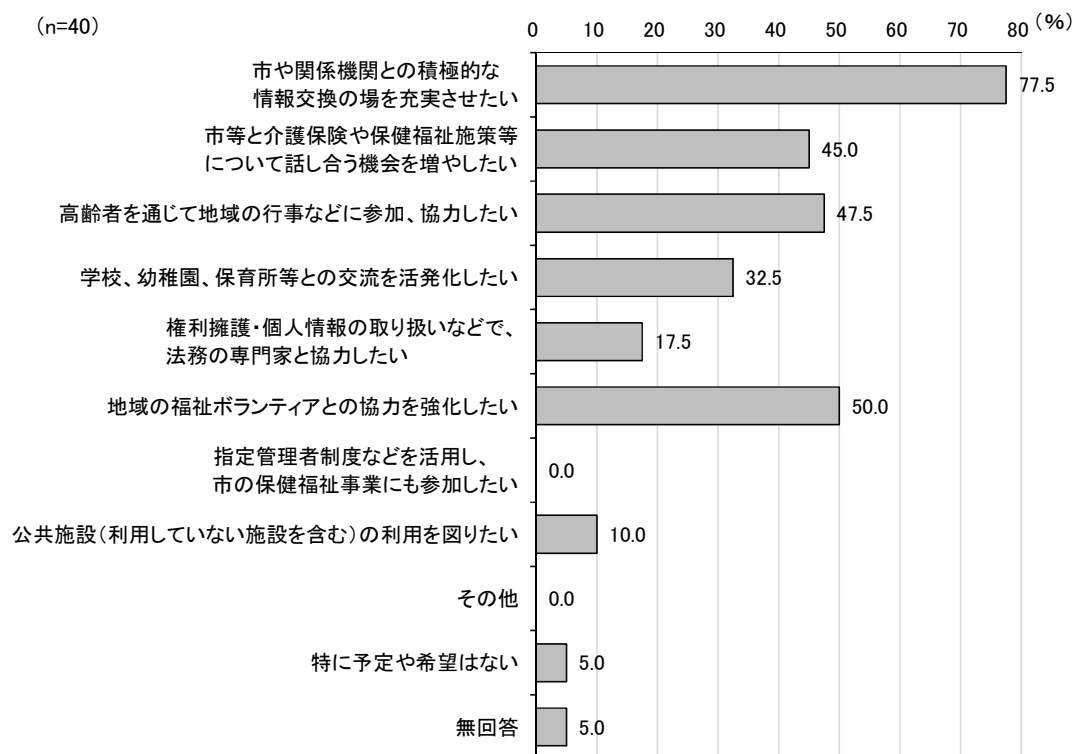
⑫地域ケア会議に参加していますか。

地域ケア会議に参加しているかは、「参加している」が57.5%と最も高く、次いで「参加していないが、今後したい」が30.0%となっています。



問9 貴事業所において、今後、市や住民等とどのような関係を持っていきたいと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

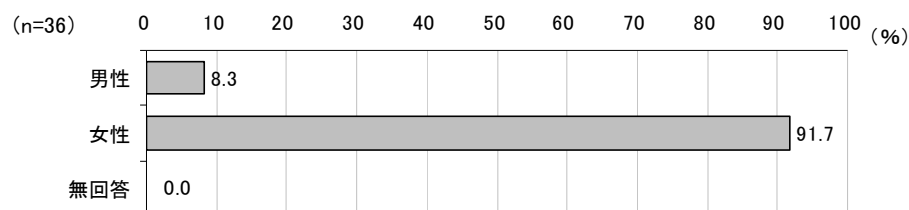
今後、市や住民等とどのような関係を持っていきたいかは、「市や関係機関との積極的な情報交換の場を充実させたい」が77.5%と最も高く、次いで「地域の福祉ボランティアとの協力を強化したい」が50.0%、「高齢者を通じて地域の行事などに参加、協力したい」が47.5%、「市等と介護保険や保健福祉施策等について話し合う機会を増やしたい」が45.0%となっています。



第6章 ケアマネジャー対象 調査結果

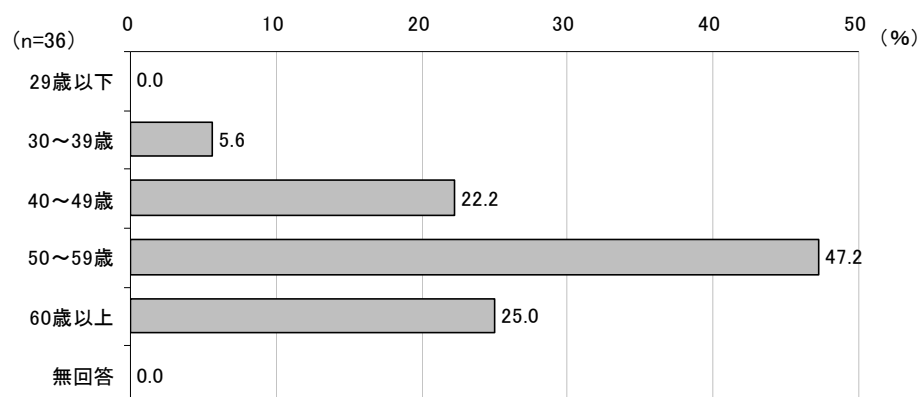
問1 性別をお答えください。(1つに○)

性別は、「女性」が91.7%で、「男性」の8.3%を上回っています。



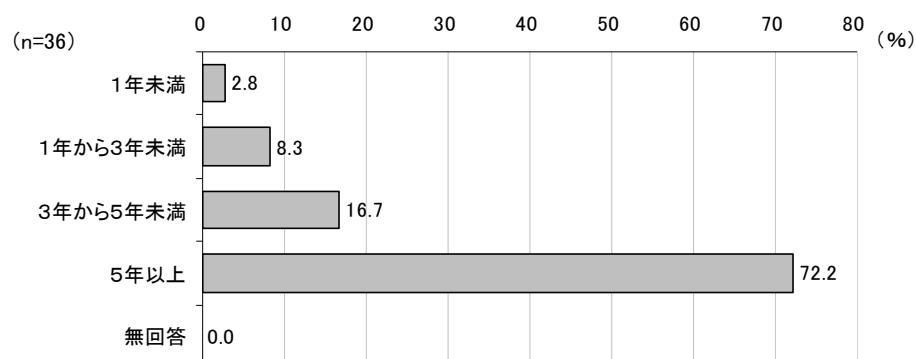
問2 現在の年齢をお答えください。(1つに○)

現在の年齢は、「50～59歳」が47.2%と最も高く、次いで「60歳以上」が25.0%、「40～49歳」が22.2%となっています。



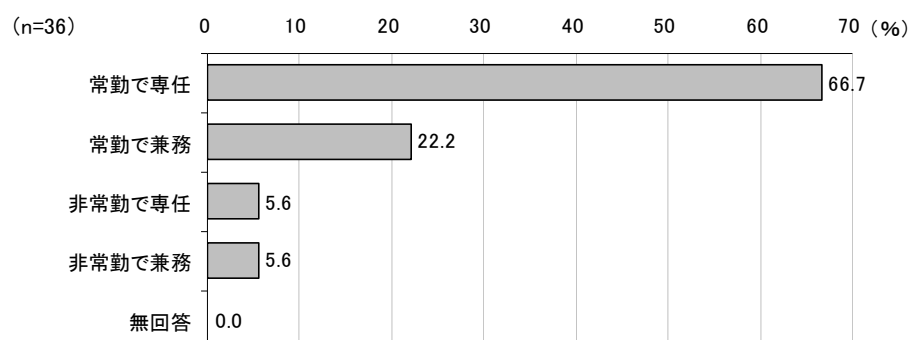
問3 介護保険のケアプランを立てる等の経験はどれくらいですか。(1つに○)

介護保険のケアプランを立てる等の経験は、「5年以上」が72.2%と最も高く、次いで「3年から5年未満」が16.7%となっています。



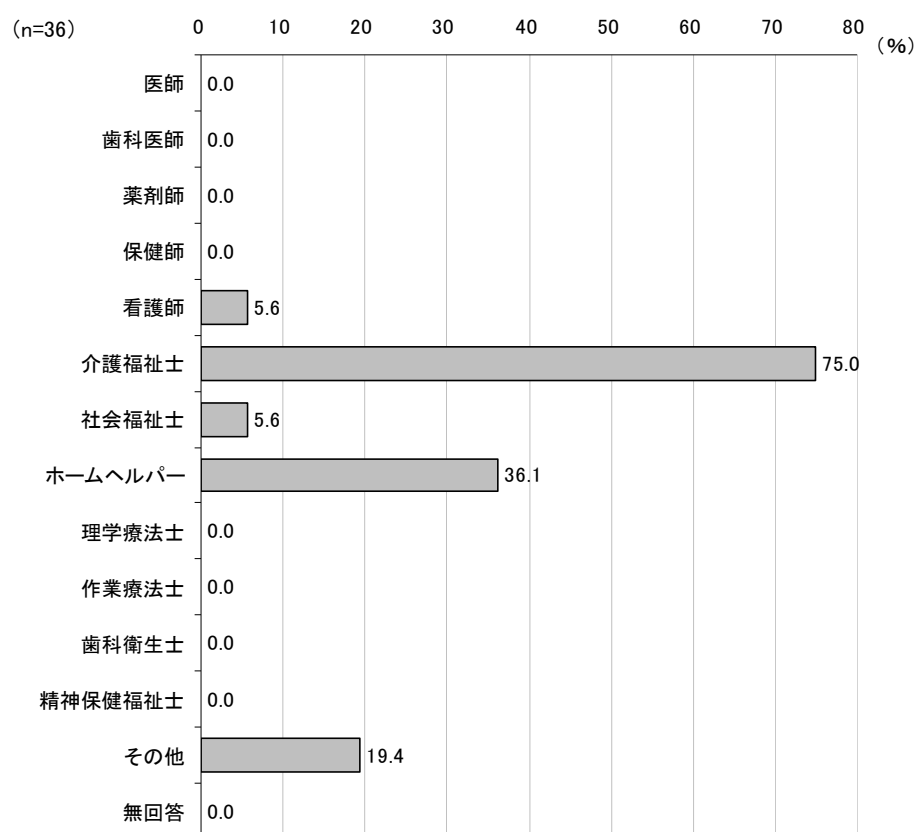
問4 業務形態は次のどれにあたりますか。（1つに○）

業務形態は、「常勤で専任」が66.7%と最も高く、次いで「常勤で兼務」が22.2%となっています。



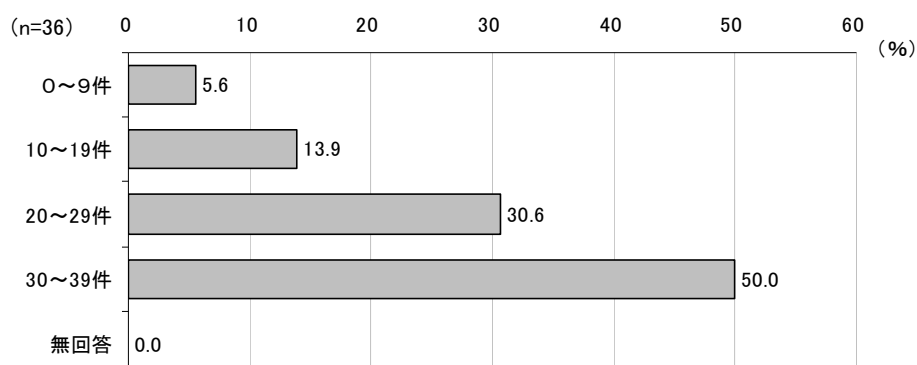
問5 何の資格をお持ちですか。（あてはまるものすべてに○）

何の資格を持っているかは、「介護福祉士」が75.0%と最も高く、次いで「ホームヘルパー」が36.1%、「その他」が19.4%となっています。



問6 市外を含め月平均のケアプラン作成数はどのくらいですか。（1つに○）

市外を含め月平均のケアプラン作成数は、「30～39件」が50.0%と最も高く、次いで「20～29件」が30.6%、「10～19件」が13.9%となっています。

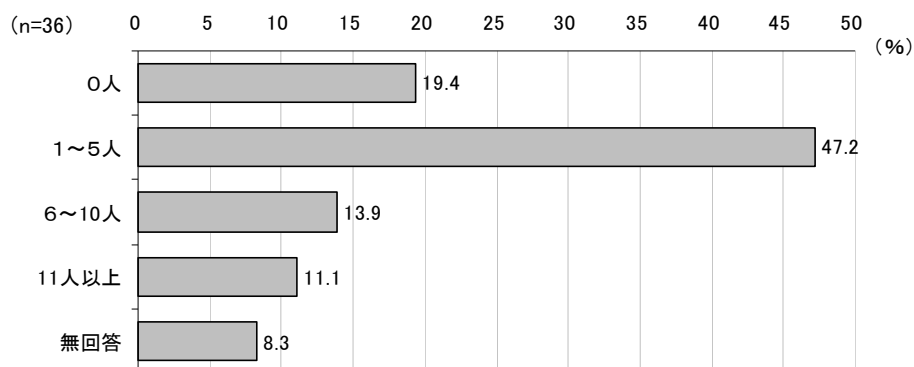


問7 鴨川市で何人の要支援・要介護者のケアマネジメント（総合事業分は除く）を担当していますか。（平成29年1月1日現在の実数を記入）

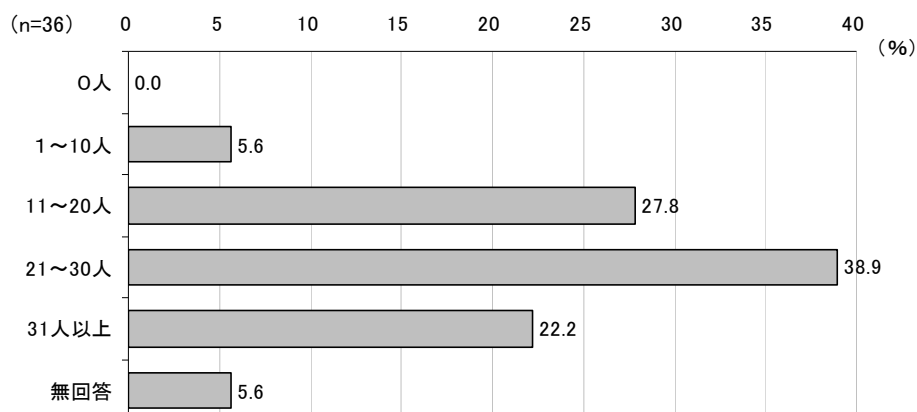
鴨川市で何人の要支援・要介護者のケアマネジメントを担当しているかは、予防に関しては「1～5人」が47.2%と最も高く、次いで「0人」が19.4%、「6～10人」が13.9%となっています。

介護に関しては「21～30人」が38.9%と最も高く、次いで「11～20人」が27.8%、「31人以上」が22.2%となっています。

<予防>

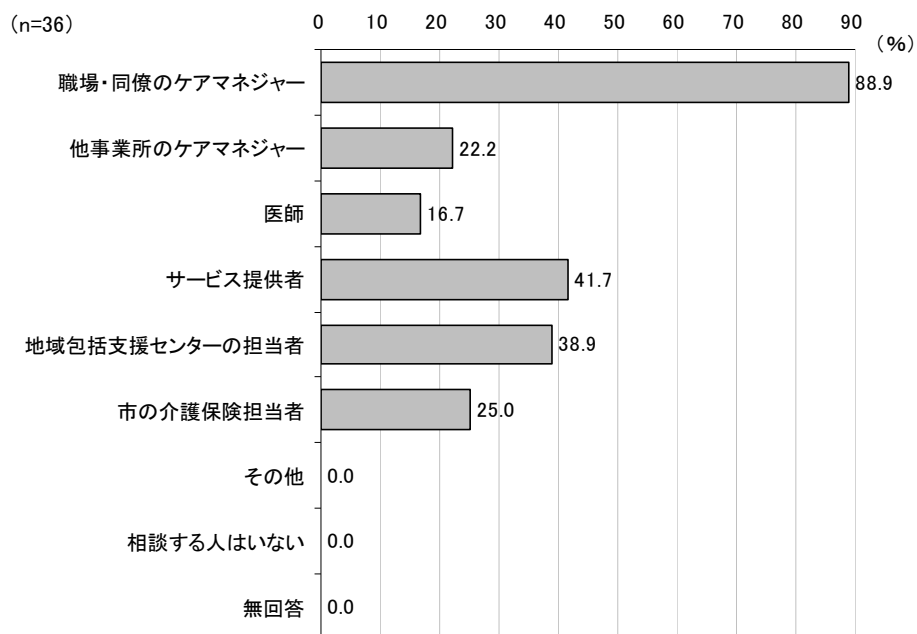


<介護>



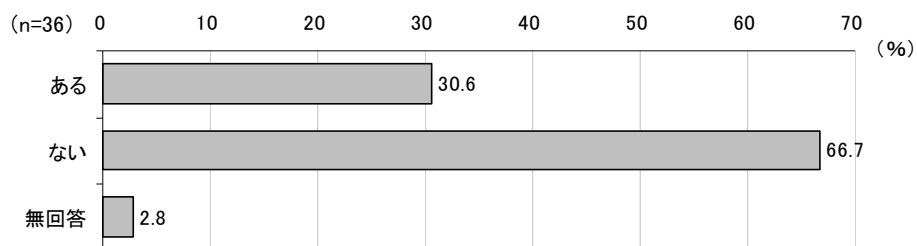
問8 日頃、ケアプランを作成する時に相談する人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

日頃、ケアプランを作成する時に相談する人は、「職場・同僚のケアマネジャー」が88.9%と最も高く、次いで「サービス提供者」が41.7%、「地域包括支援センターの担当者」が38.9%となっています。



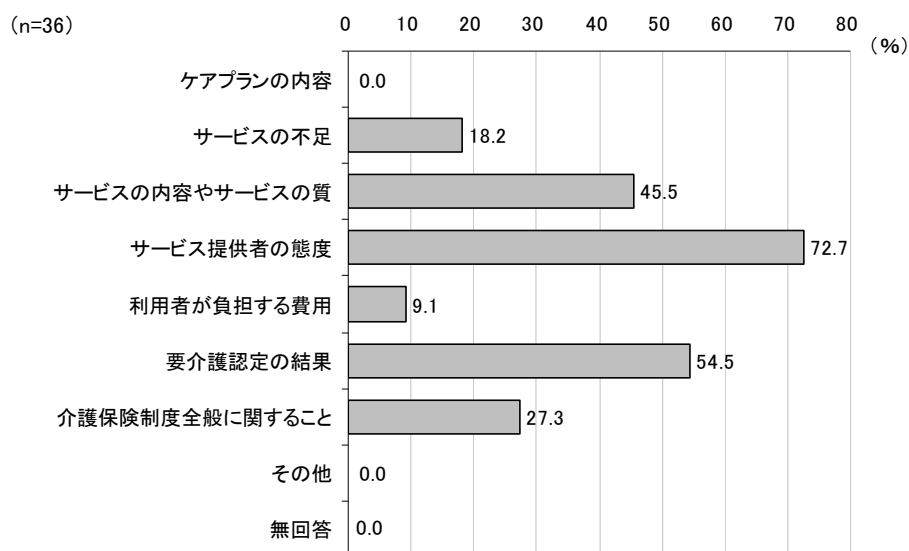
問9 利用者やその家族からの苦情はありますか。(1つに○)

利用者やその家族からの苦情があるかは、「ない」が66.7%で、「ある」の30.6%を上回っています。



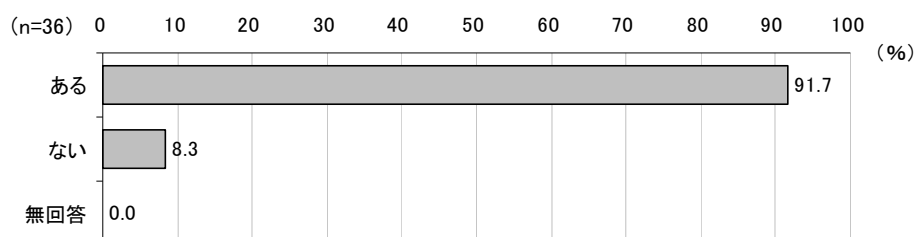
問 10 問9で「1 ある」と答えた方におききます。どのような内容でしたか。（あてはまるものすべてに○）

苦情の内容は、「サービス提供者の態度」が72.7%と最も高く、次いで「要介護認定の結果」が54.5%、「サービスの内容やサービスの質」が45.5%となっています。



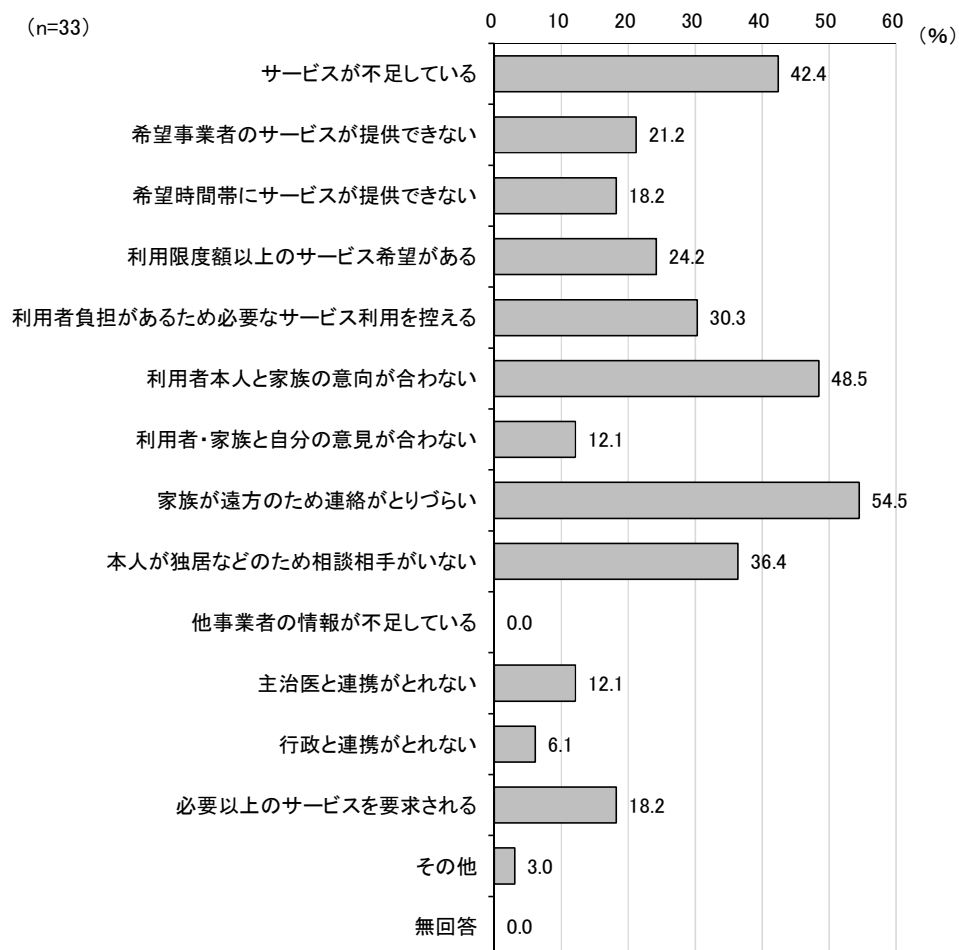
問 11 (すべての方におききます。) ケアプランを作成する上で困ることはありますか。（1つに○）

ケアプランを作成する上で困ることは、「ある」が91.7%で、「ない」の8.3%を上回っています。



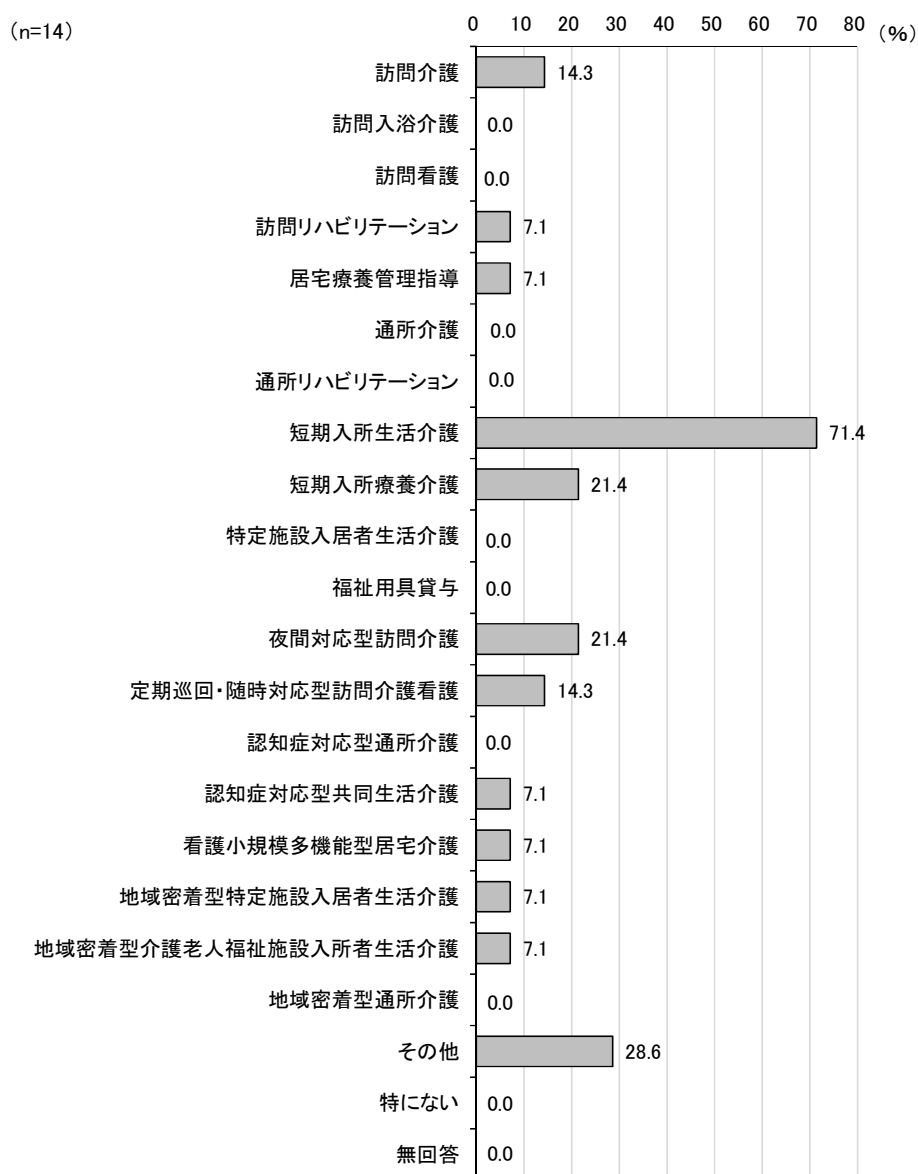
問 12 問 11 で「1 ある」と答えた方におききます。ケアプラン作成上困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

ケアプラン作成上困ることは、「家族が遠方のため連絡がとりづらい」が 54.5%と最も高く、次いで「利用者本人と家族の意向が合わない」が 48.5%、「サービスが不足している」が 42.4%となっています。



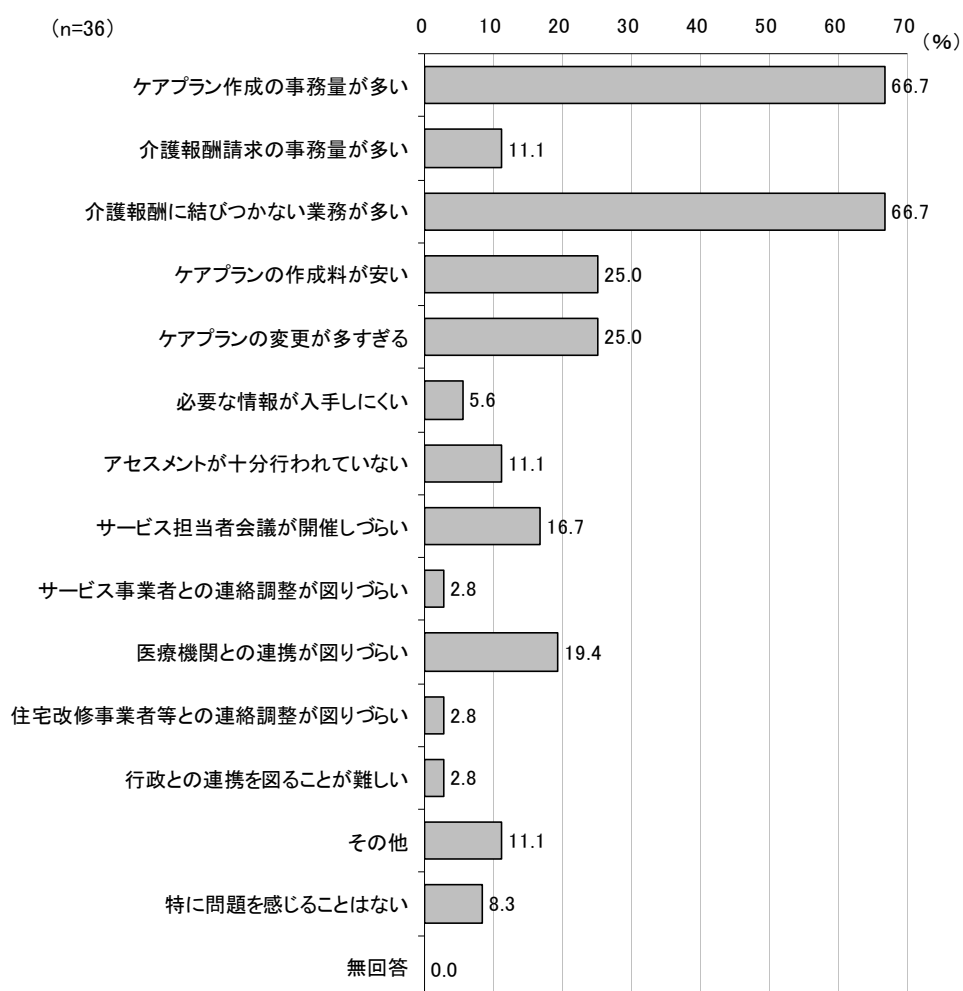
問 13 問 12 で「1 サービスが不足している」と答えた方におききします。ケアプランの作成にあたり、利用者が要望しているにもかかわらず不足しているサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

ケアプランの作成にあたり、利用者が要望しているにもかかわらず不足しているサービスは、「短期入所生活介護」が71.4%と最も高く、次いで「その他」が28.6%、「短期入所療養介護」と「夜間対応型訪問介護」がともに21.4%となっています。



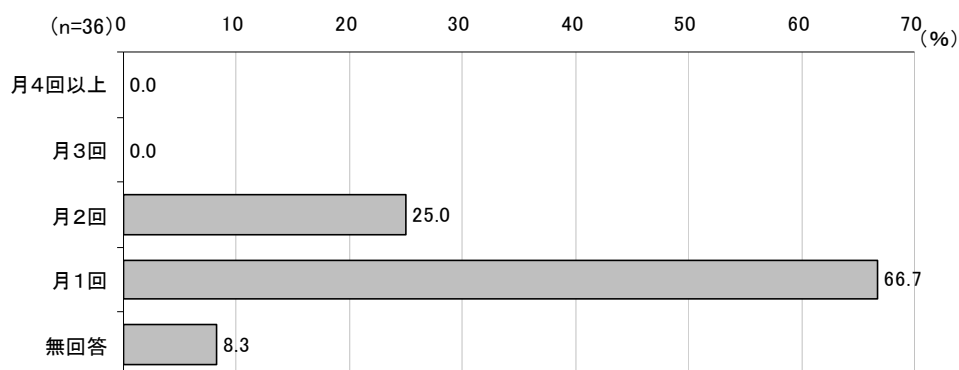
問 14 (すべての方におききます。) 円滑な事業運営を進めていく上での問題点はありませんか。(あてはまるものすべてに○)

円滑な事業運営を進めていく上での問題点は、「ケアプラン作成の事務量が多い」と「介護報酬に結びつかない業務が多い」がともに 66.7%と最も高く、次いで「ケアプランの作成料が安い」と「ケアプランの変更が多すぎる」がともに 25.0%となっています。



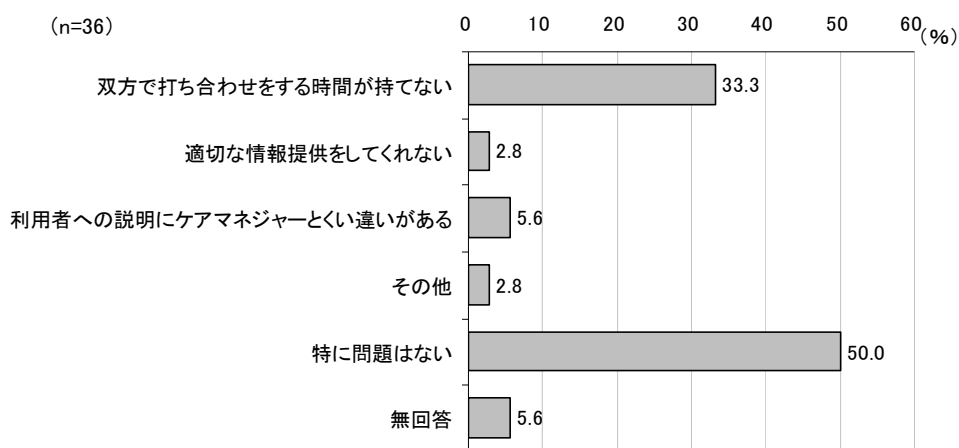
問 15 利用者や家族へは月平均どのくらいの頻度で訪問していますか。(1つに○)

利用者や家族へは月平均どのくらいの頻度で訪問しているかは、「月1回」が66.7%と最も高く、次いで「月2回」が25.0%となっています。



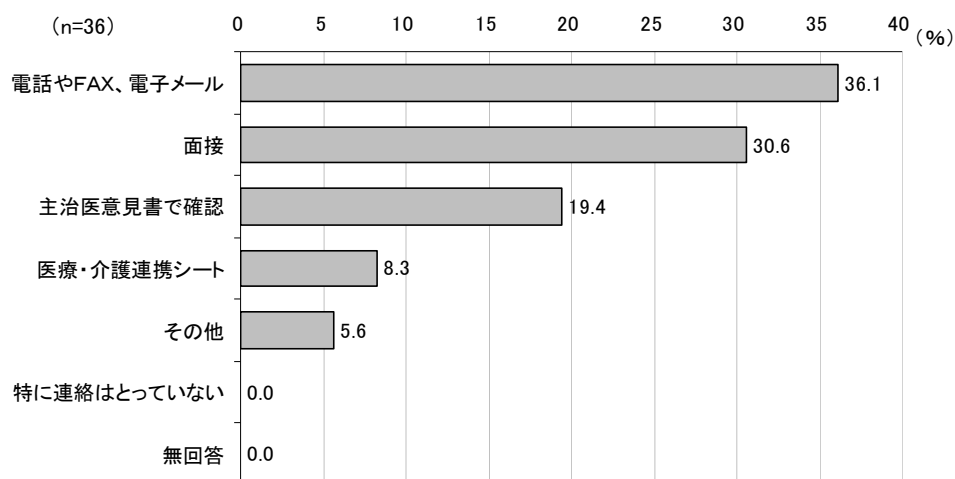
問 16 サービス提供者との関係において問題があると感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービス提供者との関係において問題があると感じることは、「特に問題はない」が50.0%と最も高く、次いで「双方で打ち合わせをする時間が持てない」が33.3%となっています。



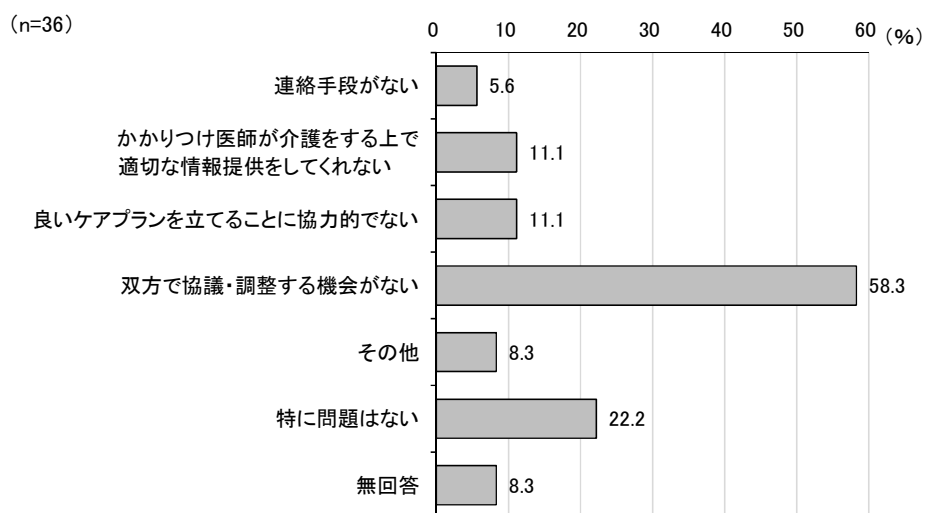
問 17 医療系サービスの提供を検討する際に、かかりつけ医師とはどのように連絡をとっていますか。（最もよく使う連絡方法1つに○）

医療系サービスの提供を検討する際に、かかりつけ医師とはどのように連絡をとっているかは、「電話やFAX、電子メール」が36.1%と最も高く、次いで「面接」が30.6%、「主治医意見書で確認」が19.4%となっています。



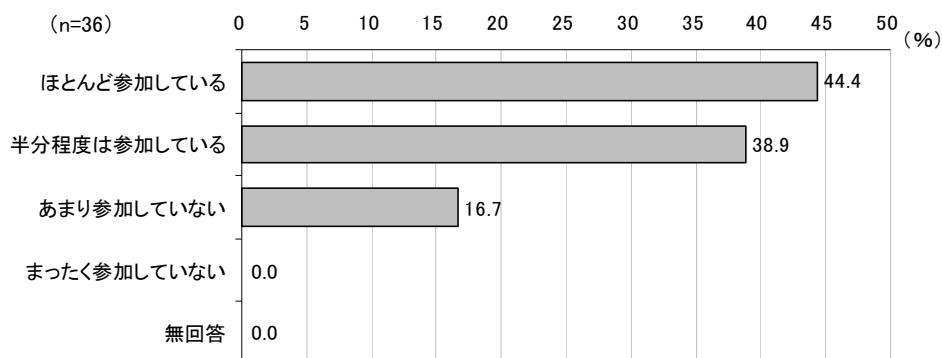
問 18 かかりつけ医師との連携で問題点を感じることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

かかりつけ医師との連携で問題点を感じることが、「双方で協議・調整する機会がない」が58.3%と最も高く、次いで「特に問題はない」が22.2%となっています。



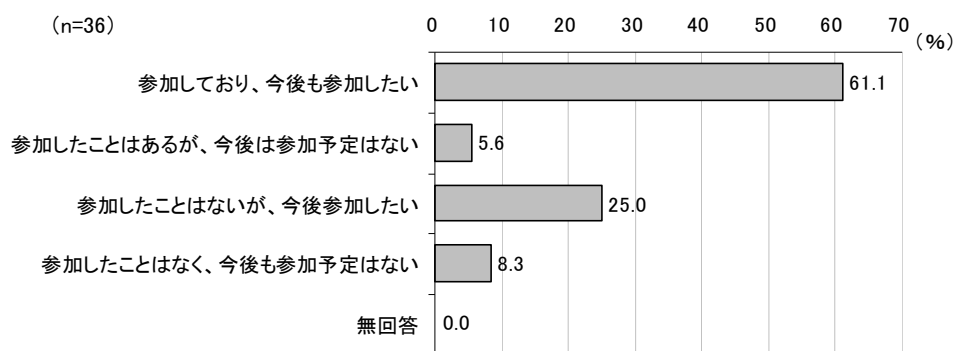
問 19 千葉県やケアマネジャー協会、鴨川市等で実施するケアマネジャー向け研修会に、どの程度参加していますか。（1つに○）

千葉県やケアマネジャー協会、鴨川市等で実施するケアマネジャー向け研修会に、どの程度参加しているかは、「ほとんど参加している」が44.4%と最も高く、次いで「半分程度は参加している」が38.9%、「あまり参加していない」が16.7%となっています。



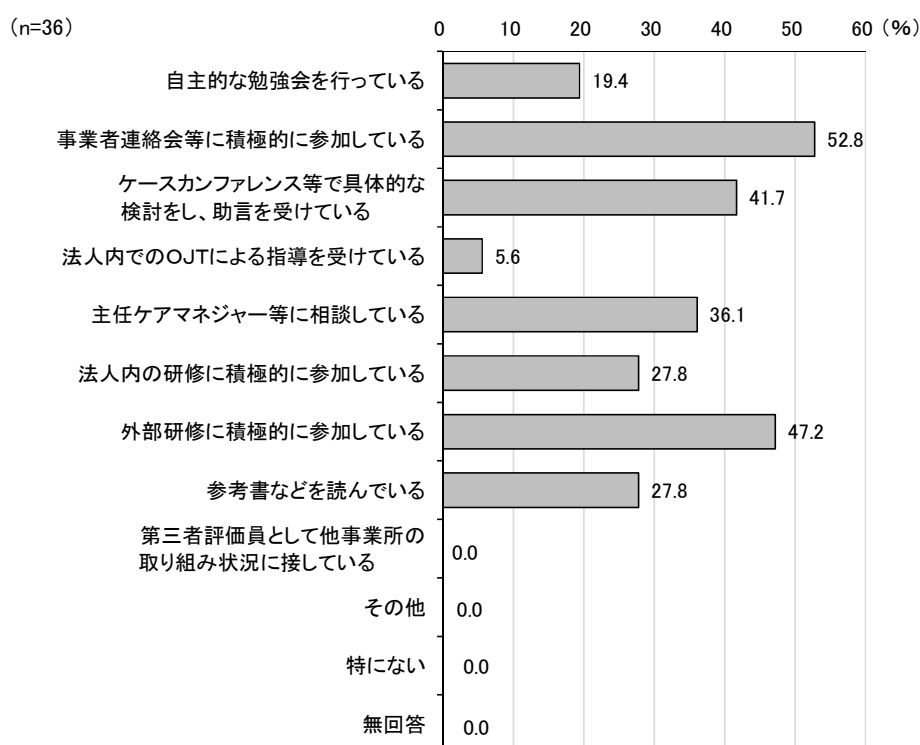
問 20 地域ケア会議に、参加したことがありますか、また今後参加したいですか。（1つに○）

地域ケア会議への参加状況および参加意向は、「参加しており、今後も参加したい」が61.1%と最も高く、次いで「参加したことはないが、今後参加したい」が25.0%となっています。



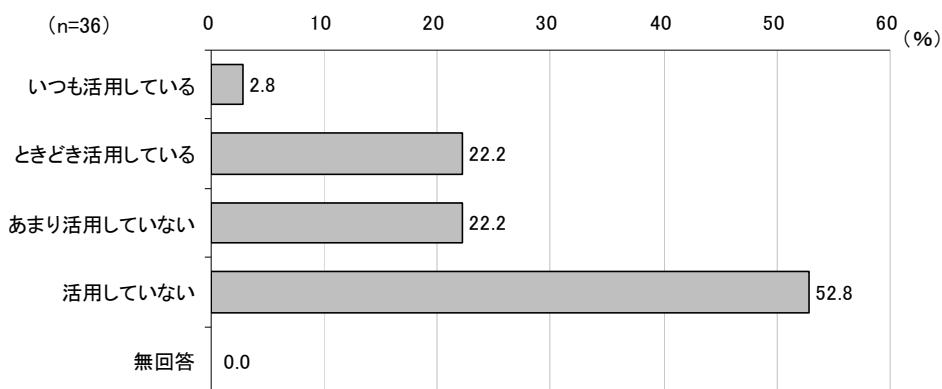
問 21 自分のケアマネジャー業務のレベルアップのために、現在、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

ケアマネジャー業務のレベルアップのためにに行っている取り組みは、「事業者連絡会等に積極的に参加している」が52.8%と最も高く、次いで「外部研修に積極的に参加している」が47.2%、「ケースカンファレンス等で具体的な検討をし、助言を受けている」が41.7%となっています。



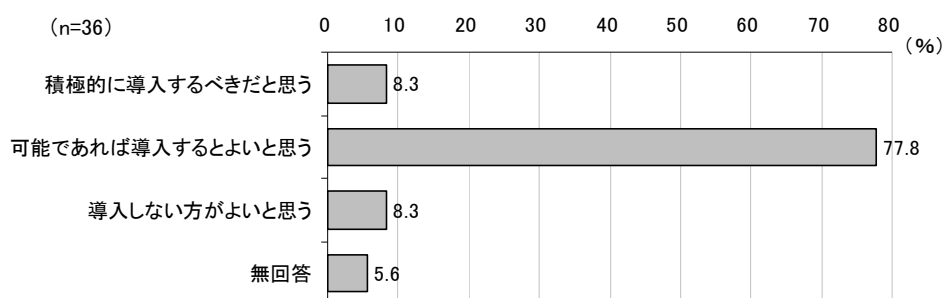
問 22 課題整理統括表を活用していますか。（1つに○）

課題整理統括表を活用しているかは、「活用していない」が52.8%と最も高く、次いで「ときどき活用している」と「あまり活用していない」がともに22.2%となっています。



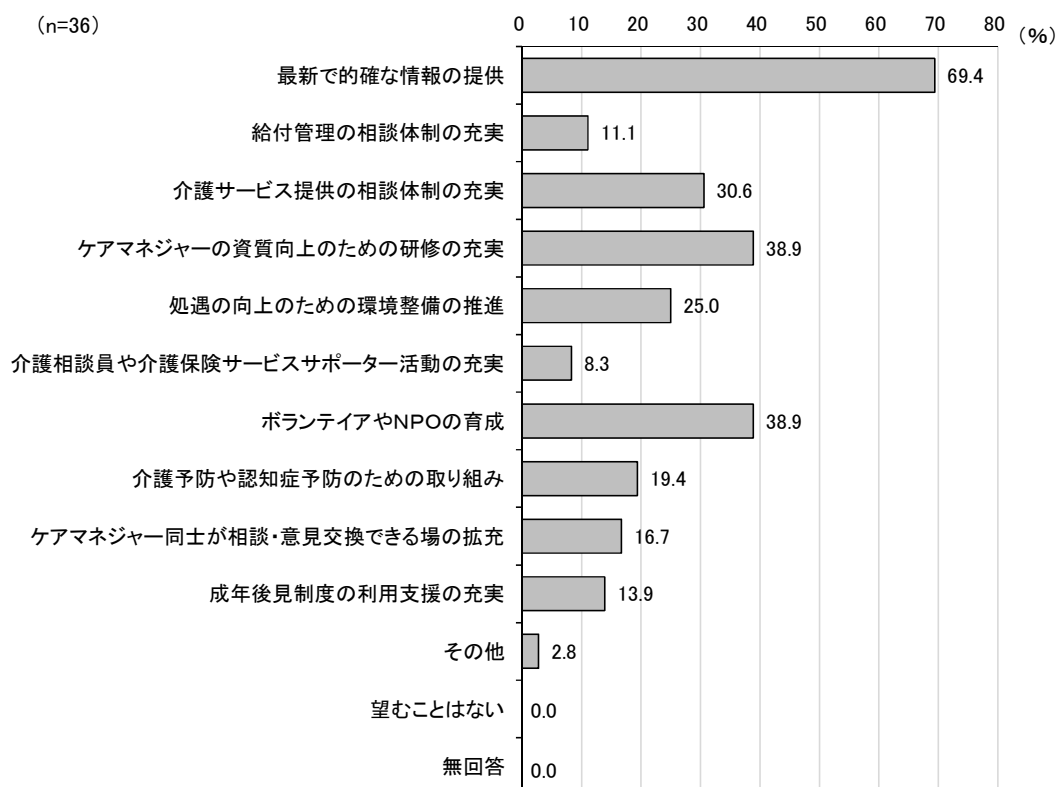
問 23 介護負担軽減に向けた介護ロボットの導入についてどうお考えですか。（1つに○）

介護負担軽減に向けた介護ロボットの導入については、「可能であれば導入するとよいと思う」が77.8%と最も高くなっています。



問 24 ケアマネジャーとして行政に望むことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

ケアマネジャーとして行政に望むことは、「最新で的確な情報の提供」が69.4%と最も高く、次いで「ケアマネジャーの資質向上のための研修の充実」と「ボランティアやNPOの育成」がともに38.9%、「介護サービス提供の相談体制の充実」が30.6%となっています。



第7章 経年比較

1 若年層調査

(1)生活習慣

「1日の味噌汁 3杯以上」と「睡眠 よく眠れている」はやや減少傾向にあります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
規則的な食事 している	53.7%	50.6%	49.2%	51.5%
1日の味噌汁 3杯以上	3.4%	2.0%	1.4%	0.9%
定期的な運動 週3日以上している	17.4%	18.5%	21.1%	15.5%
睡眠 よく眠れている	41.5%	33.0%	33.9%	30.3%

(2)健康について知りたいこと

「がんや高血圧にならないための工夫」は減少傾向にあります、「運動の方法について」や「認知症（痴呆）の予防について」は増加傾向にあります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
がんや高血圧にならないための工夫	44.9%	44.0%	42.0%	38.4%
望ましい食生活について	28.5%	33.8%	32.1%	29.9%
運動の方法について	18.4%	20.7%	24.9%	27.1%
健康診断の内容や受け方について	10.9%	12.7%	10.2%	12.4%
ねたきりの予防について	14.5%	14.5%	15.9%	14.4%
歯の健康について	11.7%	11.6%	15.9%	15.3%
認知症（痴呆）の予防について	27.5%	36.9%	35.5%	36.7%

(3)近隣の医療機関について感じていること

いずれの項目もほぼ横ばいとなっています。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心	44.0%	54.3%	51.2%	46.5%
緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心	57.2%	62.9%	64.3%	57.6%
自分にあう医療機関がない	5.3%	4.4%	6.8%	4.8%
医療機関に関する情報が少なくて困る	6.3%	4.2%	3.0%	4.1%
待ち時間が長い	38.3%	39.6%	40.2%	38.0%
通うのが不便である	6.0%	6.6%	5.0%	7.2%
医療機関内での移動に困っている	2.1%	1.5%	1.2%	2.0%

(4)老後の生活で心配なこと

「家計に関すること」がやや増加傾向にあります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
自分や家族の健康に関すること	66.1%	67.3%	69.1%	62.7%
人付き合いに関すること	10.8%	12.5%	13.3%	11.8%
家計に関すること	46.2%	45.0%	46.0%	52.0%
家族のこと	26.8%	31.9%	34.9%	26.6%
家や財産のこと	11.6%	16.0%	20.7%	21.0%
仕事のこと	19.1%	16.7%	18.5%	16.4%
特に悩みはない	8.6%	7.7%	1.8%	8.1%

(5) 地域活動への参加(※選択肢変更)

第7期調査では国に合わせて選択肢を変更しており、参考値となります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
集会所での交流	21.1%	20.0%	23.3%	9.1%
軽スポーツ	8.7%	10.5%	12.7%	11.4%
ものづくりの場	2.6%	3.1%	3.2%	3.1%
ボランティア活動	7.4%	14.9%	11.0%	11.6%
公民館活動	5.6%	6.8%	5.2%	3.6%

(6) 利用したい介護予防対策

「低栄養予防教室」はやや減少傾向にあります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
筋力向上トレーニング	48.8%	49.4%	56.4%	51.7%
認知症・痴呆予防教室	47.9%	51.9%	51.0%	45.0%
低栄養予防教室	37.9%	36.3%	35.5%	29.0%
口腔ケア	30.5%	30.6%	36.1%	28.2%
転倒予防教室	42.0%	46.2%	49.2%	40.8%

2 一般高齢者調査

(1) 生活習慣

「睡眠 よく眠れている」は減少傾向にあります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
規則的な食事 している	60.0%	64.6%	60.0%	66.7%
1日の味噌汁 3杯以上	4.7%	3.7%	2.6%	2.8%
定期的な運動 週3日以上している	28.7%	30.7%	31.3%	32.0%
睡眠 よく眠れている	43.7%	44.4%	44.3%	33.3%

(2) 健康について知りたいこと

「認知症（痴呆）の予防について」は増加傾向にあります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
がんや高血圧にならないための工夫	42.2%	39.6%	38.5%	39.4%
望ましい食生活について	28.1%	27.9%	24.5%	30.8%
運動の方法について	16.1%	15.9%	14.9%	18.7%
健康診断の内容や受け方について	12.2%	11.7%	9.2%	11.6%
ねたきりの予防について	25.4%	22.1%	21.6%	20.8%
歯の健康について	6.1%	9.1%	8.2%	11.3%
認知症（痴呆）の予防について	33.4%	44.3%	45.0%	45.2%

(3) 近隣の医療機関について感じていること

「待ち時間が長い」が微増しています。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心	65.8%	69.0%	67.1%	64.3%
緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心	45.8%	50.2%	51.2%	50.5%
自分にあう医療機関がない	2.3%	1.3%	2.0%	2.7%
医療機関に関する情報が少なくて困る	3.0%	1.3%	1.6%	2.8%
待ち時間が長い	24.2%	27.1%	28.5%	32.5%
通うのが不便である	10.1%	8.2%	6.7%	6.7%
医療機関内での移動に困っている	1.6%	1.9%	1.0%	1.7%

(4) 老後の生活で心配なこと

「自分や家族の健康に関すること」や「家計に関すること」が微増傾向にあります。一方、「特に悩みはない」は微減傾向にあります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
自分や家族の健康に関すること	58.2%	61.3%	60.2%	63.7%
人付き合いに関すること	8.0%	7.4%	7.3%	9.3%
家計に関すること	20.7%	24.0%	20.9%	27.0%
家族のこと	22.7%	26.2%	24.7%	26.4%
家や財産のこと	6.3%	7.9%	8.0%	11.6%
仕事のこと	5.3%	6.5%	5.4%	6.7%
特に悩みはない	20.9%	18.3%	15.3%	15.1%

(5) 地域活動への参加(※選択肢変更)

第7期調査では国に合わせて選択肢を変更しており、参考値となります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
集会所での交流	27.8%	30.3%	32.5%	14.4%
軽スポーツ	6.3%	9.8%	11.6%	11.6%
ものづくりの場	3.3%	5.2%	6.2%	4.7%
ボランティア活動	7.3%	10.7%	13.4%	11.1%
公民館活動	12.5%	12.9%	13.6%	10.8%

(6) 利用したい介護予防対策

「筋力向上トレーニング」や「認知症・痴呆予防教室」、「転倒予防教室」は増加傾向にあります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
筋力向上トレーニング	31.2%	33.1%	37.1%	43.1%
認知症・痴呆予防教室	29.4%	34.4%	35.6%	38.0%
低栄養予防教室	24.1%	24.7%	25.5%	25.7%
口腔ケア	19.5%	18.0%	22.7%	21.7%
転倒予防教室	33.1%	38.5%	38.1%	44.0%

(7)重要だと思う高齢者施策

いずれの項目も増加傾向にあります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
安心して受けられる介護サービス	74.9%	79.5%	83.1%	81.8%
気軽に受けられる日常生活の援助	63.0%	63.1%	70.0%	70.3%
健康維持のための教室	50.2%	52.2%	59.3%	60.5%
緊急時などにも困らない医療・福祉サービス	69.5%	73.9%	77.6%	78.2%
身近な地域で趣味活動に参加できるしくみ	43.8%	43.2%	48.5%	50.2%
経験を生かして就労やボランティアができるしくみ	46.3%	42.2%	49.5%	49.6%
高齢者を地域で支える住民の助け合い活動	61.0%	65.4%	68.3%	81.1%
通院や買い物等の移送サービス	58.9%	68.4%	75.5%	76.7%
住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援	49.9%	51.3%	57.0%	66.7%
成年後見制度の利用促進	48.3%	47.3%	55.5%	61.2%

3 認定者調査

(1)近隣の医療機関について感じていること

いずれの項目も増減を繰り返しながらほぼ横ばいとなっています。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心	72.6%	71.2%	62.0%	76.2%
緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心	57.5%	49.2%	42.4%	52.8%
自分にあう医療機関がない	2.8%	1.0%	0.9%	2.1%
医療機関に関する情報が少なくて困る	2.8%	1.4%	1.2%	1.9%
待ち時間が長い	27.2%	25.7%	20.9%	27.6%
通うのが不便である	16.2%	15.4%	8.4%	14.3%
医療機関内での移動に困っている	6.0%	5.0%	3.0%	5.6%

(2)医療機関への移動方法

いずれの項目もほぼ横ばいとなっています。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
バス・電車で行く	5.0%	5.8%	5.5%	8.8%
タクシーで行く(介護タクシーを含む)	22.7%	25.2%	24.8%	23.3%
家族に送ってもらう	54.9%	54.0%	51.2%	54.1%
自分で車を運転して行く	2.2%	2.6%	3.4%	4.5%
自転車で行く	0.4%	1.5%	0.9%	0.3%
歩いて行く	4.1%	5.1%	5.6%	4.3%

(3) 利用したい介護予防対策

「低栄養予防教室」以外の項目は増加傾向にあります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
筋力向上トレーニング	22.0%	26.6%	26.9%	31.0%
認知症・痴呆予防教室	15.7%	14.9%	16.7%	21.5%
低栄養予防教室	11.3%	9.9%	10.4%	12.0%
口腔ケア	18.5%	17.9%	18.5%	23.0%
転倒予防教室	28.6%	28.4%	30.4%	35.8%

(4) 重要だと思う高齢者施策

いずれの項目も増加傾向にあります。

	第4期調査	第5期調査	第6期調査	第7期調査
安心して受けられる介護サービス	69.2%	71.9%	75.4%	81.8%
気軽に受けられる日常生活の援助	55.2%	53.1%	61.1%	69.5%
健康維持のための教室	40.7%	39.4%	45.6%	54.7%
緊急時などにも困らない医療・福祉サービス	60.0%	61.8%	66.5%	77.7%
身近な地域で趣味活動に参加できるしくみ	33.0%	31.6%	36.6%	45.2%
経験を生かして就労やボランティアができるしくみ	32.3%	28.5%	38.0%	43.5%
高齢者を地域で支える住民の助け合い活動	48.6%	49.3%	54.8%	68.5%
通院や買い物等の移送サービス	51.7%	57.8%	66.0%	75.2%
住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援	44.0%	46.3%	59.1%	59.4%
成年後見制度の利用促進	42.8%	43.1%	46.6%	53.3%

調査票

※印刷時に調査票データを挿入します

「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定
に向けたアンケート調査
結 果 報 告 書

発 行：平成 29 年 3 月

編 集：鴨川市 健康推進課・福祉課

〒296-0033

千葉県鴨川市八色 887-1